B0380	現代の世界と人々/現代世界の人と生活					
2.00 単位	講義	春学期	火曜 4 限	1101 教室		ナンバリング: GEB02080

実務経験のある教員等による授業科目

授業の概要 / Course outline

中国は世界第二の経済大国であり、その社会、文化、政治、経済は日々進化している。本授業では、こうした動向を踏まえ、中国と中国人をより深く理解するとともに、新時代における日中関係について考察する。中国を単なる「隣国」としてではなく、日本にとって重要なパートナーとして捉え、現代中国のリアルな姿を知ることを目指す。

到達目標 / Learning objectives

1. 教科書『中国で人生初のご近所付合い』を活用 ・ 教科書をベースに、中国の文化や社会、生活について学ぶ。 2. 最新情報の取り入れ ・ 報道記事や映像資料を活用し、中国の最新事情を理解する。 3. 中国人の生活と価値観を知る ・ 中国人の日常や価値観を知ることで、交流に役立つ知識を得る。 4. 日中関係の未来を考察 ・ 日中関係の現状を分析し、将来的な発展や課題について予測する力を養う。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○共感力 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

1. 中国関連報道への関心を高める ・ 日常的に中国に関するニュースや記事に触れ、知識を深める。 2. 事前予習の徹底 ・ 教科書を事前に読み、授業内容への理解を高める。 3. 「忘れられない中国滞在エピソード」に関する調査 ・ インターネットで関連する報道記事や書評を調べ、具体的な事例を通じて中国理解を深める。

【第1回/春学期第1回】	第1回、授業概要と履修に関する注意事項を説明する		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	第2回、教科書の「序文」と特別賞受賞作を勉強する		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	第3回、最優秀賞(中国大使賞)と一等賞受賞作を勉強する		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	第 4 回、二等賞受賞作を勉強する		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	第 5 回、二等賞受賞作を勉強する・その二	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	第6回、三等賞受賞作を勉強する		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	第7回、三等賞受賞作を勉強する・その二		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30

/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】		, , , , pp	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
Preparation & review	NEW HELP I I TO	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	第 9 回、三等賞受賞作を勉強する·その四	7 71pprox. cino (min)]
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
Preparation & review	公田の行行できまする	/Approx. time (min)	1
【第 10 回/春学期第 10 回】		/ /ipprox. time (iiiii)	
授業計画/Class outline	カ V 四、一寸貝又貝 F と 尼		
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
Preparation & review	NEW HELP I I TO	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】		/ /ipprox. time (iiiii)	
授業計画/Class outline	3) 四(一寸更又更 F C 形成 / 0 C V) (
授業外学修(予習および復習)	次回の内容を予習する	目安時間(分)	30
Preparation & review	VIII 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/Approx. time (min)	33
【第 12 回/春学期第 12 回】		A sakki ave eiting (tillit)	
授業計画/Class outline	NOTE OF THE CANALLY OF THE PARTY OF THE PART		
授業外学修(予習および復習)	期末レポートを準備する	目安時間(分)	60
/Preparation & review	λουλιο 1. 1. Ε.Τ. μα λ. σ.	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
授業計画/Class outline	3) TO ELONGITICAL TEND		
授業外学修(予習および復習)	期末レポートを仕上げする	目安時間(分)	60
/Preparation & review	7005/20 11 1 G (E T - 1 / 0	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	

/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで実施する将業の同数/Number of sessions to b	e conducted online	

□∪

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
定期試験/Regular Exam					
授業時間内に実施するテスト					
/In-class/mid-term tests					
レポート/Report	40	授業内容を踏まえて自分の考えを整理し、期末レポートに的確に反映			
		させているかを重視する			
授業への取り組み	30	「授業参加度」や「授業態度」を重視する			
/Effort/Participation					
その他1/Other 1	30	教科書の予習と持参を重視する			
その他2/Other 2					
評価方法に関する備考	その都度	説明する			
/Remarks for Evaluation method					
課題等に対するフィードバック	その都度説明する				
/Feedback method					

教科書 Textbooks

教科書、『中国で人生初のご近所付合い』 2500 円+税、日本僑報社、2024 年 https://duanbooks.myshopify.com/products/353

参考書

Reference books

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks この科目は、実務経験のある教員による授業科目です(主として実践的教育から構成される授業も含む)。中国での新聞 記者・雑誌編集者の経歴を持ち、日中交流研究所の所長を務める教員が担当し、日々変貌する中国の政治・経済・文 化に焦点を当て、日本との比較をとおして、21世紀の日中交流とアジアや世界のあり方について考える授業です。

B0390	多文化共生の現在					小川 絵美子		
2.00 単位	講義	春学期	火曜 2 限	1002 教室		ナンバリング: GEB02090		

多様性 文化人類学 共生社会 偏見 文化交流 他者理解 エンパシー 他者/自己

授業の概要 / Course outline

「多文化共生」とは一体何を表しているのでしょうか。「文化」「共生」「多様性」といった用語は、それぞれどういった状況のことを指すのでしょうか。本講義では、異文化理解に様々な形で取り組んできた文化人類学の視点から多文化共生について考えていきます。 現在行われている取り組み、取りざたされている問題、提起されている課題等、世界の様々な事例をとりあげ、それぞれの事象を多角的にみていくことで「文化」とはなにか、「共生」とはいかなる状況のことなのかについて改めて問い直します。 様々な事例とともに関連概念を学ぶことを通し、現在における多文化共存の望ましいあり方について考え、「他者から学ぶ」ことの有用さと楽しさを知っていく授業です。

到達目標 / Learning objectives

現在の多文化的状況について概観的知識と適切な理解を得ること、また文化的他者とともに生きていくために必要な知識と態度を身につけることを目標としています。自己を異化し他者を親和化する視点の獲得を目指し、グローバル化する現在世界を行き抜く「技術」を学びます。「他者から学ぶ」という姿勢の有用性について理解し、その姿勢を身に着け、活かしていくことを最終的な目標とします。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○共感力 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

デバイスの持ち込みを認めます。※ 原則紙媒体での資料配布はせず、3S や Google classroom を通して事前にデータで配信することを計画しております。講義中に必要な資料は前方にスライドを投影する方式をとりますので、講義室には筆記用具だけを持参するというスタイルでも受講は可能です。手元に資料が必要な方は、デバイスに表示させて受講したり、事前にプリントアウトしてきたり、各自で対応をお願いします。3S のクリッカーや授業感想の書き込みをお願いすることがあるので、デバイスの持ち込みがない方は、授業時間外でも構いませんので、締め切りまでに忘れずに参加するようにしてください。 自分にあった方法を見つけてください。 ※持ち込みデバイスで授業中に無関係な動画の視聴やゲームをすることは禁止です。

履修上の注意事項/Course guidelines

授業は対面の講義形式での実施となります。スライドを用いた講義が中心になりますが、画像や動画も多用します。授業用スライドのハンドアウトのほか、副教材、参考資料の配布や課題の提出にインターネットを使用することを計画しております。 また、受講者のみなさんの積極的な参加を求めます。毎授業ごとに授業後リアクションの提出を求めるほか、3Sのシステムを使ったクリッカーや自己採点テストなどを頻繁に出題します。授業後リアクションは、受講者同士で閲覧が可能な公開形式にし、次回授業においてリスポンスを行うことを計画しております。 各課題は難しいものではありませんが、それぞれに厳格に締切を設定していきますのでご注意ください。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス:担当講師の自己紹介。なにを学ぶ授業か、授業の進め方についての説明と案内。
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	初回授業に予習は必要ありません。先入観をもたずに、教室に来てください。 講義終了後、簡 目 時間 (分) 30
/Preparation & review	単な課題やアンケートを出しますので、参加をお願いします。 復習に必要な資料はオンライン /Approx.time(min)
	で配信します。
【第2回/春学期第2回】	「多文化共生」と「文化人類学」 多文化共生を考えるにあたっての、文化人類学という学問と、学問上の概念につ
授業計画/Class outline	いて解説。
授業外学修(予習および復習)	授業内で提示するアンケートに参加、リアクションを提出してください。 そのほか、副読用の教 目舞間(分) 60
/Preparation & review	材を配布しますので、授業後によく読み、紹介した概念について整理しておいてください。 /Approx.time (min)
【第3回/春学期第3回】	グローバル化と気付き: 自分にとっての「当たり前」は、ほかのひとにとってもそうだろうか?見慣れたもの、見知らぬ
授業計画/Class outline	ものを別の見方でみることによって、これまでと違った視点が生まれることについて学びます。 事例として、講師自
	身の調査・研究データから、タイの大学における「新歓儀礼」を紹介し、日本における「就職活動」との比較の視点を
	持ち込みます。
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントを提出してください。 身近 財 財制 (分) 30
∕Preparation & review	にあるグローバル化、グローカル化の事例を探す課題を出します。 /Approx. time (min)
【第4回/春学期第4回】	ひとは分かつ: 「人種」「民族」「アイデンティティー」といったキーワードを緒に、ひと、文化、社会の「違い」について
授業計画/Class outline	考えていきます。
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントを提出してください。 授業 眩躪(分) 90
/Preparation & review	で紹介する URL から、自身の潜在的態度を試す、IAT(Implicit Association Test)を受けてみて /Approx.time(min)

	ください。結果をシェアする必要はありません。次回授業までに試してみて、社会的偏見や不平		
	等について、考えるきっかけにしてください。		
【第5回/春学期第5回】		 一ク」等、今日	的/
授業計画/Class outline	文化衝突の事例をとりあげ、問題の所在について考えていきます。		
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントを提出してください。 授業	目安時間(分)	90
/Preparation & review	内容に関連する参考資料や参考サイトの URL を多数紹介する予定です。興味をもった方は事	/Approx. time (min)	
	例について調べてみてください。		
【第6回/春学期第6回】	宗教と世界観: あなたの宗教をきかれたらなんと答えますか? 「日本人は無宗教」「日本人は	 :信心深い」、(ずれ
授業計画/Class outline	も聞かれる言説です。「宗教」という概念について改めて考えます。		
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントを提出してください。 時事	目安時間(分)	90
/Preparation & review	のニュースを紹介し、関連の資料を配布します。これまでの講義の内容に関連するテーマから	/Approx. time (min)	
	複数の資料を紹介します。いずれか興味を持てる内容を選び、その感想を文章にまとめてみて		
	ください。短い文章を書く技術を磨くとともに、自身の考えを他者に伝えること、他者の考えを聞く		
	ことのトレーニングをします。		
【第7回/春学期第7回】		教育のあり方領	 手、 <i>生</i>
授業計画/Class outline	物学的/社会・文化的性差にまつわる事象をとりあげます。 また、個々人が向き合う自身の問	題として「性」に	こつし
	て、改めて考えていきます。		
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントを提出していただきます。	目安時間(分)	30
/Preparation & review	用語の定着を確認する課題を出題します。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】		生物学的な現	象/
授業計画/Class outline	のでしょうか? 家族や生殖をめぐる様々な文化の違いについて考えます。		
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしていただきます。	目安時間(分)	60
/Preparation & review	系譜図の見方、書き方、日本の戸籍制度等、少しややこしい説明があります。解説資料を紹介	/Approx. time (min)	
	しますので、授業内の説明で理解が難しかった方は、次回までに資料をよく読んで復習をしてお		
	いてください。		
【第9回/春学期第9回】		により、家族制]度(
授業計画/Class outline	かならずしも生殖、情愛、子育てが一体となったものではなくなっており、ジェンダー観や家族観を	再考する必要	が生
	じているといえます。伝統的社会の事例を知ることにより、前回に引き続き、多様な家族のあり方に	ついて考えま	す。
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。 様々	目安時間(分)	60
/Preparation & review	な事例について、参考資料を紹介します。自身でも関連する問題について調べてみてください。	/Approx. time (min)	
	用語の定着を確認する課題を出題します。		
【第 10 回/春学期第 10 回】	言語から考える多文化共生 「言語」は「文化」のひとつであり、「文化」には「言語」が含まれて	こいます。しかし	-i ノ、-
授業計画/Class outline	方で「文化」が目に見えないある種曖昧な存在であるのに対して、「言語」は使われるか使われる	いかがはっき	رعرا
	かるという特徴をもったものでもあります。異文化や多文化について考えるとき、言語をひとつの指	旨標とすることで	ر ک
	えてくるものもあります。		
授業外学修(予習および復習)	授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。 様々	目安時間(分)	60
/Preparation & review	な事例について、参考資料を紹介します。動画資料が多めの回になる予定です。 自身でも関	/Approx. time (min)	
	連する問題について調べてみてください。		
【第 11 回/春学期第 11 回】	多文化共生の冒険:共に生きる社会の強み もし社会全体が同じ考え方やスキルセットの人で権	構成されていた	らど
授業計画/Class outline	なるでしょうか。 現在の社会では、多様な背景を持つ人々が関わることで、新しいアイデアや解説	央策が生まれて	こい
	or or tooly to the term that the term to the term of t		/am /i
	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。	多様性の真の	' ІЩІ І
	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。		
授業外学修(予習および復習)	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。 が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に		
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。 が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に 由を考えます。	とって強みとな	î∂∃
	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。 が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に 由を考えます。 授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。 様々	とって強みとな	î∂∃
	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に由を考えます。 授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。 様々な事例について、参考資料を紹介します。自身で調査する際のキーワードも提示しますので、	とって強みとな 目安晴 (分) /Approx. time (min)	` න 3
Preparation & review (第 12 回/春学期第 12 回)	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に由を考えます。 授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。様々な事例について、参考資料を紹介します。自身で調査する際のキーワードも提示しますので、自身でも探求学習を進めてください。	とって強みとな 目安晴 (分) /Approx. time (min)	` න 3
/Preparation & review (第 12 回/春学期第 12 回) 授業計画/Class outline	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に由を考えます。 授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。 様々な事例について、参考資料を紹介します。自身で調査する際のキーワードも提示しますので、自身でも探求学習を進めてください。 多文化共生のこれからと「若者」: 多文化共生の現在とこれからについて、世界の若者たちが言	とって強みとな 目安晴 (分) /Approx. time (min)	30
/Preparation & review (第 12 回/春学期第 12 回) 授業計画/Class outline	す。事例を取り上げ、社会における多様性が個人や全体に与える具体的な利益を考察します。が、「マイノリティのため」ではなく、全体がより良くなるためのものであること、多様性が社会全体に由を考えます。 授業の内容にまつわる感想、気付き、疑問、質問、要望等、コメントをシェアしてください。 様々な事例について、参考資料を紹介します。自身で調査する際のキーワードも提示しますので、自身でも探求学習を進めてください。 多文化共生のこれからと「若者」: 多文化共生の現在とこれからについて、世界の若者たちがラションに注目しながら考えます。	とって強みとな 目安間(分) /Approx. time (min) 主導する様々な	ເຊ∃ 30

授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	60
∕Preparation & review	な事例について、参考資料を紹介します。自身でも関連する問題について調べてみてください。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline		= +=1== (0)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline		口力吐服 (八)	Ti Ti
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) / Approx. time (min)	
/ Preparation & review 【第 17 回/秋学期第 4 回】		/ Approx. tille (IIIII)	<u>.</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		/ Approx. time (min)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第22回/秋学期第9回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review 【第 23 回/秋学期第 10 回】		/Approx. time (min)	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
「大学学学学」のない後日) / Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11 回】		/ Approx. time (min)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12 回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13 回】			.4
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	日安時間	(分)	
/Preparation & review		time (min)	

1回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
定期試験/Regular Exam					
授業時間内に実施するテスト					
/In-class/mid-term tests					
レポート/Report					
授業への取り組み	100	本授業では、期末試験やレポート試験は実施しません。しかし、各回			
/Effort/Participation		の授業後に課題の提出を求めます。これには、授業内容に基づいたコ			
		メントの提出、38システムを活用したクイズ形式のクリッカー、または配			
		布資料に対する短い感想文の提出が含まれます。 これらの課題の			
		提出状況や内容を総合的に評価し、「授業への取り組み」として成績			
		を算出します。出席のみで単位が取得できるわけではなく、「授業への			
		取り組み」には毎回の課題の提出が重要な要素として含まれます。			
		また、この授業は他者への理解を深めることを重視しており、皆さんか			
		ら提出されたコメントは、受講者同士で共有される場合があります。そ			
		のため、他者への配慮をもった誠実な意見や感想を心がけてくださ			
		い。 授業への参加や課題に真摯に取り組むことで、学びをより深め			
		ることができます。皆さんの積極的な姿勢を期待しています。			
その他1/Other 1					
その他2/Other 2					
評価方法に関する備考	本授業で	は、欠席の理由に関わらず、授業内容の理解を深めるために努力する			
/Remarks for Evaluation method	ことを重要	P視しています。 そのため、やむを得ず欠席した場合でも、交通機関遅			
	延証明や	診断書の提出は求めません。代わりに、欠席した授業回の配布資料や			
	,	た参考資料をしっかりと読み込み、その内容についての感想や質問を授			
	業後に提出していただきます。 提出いただいた内容の質や努力の度合いをもと				
	に、評価を行います。これは、授業への参加が単なる出席にとどまらず、自主的な				
	学びを促すことを目的としています。				
課題等に対するフィードバック	毎回の授業後に提出していただくコメントについては、次回の授業の冒頭でフィード				
/Feedback method		fいます。公平性を保つため、原則として授業内で公開の形でフィードバ			
		rます。ただし、プライバシーへの配慮が必要と判断される場合には、個			
		行います。 なお、最終回のフィードバックについては、授業後にまとめ			
	た文書を	3S システムを通じて後日アップロードいたします。			

教科書 Textbooks

なし

参考書 Reference books

適宜授業内で紹介いたします。

URL

授業内で紹介いたします。

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks 履修者の理解度や興味関心によって、授業計画は適宜変更していく見通しです。 各回授業計画の内容や順序は変更する可能性があります。

B0370	メディアと社会/知識社会の情報学					菊地 映輝		
2.00 単位	講義	春学期	水曜 5 限	1101 教室		ナンバリング: GEA02030		

メディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、出版、ソーシャルメディア、情報

授業の概要 / Course outline

現代は、「情報」が社会のあらゆる場面において重視される社会です。そうした社会のことを日本では情報社会と呼び、海外では知識社会と呼びます。本授業では、情報や知識の入れ物であるメディア(媒体)に注目し、その歴史や社会の様々な領域での実態について学んでいきます。私たちの身近な生活と社会全体の動きを結びつけながら、情報やメディアが現在の社会をいかにして構築しているかを検討します。また授業では履修者同士でグループを作り、グループワークを通じて自ら主体的に調べながらメディアと社会に関する学びを実践してもらいます。

到達目標 / Learning objectives

・メディアの誕生から今日に至るまでの歴史を理解し、説明できようになる。・情報社会/知識社会におけるメディアの役割を理解し、説明できるようになる。・自身が興味を持った社会現象について、メディアがどのように介在しているかを説明できるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

ノート型 PC(Windows、Mac)/スマートフォン(iOS、Android)・必須 メディアに関する授業なので、積極的にメディアは活用していきます。授業中にアクセスしてもらう URL などがありますので、毎回デバイスは必ず持ってきて下さい。

履修上の注意事項/Course guidelines

他の履修者の迷惑になる行動は控えること。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:この授業の概要と目標		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	情報とは、そしてメディアとはなにか?		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	メディアの歴史①:アナログメディア編	```	·d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショー	目安時間(分)	300
/Preparation & review	トアサインメントの作成。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	メディアの歴史②:続・アナログメディア編	·	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	メディアの歴史③: デジタルメディア編		·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショー	目安時間(分)	300
/Preparation & review	トアサインメントの作成。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	メディアの歴史④:続・デジタルメディア編		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	ソーシャルメディアと社会		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショー	目安時間(分)	300
/Preparation & review	トアサインメントの作成。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	グループワーク①:50 年後のメディアと社会を考える		

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・グループメンバーでのミーティングや作業	目安時間(分)	300
文来が子修(ア自ねよい複百) Preparation & review	・グループグンバーでのミーティングで下来	Approx. time (min)	300
【第9回/春学期第9回】	グループワーク②: テーマ決めとリサーチ	/ Approx. tillie (IIIII)	_l
授業計画/Class outline	グループラーク②・ケーマ 決めとりサーデ		
授業外学修(予習および復習)	・グループメンバーでのミーティングや作業	目安時間(分)	300
文泉が子修(ア自ねよい複百) / Preparation & review	・グループグンバーでのミーティングで作業	Approx. time (min)	300
/ Freparation & review 【第 10 回/春学期第 10 回】	 社会とメディアの最前線	/ Approx. tille (IIIII)	
授業計画/Class outline	仕去とグナイグの取削線		
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショー	目安時間(分)	210
欠未外子修(ア首のよい複首) Preparation & review	・技業中に耐力された事例や調文を自力でも許い調べてみる寺の技業内谷の復音。・ショートアサインメントの作成。	日女时间(カナ Approx. time (min)	210
【第 11 回/春学期第 11 回】	メディアと文化	/ Approx. tillie (IIIII)	<u> </u>
授業計画/Class outline	グバイノと文化		
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例や論文を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショー	目安時間(分)	300
文未介子修(ア首のよび複首) / Preparation & review	・ 技業中に耐力された事例や調文を自力でも許い調べてみる寺の技業内谷の複音。 ・ショートアサインメントの作成。	日女时间(カ) / Approx. time (min)	300
【第 12 回/春学期第 12 回】	「アッパングン」での15人。 グループワーク③: 発表資料作成	/ Approx. tillie (IIIII)	<u> </u>
場 12 四/ 春子 期 第 12 回 授業計画/Class outline	フルーファーブ®・光衣具作IF以		
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)	・グループメンバーでのミーティングや作業	目安時間(分)	300
欠未外子修(ア省のよび復音) / Preparation & review	ノル・フグンバー CWL・JAZ> で [上来	日女时间(カ) / Approx. time (min)	300
(第 13 回/春学期第 13 回)	グループワーク④: 発表	/ rippi vs. uille (IIIII)	<u>.j</u>
授業計画/Class outline	フルーフラ ^ー ブ性・光衣		
授業外学修(予習および復習)	試験に向けたこれまでの授業内容の復習	目安時間(分)	300
ア Preparation & review	武蔵(こ)可じたこれはようでの大米というできた。	Approx. time (min)	300
【第14回/秋学期第1回】		/ Approx. tillic (IIIII)	_l
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
ア Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		/ Approx. tillic (IIIII)	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】		/ / //pprox. tillio (IIIII)	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		/ 1444.0V: PILIO (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		, 11 (0.01)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		1, 1, (1)	<u>.i</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】		/ (IIIII)	J

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		···	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
オンラインで実施する授業の同数 / Nun	mher of sessions to be conducted online	0.0	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
定期試験/Regular Exam			
授業時間内に実施するテスト	30	メディアと社会について授業内で取り上げた内容をもとに知識や思考	
∕In-class/mid-term tests		力を問う試験を最終授業もしくは実施します。	
レポート/Report			
授業への取り組み	30	授業への参加態度および定期的に課される授業外課題の提出内容	
/Effort/Participation		をもとに評価する。	
その他1/Other 1			
その他2/Other 2	40	本授業ではグループワークを実施する。最終回の授業において、グル	
		ープごとにプレゼンテーションをしてもらい、その内容とグループワーク	
	時の各メンバーの貢献度を評価する。		
評価方法に関する備考	グループワークおよびプレゼンテーションの評価は、教員だけでなく履修者による		
/Remarks for Evaluation method	評価も加り	味する。 特にグループワーク時の各メンバーの貢献度は、全メンバーが	
	他のメンバーを評価する 360 度評価を採用する。		
課題等に対するフィードバック	・ショートアサインメントへのフィードバックは授業内で適宜代表的な回答や重要な		
/Feedback method	ポイント等を解説する。・グループワークの成果としてのプレゼンテーションは授業		
	内で教員から講評を行う。 · 期末試験に対するフィードバックは LMS を通じて実		
	施する。		

教科書 Textbooks

特になし。

参考書

Reference books

授業内で適宜文献や書籍を紹介する。

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業計画は、受講生の人数・状況や進捗に応じて適宜変更する可能性がある。

B0410	410 現代社会とジェンダー				笹野 悦	子
2.00 単位	講義	秋学期	木曜 2 限	1002 教室		ナンバリング:GEC02070

ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、クィア運動、男性学、教育、労働、家族

授業の概要 / Course outline

本授業では現代社会における共生の課題をジェンダーの観点から考える。まず、現代社会で性別に関する課題を考える際に「男女」や「性別」よりも「ジェンダー」「セクシュアリティ」概念を用いる意義を整理する。近代社会に入って以降、性別にまつわる問題はフェミニズム運動をとおして論点が明確になり、ジェンダー概念の導入で社会全体の課題とみなされるようになる。さらにクィア運動の展開、男性学の知見をとおして、ジェンダーに関する課題は女性の問題や男女に関する問題というよりも、カテゴリ形成と権力関係の問題としての観察を促すようになった。授業ではこれらの運動と理論的知見をとおして現代社会におけるジェンダー・セクシュアリティに関する問題を再構成し、共生の課題として考察していく。

到達目標 / Learning objectives

1)ジェンダーは自然なものではなく、社会関係の中で構成された意味付けであることを理解し、自分の言葉で説明できる。 2)近代社会において性をめぐる差異と序列はどのように可視化され変更されてきたかを、フェミニズム運動、クィア運動、男性学の知見を通して理解すること。 3)ジェンダーは女性だけの問題ではないことを理解し、自分の言葉で説明できる。 4)身近な社会関係の中のジェンダー問題がどのように表れているかを理解し、課題を立てて考えることができるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

毎回の資料配布、宿題は Google Classroom を使用します。

[文条計画 / Class sur	cuit		
【第1回/春学期第1回】	授業ガイダンスとイントロダクション:性はどのように区別するか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第2回/春学期第2回】	社会生活の中の性秩序と性差別 ① 雇用労働とジェンダー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第3回/春学期第3回】	社会生活の中の性秩序と性差別 ② 家族関係とジェンダー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第4回/春学期第4回】	社会生活の中の性秩序と性差別 ③ 教育とジェンダー	`	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第5回/春学期第5回】	第一波フェミニズム 市民革命と女性の社会的権利と民主主義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第6回/春学期第6回】	第二波フェミニズム① 「女性らしい生き方」の登場と問題視		

授業計画/Class outline		Τ	
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	第二波フェミニズム② 女性の抑圧・依存と経済学/女性の抑圧と家父長制	L	-1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第8回/春学期第8回】	第二波フェミニズム③ 性の自己決定権/自分の体と暴力	`aaaaaaaaaaaa	-d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第9回/春学期第9回】	第二波フェミニズム④ ジェンダーと権力関係、構築主義と本質主義、バックラッシュ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第 10 回/春学期第 10 回】	第二波フェミニズム以降 ① 多様な観点:「ジェンダー」という一つの差異理論への問い	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間 (分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第 11 回/春学期第 11 回】	第二波フェミニズム以降②「セクシュアル・マイノリティ」の可視化、「セクシュアル・マジョリティ」	の可視化とセク	フシュ
授業計画/Class outline	アル・ライツ		
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第 12 回/春学期第 12 回】	男性学 ①「男性学」の登場と「男性性」の構築へのまなざし		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間 (分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第 13 回/春学期第 13 回】	男性学 ②「男性性」を問う 全体のまとめ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した文	/Approx. time (min)	
	献、映像作品、ニュース等で理解を深める。 		
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline		- 1 - 1 - 2 - 7 - 1 - 1	nganananan
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			<u>.</u>
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			

授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)

5回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam	50	学期末試験
授業時間内に実施するテスト		
✓In-class/mid-term tests		
レポート/Report		
授業への取り組み	50	毎回の宿題、小テスト等
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
/Remarks for Evaluation method		

課題等に対するフィー	ドバック
/Feedback method	

宿題は宿題フォーム内で解説する。リアクションペーパーは翌週の授業時にコメントし、問題を共有しながら考察する。

教科書 Textbooks

教科書:特定の教科書は使用しない。配布資料を用いる。

参考書 Reference books 毎回の授業で関連参考文献を紹介する。全体を通して次の文献を参考図書を挙げる。木村涼子・伊田久美子・熊安貴美江編著、2013、『よくわかるジェンダー・スタディーズ: 人文社会科学から自然科学まで』ミネルヴァ書房。三浦まり、2023、『さらば、男性政治』岩波新書。岡野八代、2024、『ケアの倫理——フェミニズムの政治思想』岩波新書。姫岡とし子、2024、『ジェンダー史 10 講』岩波新書。荻野美穂、2014、『女のからだ——フェミニズム以後』岩波新書。森山至貴、2017『LGBT を読みとく: クイア・スタディーズ入門』ちくま新書。一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同、2019、『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた: あなたがあなたらしくいられるための 29 問』明石書店

	ダーについて大学生が真剣に考えてみた: あなたがあなたらしくいられるための 29 問』明石書店.
URL	
補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

B0440	340 現代日本の課題[1]				入江 公	康
2.00 単位	講義	秋学期	木曜4限	1002 教室		ナンバリング: GEC02110

「日本社会」「権力」「想像力」「社会運動」「ユートピア」「オルタナティブな視点」「労働」「支配/統治/暴力」「歴史/戦後史」「国際性」「政治哲学」「「人間の価値」ということ」

授業の概要 / Course outline

グローバル化、あるいはポストグローバル化がいわれている現在、日本および日本社会はそれらに対してどのように対峙してきたか、あるいはこなかったか――本講義では「日本社会」というものの特質を明らかにしながら、他方、日本ではまだまだ疎遠な海外の思潮などを紹介することによって、現代日本において考えなければならない課題をとらえていきます。そのうえで、現代日本をそこに位置づけることができるような広範な(世界的な)視野と通時的な(歴史的な)視点を紹介します。 また本講義は、われわれの社会が取り巻く状況を「具体的に」考えるとともに、一方でそれら問題を「抽象度の高い」思考によって、より深く掘り下げ、現代日本の課題をより遠くまで展望できるような思考のあり方を扱います。

到達目標 / Learning objectives

「日本」およびその「社会」の「外側」の視点の獲得、あるいはそれらについて「常識」や「偏見」にとらわれない新鮮かつ鋭角的な視点の獲得。 現代の日本の社会状況をめぐって「抽象度の高い思考」を可能とすること、および、それを具体的な状況に結びつけることが可能なこと、 そしてまたそれを社会的に表現できること、あるいは、場合によっては、それらを土台にして適切に政治的意見の表明ができること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

※1 そのつどの授業の進度によって進行や内容に若干変更があるかもしれません。※2 出欠は講義内でそのときのテーマに沿って記述してもらうリアクションペーパーの提出をもって出席とします。※3 リアクションペーパーは毎回提出するわけではなく、ランダムとなります(おおむね講義の進度にしたがいます)。※4 この講義では映像/視聴覚資料を多用します。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	特になし	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	グローバル化/ポストグローバル化をめぐって考える ①――グローバル化した世界とは、グローバ	ル化した社会と	は?
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	「グローバル化」をめぐって考察。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	グローバル化/ポストグローバル化をめぐって考える ②――ポストグローバル化の現在	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	ポストグローバル化と日本を考察する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	戦後日本の構図をとらえる ①――復興/高度成長の社会	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	主として日本の「戦後」についての考察	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	戦後日本の構図をとらえる ②――低成長期の社会		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	現代日本を経済社会とともに考察	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	「間違い」の政治 ①――「政治」を哲学的に考える		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	「古典的な」政治観を哲学的思考によって刷新する	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	「社会運動」についての理解を深める	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】	支配と権力、暴力をめぐって考える社会 ①――「例外状態」ということ	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	社会における「支配」や「暴力」のあり方を考察	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	支配と権力、暴力をめぐって考える社会 ②――「剥き出しの生」について	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	人間の「社会」性とはなにか、人間の「人間」性とはなにかについての考察	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	ユージェニクスという問題 ①――「社会進化論」というものについて	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	「人間社会」についての考え方に関する問題を把握する	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	ユージェニクスという問題 ②――人間の「価値」とは?	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	「人間」に関する日本/欧米社会の比較の視点を考える	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	社会の構想力 ①――ユートピア主義とはなにか	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	「理想社会」の歴史性の考察	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	社会の構想力 ②――「想像すること」と社会のオルタナティブ	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	望ましい「社会像」を提示してみる	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第15回/秋学期第2回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第16回/秋学期第3回】		
授業計画/Class outline		7440 70
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) (Annoy time (nin)
Preparation & review		/ Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】		
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		
技業外子修(す省あよい復省) Preparation & review		日女时间(分) / Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		/ Λμμιολ. ιιιίο (ιιιιί)
授業計画/Class outline		
授業計画/ Olass Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
対未が子形(ア首のよび接首) Preparation & review		日女時間(ガ) / Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		/ Αγγίολ. επιίο (ππι)
授業計画/Class outline		
授業引働/ Olass Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		一名pprox. time (min)
7 1 Toparation & Toylow		/ πρριοπ. τιπο (πιπ)

【第 20 回/秋学期第 7	回】			·	,
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	[習]				目安時間(分)
/Preparation & review	N				/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	① 】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	[習]				目安時間(分)
/Preparation & review		=======================================			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	•	. 		······	
授業計画/Class out					
授業外学修(予習および復	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10					
授業計画/Class out					
授業外学修(予習および復					目安時間(分)
Preparation & review	j				/Approx. time (min)
【第24回/秋学期第11	į.				
授業計画/Class out					
授業外学修(予習および復					目安時間(分)
Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	- !				
授業計画/Class outl 授業外学修(予習および復	<u> </u>				目安時間(分)
欠果外子修(ア省のよび修 / Preparation & review	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
/ Preparation & review 【第 26 回/秋学期第 13					/Approx. time (min)
授業計画/Class out	· · · ·				
授業外学修(予習および復					目安時間(分)
/Preparation & review	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				Approx. time (min)
				^ =	/ rippi on time (time)
ı	る授業の回数/Number of sessions	_	icted online [○回 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
評価方法 Evaluation	種別/Category	割合 %		評価基準等/Evaluation ci	riteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	<u> </u>		・・・・・ * * * * * * * * * * * * * * * * *	· · · · · + 49 1111
method	授業時間内に実施するテスト	50		せんが、講義においてリアクショ	
	/In-class/mid-term tests		· ·	′クションペーパーは毎回提出゛	
	レポート/Report	50		ります。 それをもって出欠とし 間中におこなう期末試験では	
	V/K—R/ Keport	50		同中にあこなり期末試験では ・。その内容をもって評価します	
	授業への取り組み		田してもないよう	。ての内台でもノに正興しより	0
	/Effort/Participation				
	その他1/Other 1				
	その他2/Other 2		-		
	評価方法に関する備考				
	Remarks for Evaluation method				
	課題等に対するフィードバック	講義内容		いて、講義内での応答や講義	 経の質問などにてフィ
	Feedback method			(レポートやリアクションペー/	
	7 T TOO BOOK THO END OF	ることはし		(FA). 1 ()/ /	, ec. 100 (1-22-7)
*/ */ *		9 -2.5.5	6 2,0,		
教科書 Textbooks	入江公康著『現代社会用語集 増補	版』新評論	2021年		
参考書					
Reference books					

URL

補足情報

Supplementary information	
備考 Remarks	

B0460	社会学概論/他者理解とコミュニケーション			石井 幸	夫	
2.00 単位	講義	秋学期	火曜 5 限	8603 教室		ナンバリング:GEC02160

戦後日本社会、家族、女性、労働、生殖、格差、少子化、ピエール・ブルデュー、アンソニー・ギデンス、ニクラス・ルーマン、ニコラス・ローズ

授業の概要 / Course outline

1;社会学の基礎的な考え方を、経済学のそれと対比しながら、紹介します。 2;我々の日常生活を構成する基本的概念が、多様な概念変化の歴史の中でいかに出現してくるのかを考えます。具体的には、現在の日常生活を支える「労働」、「家族」概念が、どのように「生殖」、「格差」、「子供」、そして「女性」といった様々な概念の歴史の糸をより合わせる形で現れてくるのか、その系譜を、時に図式的に、時に細かい事実に基づき、明らかにします。

到達目標 / Learning objectives

以下の点の(概略的な)理解を確立すること。1;基礎的な社会学的説明(と経済学的説明)のポイント。2;戦後日本社会の変遷と、労働概念、家族概念の変遷。3;社会学方法論的な視点から現象を見ること、かつ、現象を見る中で社会学方法論を考えること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

・講義受講時に PC もしくはタブレットが必要です。・講義履修に必要な資料等は、PDF ファイル形式で、事前にネット経由で、講義当日にメール経由で配布します。(紙媒体による資料配付は一切ありません。)

履修上の注意事項/Course guidelines

以下の点を承知しておいて下さい。・毎回講義時間(105分)の半分を目処に事前作成した講義動画を使用します。・毎回必ず"授業内容に即した"(つまりネット検索、生成 AI では答えられない)課題(復習、予習)が出ます。能力次第ですが毎回 1 時間程度、場合によっては数時間はかかります。毎回の授業をきちんと聞こうという意思のない人、毎回の課題をきちんとこなそうという意思のない人は履修すべきではありません。・初回から授業を行います。開講日前に35上に資料などのダウンロード方法に関する掲示を出すので、必ずチェックして準備をしておいて下さい。不明な点がある場合は開講日前でもメールで質問して下さい。

【第1回/春学期第1回】	オリエンテーション(履修上の注意) イントロダクション 労働と愛 1)人間(私たち) 2)承認のメカニ	ズム 3)問題	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題 1 課題 2(予習) I 50-60 年代;家族概念の変化について 1.テーマ;家族革命	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	2.生殖概念の歴史 1)人口爆発 *補足;人口の統治について		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	2)少子化 *補足;民主化と少子化		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題 1 課題 2(予習) 3)人口ボーナス	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	3.まとめ 1)家族概念の転換 2)まとめ *補足;承認の形 *補足;家事労働概念の系譜		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題 1 課題 2(予習) Ⅱ70-80 年代以降 格差社会化 1.テーマ;ライフコース選択の意図	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	せざる結果	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	*補足;社会学は何を目指すのか?		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題;ブルデュー読解(社会論理学とは何か?)	目安時間(分)	60
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	*補足;社会学の考え方(ブルデュー読解)part1 2.格差社会化 ①前提		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題(予習) ②「ダグラス-有沢の法則」	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	③「ダグラス-有沢の法則」の歴史 1		

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	60
アreparation & review		/Approx. time (min)	00
【第8回/春学期第8回】	*補足;社会学の考え方(ブルデュー読解)part2 ③「ダグラス-有沢の法則」の歴史 2	/ //pprox. time (mm)	<u>.L</u>
授業計画/Class outline	・ 開足・社会子の 号に対した アユー DLDA-POLITZ ・ ・・アフラス・日本の方法に対して正文 と		
授業外学修(予習および復習)	課題 1 課題 2(予習) ④「同類婚」⑤同類婚の歴史 1	目安時間(分)	60
アreparation & review	M区 I M区 2(1日/① 門及相] ◎ 門及相V正久 I	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】		/ //pprox. time (min)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline	◎門規相の歴文 2		
授業外学修(予習および復習)	課題;文化の機能	目安時間(分)	60
アreparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	*補足;文化資本について ⑥高学歴女性の低労働力率(70-80 年代) ⑦まとめ 1;90 年代	.L	<u> </u> - 会化
授業計画/Class outline	1		
授業外学修(予習および復習)		· · 目安時間(分)	60
Preparation & review	PA 区,上111 DL D+	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	* 補足;労働とは?(社会学と経済学) ⑧まとめ 2;90 年代以降の格差社会化 2	/ //pprox. time (mm)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline	一幅之,为闽西西、任五十二位为了,参加西西,一个人,		
授業外学修(予習および復習)	課題 1 課題 2(予習) 3.少子化 ①2 つの相関 ②仮説 1(女性の自立仮説)	目安時間(分)	60
Preparation & review	PINE - PINE F(1 B) V/J 1 ID OF JV/IIIN OKUM (VYIIVIDA KIM)	/Approx. time (min)	33
【第 12 回/春学期第 12 回】	③仮説 2(ワークライフバランス論) ④日本固有の社会環境 *補足;事実婚の論理文法	7 71pp1 07. time (mm)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	課題;ドルブリッツ読解	目安時間(分)	60
Preparation & review	DAKEN NO 2000 DUNT	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	_ _
授業計画/Class outline	· IIIAC II A A A A A A A A A A A A A A A		
授業外学修(予習および復習)	課題; 少子化総括 ⑤仮説 3;ドルブリッツ ⑥まとめ 1 ⑥まとめ 2	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	100
【第14回/秋学期第1回】		7 71pp1 07. time (mm)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		<u>:</u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		<u>:</u>	-i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		<u> </u>	

授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間 (分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

3 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト	100	1;毎回(授業内容に即して)出題される課題をもって授業時間内試験
/In-class/mid-term tests		に代え、以下の減点法で採点します。 2;課題回答提出(メールを使
		用して毎回提出)。 不提出 15 点減点。 提出回答に問題がある場合は
		1 回答あたり最大 15 点(欠席相当)まで減点。 3;欠席 15 点減点。
		なお、体調不良などでやむを得ず欠席する場合は、事前にメール連
		絡すればネット経由で講義動画を視聴可能とし、課題回答提出によっ
		て 5 点減点に止めます。なお、事後連絡の場合、度重なる場合は、こ
		の限りではありません。 *課題は能力次第ですが、毎回 60 分程度
		はかかります。 * 重要課題は中間試験代替、期末試験代替として
		ABCD で評価判定します。 *単位取得には 60 点以上が必要です。
		よって、欠席3回、課題回答不提出3回で単位不認定が決定しま
		す。 *課題回答時のネット(ChatGPTなど生成 Alを含む)情報コピペ、
		友人間でのコピペ(共同作成)は、重大な違反行為であり厳禁です。発
		覚した場合には、コピペした者もさせた者もその段階で単位取り消しで
		す。
レポート/Report		
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
✓ Remarks for Evaluation method		

-	課題等に対するフィードバック 随時メール経由、もし /Feedback method	くは講義内で行います。
教科書 Textbooks	ありません。PDF ですべて配布します。	
参考書 Reference books	授業内で随時指示します。	
URL		
補足情報 Supplementary information		
備考 Remarks		

M0010	社会学原論 A/社会学原論 1 [S]			林 玲美		
2.00 単位	講義	春学期	金曜 2 限	8604 教室		ナンバリング: SOC12010

社会学 機能理論 葛藤(紛争・闘争)理論 解釈理論 実証主義 社会構築主義 階級 ジェンダー 人種・エスニシティ 社会構造 行 為主体性 社会規範 社会化 集団

授業の概要 / Course outline

社会学とはどのような学問なのか。社会学のアプローチにはどのような特徴があるのか。社会学部社会学科の 1 年次必修科目として、近現代社会の諸課題を追究する社会学の学問としての成り立ちについて、その概要を春学期、秋学期(社会学原論 B)を通して理論と方法論の双方向から学ぶ。「社会学的想像力」を身につけ現代社会の諸相を実証的に解明していく社会学部社会学科の 4 年間の学びの基礎固めをめざす。

到達目標 / Learning objectives

- 1. 社会学の基本的な理論や調査方法を網羅的に理解し説明できる。 2. 現代日本社会の諸課題と、多様な概念や理論とを結びつけて「説明」することができる。 3. 文献を批判的に丁寧に読み込む力と、多読による幅広い情報収集力の二つのタイプの読解力を習得する。
- 4. 多様な見解や解釈に目配りしながら、議論を証拠・論理にもとづいて組み立てる力を鍛える。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

授業時にスライドの縮刷は配布予定・デバイス不要

履修上の注意事項/Course guidelines

積極的な授業参加が前提となる。授業内活動のために席替えをすることがある。授業回ごとの3Sの掲示や配布資料を必ず遅滞なく確認すること。3Sの授業コーナーへのアクセス履歴が学期を通して一切ない場合単位を認めない。授業内に理解度を確認するための簡単なアンケートを実施する可能性があるが、あくまで授業内活動の一環でありその回の欠席者を対象に同内容のアンケートを翌週以降に別途実施することは一切ない。中間クイズ、期末試験のいずれかが未受験の場合、単位取得は計算上不可能ではないがきわめて困難なものとなる。履修者の理解度や関心に合わせ授業回の順番や内容に変更が生じることがある。その場合、3Sを通じ修正スケジュールを配布する。

【第1回/春学期第1回】	オリエンテーション 社会学とは何か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会学の問い一どのような問いをたてどのように答えようとするのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会学の理論 - 機能理論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	社会学の理論 - 葛藤(紛争・闘争)理論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	社会学の理論 - 解釈理論・象徴的相互作用理論	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	社会構築主義 交換理論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】	 前半のまとめ・中間クイズ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読 こ	目安時間(分)	120
/Preparation & review	れまでの内容の総復習	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】			-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	集団 ネットワーク 地位 役割	L	-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	ジェンダー セクシュアリティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	階級 人種・エスニシティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめと復習		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読 こ	目安時間(分)	120
/Preparation & review	れまでの内容の総復習 	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			nganananana
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline		= +-1== (n)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline		口小吐服 (八)	
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) /Approx time (min)	
/ Preparation & review 【第 17 回/秋学期第 4 回】		/Approx. time (min)	<u></u>
L 寿 / 四 / 秋子 期 寿 4 回』 授業計画 / Class outline			
授業計画/ Olass Outilile 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
アードランス Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		, rippi vit. tillo (IIIII)	1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		,kb. sva min /min/	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
L		L	.i

【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで宇施する揺	業の回数 / Number of sessions to be conducted online 3回	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam	45	授業内容と講読課題資料にもとづく出題となる。
授業時間内に実施するテスト	45	中間クイズ一授業内容と課題講読資料にもとづく出題となる。
✓In-class/mid-term tests		
レポート/Report		
授業への取り組み	10	積極的な授業参加・授業内グループ活動の実施がある場合そのグル
/Effort/Participation		ープ活動への積極的な参加・授業内提出物の内容(コメントシートの
		白紙提出は認めない)
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
/Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	授業内に	講評する。
/Feedback method		

教科書 Textbooks

李 侖姫 ·渡辺 深 著『入門 社会学』ミネルヴァ書房 2022年刊行 ISBN978-4-623-09388-5

参考書 Reference books 濱嶋朗ほか編『社会学小辞典』(新版増補版)有斐閣 2015 年 ISBN4-641-00264-9 アンソニー・ギデンズ『社会学 第5版』(松尾精文ほか訳)而立書房 2009 年 ISBN978-4-88059-350-0

URL

有用なウェブサイトは適宜授業内でご紹介する。

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks このシラバスはあくまでも授業計画にもとづくものであり、授業外学修時間はあくまで目安である。週の内容・一人一人の学修のペースによって増減することが予想される。期末試験は対面を予定しているが、パンデミック流行や何らかの非常事態など社会情勢に鑑みオンラインで実施する可能性も留保する。教科書はあくまでたたき台であり、講義において他の文献を用い、教科書の定義・説明とは異なる基礎概念の解説をすることがある。復習講読課題を毎回指定するので必ず講読を進めながら受講すること。38の「授業資料」コーナー経由で追加の復習課題講読資料を配布することがある。クイズ・試験の範囲に関する授業内の説明に留意すること。

M0030	社会学原論 B/社会学原論 2			林 玲美		
2.00 単位	講義	秋学期	金曜 2 限	8604 教室		ナンバリング: SOC12020

社会学 機能理論 葛藤(紛争・闘争)理論 解釈理論 実証主義 社会構築主義 階級 ジェンダー 人種・エスニシティ 社会構造 行 為主体性 社会規範 社会化 集団

授業の概要 / Course outline

社会学とはどのような学問なのか。社会学のアプローチにはどのような特徴があるのか。社会学部社会学科の 1 年次必修科目として、近現代社会の諸課題を追究する社会学の学問としての成り立ちについて、その概要を春学期(社会学原論 A)に続き、秋学期を通して理論と方法論の双方向から学ぶ。「社会学的想像力」を身につけ現代社会の諸相を実証的に解明していく社会学部社会学科の 4 年間の学びの基礎固めをめざす。

到達目標 / Learning objectives

- 1. 社会学の基本的な理論や調査方法を網羅的に理解し説明できる。 2. 現代日本社会の諸課題と、多様な概念や理論とを結びつけて「説明」することができる。 3. 文献を批判的に丁寧に読み込む力と、多読による幅広い情報収集力の二つのタイプの読解力を習得する。
- 4. 多様な見解や解釈に目配りしながら、議論を証拠・論理にもとづいて組み立てる力を鍛える。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

授業時にスライドの縮刷は配布予定・デバイス不要

履修上の注意事項/Course guidelines

積極的な授業参加が前提となる。授業内活動のために席替えをすることがある。授業回ごとの3S の掲示や配布資料を必ず遅滞なく確認すること。3S の授業コーナーへのアクセス履歴が学期を通して一切ない場合単位を認めない。授業内に理解度を確認するための簡単なクイズやアンケートを実施することがあるが、あくまで授業内活動の一環でありその回の欠席者を対象に同内容のクイズ・アンケートを翌週以降に別途実施することは一切ない。履修者の理解度や関心に合わせ授業回の順番や内容に変更が生じることがある。その場合、3S を通じ修正スケジュールを配布する。

【第1回/春学期第1回】	オリエンテーション 春学期の振り返り 社会学の理論と方法		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会制度 一 家族	 }	···
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会制度 一 教育		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	社会制度 一 医療 福祉		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	集団 組織 ネットワーク コミュニティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	ライフコース		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】	 前半のまとめ		
授業計画/Class outline	1 VACO		
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読 こ	目安時間(分)	120
/Preparation & review	れまでの内容の総復習	/Approx. time (min)	120
【第8回/春学期第8回】		,	<u>.j</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】			-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	 社会問題		-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	 社会変動	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	社会学の理論と方法の振り返り		-1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめと振り返り 社会学的想像力		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習 必要に応じた用語の確認 教科書の授業回に該当する章・箇所の講読 こ	目安時間(分)	120
/Preparation & review	れまでの内容の総復習	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			η
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【 第 17 回/秋学期第 4 回 】 授業計画/Class outline			
		口小吐服 (八)	
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) /Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		/ Approx. time (min)	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Olass Outille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
対未が子形(ア首のよい接首) Preparation & review		日女时間(ガ) / Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		/ White (IIIII)	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Olass Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		Approx. time (min)	
/ 1 Toparation & Toview		/ ripprox. tillie (IIIIII)	<u> </u>

【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
ナンニハス字体ナス授業の同数/Num	have of accelerate has conducted online	

3 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam	45	授業内容と講読課題資料にもとづく出題となる。
授業時間内に実施するテスト	45	中間クイズ一授業内容と課題講読資料にもとづく出題となる。
✓In-class/mid-term tests		
レポート/Report		
授業への取り組み	10	積極的な授業参加・授業内グループ活動の実施がある場合そのグル
/Effort/Participation		ープ活動への積極的な参加・授業内提出物の内容(コメントシートの
		白紙提出は認めない
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
✓ Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	授業内に	講評する。
/Feedback method		

教科書 Textbooks

李 侖姫 ·渡辺 深 著 『入門 社会学』ミネルヴァ書房 2022年刊行 ISBN978-4-623-09388-5

参考書 Reference books 濱嶋朗ほか編『社会学小辞典』(新版増補版)有斐閣 2015 年 ISBN4-641-00264-9 アンソニー・ギデンズ『社会学 第5版』(松尾精文ほか訳)而立書房 2009 年 ISBN978-4-88059-350-0

URL

有用なウェブサイトは適宜授業内でご紹介する。

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks このシラバスはあくまでも授業計画にもとづくものであり、授業外学修時間はあくまで目安である。週の内容・一人一人の学修のペースによって増減することが予想される。期末試験は対面を予定しているが、パンデミック流行や何らかの非常事態など社会情勢に鑑みオンラインで実施する可能性も留保する。教科書はあくまでたたき台であり、講義において他の文献を用い、教科書の定義・説明とは異なる基礎概念の解説をすることがある。復習講読課題を毎回指定するので必ず講読を進めながら受講すること。38の「授業資料」コーナー経由で追加の復習課題講読資料を配布することがある。クイズ・試験の範囲に関する授業内の説明に留意すること。

M0040	社会学史/社会学史 1		矢田部 圭介			
2.00 単位	講義	秋学期	月曜 2 限	1201 教室		ナンバリング:SOC22010

近代、後期近代、社会学史、社会学理論

授業の概要 / Course outline

この授業では、古典期から現代までの社会学の基礎的な諸理論を、主に社会学者ごとに、紹介していく。その際、とくに以下の2点に着目する。(1)各々の社会学者がそれぞれにとっての「いま」(古典期の社会学者にとっては「近代」、現代の社会学者にとっては「後期近代」)をどのようにとらえているか。(2)それを把握するための社会学という学問をどのように位置づけているか。 社会学の研究を支える基礎的な諸理論をその歴史とあわせて理解することを目的とする。

到達目標 / Learning objectives

(1)各々の社会学者が、なにをどのように考えたのか、理解することができる。 (2)それぞれの社会学理論の間の関係を、理解することができる。 (3)自分で社会的な事象を検討する際に、適切な社会学理論を精確に使用することができる。 (4)これらを通して、社会学理論の多様性を認識し、社会学理論を批判的に取り扱うことができるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス なんのために社会学が必要だったのか?:オーギュスト・コント		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	資本主義とはどんな仕組みか?:カール・マルクス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	無限性の病とはどんな危機か?:エミール・デュルケム		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	資本主義の起源はどこにあるのか?:マックス・ウェーバー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	秩序はいかにして可能か?:タルコット・パーソンズ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	相互行為と意味はどのように着目され始められたか?: ゲオルク・ジンメルと G.H.ミード		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	意味に着目するとはどのようなことか?:シンボリック相互作用論と現象学的社会学		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	相互行為に着目するとはどのようなことか?:アーヴィング・ゴフマンとハワード・S・ベッカー		

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	現実が構築されるとはどのようなことか?:社会構築主義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	近代が未完であるとはどういうことか?:ユルゲン・ハーバーマス		_j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	オートポイエシス・システムとはどんなシステムであるのか?: ニクラス・ルーマン	-L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	後期近代とはどんな時代か?:アンソニー・ギデンズ	- '	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	なぜ社会学史にでてくるのは欧米人の男性なのか?:フェミニズムとポストコロニアリズム		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定である。必ず、事前に、資料には目を通しておく必要がある。	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
授業外子修(ア省あよび復省) ✓ Preparation & review		日女时间(分) / Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		/ Approx. unit (min)	
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
欠未外子修(ア首のよび復音) / Preparation & review		日女时间(カ) / Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ rippi un. uille (IIIII)	<u>.i</u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Glass Gutille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】		/ LINE AVE PILLO (IIIII)	.J

授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

0 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
∕In-class/mid-term tests		
レポート/Report	100	学期末に提出してもらうレポートによって評価する。レポートは、おおむね、以下の基準に沿って採点する。 0)レポートとしての形式が整っていることが大前提。これが守られていない場合には、レポートとみなさない。 1)興味深い問いが設定され、それに適切に答えられているか。 2)提示されている議論に説得力があるか。 3)授業で紹介された理論を適切に精確に活用しているか。 4)適切な実例が示されてい
拉 类。		るか。
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
	【重要】	ト記「脚末レポート」を含めて「下記の3占の提出物を提出することを

評価方法に関する備考

/Remarks for Evaluation method

【重要】■上記「期末レポート」を含めて、下記の3点の提出物を提出することを、成績(S~D)がつく条件とする。この三点がすべて提出されて、はじめて(S~Dの)成績がつく。一点でも提出されない場合は、授業を放棄したとみなして、成績評価の対象外とするので注意すること。1)期末レポート:上記のもの。ただし、提出されない場合は、授業放棄とみなして、成績評価の対象外とする。2)履修志望コメント。学期冒頭に提出(提出方法は別途指示する)。原則として適切なものが提出されていればよい。ただし、提出されない場合は、授業放棄とみなして、成績評価の対象外とする。3)中間小レポート。学期中頃に提出(提出方法は別途指示する)。原則として適切なものが提出されていればよい。ただし、提出されない場合は、授業放棄とみなして、成績評価の対象外とする。なお、期末レポートの評価がボーダーラインだった場合にかぎり、内容を参照し、必要に応じて評価に加味する。この場合の採点基準は、期末レポートの基準に準じる。■まんがいち、中間小レポート、期末レポートなどに剽窃等の不適切な内容が含まれている場合は、

	課題等に対するフィードバック /Feedback method	その時点で成績を「D」とする。 中間小レポートおよび期末レポートについては、総評を全体にコメントするか、あるいは個別にコメントするかして、フィードバックを行う。	
教科書 Textbooks	とくに指定しない。		
参考書 Reference books	必要に応じて授業内で指示する。		
URL			
補足情報 Supplementary information			

備考 Remarks 授業で使用する資料は、原則として、グーグルクラスルームもしくは 3Sを通じて配布する。教室でのプリントアウトの配布は、原則として行わないので、履修者各自で必要に応じて、措置すること。 なお、授業で使用する資料は、当該授業日の前々日(土曜日)の24時までにはアップする予定である。 資料配付等に用いる媒体は、後日3Sの掲示で告知する。

M0050	社会学理論/社会学理論 A			徳久 美生子		
2.00 単位	講義	春学期	水曜 3 限	8604 教室		ナンバリング:S0C22020

近代社会・行為・社会システム・自己・権力・暴力

授業の概要 / Course outline

「社会」とは曖昧な概念であり、また「社会」は変化するものですから、「社会とは何か」という問いに、明確な答えを出すのは難しいです。社会学理論は、そんな答えのない問いに、過去の研究を参照し、哲学、心理学、歴史学など他の分野の知見を取り入れながら取り組み、未来の「社会」を構想する研究領域です。理論というと難しく感じるかもしれませんが、「社会とは何か」がどう考えてこられたか、そしてどのような「社会」が構想されてきたかを学ぶことで、自分なりの答えを見つけてみませんか。 この授業では、「社会」の成り立ちを問い、「社会」の未来を構想してきた過去から現在へと至る社会学理論の取り組みを、その時代の歴史的背景を含めて紹介します(知識の取得)。知識を取得し、議論することで、私たちが生きる現代社会を理論的に分析するために必要な思考力の取得を目指します(思考力の取得)。

到達目標 / Learning objectives

「社会とは何か」「社会はどのように成り立つか」を探究してきた、過去から現在に至る社会学理論の取り組みを学ぶ(知識の取得)。知識を取得した上で、授業内での議論を通して、社会の未来について自分の言葉で考えるために必要な手法を身につける(思考力・構想力の取得)

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

学外講師の都合により予定が変わる可能性があります。1回程度オンライン授業になる可能性があります。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス:新たな歴史学の世界観と社会学		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	「社会」について抱くご自分のイメージを考えてみてください。	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会学理論ことはじめ: 西洋近代社会の成立と社会学理論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	「社会」とは何かをめぐる問い:現代社会学第一世代と近代社会	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	「社会」をどう構想するか1:デュルケムと自殺	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	「社会」をどう構想するか2:ヴェーバーと資本主義	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	「社会」はどのように成り立つのか:G.H.ミードとシカゴ学派		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	「社会」はどのように破壊されるのか:ナチズムと「社会」	-	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください。 次回の講演で聞きたい質問	目安時間(分)	30
/Preparation & review	を考えておいてください。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	(仮題)現象学的社会学:西原和久(名古屋大学·成城大学名誉教授)先生の講演		٠٠
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからなかったこと、講師の先生に質問したいことがあったら、38 から提出するコメントに書いて	目安時間(分)	30
/Preparation & review	ください。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	「社会」に働く目に見えない力について考える1:権力論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	「社会」に働く目に見えない力について考える2:暴力論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	「社会」の過去・現在・未来について考える:戦争・平和論		
授業計画/Class outline		_ 1.51 1.51	
授業外学修(予習および復習)	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ:分断する世界と社会学理論		
授業計画/Class outline			
	わからない用語をチェックし、コメントペーパーで質問してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline		n	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
欠未パ子形(ア首のよび接首) Preparation & review		日女时間(ガ) / Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】		/ Approx. tille (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】		, v.v. v.v. (11111)	ا
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 18 回/秋学期第 5 回】		L	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		:	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
·			

711 2 1 - 121 111 11-11				
【第 21 回/秋学期第 8				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間 (分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9	(回)			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間 (分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	0 [0]		i.	
授業計画/Class ou	line			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	-		t	
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12			L	<u> </u>
授業計画/Class out	· · · ·			
授業外学修(予習および)				目安時間(分)
Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	<u> </u>			7 Approx. time (min)
授業計画/Class out	- 1			
授業外学修(予習および)	i 			目安時間(分)
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
•	i			/ Approx. time (min)
	トる授業の回数/Number of sessions t			
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	a
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
Evaluation method	授業時間内に実施するテスト			
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests			
	授業時間内に実施するテスト	60	期末レポート:形式(論旨が通り、誤字脱字、文字フ	/オントの統一など
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60		
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に	ニ言及があること)・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60		ニ言及があること)・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に	ニ言及があること)・ ↑の言葉で考えてあ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に 授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分	ニ言及があること)・ ↑の言葉で考えてあ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしな	ニ言及があること)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report		形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。	ニ言及があること)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation		形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。	ニ言及があること)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1		形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。	ニ言及があること)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2		形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。	ニ言及があること)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考		形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。	ニ言及があること)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	40	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	40 質問は、 ⁻	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	40 質問は、: 一トの評値	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流の対象をでフィードを関ける質問があれば、Q&Aから問い合わせていた。	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
method	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	40 質問は、 ⁻	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流の対象をでフィードを関ける質問があれば、Q&Aから問い合わせていた。	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	40 質問は、: 一トの評値	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流の対象をでフィードを関ける質問があれば、Q&Aから問い合わせていた。	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	40 質問は、: 一トの評値	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流の対象をでフィードを関ける質問があれば、Q&Aから問い合わせていた。	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
教科書 Textbooks	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特にありません	40 質問は、: 一トの評値	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流の対象をでフィードを関ける質問があれば、Q&Aから問い合わせていた。	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。
教科書 Textbooks 参考書 Reference books	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特にありません	40 質問は、: 一トの評値	形式が整っていること)・客観性(他の文献や資料に授業内容(授業内容に言及があること)・考察(自分ること)、以上4点で評価します。出典を明らかにしなす。 授業終了時に提出するコメント(自由提出)を3点流の対象をでフィードを関ける質問があれば、Q&Aから問い合わせていた。	に言及があること)・ かの言葉で考えてあない引用は厳禁で 満点で評価します。

備考
Remarks

M0190	資料調査方法論				工藤 雅	人
2.00 単位	講義	春学期	木曜 1 限	3311 教室		ナンバリング: SOC24040

資料、史料、史料批判、アーカイブズ

授業の概要 / Course outline

本講義では、さまざまな資料の特性の違いを説明し、それぞれの特性にあわせた資料の読み方を教授する。 各講義では、新聞や雑誌、判決文や統計資料、アンケート調査など、様々な資料を分析した社会学の論文を参考にしながら、資料を読みとく方法を説明する。

到達目標 / Learning objectives

さまざまな資料から、その資料の特性を理解しながら、適切に情報を読みとることができるようになることを目標とする。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】		<u>L</u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 4 回/春学期第 4 回】	映像を資料としてよむ2テレビコマーシャルという形式の変化をよみとる		ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	よむ経験を資料としてよむ2		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	雑誌を資料としてよむ1――「おたく」の概念分析		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	雑誌を資料としてよむ2—雑誌を通して 1970 年代をファッションを調査する		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	- 講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】			

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	文献を資料としてよむ——ほとんど全部を読む		.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】			.j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	資料を調査したレポートの書き方の確認		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	総括――レポートへの事前フィードバック		.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習としてその論文を読むこと。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			_
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】			·- -
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9 回】			

授業計画/Class out	line I			
授業外学修(予習および作			目安時間(分)	
/Preparation & review			/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および後	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & review	w		✓ Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11	回】		J.	
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および後	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & review	j		/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12	2回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および後			目安時間(分)	
/Preparation & review			/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後			目安時間(分)	
/Preparation & review	W		/Approx. time (min)	
オンラインで実施す	「る授業の回数/Number of sessions t	to be condu	cted online 0 回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	/In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	70	資料の特質を踏まえながら、資料を調査することができているかを記価するためのレポート(8000 字程度)を課す。	泙
		30	各講義では講義後にコメントシートの提出を課す。そのうち3回を、	成
	/Effort/Participation	00	横評価に関わるコメントシートとする。	2
	その他1/Other 1		TREE INC POINT OF THE POINT	
	その他2/Other 2			
	 評価方法に関する備考		<u> </u>	
	Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	第 11 回、	. 12 回でレポート課題の書き方を例示する。	
	/Feedback method			
教科書 Textbooks				
参考書		・ エンダー —		4
Reference books				
			デ ギャルソン——1970 年代が可能にした COMME des GARÇONS.	
	*		ルムアート社, 336-73. 前田拓也·秋谷直矩·朴沙羅·木下衆紀	
			小川豊武, 2014, 「戦後日本における「青年」「若者」カテゴリー化	
	実践1950~60 年代の新聞報道	を事例として	「」『マス・コミュニケーション研究』84: 89-107.	
URL				
補足情報 Supplementary information				
備考 Remarks				
	L			

M1390	福祉社会学				菊地 英	明
2.00 単位	講義	秋学期	火曜 1 限	6103 教室		ナンバリング: SOC33080

福祉社会学、社会政策・社会保障の社会学

授業の概要 / Course outline

「福祉」という言葉には、もともとは幸福・幸いという哲学的な意味がありますが、福祉社会学で「福祉」というときには、所得やケアといった給付・サービスを、誰から誰に、いかにして届けるか、というメカニズムや原理としてとらえます。この授業では、福祉社会学にまつわる基本的な概念や、分析視点・方法について解説するとともに、(日本を中心に)福祉の諸分野を取り上げて社会学的な分析を加えます。

到達目標 / Learning objectives

この授業を履修することによって、各学生が福祉にまつわる事項について社会学的に分析する力(特に関連領域で卒業論文を書くために必要な、学問の大まかな全体像と文献リスト/ガイドの提示)を身につけることを目標とします。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

「人口問題の社会学」をあわせて履修することをお勧めします。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:福祉とはなにか・福祉を社会学によってとらえるとはどのようなことか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	福祉とニーズ(必要):誰が、どう判断するか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	③福祉の発展をどう説明するか:為政者の譲歩? 社会運動の成果? 戦争と福祉の関係	<u></u>	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	ニーズ充足をめぐる論点 1:何を給付するか(福祉は福祉はお金の形で提供すべきか、モノやサ・	- ービスの形で提	供す
授業計画/Class outline	べきか?)		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ニーズ充足をめぐる論点 2:誰に給付するか(広く薄くか狭く厚くか)/公的扶助の受給者に就	労を義務づける	べき
授業計画/Class outline	か?		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	福祉と「やりり」:資源ベースの福祉論/やりりと官僚制		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	所得保障の社会学的分析:社会連帯の条件? 年金制度の国による違いはなぜ生じる? 公的	り年金は破綻す	るの
授業計画/Class outline	か?		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	お金から見た日本福祉:誰に何が給付されているか		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300

/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	社会政策・福祉政策の体系(福祉をめぐる概念整理)/福祉は誰が担うべきか(国家か、家族か	、あるいは?)	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	医療の社会学的分析:専門家への懐疑、当事者同士の支え合い	L	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	対人社会サービスとその展開:準市場化/なぜケア労働者は不足する?		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	福祉国家とその将来 1:国ごとにどのような違いがあるのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	福祉国家とその将来 2:どのような福祉改革が行われているのか?/再分配と世代間公平		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			nganaman
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline		D_t_t	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline		D_td== ///	···
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	<u></u>

/Preparation & revie	W			/ Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および				目安時間(分)
対来が子形(ア首のみい) Preparation & revie				日文時间(カナ / Approx. time (min)
(第 23 回/秋学期第 1				/ Approx. tille (IIIII)
L第 23 回/ 依子規第 10 授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および				目安時間(分)
Preparation & revie	•			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	<u> </u>			
授業計画/Class ou	· ·- [
授業外学修(予習および	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			∕Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 1	2回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			∕Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および) / Preparation & revie	•			目安時間(分) /Approx. time (min)
·				/ Approx. time (min)
	する授業の回数/Number of sessions			
評価方法	種別/Category			海 半 ノトvaluation oritoria
		割合 %		準等/Evaluation criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	70	定期試験期間中に授業の	理解度を確認する観点から筆記試験を行
	定期試験/Regular Exam			理解度を確認する観点から筆記試験を行
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト		定期試験期間中に授業の	理解度を確認する観点から筆記試験を行
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		定期試験期間中に授業の	理解度を確認する観点から筆記試験を行
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report	70	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記	理解度を確認する観点から筆記試験を行 说明します。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み		定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 います。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 と 関係である。 と 関係では では では で で で で で で で で で で で で で で で
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report	70	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 います。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 特間までに 3S から提出して頂きます。優秀
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	70	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 います。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 特間までに 3S から提出して頂きます。優秀
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	70	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 います。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 特間までに 3S から提出して頂きます。優秀
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	70	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 います。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 特間までに 3S から提出して頂きます。優秀
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	70	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 います。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 特間までに 3S から提出して頂きます。優秀
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	30	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に認 のます。詳細は授業時に認 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 特間までに 3S から提出して頂きます。優秀
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	30 課題・コメ	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に認 のます。詳細は授業時に認 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 時間までに 3S から提出して頂きます。優秀 配加点します。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	70 30 30 課題・コメ 取り上げ、	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜 ントペーパーに記載のあった 回答します。	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 時間までに 3S から提出して頂きます。優秀 配加点します。
Evaluation method 教科書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	70 30 30 課題・コメ 取り上げ、	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜 ントペーパーに記載のあった 回答します。	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 時間までに 3S から提出して頂きます。優秀 配加点します。
Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 『よくわかる福祉社会学』、武川正吾に	70 30 30 課題・コメ 取り上げ、	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜 ントペーパーに記載のあった 回答します。	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 時間までに 3S から提出して頂きます。優秀 配加点します。
整本 整本 整本 Textbooks 参考書 Reference books URL	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 『よくわかる福祉社会学』、武川正吾に	70 30 30 課題・コメ 取り上げ、	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜 ントペーパーに記載のあった 回答します。	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 時間までに 3S から提出して頂きます。優秀 配加点します。
Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 『よくわかる福祉社会学』、武川正吾に	70 30 30 課題・コメ 取り上げ、	定期試験期間中に授業のいます。詳細は授業時に記 各回の授業内容への理解 め)、授業実施日の指定時 者には、上限を超えて適宜 ントペーパーに記載のあった 回答します。	理解度を確認する観点から筆記試験を行 説明します。 程度テストを行い(あるいは感想・考察を求 時間までに 3S から提出して頂きます。優秀 配加点します。

M1300	開発と社会/開発	人類学/環	9学/環境と開発の人類学 内藤 順子		[子	
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 5 限	1101 教室		ナンバリング: ANT33010

文化人類学、開発支援、貧困、国際協力、ラテンアメリカ、東南アジア

授業の概要 / Course outline

この授業では、開発をめぐる諸問題について、その対象となる人びと・地域・国家などの社会・文化に焦点をあて、文化人類学的視点から考察し、現代世界の構造をとらえることを試みる。ここでいう「開発」とは、「人の選択肢を広げる」という理念のもとで、国内外において実践される支援・援助活動をいう。こうした実践は、異なる社会文化的・経済的背景を持つ国家間や、異なる生活状況にある人間同士で実施されるため、多様な文化や価値観が出会う現場ともなる。 そこでは、他者や他者文化・社会(とくに開発が対象とする「貧困」)に対してどのような配慮や理解が必要となるのか。アジア、ラテンアメリカなどの具体的な開発援助・支援の例をあげながら検討・考察する。

到達目標 / Learning objectives

◆開発における諸問題について学び、考え、判断する力を身につける。 ◆人類学的なものの考え方をとおして、履修者それぞれが「自らの常識を疑うことや、他者や異文化を理解することは、どのようにしたら可能か」という問いの回答にたどりつくことを目標とする。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

◆履修者の関心や状況に応じて、シラバス記載の各回の内容が前後したり延長することがある。それによって割愛するトピックが出てくる場合もある。 ◆全 13 回のうち1回は履修者同士のディスカッション回を設ける。同じ講義をほかの履修者はどう聞いたのか、何を考えたのかなど様ざまな履修者の意見に触れて、あらためて多様性を考え、理解が深まる機会となる。

授業計画 / Class schedule

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:なぜ開発と文化か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	開発援助の仕組み	<u>'</u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	開発援助の具体の現場から:問題の所在		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	開発現場の文化摩擦(1)専門家と住民	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	開発現場の文化摩擦(2)援助国と被援助国	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	開発援助対象地域と人びとの現実:アジア	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	開発援助対象地域と人びとの現実:ラテンアメリカ	L	
授業計画/Class outline			
155 4k 는 1 24 k는 / 그 35 k, 1 + 8/는 55 \	▲		00

授業外学修(予習および復習) ▮ ◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ ▮ 目時間 (分)

30

/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	 「貧困」概念の再検討(1)	L	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
∕Preparation & review	ーにまとめておく	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	「貧困概念」の再検討(2)		.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
∕Preparation & review	一にまとめておく	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	現代世界の構造と開発	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	ーにまとめておく	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	履修者同士のディスカッション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	第 11 回までの内容を十分に復習し、またディスカッションテーマについて事前配布される資料	目安時間(分)	120
/Preparation & review	を熟読し、関連するニュースや文献など各自あたって準備をしておくこと	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ:被開発者あるいは他者の理解に近づくために		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	◆テーマについて各自知識を得ておく ◆授業後、講義を聞いて考えたことをリアクションペーパ	目安時間(分)	30
∕Preparation & review	ーにまとめておく	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline		= ±=1== (0)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline		口小吐服 (八)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 〈Approx time (min)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【 第 18 回/秋学期第 5 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
技業外字修(す省あよい復省) / Preparation & review			
		/Approx. time (min)	<u>!</u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
授業外子修(ア省のよび復省) / Preparation & review		日女时间(ガ) / Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ // // // // // // // // // // // // /	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
		ロメ时间(ガ)	<u></u>

/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8				
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class out	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	ı			∕Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10				
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	回】			
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	v .			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	回】			
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	回】			
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			∕Approx. time (min)
オンラインで実施す		o be condu	ucted online 6 回	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crite	eria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	13 H /V		
method	授業時間内に実施するテスト	60	 授業期間内に期末レポートを提出してもらいます	(日安 2000 字程度
	/In-class/mid-term tests		を1回)	
	レポート/Report			
		40	 ◆毎回のリアクションペーパー10%:毎回の提出、	記載内容を考慮して
	/Effort/Participation	10	▼	
	/ Error cy i ai dolpación		事前準備、積極的参加と貢献、事後レポートを総	
	 その他1/Other 1		THE PRINCIPLE OF THE PR	
	その他2/Other 2			
	Remarks for Evaluation method			
	 課題等に対するフィードバック	毎回のリス	アクションペーパーについて、適宜次の授業でフィー	-ドバックを行う
	Feedback method			. ,, ,,,
教科書 Textbooks	授業中に適宜指示します			
参考書 Reference books	授業中に適宜指示します			
URL				

補足情報 Supplementary information

備考 Remarks

M1310	多文化共生の人類学/グローバリゼーションの人類学					子
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 2 限	1101 教室		ナンバリング: ANT33020

多文化共生、グローバリゼーション、多様性、包摂性

授業の概要 / Course outline

グローバル化が進む現代社会において、「文化」は特に都市において著しく画一化が進む一方、「文化」の諸相の根幹である「民族」や「宗教」を焦点とした紛争が世界各地で頻発しています。この授業では、こうした画一化と差異が渦巻くなか、多様な立場や意見の対立が生じているさまざまな具体的な社会現象を取り上げ、人類学の理論や知見を援用しながら、それらを検討し理解することをめざします。そして、社会問題をより複合的な視点で考えてゆくことで、さまざまな立場や考え方を持った人びとが「共生」するうえで必要な想像力や思考力を養います。

到達目標 / Learning objectives

グローバリゼーションや多文化共生に関わる文化人類学の思考や方法論を理解しすること。 多様性や包摂性、文化や伝統、開発や環境といった語りを、文化人類学的視点から批判的に考察、検証できること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

「ノート型 PC(Windows、Mac)/ タブレット型 PC(Windows、iPad)」の持参は必須ではありませんが、持参した方が授業資料等にアクセスしやすいため、推奨します。

履修上の注意事項/Course guidelines

より理解を深めるために、他の人類学系の授業を受講することを推奨します。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	世界システムとグローバリゼーション	· `	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	植民地主義と先住民族 その1	***************************************	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	植民地主義と先住民族 その 2	-	-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	人種差別主義とステレオタイプ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	多様な「性」のあり方		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	ジェンダーとセクシュアリティの交差点		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】			

授業計画/Class outline	「極寒はこの人士では東明暦も興味ナナ・ナニーフについて、ウハス語が、老魔大派はフェル	目安時間(分)	100
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。		120
Preparation & review 【第9回/春学期第9回】	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	<u> </u>
	食文化という縮図 捕鯨を事例に		
授業計画/Class outline	極寒마다 27 소구 2 마 후 명 평 노 교 하는 그 보고 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그		100
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	J
【第 10 回/春学期第 10 回】	エスニシティ、移民/難民、紛争 その1		
授業計画/Class outline] name (//)	1100
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第11回/春学期第11回】	エスニシティ、移民/難民、紛争 その2		
授業計画/Class outline	極寒마다 27 소구 2 마 후 명 평 노 교 하는 그 보고 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그 그		100
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	<u>.l</u>
【第 12 回/春学期第 12 回】	多文化主義という希望と限界 多様性を受けとめる包摂的な社会とは		
授業計画/Class outline			100
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 13 回/春学期第 13 回】	総括と授業内小テスト		
授業計画/Class outline		l - l / / / /	
授業外学修(予習および復習)	授業時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	180
/Preparation & review	参考文献や資料を用いて、予習・復習すること。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline		-	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline		.	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.]</u> .
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間 (分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			-i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
			-J

授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第22回/秋学期第9	9 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10				
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 1	1 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	復習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12	2 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13	3 回】		ii	
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
オンフインで実施す	する授業の回数/Number of sessions	to be condi	ucted online	
	する授業の回数/Number of sessions 種別/Category			
オンフィンで実施す 評価方法 Evaluation	種別/Category	to be condu 割合 %	acted online 3 回 字価基準等/Evaluation criteria	
評価方法	種別/Category 定期試験/Regular Exam	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト			
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	70	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。	
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	70	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。	
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	70	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。	
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	70 30	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。	所
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	割合 % 70 30 課題は授	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 ま業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準	所
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	割合 % 70 30 課題は授 要時間は	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。	所
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	割合 % 70 30 課題は授 要時間は	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 ま業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準	所
評価方法 Evaluation method	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	割合 % 70 30 課題は授 要時間は	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。	所
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。	割合 % 70 30 課題は授 要時間は 課題等の	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 建業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。	
評価方法 Evaluation method	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。	割合 % 70 70 30 30 課題は授要時間は課題等の	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 選業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。	
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 アケ谷幸代『身体と境界の人類学』	割合 % 70 70 30 30 課題は授要時間は課題等の	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 選業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。	
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 アケ谷幸代『身体と境界の人類学』	割合 % 70 70 30 30 課題は授要時間は課題等の	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 選業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。	
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 アケ谷幸代『身体と境界の人類学』	割合 % 70 70 30 30 課題は授要時間は課題等の	評価基準等/Evaluation criteria 授業内容の理解度をみます。 提出された課題の内容から授業の理解度をみます。 選業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回、出します。標準に約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。	

M1330	教育社会学				中西 祐	i子
2.00 単位	講義	春学期	火曜 4 限	1001 教室		ナンバリング: SOC33020

教育機会の格差、メリトクラシー、ペアレントクラシー、トラッキング、学校文化、隠れたカリキュラム、文化資本、社会関係資本(ソーシャルキャピタル)、社会階層、ジェンダー、セクシュアリティ、エスニシティ、生徒・学生文化、いじめ、パブリック・エデュケーション

授業の概要 / Course outline

授業は原則として指定された教室で対面で行う。第2回~13回の授業では、毎回の授業時間内に、その日の授業内容に関連した小テストを行うので教室内で解答すること(解答締切りは授業時間内)。小テストはパソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかから解答できる形で実施する予定なので、教室にいずれかを持参すること。成績評価は各自が獲得した小テスト得点のうち「上位8回分」の総合点を基に評価する。各回の小テストを受験する/しないは各自で選択すること。小テスト提出が9回以上の場合は、得点上位から8回分を合計して評価対象とする。8回に満たない場合は、提出されたすべての小テストの総合点を基に評価する。なお、第13回の小テストの内容は、第2~12回の授業内容の復習も含めた小テストとする。小テストのくわしい解答方法は初回の授業時にアナウンスする。

到達目標 / Learning objectives

教育機会の格差の問題は、今日の日本においても大きな関心を呼んでいる。この授業では、教育社会学を学ぶ上で基礎となる「教育機会の不平等」の問題について考察する。特に焦点を当てるのは、現代社会の教育機会の不平等に関連する重要な概念である、①ペアレントクラシー、②ソーシャルキャピタル、③隠れたカリキュラム、である。 履修者は、半年の講義を通して、今日の日本や教育格差の問題について再考する「眼」を養うことが最終的な目標となる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

授業を受講するにあたり、小テストへの解答が可能な機材(インターネットに接続できる PC・タブレット・スマートフォン)を教室に持参すること。

履修上の注意事項/Course guidelines

授業を受講するにあたり、小テストへの解答が可能な機材(PC・タブレット・スマートフォン)が必要である。機材の不具合に基づく解答エラーや遅延については、受講者側の責任とする。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	学力の獲得は平等なのか?[『半径 5 メートルからの教育社会学』#1]	·	d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	教育から職業への意向と就職活動[『半径 5 メートルからの教育社会学』#10]	`	d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	高学歴社会における教育機会と費用負担[『半径 5 メートルからの教育社会学』#3]	·	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	貧困家庭の子どもたち [『半径 5 メートルからの教育社会学』#5]		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	高等教育への進学とジェンダー[『半径 5 メートルからの教育社会学』#2]		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】 授業計画/Class outline	高等教育への進学とジェンダー[『半径 5 メートルからの教育社会学』#2+α]		
授業計画/ Olass Outline 授業外学修(予習および復習)	ᄝᄷᆇᄔᆕᇻᇬᄺᆇᆓᄱᄼᆂᅩᄼᆇᅭᆇᅭᆇᆹᄷᄱᇆᄆᄼᅜᅩᆝᅎᅩᇬᆔᇶᄼᄯᇄᆝᅠᄱᄝᇬᄺ		60
技業外子修(ア省のよび復省) / Preparation & review	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。	目安時間(分) /Approx. time (min)	60
【第8回/春学期第8回】		/ Approx. tille (IIIII)	
授業計画/Class outline	子校へ行う(いない子ともにらし)十径 5 メートルからの教育社云子』#4]		
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	ジャーニューー。 学校へ行っていない子どもたち[『半径 5 メートルからの教育社会学』#4+α]	,	_i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	子どもの安全、安心を脅かす「教育」[『半径 5 メートルからの教育社会学』#9]	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
	いじめ問題がつくる視覚と死角[『半径 5メートルからの教育社会学』#11]	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	教育格差をめぐる諸外国の議論と社会的ムーブメント[オリジナル]	:	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は毎週の授業で紹介する参考文献や資料に目を通してその内容を復習し、次回の授	目安時間(分)	60
/Preparation & review	業に臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		·	-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline		·	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline		日本吐服 ///	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 〈Approx time (min)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 19 回/秋学期第 6 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
技業外子修(予省あよい復省) Preparation & review		日女時间(分) /Approx. time (min)	
/ i icharation or leviem		/ Approx. Lille (IIIII)	

【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

2回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト	100	毎回(第2回~13回)、授業中に提出を求める小テストの得点のう
/In-class/mid-term tests		ち、「上位8回分」の総合点を基に評価する。小テスト提出が8回に満
		たない場合は、提出されたすべての小テストの総合点を基に評価す
		る。なお、第 13 回の小テストの内容は、第 2~12 回の授業内容の復
		習も含まれた小テストとするため、それまでの授業内容の復習もしてお
		くこと。
レポート/Report		
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
✓ Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	小テストの	解答締切後、教員による採点を行い、採点が終了後、各自の得点を
/Feedback method	Googleフ	オームからのメールによりフィードバックする。
/Feedback method	Google フ	オームからのメールによりフィードバックする。

教科書

Textbooks

参考書 Reference books

片山悠樹他編『半径 5メートルからの教育社会学』(大月書店)[書籍版または kindle(電子図書)版]

URL

補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M1340	ケアの社会学				後藤 悠	三里
2.00 単位	講義	春学期	金曜1限	1201 教室		ナンバリング: SOC33030

障害者・高齢者・子ども・動物・意味世界・政策・ジェンダー

授業の概要 / Course outline

本講義「ケアの社会学」では、「ケア」という社会現象を3つの視角から把握することを目的とする。第1の視角は、ケアを分析するにあたって必要な基礎的な知識の理解であり、理論や方法論などを学ぶ。第2の視角は、ケアの現場の実態を知ることである。第3の視角は、今後課題になっていくだろうケアに関する事象を学習する。

到達目標 / Learning objectives

本講義の到達目標は、以下のとおりである。 ①ケアについて、基礎的な理解を得ること。 ②ケアについて、現場の実態を知ること。 ③ケアについて、今後の課題を知ること。 ④以上を踏まえて、自分の身近な問題について、分析し、解決策を提示する力を獲得すること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○対話力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

ケアは、受講者にとっても身近なテーマでありうる。そこで、受講者の考えや意見を聞きながら、授業を展開していく予定である。映像資料の使用、ディスカッションを授業内で行う。積極的に授業に参加してほしい。ゲストスピーカーによる講義は、授業の進捗やゲストスピーカーの都合によって日程が変更される可能性がある。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:ケアについてイメージを膨らませ、言葉にして整理する。 復習:それぞれの回について、	目安時間(分)	120
/Preparation & review	どのような事例が当てはまるのかについて考える。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	ケアの基礎的理解①ケアの理論		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:ケアの定義を考える。 復習:自分の身近なケアに関する事例をケアの理論で分析する。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	ケアの基礎的理解②ケアの研究法	``	-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:質的調査法について、自分の現在の知識をまとめる。 復習:自分の身近なケアの事例	目安時間(分)	120
/Preparation & review	について、質的調査法を用いて調査をするための計画を作成する。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	ケアの基礎的理解③ケアの実践の歴史		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:過去のケアの実践について、自分の知識をまとめる。 復習:予習時にまとめた自分の知	目安時間(分)	120
/Preparation & review	識と授業で言及されたケアの実践について比較し、共通点と相違点についてまとめる。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ケアの基礎的理解④多様なケア		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:ケアの対象となる存在について自分の考えをまとめる。 復習:予習時にまとめたケアの	目安時間(分)	120
/Preparation & review	対象と授業の内容を比較し、共通点と相違点についてまとめる。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	ケアの基礎的理解⑤ケアの担い手		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:ケアの担い手について自分の考えをまとめる。 復習:予習時にまとめたケアの担い手と	目安時間(分)	120
/Preparation & review	授業の内容を比較し、共通点と相違点についてまとめる。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	ケアの現場から①実態		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:ケアについてのニュースを確認し、まとめる。 復習:予習時にまとめたケアのニュースと	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	授業の内容を比較し、共通点と相違点についてまとめる。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	ケアの現場から②さまざまな課題	*************************************	-d

極業日本 / ○			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	予習:ケアに関連するニュースについて、とくにトラブルという観点からまとめる。 復習:これまで	口力吐服 (八)	100
		目安時間(分) 〈Annuay time (min)	120
Preparation & review	のケアの授業の復習をし、次回のゲストスピーカーへの質問をまとめる。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第9回/春学期第9回】	ケアの現場から③ゲストスピーカーによる講演		
授業計画/Class outline	マ 771 . レ - - 0		100
授業外学修(予習および復習)	予習: ゲストスピーカーに対する質問をまとめる。 復習: これまでの授業で指摘されたこととゲス	目安時間(分)	120
Preparation & review	トスピーカーの語りを比較し、共通点と相違点をまとめる。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 10 回/春学期第 10 回】	ケアの現在と未来①ケアのグローバル化		
授業計画/Class outline	로 했다. 성 등 나는 호 꼭 된 것 뿐 하는 것 들다. 그 나를 가는 사는 하는 바로 가는 가는 것 같다.		1100
授業外学修(予習および復習)	予習: 外国人家事労働者制度を導入している国について、基本的な情報を確認する。 復習:	目安時間(分) 〈Annuay time (min)	120
Preparation & review 【第 11 回/春学期第 11 回】	日本と他国の共通点と相違点についてまとめる。	/Approx. time (min)	<u> </u>
授業計画/Class outline	ケアの未来と現在②ケアに関する政策		
授業計画/ Class Outilie 授業外学修(予習および復習)	マ羽・陸中本美叫の東側についてネミストトナー。陸中本美叫奴沙法について白八の加強ナナ	口力吐服 (八)	100
	予習: 障害者差別の事例について考えるとともに、 障害者差別解消法について自分の知識をま	目安時間(分) 〈Annuay time (min)	120
Preparation & review	とめる。 復習: 予習でまとめた内容と授業を比較し、共通点と相違点をまとめる。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第12回/春学期第12回】	ケアの現在と未来③交差性という視点		
授業計画/Class outline	マッチャンナンギョッキャー・シング・ウン・ケッ・オート・ファイン・ケッ・マッ・ファー・ナー・ナー・ウン	口中中服(八)	100
授業外学修(予習および復習)	予習:さまざまな差別の事例について、自分の知識をまとめる。 復習:予習時にまとめた自分	目安時間(分)	120
Preparation & review	の知識を、交差性の視点から分析する。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ		
授業計画/Class outline		n	1400
授業外学修(予習および復習)	予習:これまでの授業を振り返り、質問をまとめる。 復習:これまでの授業を自分の考えとともに	目安時間(分)	120
Preparation & review	整理する。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline		n	7
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			T
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			T
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			7
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			T
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		目安時間(分) /Approx. time (min)	

授業計画/Class out	line [
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			∕Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	· ·			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			∕Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	꿤)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			∕Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				
授業計画/Class out	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			∕Approx. time (min)
オンラインで実施す	- る授業の回数/Number of sessions t	o be condu	ucted online 0 回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation	a aritaria
			Table	1 Criteria
Evaluation		H1 1/0	計画を生み/ Evaluation	i criteria
	定期試験/Regular Exam	H1 /0	計画基準等/ Evaluation	i criteria
Evaluation		Н9 L1 70	計画基準等/EValuation	i criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60	計画基準等/ Evaluation	
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト			Dいて分析するという課題と
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		レポートは、テーマに関連する社会事象につ	Dいて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		レポートは、テーマに関連する社会事象になする。詳細については、授業中に(事前に	Dいて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力を	Dいて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力を評価する。より良いレポートにするために、	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート 定である。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	60	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート 定である。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	60	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前にの他の点(オリジナリティ、論理性、説得力が評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメン	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート 定である。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	60	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前にの他の点(オリジナリティ、論理性、説得力が評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメン	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート 定である。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	60	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前にの他の点(オリジナリティ、論理性、説得力が評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメン	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート 定である。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	60	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前にの他の点(オリジナリティ、論理性、説得力が評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメン	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそ など)を総合的に判断して 授業時間に自分のレポート 定である。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	40	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前にの他の点(オリジナリティ、論理性、説得力が評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメン	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ハシート等によって評価す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	40	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力が評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ハシート等によって評価す
Evaluation method	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	60 40 毎回コメン	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ハシート等によって評価す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	60 40 毎回コメン	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ハシート等によって評価す
Evaluation method 教科書 Textbooks	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す
Evaluation method	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す
Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す
数科書 Textbooks 参考書 Reference books	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す
を Nation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す
数科書 Textbooks 参考書 Reference books	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す
数科書 Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	毎回コメン直、参考資:	レポートは、テーマに関連する社会事象にでする。詳細については、授業中に(事前に)の他の点(オリジナリティ、論理性、説得力な評価する。より良いレポートにするために、課題について議論を行う時間などを取る予授業内でのディスカッションへの参加、コメンる。	ついて分析するという課題と)提示する。 形式およびそなど)を総合的に判断して授業時間に自分のレポート定である。 ・ハシート等によって評価す

M1360	仕事の社会学			高見 具	.広	
2.00 単位	講義	春学期	火曜 5 限	8603 教室		ナンバリング: SOC33050

働き方、職業キャリア、雇用管理、労働市場、働く意味

授業の概要 / Course outline

本講義では、仕事(労働)の世界について、様々なデータに基づきながら、社会学的な見方・考え方を伝えていきます。社会学的な研究は、我々の前に立ち現れている産業・労働社会を、「なぜそうなっているのか」「いまの仕組みに問題はないのか」などと問い直してきました。こうした視点から、仕事や労働に関する主要なトピックについて深く考える時間にしたいと思います。 ※オンラインで授業を行う回については、定められた授業日に、授業資料と、授業を収録した動画ファイルを Google クラスルームで配信する。また、課題レポートの提出には 3S を活用する。詳細は開講時に 3S で掲示する。

到達目標 / Learning objectives

現代の産業社会・雇用労働の状況や問題点について、社会学的な視点から分析できること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

課題レポート作成のために、PCの利用を推奨する。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第2回/春学期第2回】	日本の産業社会と就業状況	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第3回/春学期第3回】	日本的な雇用管理の仕組み	iiiii
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第4回/春学期第4回】	正社員/非正社員と賃金格差	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
∕Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第5回/春学期第5回】	就業における男女格差	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
∕Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第6回/春学期第6回】	労働時間の制度と実際	i
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第7回/春学期第7回】	多様で柔軟な働き方	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 1!
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】	ワーク・ライフ・バランス	
授業計画/Class outline		

授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 150
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 150
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	職業キャリアとスキルアップ	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 150
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	仕事・働き方の地域差を考える	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 150
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	働くことの意味	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業を復習し、関連する書籍やメディアの情報に積極的にふれること。	目安時間(分) 150
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 16 回/秋学期第 3 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第20回/秋学期第7回】		
授業計画/Class outline		5 1 Act as 7 (1)
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		

授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	(習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および後	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	(a)			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			∕Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	į			
授業計画/Class out	: :			
授業外学修(予習および後	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	る授業の回数/Number of sessions	to be condu	ucted online 5回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation cr	iteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
Evaluation method	授業時間内に実施するテスト			
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests			
	授業時間内に実施するテスト	100	学期中に3回程度課すレポートの提出状況と	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する	理解度を確認する目
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	100	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ
	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method		ト課題は、それまでに行った授業内容に関する的がある。学修内容をふまえて書かれているかまえ、自分の考えを説得的に表現できているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか まえ、自分の考えを説得的に表現できているか 、課題レポートについて講評を行うとともに、受講	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
method	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する的がある。学修内容をふまえて書かれているかまえ、自分の考えを説得的に表現できているか	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか まえ、自分の考えを説得的に表現できているか 、課題レポートについて講評を行うとともに、受講	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか まえ、自分の考えを説得的に表現できているか 、課題レポートについて講評を行うとともに、受講	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に使用しない。	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか まえ、自分の考えを説得的に表現できているか 、課題レポートについて講評を行うとともに、受講	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に使用しない。	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか まえ、自分の考えを説得的に表現できているか 、課題レポートについて講評を行うとともに、受講	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。
教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL	授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に使用しない。	授業時に	ト課題は、それまでに行った授業内容に関する 的がある。学修内容をふまえて書かれているか まえ、自分の考えを説得的に表現できているか 、課題レポートについて講評を行うとともに、受講	理解度を確認する目 、授業外学習等をふ を評価する。

M1370	社会問題の社会	社会問題の社会学			木村 祐	i子
2.00 単位	講義	春学期	金曜 4 限	8702 教室		ナンバリング: SOC33060

社会問題 構築主義 逸脱 医療化 排除と包摂 格差 リスク 子ども

授業の概要 / Course outline

現代の社会問題は、労働、医療、教育、犯罪、環境、福祉など多様に広がっている。こうしたさまざまな領域の問題について、私たちは「こうするべき」「こうあるべき」と安易に発言しがちである。授業では、こうした発言や考え方の危うさを理解し、現場で起きていることは何か、問題の本質はどこにあるのか、どうすれば改善できるのかなどを社会学的に考える。

到達目標 / Learning objectives

この授業では、社会問題を社会学的に把握・理解することを目標とする。さまざまな問題に対して、自分の考えを持ち、それを諸規定に照らして吟味し、現実に即して自分の言葉で表現して、諸問題の解決の方向性や方策を方法論も踏まえて提案できるようになることがこの授業の到達目標である。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

講義を中心に授業をすすめるが、ミニレポートなどで意見を求めることがある。「ケース(事例)」を通して、よりリアルに問題を捉え、当事者性を持って自分の考えを述べてほしい。

【第1回/春学期第1回】	オリエンテーション(授業の進め方)、社会問題の捉え方		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් හි	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会問題の理論枠組み①ー機能主義からラベリング理論へ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් බි.	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会問題の理論枠組み②-構築主義		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් හි	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	逸脱と医療化ー精神医学的知識の普及	·	d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් බි.	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	包摂と排除一発達障害支援	`	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් බි.	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	当事者研究の発展		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් බි.	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	現代の優生思想		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් බි.	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	格差論①一文化的再生産論		d

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	හිරි.	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】		L	.j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	める。	/Approx. time (min)	
 【第 10 回/春学期第 10 回】	リスク社会のゆくえ	L	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් තිං	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	子どもの問題を考える	L	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් ති	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	家族の問題を考える	<u> </u>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	120
/Preparation & review	න් බි.	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	授業のまとめ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習・復習:講義で取り上げるテーマについて、ニュースや関連情報を調べ、自分の考えをまと	目安時間(分)	150
/Preparation & review	める。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline		ÇORUNUNUN KONDONION	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline		T = 1-1 703	· r
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) /Approx time (min)	
/ Preparation & review 【第 18 回/秋学期第 5 回】		/Approx. time (min)	<u></u>
L弟 16 回/ 秋子 翔弟 5 回』 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class Outille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
技業外子修(ア首のよい復音) Preparation & review		日女时间(ガ) / Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		/ 11461.0V' rillie (IIIIII)	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/ Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ 11661 AV (11111)	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】		. 11 ()	.j

授業計画/Class ou	tline		
授業外学修(予習および	复習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	9 回】		
授業計画/Class ou	tline		
授業外学修(予習および	復習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 1	0回】		
授業計画/Class ou	tline		
授業外学修(予習および	復習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	1回】		
授業計画/Class ou	tline		
授業外学修(予習および	復習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .		✓Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 1	2回】		
授業計画/Class ou	tline		
授業外学修(予習および	復習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .		✓Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 1	3 回】		
授業計画/Class ou	tline		
授業外学修(予習および	復習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .		/Approx. time (min)
オンラインで実施す	 する授業の回数/Number of sessions t	o be condu	ucted online 0 回
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
Evaluation	 定期試験/Regular Exam		
method	授業時間内に実施するテスト		
	/In-class/mid-term tests		
	レポート/Report	60	 授業期間内に1回実施。 ①あるテーマについて論理的かつ説得的に
			説明できているか。 ②既存の学説などをふまえた上で、自分の意見
			を述べているか。
	 授業への取り組み	40	授業参加度(ミニレポートなど)
	/Effort/Participation		
	その他1/Other 1		
	その他2/Other 2		
		評価のポ	L イントは問題意識、自己の経験や現実をふまえた意見の展開、論理性。
	/Remarks for Evaluation method	「正解」は	ないので、自分の頭で考え、自分の言葉で、自分の意見を書いてほし
		い。人権を	を尊重し、諸規則等をふまえた上でのユニークな意見を期待する。
	課題等に対するフィードバック	質問があ	る場合は、Q&Aで受け付ける。また、全体で共有したほうがいい事柄に
	/Feedback method		授業で説明する。
教科書 Textbooks			
参考書			
今有音 Reference books			

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

URL

資料は授業内で配布・配信します。

M1380	人口問題の社会学/エイジングの社会学				菊地 英明	
2.00 単位	講義	春学期	火曜1限	6103 教室		ナンバリング: SOC33070

人口問題

授業の概要 / Course outline

少子高齢化、人口減少等、人口問題という視点なしに現代社会を語ることはできません。この授業では、人口問題に関する様々な事項を社会学の観点からわかりやすく分析・解説します。授業の前半は「人口問題の基礎」と題し、(社会学に限らず)人口問題論の基本的事項——人口問題をめぐる思想・理論、人口統計の見方、出生・婚姻・死亡等——を概観します。後半は「日本社会を『人口』から読み解く」と題し、日本の近現代、そして未来を「人口問題」という補助線から解説することとします。

到達目標 / Learning objectives

この授業を履修することによって、人口問題の基本的事項について社会学的に分析する力(特に関連領域で卒業論文を書くために必要な、学問の大まかな全体像と文献リスト/ガイドの提示)を身につけることを目標とします。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

Excel と Word がインストールされたパソコンをご用意下さい(人口統計の内容を確認・操作する内容が含まれること、各回の課題の取り組みに必要なことによります)。

履修上の注意事項/Course guidelines

·「福祉社会学」をあわせて履修することを強くお勧めします。 ·国立社会保障·人口問題研究所『人口統計資料集』(インターネットで閲覧可能)の最新版を使用します。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:人口を社会学から捉える意義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	人口問題とはなにか:人口という認識の起源	·i	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	マルサスの憂鬱:救貧政策は人口にどう影響するか	·`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	人口転換理論: 少子化の必然	· `	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	人口ボーナスと人口オーナス:人口は経済にどう影響するか	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	日本の人口動向 1:出生と結婚	•	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	日本の人口動向 2:結婚(婚姻)	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分) 300
/Preparation & review		/Approx. time (min)
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分) 30C
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	子育て支援に効果はあるか:近年の各国の人口動向を踏まえて	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分) 300
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	移民で人口減少を補えるか	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分) 300
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	これからの日本で何が起きるか:人口統計から読み解く	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分) 300
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	文献の指定箇所を読むことを求めます。	目安時間(分) 300
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第15回/秋学期第2回】		ii
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第16回/秋学期第3回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第17回/秋学期第4回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間 (分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】		
授業計画/Class outline		: = 1.1 - 2.00
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第20回/秋学期第7回】		
授業計画/Class outline		= take (n)
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)

【第 21 回/秋学期第 8			
授業計画/Class out	lline		
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】		
授業計画/Class out	line		
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	W		/ Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	0回】		
授業計画/Class out	line		
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間 (分)
/Preparation & revie	W		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	(日)		
授業計画/Class out	line		
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間 (分)
/Preparation & revie	W		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	2回】		
授業計画/Class out	line		
授業外学修(予習および行			目安時間(分)
/Preparation & revie	W		/ Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	•		
授業計画/Class out	i 		
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)
/Preparation & revie	W		/Approx. time (min)
オンラインで実施す	ト る授業の回数/Number of sessions i	to he cond	
	Olympia in an account	to be cond	ucted online 0回
評価方法	種別/Category	割合 %	incred online
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
評価方法 Evaluation	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	割合 % 70	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	割合 % 70	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	割合 % 70	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	割合 % 70	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	割合 % 70	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	割合 % 70	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀者には、上限を超えて適宜加点します。
評価方法 Evaluation	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 / Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	割合 % 70 30 30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀者には、上限を超えて適宜加点します。
評価方法 Evaluation method	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	割合 % 70 30 30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀者には、上限を超えて適宜加点します。
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 使用しません。	割合 % 70 30 30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀者には、上限を超えて適宜加点します。
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 使用しません。	割合 % 70 30 30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀者には、上限を超えて適宜加点します。
評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL	種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 使用しません。	割合 % 70 30 30	評価基準等/Evaluation criteria 定期試験期間中に授業の理解度を確認する観点から筆記試験を行います。詳細は授業時に説明します。 各回の授業内容への理解度テストを行い(あるいは感想・考察を求め)、授業実施日の指定時間までに 3S から提出して頂きます。優秀者には、上限を超えて適宜加点します。

M1420	宗教と社会/宗教	人類学			森 雅文	
2.00 単位	講義	春学期	木曜 3 限	1002 教室		ナンバリング: ANT33040

文化の翻訳、異文化理解、ポストモダン、コスモロジー、存在論的転回、フィールドワーク

授業の概要 / Course outline

人々はさまざまな存在や力を前提に「世界」を築いている。私たちは、自らとは異なる前提に依拠した認識や経験にどのように向き合い、異なる世界に依拠する人々と交流を重ねてきたのだろう。授業は、「異界」の認識・経験とともに生きる人々への関心をきっかけに、自らの基盤をも文化と捉えて相対化する人類学的理解への誘いである。宗教・信仰とは何かを学ぶのではなく、そのようなカテゴリーに回収した営為の政治性を問い、そのように名指された実践から何を学ぶのかを考えることを目指している。半期の講義を通して、1つの普遍を好んだ近代の理解への反省や人類学を含む科学の文化性を把握して、「フィールドの知」を前提にした創発の多元性を踏まえる文化理解の可能性とその向き合いの模索を解説する。

到達目標 / Learning objectives

他者を表象する学術が孕む非対称性の問題を踏まえながら、自身の理解とその基盤や知識を内省し、異なる基盤に立つ対象と向き合いながら妥当な翻訳・理解・言及を考え抜く態度を身につける。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

必要なし(不要)授業時に持参するときは、操作音などで周囲の迷惑にならないように留意すること。

履修上の注意事項/Course guidelines

・授業は板書を利用する講義形式、図版・写真のスライドや記録動画などの視聴覚資料も適宜に利用する。・授業で紹介する内容や事例について、当人の信念・信条によっては好ましくない・見聞を拒否したいと感じることがあるかもしれない。自己の思いを相対化する準備のない学生の履修はすすめない(不安な場合は登録前に相談すること)。・「学び」は他人が課す労役ではない。内容理解のための復習は不足を自覚して補う学生の基本的な営みであり、そこに生じる新たな疑問や関心についての研鑚があれば、それは発展的学習になるだろう。・追加の履修登録者は、教務課から担当教員に連絡はないので、登録後に直ちに申し出ること。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:近代と文化へのまなざし		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	シラバスの確認。講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	宗教というカテゴリー:西洋史とサイエンスの文化論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	宗教の起源: 近代の合理と単一時間の制作		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	呪術の機能: 近代の合理と単一空間の制作		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	災因と物語論:構造主義と相対主義の文化理解1		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	300
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	治療と儀礼論:構造主義と相対主義の文化理解2		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	前半の講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	神霊憑依の臨床論:存在の構築と過程の理解1		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	多重人格の文化論:存在の構築と過程の理解2		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	近代的個人の身体と心の制作:存在の技法とコスモロジー1		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	エスノサイエンスと感性の和:存在の技法とコスモロジー2		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	カニバリズムの生態学:視座の相対化と翻訳の技法1		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
	多自然とフィールドの知:視座の相対化と翻訳の技法2		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義内容の確認と復習。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	.j
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【 第 16 回/秋学期第 3 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)			
技業外子修(ア省のよい復省) / Preparation & review		日女時间(ガノ / Approx. time (min)	
(第 17 回/秋学期第 4 回)		/ Approx. tille (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		, 11	_i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	

【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで宇体する塔	業の回数 / Number of sessions to be conducted online 「0回	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト	55	授業の進捗に合わせて4~5回の論述式課題を予定。内容は復習を
/In-class/mid-term tests		目的として、講義内容の理解を問うものとする。 課題の未提出が2回
		以上の場合は成績評価の対象外とする。
レポート/Report	35	半期講義の終了後に授業内容の理解を問うレポートを課す。 未提出
		(提出の遅れを含む)の場合は成績評価の対象外とする。
授業への取り組み	10	授業時の質疑応答(コメントペーパーを含む)や自学に基づく発展的
/Effort/Participation		学習の成果があれば、その内容を吟味して加算する。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
/Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	全体の採	点後に(そのときに可能な方法で)全体の講評を示す。
/Feedback method		

教科書 Textbooks

なし

参考書

授業時に紹介する

Reference books

URL

開講後に授業の連絡用ホームページを開設する。URL リンクは3S の〔授業資料〕に提示する。

補足情報

Supplementary information

備考
Remarks

M1430	文化人類学				内藤 暁子		
2.00 単位	講義	春学期	水曜 2 限	1101 教室		ナンバリング: ANT33050	

自文化/異文化、他者、世界観、儀礼、コミュニケーション

授業の概要 / Course outline

この授業では、自文化の様相を踏まえつつ、異文化(「他者」)との差異性を認識したうえで、相互に理解し合う可能性の枠組みを学びとることを目的とします。それは、いわば人間社会のもつ多様性を理解し、自らの置かれた世界を再定位しながら、絶えず「他者」との関係性のあり方を模索し続ける営為といってもいいでしょう。 具体的には、家族や結婚、世界観や儀礼、コミュニケーションなど幾つかのトピックをとりあげて、文化人類学の切り口から考察していきます。

到達目標 / Learning objectives

世界のさまざまな社会、民族、文化を対象として、複雑化する現代社会における多様な問題を比較考察するなかで、人類学的な「ものの見方」を習得し、多文化共生の糸口を自らが見いだすことができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

「ノート型 PC(Windows、Mac)/ タブレット型 PC(Windows、iPad)」の持参は必須ではありませんが、持参した方が授業資料等にアクセスしやすいため、推奨します。

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 文化とは何か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	自文化と異文化 ー 異文化へのまなざし	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	結婚と家族	·	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	家族をつくる「血」のつながりとは?	·	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ジェンダーとセクシュアリティ	······	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	信仰と世界観		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	病と文化		
授業計画/Class outline			
		目安時間(分)	120
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	日女时间(汀)	120
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review	講義時に紹介する時事問題や興味をもったナーマについて、自分で調べ、考察を深めること。 授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	日女时間(ガ) /Approx. time (min)	120

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	12
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	儀礼と分類 一 境界、コミュニタス	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	.1
授業計画/Class outline	18 18 - 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18		
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	12
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	-
【第 10 回/春学期第 10 回】	交換、贈与、経済	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		1 目安時間(分)	12
Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	-
	文化とコミュニケーション	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義時に紹介する時事問題や興味をもったテーマについて、自分で調べ、考察を深めること。	目安時間(分)	12
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	-
	文化と表象、アイデンティティ	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	<u>.i</u> .
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	12
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
	総括と授業内小テスト	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	18
/Preparation & review	授業資料や参考文献等を用いて、予習・復習すること。	/Approx. time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】	DARRITO SAINGEAN CONTRACTOR	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	. <u>.</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	·
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		<u> </u>	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			.l
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			. <u>.</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】		/ (IIIII)	<u> </u>

授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	W		✓Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9	9回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10				
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および	复 習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie			/Approx. time (min)	
 【第 24 回/秋学期第 1				
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および			目安時間(分)	
/Preparation & revie			/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 1	i 		[/ 7 pp on the film	
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および			目安時間(分)	
Preparation & revie			/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 1			7 Approx. unie (min)	
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および			目安時間(分)	
対来が子形(ア首のみい) Preparation & revie			日本時间(カケ / Approx. time (min)	
·	i			
	する授業の回数/Number of sessions	to be cond		
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
			11 1 37 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
Evaluation method	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	70	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。	
		70		
	授業時間内に実施するテスト	70		
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	70		
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report		授業内容に対する理解度を総合的に確認します。	
	授業時間内に実施するテスト / In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み		授業内容に対する理解度を総合的に確認します。	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation		授業内容に対する理解度を総合的に確認します。	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	30	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	30 課題は授	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	30 課題は授 準所要服	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。標	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	30 課題は授 準所要服	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 標時間は約30分程度です。	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	30 課題は授 準所要服	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 標時間は約30分程度です。	
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	30 課題は授 準所要服	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 標時間は約30分程度です。	三
method 教科書 Textbooks	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。	30 課題は授 準所要時 課題等の	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 標時間は約 30 分程度です。	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレック	30 課題は授 準所要問 課題等の	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上 上
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 201	30 30 課題は授準所要に課題等の対し、対版(第319年。シンプリングを対しています。 コンプログラ はいい はい	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 標時間は約 30 分程度です。 ウフィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。	上 ·
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 20で 松村圭一郎・中川理・石井美保編	30 課題は授 準所要時 課題等の ジ版(第3 19年、シ 『文化人類	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 機能は約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。 学の思考法』 世界思想社 2019 年。 宮岡真央子・渋谷努・中村/	上 ·
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 20で 松村圭一郎・中川理・石井美保編	30 課題は授 準所要時 課題等の ジ版(第3 19年、シ 『文化人類	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 標時間は約 30 分程度です。 ウフィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。	上 ·
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 20で 松村圭一郎・中川理・石井美保編	30 課題は授 準所要時 課題等の ジ版(第3 19年、シ 『文化人類	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 機能は約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。 学の思考法』 世界思想社 2019 年。 宮岡真央子・渋谷努・中村/	上 ·
教科書 Textbooks 参考書 Reference books	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 20で 松村圭一郎・中川理・石井美保編	30 課題は授 準所要時 課題等の ジ版(第3 19年、シ 『文化人類	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 機能は約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。 学の思考法』 世界思想社 2019 年。 宮岡真央子・渋谷努・中村/	上 ·
教科書 Textbooks 参考書 Reference books	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 20で 松村圭一郎・中川理・石井美保編	30 課題は授 準所要時 課題等の ジ版(第3 19年、シ 『文化人類	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 機能は約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。 学の思考法』 世界思想社 2019 年。 宮岡真央子・渋谷努・中村/	上 ·
教科書 Textbooks 参考書 Reference books	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 特に指定しません。 波平恵美子編『文化人類学ーカレッとコミュニケーション』 北樹出版 20で 松村圭一郎・中川理・石井美保編	30 課題は授 準所要時 課題等の ジ版(第3 19年、シ 『文化人類	授業内容に対する理解度を総合的に確認します。 提出された課題の内容から授業内容の理解度をみます。 登業の理解度を確認するために、授業 2-3 回に 1 回程度、出します。 機能は約 30 分程度です。 フィードバックは授業時に復習としてとりあげます。 版)』 医学書院 2011 年。 大屋幸恵・内藤暁子・石森大知編 『文化ノジルト・梅屋潔 『新版 文化人類学のレッスン』 学陽書房 2017 年。 学の思考法』 世界思想社 2019 年。 宮岡真央子・渋谷努・中村/	上 ·

M1440	7イデンティティの社会学				矢田部 圭介	
2.00 単位	講義	春学期	月曜2限	1201 教室		ナンバリング: SOC33100

アイデンティティ・他者・相互行為・物語・存在証明

授業の概要 / Course outline

この授業では、〈自分〉と呼ばれるものが、社会的な現象であることを、さまざまな側面からデモンストレーションしていきたいと考えています。具体的には、下記のような流れでの検討を予定しています。まず〈自分〉の仕組みを、他者・相互行為・物語などをキーワードにして、「アイデンティティ」という観点から確認します。次に、私たちは、なぜ〈自分〉というものをこんなにも重視し問題とするようになったのか、そしてそこで重視されている〈自分〉にはどのような特徴があるのかを、「近代社会」の特性という観点から検討し、アイデンティティの政治について考えます。第三に、近代社会の延長線上にあり、「後期近代」とも呼ばれる現代社会において、〈自分〉はどのような制度や仕組みにとりまかれているのかを、消費社会・心理主義化・ナショナリズムなどをキーワードにしながら検討します。

到達目標 / Learning objectives

この授業では、履修者が、現代社会のアイデンティティに関わる現象の存在に気づき、上記キーワードに代表される社会学的な概念を用いて、その仕組みを分析できるようになることを目標とします。また、こうした作業を通して、履修者が、私たちの自己のあり方の多様性に気づけるようになることも目標とします。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業では、履修者の「自分探し」や「アイデンティティの確立」のお手伝いをすることを目的としていません。この授業でできることは、アイデンティティに関わる現象の仕組みの解明をデモンストレーションすることだけです。この結果、たまたま履修者の「自分探し」や「アイデンティティの確立」の役に立つことがあるかもしれませんが、逆効果となることも多いと思います。自身の「自分探し」や「アイデンティティの確立」だけを目的として、この授業の履修を予定している方は、この点に充分注意し、履修を検討してください。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に中間小レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	〈自分〉とはどんな仕組みか?(1):他者		-d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に中間小レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	〈自分〉とはどんな仕組みか?(2):相互行為		·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に中間小レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	〈自分〉とはどんな仕組みか?(3):物語 1		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
∕Preparation & review	的に中間小レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	〈自分〉とはどんな仕組みか?(4):物語 2		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
∕Preparation & review	的に中間小レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	〈自分〉が問題化する時代(1):人格の誕生と近代 1		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	

	(
	〈自分〉が問題化する時代(2):人格の誕生と近代 2		
授業計画/Class outline			000
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第8回/春学期第8回】 探禁計画 (Class outline	〈自分〉が問題化する時代(3):不安と大きな物語		
授業計画/Class outline	II 의 요리 그 첫 이 커뮤 쓰다 오라고 나를 하는 것이 뭐 하는 다 가지 그 나를 가져 있다.	口内吐服 (八)	200
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	. <u> </u>
【第9回/春学期第9回】 授業計画/Class outline	〈自分〉が問題化する時代(4):アイデンティティの政治		
27.7.1.1 E	II 일 뉴스 II - 첫 씨 커 된 Ա 커 그 코 그 국 사 그 그 보고 있다.	口中叶明 (八)	300
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分) 〈Annuay time (min)	300
Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	.J
【第 10 回/春学期第 10 回】	アイデンティティの現代(1):〈自分らしさ〉の時代 1		
授業計画/Class outline	II 8 . 요~! I - 汝씨커뮤ധ커크로 그 사이트 II V 프로카 크로 앤드 汝씨커하크! 구사기트 II V 프로카 크로 앤션		lann
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 11 回/春学期第 11 回】	アイデンティティの現代(2):〈自分らしさ〉の時代 2		
授業計画/Class outline			000
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 12 回/春学期第 12 回】	アイデンティティの現代(3):バックラッシュと新自由主義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 13 回/春学期第 13 回】	アイデンティティの現代(4):多元化する(自分)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	トピックごとに資料を提供する予定です。事前に資料を熟読しておくことが必要です。また継続	目安時間(分)	300
/Preparation & review	的に期末レポートの準備を行ってください。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			шчини
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間 (分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】		·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間 (分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
200101 2 12 CT ACC			

【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

0 回

提出されていればよい。ただし、提出されない場合は、授業放棄とみなして、成績

評価方法 Evaluation method

「公文未の回数/ Nulliber of Sessions t	o be condu	Cted Offiline
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
∕In-class/mid-term tests		
レポート/Report	100	学期末に提出してもらうレポートによって評価する。レポートは、原則と
		して、以下の基準に沿って採点する。ただし、期末レポートの評価には
		前提条件がある。「評価方法に関する備考」欄を参照のこと。 0)レポ
		ートとしての形式が整っていることが大前提。これが守られていない場
		合には、レポートとみなさない。 1)興味深い問いが設定され、それに
		適切に答えられているか。 2)提示されている議論に説得力がある
		か。3)授業で紹介された理論を適切に精確に活用しているか。4)
		アイデンティティに関わる具体的な実例が適切に示されているか。
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考	【重要】■	・上記「期末レポート」を含めて、下記の3点の提出物を提出することを、
✓ Remarks for Evaluation method	成績(S~	D)がつく条件とする。この三点がすべて提出されて、はじめて(S~Dの)
	成績がつ	く。一点でも提出されない場合は、授業を放棄したとみなして、成績評
	価の対象	外とするので注意すること。 1)期末レポート: 上記のもの。 ただし、提出
	されない場	易合は、授業放棄とみなして、成績評価の対象外とする。 2)履修志望
	コメント。学	学期冒頭に提出(提出方法は別途指示する)。原則として適切なものが

		評価の対象外とする。 3)中間小レポート。学期中頃に提出(提出方法は別途指
		示する)。原則として適切なものが提出されていればよい。ただし、提出されない
		場合は、授業放棄とみなして、成績評価の対象外とする。なお、期末レポートの評
		価がボーダーラインだった場合にかぎり、内容を参照し、必要に応じて評価に加味
		する。この場合の採点基準は、期末レポートの基準に準じる。 ■まんがいち、中間
		小レポート、期末レポートなどに剽窃等の不適切な内容が含まれている場合は、
		その時点で成績を「D」とする。
	課題等に対するフィードバック	中間小レポートおよび期末レポートについては、総評を全体にコメントするか、ある
	/Feedback method	いは個別にコメントするかして、フィードバックを行う。
教科書		
Textbooks	とくに指定しません。	
	とくに指定しません。	
Textbooks 参考書	とくに指定しません。	
Textbooks 参考書 Reference books	とくに指定しません。	
Textbooks 参考書 Reference books URL	とくに指定しません。	
Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報		ゲーグルクラスルームもしくは 3Sを通じて配布する。教室でのプリントアウトの配布

前々日(土曜日)の24時までにはアップする予定である。 資料配付等に用いる媒体は、後日3Sの掲示で告知する。

M1450	M1450 カルチュラルスタディーズ				安藤 丈将	
2.00 単位	講義	春学期	水曜 2 限	1002 教室		ナンバリング:S0C33110

食、農業、文化、地域コミュニティ、グローバリゼーション、ネオリベラリズム

授業の概要 / Course outline

カルチュラルスタディーズは、「文化」という日常生活に身近な対象に焦点をあてて、そこに潜んでいる権力作用を読み解くための方法です。本講義では、とくに農(業)と食(べ物)の事例を取り上げながら、カルチュラルスタディーズの基本的な考え方を学んでいきます。 みなさんの食べるという行為は、社会的なものです。私たちが食べ物を口にするまでには、お百姓さんからスーパーの店員さんに至るまで、国境を越えて様々な人びとが関わっているからです。 私たちは、食べ物を介して世界とつながっています。それにもかかわらず、普段、食事をする時には、自分が食べる物に関わっている人びとの存在を意識することはありません。あるはずのつながりが見えなくなっていて、「こちら側」と「あちら側」に境界線がつくられています。 食と農のカルチュラルスタディーズ・社会学は、この線引きに注目し、目に見えないつながりを読み解きます。食べ物に限定してみても、私たちの日々の生活では、生産者と消費者、都市と農村、男性と女性、正社員とバイト、お金持ちと貧乏人、日本人と外国人といった分断線が複雑にはりめぐらされています。 これらの研究は、食べ物を通して社会の不平等、抑圧、不正義を分析すると同時に、地域コミュニティの実践に寄り添いながら、私たちがもっと自由に、公正に、つくり、食べるための豊かなヒントを提供してくれます。食べ物をカルチュラルスタディーズしながら、自分と世界とのつながりについて考えてみましょう。

到達目標 / Learning objectives

食と農のカルチュラルスタディーズの基本的な考え方を理解する。身近な事象にその考え方を応用できる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

授業は対面で実施されますが、授業中にオンライン上で関連資料の情報を共有したり、コメントや質問を求めたりしますので、パソコンなどインターネット接続できる機器を教室に持参することをお勧めします。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	工業化する食(1):人間による非人間の支配		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	工業化する食(2):官僚主義と農の価値低下		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	商品になる食:農業、資本主義、戦争の関係を読み解く	······	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	食と農の植民地化:農民の「知」を奪う		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	食の現場で働く:「消費者は神様」の裏側で		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	有機農業:つくる人と食べる人の関係を築く		.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	フェアトレード:「倫理的消費」で世界を変える		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第 10 回/春学期第 10 回】	食堂:「共に食べる」を取り戻す		
授業計画/Class outline			.
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 11 回/春学期第 11 回】	「シティ・ファーマー」:市民が都市を耕す		
授業計画/Class outline	極楽に関するようなおのき数		120
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
	ケア活動としての農:「脆弱さ」を受け止める	/Approx. time (min)	<u>.</u>
授業計画/Class outline	プア/11到CU CU 展・1 肥羽で] を支げ 正める		
	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review	以来に対定する人間への此が	/Approx. time (min)	120
		/ Approx. time (min)	
授業計画/Class outline	NOW A NEITH SIGN CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 14 回/秋学期第 1 回】		LL	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline		1 = 1 = 1 = 1 = 1	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【 第 17 回/秋学期第 4 回 】			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
技業外子修(ア省あよび復省) Preparation & review		日女時间(ガ) / Approx. time (min)	
		/ Approx. time (min)	<u>.i</u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Oldss Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
アreparation & review		Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】		7 - Abrow min (ilili)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
L	j		L

授業計画/Class out	IIIIE			
授業外学修(予習および後	复習)			目安時間(分)
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8				
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および後	复習)			目安時間(分)
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および後	复習)			目安時間(分)
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10)			
授業計画/Class out	i			
授業外学修(予習および後	复習)			目安時間(分)
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11				
授業計画/Class out	į.			
授業外学修(予習および作				目安時間(分)
/Preparation & review	į			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class out	!			
授業外学修(予習および後	; 			目安時間(分)
/Preparation & review	<u> </u>			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	<u>;</u>			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
授業計画/Class out	i			
授業外学修(予習および作				目安時間(分)
1000.0	^=/			12010 (27
Preparation & review	w			/Approx. time (min)
/Preparation & review	!	1		/Approx. time (min)
オンラインで実施す	- ・ トる授業の回数/Number of sessions t	1		
オンラインで実施す評価方法	! 「る授業の回数/Number of sessions t 種別/Category	o be condu 割合 %	cted online 3 回 評価基準等/Evaluation	
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	・ る授業の回数/Number of sessions t 種別/Category 定期試験/Regular Exam	1		
オンラインで実施す評価方法	また。 を受業の回数/Number of sessions t 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	1		
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	まる授業の回数/Number of sessions t 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	割合%	評価基準等/Evaluation	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	また。 を受業の回数/Number of sessions t 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	1	評価基準等 / Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。 文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	また。 を対策の回数/Number of sessions t 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	割合%	評価基準等/Evaluation	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を を を を を を は を を を を を を を を を を を を を	割合%	評価基準等 / Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。 文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を を を を を を を を を を を を を を	割合%	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を を を を を を を を を を を を を を	割合%	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を を を を を を を を を を を を を を	割合%	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を を を を を を を を を を を を を を	割合%	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions tall を表現を表現しています。 を知識しています。 を知識しています。 を表現しています。 をまままする。 をままままする。 をまままままする。 をまままままする。 をまま	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記答えられているか、など。	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を受験の回数/Number of sessions tall を	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions tall を表現を表現しています。 を知識しています。 を知識しています。 を表現しています。 をまままする。 をままままする。 をまままままする。 をまままままする。 をまま	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記答えられているか、など。	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を受験の回数/Number of sessions tall を	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記答えられているか、など。	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method	を受験の回数/Number of sessions tall を	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記答えられているか、など。	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	を受験の回数/Number of sessions tall を	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記答えられているか、など。	criteria
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books	を受験の回数/Number of sessions tall を	100	評価基準等/Evaluation 授業内容を適切に理解しているか。文献を記答えられているか、など。	criteria

【第 20 回/秋学期第 7 回】

Remarks	

M1470	消費社会論/記号と消費の社会学				大屋 幸	恵
2.00 単位	講義	秋学期	火曜 3 限	8603 教室		ナンバリング: SOC33130

消費、社会、記号、欲望、象徴操作、イメージ、広告、イデオロギー、支配、権力、シェアリングエコノミー

授業の概要 / Course outline

現代社会理論研究者の Z.Bauman(1988)は「消費が個人の自由の焦点、遊び場としてしっかりと確立されるにともなって、資本主義の将来は以前よりも安定したものになる。社会統制が、より容易な課題となるのである」と述べ、消費や消費文化が、社会体制への矛盾や不正への関心をそらし、社会体制に対する根本的な批判意識を低下させる危険について指摘しています。 本授業では、上述のような視点から消費を単なるモノの売買という行為ではなく、現代社会の支配や権力の構造と関連したものとして取り扱います。さらに、消費を促進させる装置としての広告についても、支配階級(資本家)のブルジョワ的な社会認識の政治意識を流布するイデオロギー装置であるという視点から分析していきます。 そのような分析を行うためには「記号論的視点」を持つことがキーポイントとなります。「記号論」を学ぶことによって、私たちがこれまで気づかなかった新しい側面が開示される可能性がもたらされ、モノのみならずさまざまな現象(具体的には、社会制度やコミュニケーション、消費行動、メディア行動など)に対して、従来とは異なった意味理解、意味づけが可能となります。授業では、「記号論」の基本事項を確認しつつ、ファッションや食べ物、雑誌やテレビなど、日常生活におけるさまざまな消費・文化の事物・現象、マスメディアなどの分析をまじえながら講義を進めていきます。さらに、広告(ポスター)やテレビ、WEB等のCM分析などを通して、多様な視点から現状を批判的に捉え、検討する能力を習得することを目的としています。

到達目標 / Learning objectives

個人の行為である「消費」とそれを取り巻く「消費社会」の現状を理解し、社会学的視点から分析するための理論や方法論を学修することを目標としています。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

・本授業は社会学科の「専門科目」に位置づけられていることから、社会学の基本的知識の習得いることを前提として、授業を進めていきます。・授業内容の理解のために、複数人で意見交換やディスカッションをし、その内容を授業内で報告(発表)してもらうことが複数回あります。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 0. イントロダクション ~社会学における「消費」とは?:「消費(行動)」から社会を認	売み解く	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で詳解する消費理論の理解を確実にするため、授業内で紹介した文献や資料等について	目安時間(分)	120
/Preparation & review	は図書館などで確認するとともに、学術用語については「社会学小事典」をはじめ、関連する領	/Approx. time (min)	
	域の事典で確認し、理解を深めるよう復習してください。		
【第2回/春学期第2回】	I.消費社会論(1)消費社会論の変遷	·	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	(2)大衆消費社会論、消費社会の中のパーソナリティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	(3)流行のメカニズムと集団心理	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	Ⅱ.記号論:現代の「記号」消費社会の理解のために(1)記号の仕組み、意味作用 ~	F.de ソシュー	ルの
授業計画/Class outline	理論を中心に		
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

	(2)シミュラークルとシミュレーション ~ J. ボードリヤールの理論を中心に		
授業計画/Class outline			100
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第7回/春学期第7回】	Ⅰ、Ⅱのまとめ〜理解状況の把握(授業内テスト)と解説		
授業計画/Class outline			0.40
授業外学修(予習および復習)	Ⅰ、Ⅱの授業内容に関連した理論、専門用語などの確認。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第8回/春学期第8回】	Ⅲ. 現代記号消費社会と広告のトポス (1)広告の社会学的意味		
授業計画/Class outline			71.00
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review	/O>+#->-	/Approx. time (min)	<u>.l</u>
【第9回/春学期第9回】	(2)広告のテクニックとメカニズム		
授業計画/Class outline	ter. Allo, and an analysis of the control of the co		14.00
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 10 回/春学期第 10 回】	IV.現代日本の消費行動(1)若者の消費行動、文化産業と「遊び」		
授業計画/Class outline		i	
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	(2)SDGsとエシカル消費、シェアリングエコノミー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	Ⅲ、Ⅳのまとめ(1)SDGsの実践状況、「シェアリングエコノミー」に関するディスカッションと報告		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	SDGs、「シェアリングエコノミー」の事例についての確認。授業内容の理解と社会的現象への応	目安時間(分)	120
/Preparation & review	用力の把握。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	Ⅲ、Ⅳのまとめ (2)広告分析に関するレポートの提出およびその合評会		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	レポート課題の作成。 優秀なレポートについては、当日授業内で報告。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			··
授業計画/Class outline			
		目安時間(分)	
授業外学修(予習および復習)			
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		/Approx. time (min)	
		/Approx. time (min)	<u>.i.</u>
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
Preparation & review 【第 18 回/秋学期第 5 回】		/Approx. time (min)	

【第19回/秋学期第6回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間 (分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

3 回

評価方法 Evaluation method

る)文未の日数/ Number of sessions to be conducted offiline				
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
定期試験/Regular Exam				
授業時間内に実施するテスト	30	専門用語、概念に対する理解度。		
✓In-class/mid-term tests				
レポート/Report	25	広告、テレビ・WEB 等の CM の分析に関するレポートの提出とその内		
		容。		
授業への取り組み				
/Effort/Participation				
その他1/Other 1	45	授業内容に関連したワークシートやコメント等の課題の提出状況とその		
		内容。		
その他2/Other 2				
評価方法に関する備考				
✓ Remarks for Evaluation method				
課題等に対するフィードバック	優れたもの	か、ユニークなものについては、授業内で紹介する。		
/Feedback method				

教科書 Textbooks

特に指定しません。

参考書

Reference books

池上·山中·唐須編 1994『文化記号論:ことばのコードと文化のコード』講談社学術文庫、P.ギロー 1972『記号学:意味

	作用とコミュニケーション』白水社、J.ボードリヤール 1979『消費社会の神話と構造』紀伊国屋書店、J.ボードリヤール
	1884『シミュラークルとシミュレーション』法政大学出版局、J.ボードリヤール 1992『象徴交換と死』ちくま学芸文庫 高
	野・難波編 2010『テレビ/コマーシャルの考古学』世界思想社など。 他の参考書については、授業時に適宜、指示しま
	す。
URL	
補足情報	
Supplementary information	
備考	
Remarks	

M1480	恋愛の社会学				山嵜 哲	哉
2.00 単位	講義	秋学期	木曜 3 限	1002 教室		ナンバリング: SOC33320

恋愛、ロマンチック・ラブ、ジェンダー、セクシュアリティ、純粋な関係性、近代家族、世代、若者、映画、テレビドラマ、新聞

授業の概要 / Course outline

「恋愛」をキーワードに戦後日本の社会変動と社会意識の変容について論じます。最初に中世ヨーロッパにおける恋愛の誕生と宮廷的恋愛について論じたのち、恋愛と結婚が結合するロマンチック・ラブ・イデオロギーの成立過程について説明し、それらが日本にどのように輸入され、旧来の日本の性文化と融合・対立していったのかについて講義します。このプロセスで、戦前の日本における恋愛観の変遷について、主として大正デモクラシーの時代を素描します。その後、戦後日本の社会構造と社会意識の変動を見田宗介や大澤真幸にならって、「理想の時代」「夢の時代」「虚構の時代」「不可能性の時代」として大別し、それぞれの時期において「恋愛」がどのように語られ、実践されてきたかを、様々な歴史資料(新聞、小説、映画、テレビドラマなど)をもとに論じていきます。また、恋愛や結婚、理想の家族像、ジェンダー意識等に関する各種の統計資料をもとに、時代の変化を数量化して説明します。

到達目標 / Learning objectives

「恋愛」という一見自明な言葉を手がかりに、実際には、「恋愛」は人々の生きる生活世界において、絶えず再認識され、実践される(あるいはされない)なかで、様々な形に彫塑され、変容していくものであることを理解することで、社会学的想像力を養うことを到達目標とします。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

特にありません。

履修上の注意事項/Course guidelines

授業には真剣に出席すること。授業で紹介した小説、映画、ドラマ等を進んで読み、鑑賞し、それらについて自分なりの考えをまとめること。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション。授業の概説。ギリシア、ローマの恋愛からキリスト教における恋愛と騎士道的恋	愛の誕生。	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	ヨーロッパ近代の宮廷恋愛に関する映画や小説を 1 つ取り上げ、それを参照しつつ、近代的恋	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	愛の特徴についてまとめること。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	騎士道的恋愛から宮廷恋愛へ。そして、市民革命による近代的恋愛の誕生へ。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	ヨーロッパ近代の宮廷恋愛に関する映画や小説を 1 つ取り上げ、それを参照しつつ、近代的恋	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	愛の特徴についてまとめること。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	日本における「色」「恋」と近代的「恋愛」の導入から大正デモクラシーの恋愛観		.i======
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	江戸時代までの「色」「恋」と明治時代の「恋愛」の相違について、具体的な事例を挙げてまとめ	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	るとともに、戦前の恋愛論について1つ以上を取り上げ簡潔に説明すること。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	戦後日本の社会構造と社会意識の変化。理想の時代から夢の時代を経て虚構の時代へ。そし	て不確実性の	時代
授業計画/Class outline	の到来と恋愛の迷走。		
授業外学修(予習および復習)	戦後日本の時代区分について理解し、それぞれの特徴を 200 字前後でまとめること。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	理想の時代の結婚と恋愛~復員とベビーブーム、集団見合	<u></u>	.d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	戦後日本の混乱期の結婚と恋愛について、何か 1 つ事例を挙げて 400 字程度で説明するこ	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	と。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	夢の時代の結婚と恋愛~ロマンチック・ラブ・イデオロギーの誕生と近代家族の成立と解体	L	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1960年代から70年代半ばまでの恋愛の変化について、具体的な事例をあげて社会学的に説	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	明すること。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	小テスト 虚構の時代の結婚と恋愛(1)~トレンディー・ドラマの誕生理想の時代の結婚と恋愛	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1980 年代後半の恋愛ドラマや映画、小説を 1 つ以上取り上げ、当時の恋愛の特徴を 400 字	目安時間(分)	180
		L	.i

/Preparation & review	程度で社会学的にまとめること。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	虚構の時代の結婚と恋愛(2)~トレンディー・ドラマの隆盛. 東京ラブ・ストローリーからHEROまで		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で取り上げたドラマについて、400 字程度で感想を述べること。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	不可能性の時代と恋愛の変遷(1)過剰な恋愛ブームとそこからの撤退		_j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	2000 年代の恋愛について、具体的な事例をもとに 400 字程度で論じること	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	不可能性の時代と恋愛の変遷(2): 逃げ恥と恋愛の転換~コンフルエントラブの陥穽	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で取り上げた恋愛の変化について、自分の考えを 400 字程度でまとめること。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	データからみる恋愛観と恋愛行動の変化(1)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で取り上げたデータを1つ以上用いて、恋愛についての自分の考えを400字程度でまとめ	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	ること。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	脱近代家族とロマンチック・ラブ・イデオロギーからの解放とコンフルエントラブの行方		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	今後の新しい家族像と恋愛の未来について、自分の考えを 400 字程度でまとめること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	授業の総括と授業内試験	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	各自で授業の総括を行うこと。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】		<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline		·	ngaanaanaa
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	<u> </u>

/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		7 1990 01. (111)
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		7 1900 (111)
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	・ 受業の回数/Number of sessions to be conducted online	0 🛽
郭佈士 注	類以 / Catagory 割合 %	亚価基準等 / Evaluation criteria

評価方法 Evaluation method

attication of occasions to be obtained of the occasions to be obtained on the occasions to b			
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
定期試験/Regular Exam			
授業時間内に実施するテスト	60	第7回目の授業で小テストを実施します。40点、最後の授業で授業	
∕In-class/mid-term tests		内テストを実施します。60 点。	
レポート/Report			
授業への取り組み	40	毎回、授業で取り上げた内容について、200~400 字程度で小レポー	
/Effort/Participation		トを提出してもらいます。	
その他1/Other 1			
その他2/Other 2			
評価方法に関する備考			
✓ Remarks for Evaluation method			
課題等に対するフィードバック	小テストは	採点後に最後の授業で返却します。	
/Feedback method			

教科書 Textbooks

なし

参考書 Reference books 谷本奈穂『恋愛の社会学』、大森美佐『現代日本の若者はいかに「恋愛」しているのか』、菅野聡美『消費される恋愛論』、アンソニー・ギデンズ『親密性の変容』、上野千鶴子『発情装置』『家父長制と資本制』、江原由美子『ジェンダー秩序』、千田・中西・青山『ジェンダー論をつかむ』(特に 2 章)、見田宗介『社会学入門』、大澤真幸『不可能性の時代』、宮台真司『制服少女たちの選択』、林・石川・加藤編『若者の性の現在地』、小林・川端編『変貌する恋愛と結婚』、NHK 放送文化研究所『現代日本人の意識構造』。他多数は教上で紹介する。

補足情報

Supplementary information

備考	
Remarks	

M1490	セクシュアリティの社会学				志田 哲	f之
2.00 単位	講義	秋学期	火曜1限	1201 教室		ナンバリング:SOC33150

セクシュアリティ LGBT マイノリティ ジェンダー

授業の概要 / Course outline

セクシュアリティは今日、わたしたちの生き方の問題と密接に結びついている。だがこれについて学び、考える機会はあまり多くない。よって本科目では、まずセクシュアリティにまつわる基本的な用語や視点を学び、知識の土台を形成したい。 続いて近代以降のセクシュアリティの問題化や社会運動の歴史を学ぶ。この際、セクシュアル・マイノリティに主な対象とする。続いて社会学分野で行われてきた研究を概観し、最後に現在の社会学的視点からセクシュアリティにまつわる諸問題のいくつかを検討する。 諸問題としてとりあげるのは、近年、ブームともいえる日本の「LGBT」現象や「同性婚」などである。「LGBT」は被差別者とされ、これを是正しようとする動きがある。一方で、「マイノリティの中のマイノリティ」といった言葉に代表されるように、「LGBT」の各カテゴリー間やカテゴリー内部の差異や、これらの頭文字の外にある多様なセクシュアリティへの排除が指摘されてもいる。さらに「LGBT 市場」や「同性婚」は、格差是正や人権問題として注目を浴びてはいるが、資本主義と密接に結びついており、これらはセクシュアル・マイノリティの一部にしか恩恵に与れないのではないかとする批判もある。「差別はいけない」という定型文で思考停止してしまわず、現状が「なぜ・どのようにして」生じたかを把握し、その先を見ようとする、考えようとする力を身につけてほしい。また、「LGBT」と表現されるセクシュアル・マイノリティを中心に扱うが、さまざまなセクシュアリティにも目配りをしながら講義を進めたい。各自が広い視野から柔軟に考えていく力を身に付けることを到達目標とする。

到達目標 / Learning objectives

本科目は、セクシュアリティに関する基本的な知識を獲得することを第一の目標とする。 続いて「セクシュアリティの自由」を念頭に置きつつ、近代における問題化のされかたや、社会運動の流れについて学び、社会とともにセクシュアリティもまた変化してきたという歴史的視点を習得することを第二の目標とする。 最後に、近年見られる「LGBT ブーム」や「同性婚」批判的に考察し、これを通じてセクシュアリティの、ひいては現代社会のあり方について、より深く考える力を身につけることを第三の目標とする。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

事前配布する資料は、かならず目を通した上で受講すること。また質問や相談については、原則、授業前後に口頭にて行うこと。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	第 1 回の授業を受ける前に、「なぜこの授業を受けようと考えたのか、どのようなことを知り、考	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	えたいのか」といった動機を明確にしておくこと。 授業を受けたあとに上記の動機とガイダンスで	/Approx. time (min)	
	紹介した内容を照らし合わせて、学びたいことを明確にしておくこと。		
【第2回/春学期第2回】	セクシュアリティとはなにか -性にまつわる用語の整理	·	d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)		
【第3回/春学期第3回】	セクシュアリティの問題化(1) -フーコーの『性の歴史』を手がかりに	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回2時間程度)		
【第4回/春学期第4回】	セクシュアリティの問題化(2) -日本における問題化の歴史	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回2時間程度)		
【第5回/春学期第5回】	セクシュアル・マイノリティと社会運動の歴史(1) -欧米の同性愛に関する運動を中心に		

極楽二丁 (0) 1			
授業計画/Class outline	マット・ケッキュー・ナー・カルキューのログ・フェー(左口 1 叶田午本)		100
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしつかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度) 		<u> </u>
【第6回/春学期第6回】	セクシュアル・マイノリティと社会運動の歴史(2) -日本における社会運動		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)		
【第7回/春学期第7回】	当事者とは誰か -アイデンティティにまつわる諸問題		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
∕Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)		
【第8回/春学期第8回】	セクシュアリティをめぐる研究視点の転回(1) - 「同性愛者は 10 人に 1 人」説をめぐって		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
,	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)	,	
【第9回/春学期第9回】	セクシュアリティをめぐる研究視点の転回(2) -レズビアン/ゲイ·スタディーズからクィア・スタディ	(ーズへ	. <u>j</u>
授業計画/Class outline	こうシェンシングをのくの問うにはから4世間(2) とんこうシングン スンシューンパッシュン・バンシュ		
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/ Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	Approx. time (min)	100
/ Freparation & review		/ Approx. Line (Inin)	
[理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)		. <u> </u>
【第 10 回/春学期第 10 回】	日本のセクシュアル・マイノリティ研究の概観 -同性愛研究を中心に		
授業計画/Class outline		· _ / -/ /	1
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしつかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度) 		
【第 11 回/春学期第 11 回】	「LGBT 市場」を考える(1) -「LGBT」はセンスがあって裕福か?		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)		
【第 12 回/春学期第 12 回】	「LGBT 市場」を考える(2) -「市場」から取り残される人々の存在		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回 2 時間程度)		
【第 13 回/春学期第 13 回】	「同性婚」「パートナーシップ制度」(1) −結婚とはなにか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習として、授業前に配布するレジュメをしっかりと読み、理解に努めること(毎回 1 時間程度)	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習として、授業後に紹介したトピックや議論、文献等について、自分で調べたり確認したりして	/Approx. time (min)	
,	理解を深め、自分なりの考えを育てること(毎回2時間程度)	,	
【第 14 回/秋学期第 1 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		日女时間(ガ) / Approx. time (min)	
/ FT E paration & Teview 【第 15 回/秋学期第 2 回】		/ White (IIIII)	
【第 15 回/ 秋字期第 2 回】 授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第 16 回/秋学期第 3 回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
∕Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】						
授業計画/Class outline	3					
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9回】						
授業計画/Class outline						= +=1== (0)
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第23回/秋学期第10回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
Preparation & review						/Approx. time (min)
【第24回/秋学期第11回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】						
授業計画/Class outline						
授業外学修(予習および復習)						目安時間(分)
Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】 授業計画/Class outline						
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)			***************************************			目安時間(分)
授業外子修(予省あよい復省) / Preparation & review						日女時间(分) /Approx. time (min)
				F		/ Approx. tille (IIIII)
	受業の回数/Number of sessions t		ted online	0回		
評価方法	種別/Category	割合 %		評価基準等/	Evaluation criter	ia

評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	70	定期試験期間内に試験を実施する。
method	授業時間内に実施するテスト		
	∕ln-class/mid-term tests		
	レポート/Report		
	授業への取り組み	30	コメントシート(30%)によって授業への取り組みを評価する。テーマや
	/Effort/Participation		評価基準の詳細については、授業中に伝達する。

その他1/Other 1	
その他2/Other 2	
評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	
課題等に対するフィードバック /Feedback method	授業後に課すコメントについては、その次の回に適宜回答を行う。

教科書 Textbooks

指定テキストはなし。授業前に3Sにてレジュメを配布するので、必ずそれを読んだ上で授業に出席すること。

参考書 Reference books 石田仁,2019,『はじめて学ぶ LGBT 基礎からトレンドまで』,ナツメ社 風間孝・河口和也・守如子・赤枝香奈子著,2018,『教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ』,法律文化社 森山至貴,2017,『LGBT を読みとく: クィア・スタディーズ入門』,筑摩書房 その他については、適宜授業時間内に提示する。

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks 授業毎にコメント・ペーパーを課し、次回の授業の際に内容を紹介する。授業計画については、学生の関心や理解により 多少の変更を行う可能性がある。

M1500	文化社会学/文化の社会学/芸術と文化の社会学			大屋 幸	恵	
2.00 単位	講義	春学期	火曜 3 限	3216 教室		ナンバリング: SOC33160

文化、芸術、アート研究、文化的再生産、趣味、階層、アートリテラシー、ミュージアム、ポストモダン、ジェンダー、環境

授業の概要 / Course outline

本授業では、「美的価値観などの感性的認識の形成と社会・文化的影響の関連性」に対する理解を深めることを目的としています。 P.ブルデュー等の文化に関する理論的研究を踏まえつつ、「趣味」などの文化的活動や芸術作品、さらには美術館・博物館が社会や文化の中でどのような機能を果たしているのかについて学びます。また、さまざま作品が「芸術作品」として成立するプロセスや制度について社会学的視点から分析するため、文化概念・理論のみならず、カルチュラル・スタディーズ、コミュニケーション論、消費社会論等を関連づけながらアプローチしていきます。 なお、本授業は原則「対面で」実施しますが、事情によってはオンライン授業を行う場合もあります。その場合、3Sで事前に周知するとともに、授業内容の資料の配信は「Google クラスルーム」を用いる予定です。

到達目標 / Learning objectives

文化と社会、政治、権力との関係性を理解するとともにアートリテラシーの向上を目標とします。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

・本授業は社会学科の「専門科目」に位置付けられていることから、社会学の基礎的知識ならびに社会学思考法を有していることを前提に授業を進めていきます。・さらに、授業内容は基本的な社会学理論のみならず、哲学や美術の領域にも及びます。授業内容の理解を深めるべく、図書館等で参考文献の確認を行うとともに専門用語等については関連の各種事典で確認するなど、復習を欠かさず実施してください。・講義中に紹介するアート作品の中にはセクシャルなものやグロテスクと感じられるものも提示します。了承の上履修して下さい。・授業内容の理解を促すために、ワークシートに記載しつつ映像を見た上で、複数人で意見交換やディスカッションすることが複数回あります。・授業内容に関連して、ミュージアム・フィールドワーク・レポートを課します。各自、授業時間外に、フィールドワークを実施してください。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス:授業の進め方、履修にあたっての諸注意 0. イントロダクション~「文化」とは何か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	理論の理解を確実なものにするために、授業内で紹介した文献・資料、専門用語等について	目安時間(分)	90
/Preparation & review	は、図書館等でテキストを確認したり各種事典等を用いて復習を欠かさず行ってください。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	1. 文化と社会(1)「文化」、「カルチャー」概念の整理(2)文化の構成要素と様々な種類の文ペ	化	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	2. 社会学におけるアート研究(1)「芸術」/「アート」の定義		d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	(2)「趣味」とは何か?:社会階層との関連性		J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	(3)芸術と社会体制、思想、技術との関連性		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	0, 1, 2のまとめ ~ 理解状況の把握(授業内テスト)と解説		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した理論、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】	3. 現代社会の諸問題を告発するアート (1)高度消費社会を問う ~ 「スペクタクルの社会」、 モ	 =ダンア <i>ー</i> トを事	例に
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	(2)ジェンダー、環境をテーマとするアート	L	-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	(3)ミュージアムの政治学 ~ 東日本大震災「3.11 伝承ロード」を構成する津波・原子力被害の	の伝承施設にお	おける
授業計画/Class outline	展示と「政治」との関係性		
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	4. 現代のアートシーン (1)万国博覧会の意義(大阪万博 / 大阪・関西万博)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	視聴した映像のワークシートの提出。授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不	目安時間(分)	90
/Preparation & review	明な事項の確認。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	(2)アール・ブリュット(アウトサイダー・アート)		
授業計画/Class outline		·	,
授業外学修(予習および復習)	視聴した映像に関するワークシートの提出。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	(3)各地で開催されるアート・フェスティバル		
授業計画/Class outline		yannan manan m	
授業外学修(予習および復習)	授業内で紹介した文献、関連する資料等、専門用語、不明な事項の確認。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
	ミュージアム・フィールドワークレポートの報告および検討会		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	レポート課題の作成。	目安時間 (分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline		—	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) 〈Annuay time (min)	
		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	1
授業外子修(ア首のよび復首) Preparation & review		日女时间(ガ) /Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		/ Approx. tille (IIIII)	<u></u>
接業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		/ e (IIIII)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		, the sea same family	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		L,	J

授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)
/Preparation & review /Approx.	time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

3 回

評価方法 Evaluation method

の及来の自然/ Namber of occording to be obtained of mine					
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
定期試験/Regular Exam					
授業時間内に実施するテスト	20	講義内容(専門用語)の理解度			
✓In-class/mid-term tests					
レポート/Report	20	ミュージアム・フィールドワーク関連(所定の課題、要件の充足状況、			
		記述内容などによる)			
授業への取り組み					
/Effort/Participation					
その他1/Other 1	60	①アート作品の鑑賞や映像資料に関するコメント等とその内容(15%)			
		②映像資料視聴の際のワークシートの内容(30%) ③グループ等で			
		の検討結果や授業の感想・意見(15%)			
その他2/Other 2					
評価方法に関する備考					
/Remarks for Evaluation method					
課題等に対するフィードバック	優れた内	容、およびユニークな意見等については、授業内で紹介します。			
/Feedback method					

教科書 Textbooks

とくに指定しません。

参考書 Reference books

ピエール・ブルデュー『ディスタンクシオン I・II』(藤原書店、1990 年)、アーノルド・ゲーレン『現代絵画の社会学と美学』 (世界思想社、2004 年)、テリー・イーグルトン『美のイデオロギー』(紀伊國屋書店、1996 年)、グルゼルタ・ポロック、ロジカ・パーカー『女・アート・イデオロギー』(新水社、1992 年)、小林盾編『嗜好品の社会学』(東京大学出版会、2020 年)、吉田隆之『芸術祭と地域づくり』(水曜社、2019 年)など。その他については授業時に随時指示します。

URL	
補足情報	
補足情報 Supplementary information	
ouppiementally illiornation	
備考	
備考 Remarks	

M1520	観光と社会/観光人類学				鈴木 涼	太郎
2.00 単位	講義	秋学期	金曜1限	6103 教室		ナンバリング: ANT33060

観光 ツーリズム 文化 社会 観光産業 おみやげ

授業の概要 / Course outline

観光は、経済・社会・文化の幅広い領域に関る複合的な現象である。本講義では、これまでの観光研究、とくに文化人類学や社会学からのアプローチによる研究成果をもとに、現代観光と社会、文化の関係について考察する。毎回授業前日までに授業関連資料(PDF)を3S にアップする予定。履修者は、事前に講義資料(レジュメ、論文等資料)を確認のうえ受講することが望ましい。また授業内または授業数日後を締切として小課題を課す。通常の課題は最大 1000 字程度、全体で 7 回程度を予定。

到達目標 / Learning objectives

講義を通じて、観光にかかわる身近なトピックからグローバルな社会や文化のあり方を見通す問題意識や視野を身につけ、具体的な事象を分析・考察できるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○対話力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

課題未提出3回以上または期末課題未提出の場合は成績評価の対象外とする。また追加で履修登録した場合、既に終了した課題の分の成績評価については、履修開始時に各自で対応について指示を求めること。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:映画『カンニバル・ツアーズ』をみる		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
/Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	観光開発と文化1:ベトナム北部のエスニック・ツーリズム		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
/Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	観光開発と文化2:マサイ観光のオーセンティシティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	観光開発と文化3:世界遺産が規定する文化の価値?		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
/Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	観光産業と文化1:文化のパッケージ化とマクドナルド化		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
/Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	観光産業と文化2:テーマ化された空間とハイブリッド消費		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
/Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	観光産業と文化 3:パフォーマティブ労働と感情労働		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
/Preparation & review	習に活用すること。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	観光産業と文化 4:舞台としての観光地		

1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
		.J
1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
1時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
習に活用すること。	/Approx. time (min)	
観光みやげと文化 3:おみやげとホンモノらしさ		
1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
習に活用すること。	/Approx. time (min)	
観光みやげと文化 4: ギャグみやげの存在理由		
1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
習に活用すること。	/Approx. time (min)	
観光みやげと文化 5:旅するマトリョーシカのルーツとルート		
1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3S を利用して配布する予定。各自が予習復	目安時間(分)	60
習に活用すること。	/Approx. time (min)	
······································		-i
	目安時間(分)	
	/Approx. time (min)	
	目安時間(分)	
	/Approx. time (min)	
	目安時間(分)	
	/Approx. time (min)	
	/Approx. time (min)	
	/ Approx. time (min)	<u></u>
		T
	/ Approx. time (min)	<u> </u>
	目安時間(分) /Approx. time (min)	
	観光みやげと文化 3:おみやげとホンモノらしさ 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習に活用すること。 観光みやげと文化 4:ギャグみやげの存在理由 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習に活用すること。 観光みやげと文化 5:旅するマトリョーシカのルーツとルート 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復	習に活用すること。 /Agrox. time (min) 観光みやげと文化1: おみやげ文化論 I 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習に活用すること。 B 安閣(分) /Agrox. time (min) 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習に活用すること。 B 安閣(分) /Agrox. time (min) 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習に活用すること。 B 安閣(分) /Agrox. time (min) 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習に活用すること。 B 安閣(分) /Agrox. time (min) 観光みやげと文化 5: 旅するマトリョーシカのルーツとルート 1 時間以内で読了できる学術論文などの資料を、3Sを利用して配布する予定。各自が予習復習を表現では、time (min) 間に活用すること。 B 安閣(分) /Agrox. time (min) 日安閣(分) /Agrox. time (min) B 安閣(分) /Agrox. time (min) 日安閣(分) /Agrox. time (min) B 安閣(分) /Agrox. time (min)

授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9				
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および?	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	O [a]			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	1 回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および?	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	3 a]			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
オンラインで実施す		to be condi	ucted online	· · · · · ·
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation c	ritorio
			IIII	HIEHA
			評恤基準等/ EValuation C	riteria
Evaluation method	定期試験/Regular Exam			
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程	度の小レポートを 7 回程
Evaluation	定期試験/Regular Exam			度の小レポートを 7 回程
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に理問うものとなる。	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程 度課す。内容は基本的に講義内容を適切に理	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	60	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	40	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に関問うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。 提出は 3S を利
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	60 40 課題のフ	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。	度の小レポートを 7 回程 理解しているかどうかをを行う。提出は 3S を利を行う。提出は 3F を利を行うのである。
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	60 40 課題のフ で書面ま	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	80 40 40 課題のフ で書面ま 削などは	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。履修者個々	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添
Evaluation method	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	80 40 40 課題のフ で書面ま 削などは	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。 履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によ	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	80 40 40 課題のフ で書面ま 削などは	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。 履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によ	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添
Evaluation method	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	80 40 課題のフ で書面ま 削などは 出題する	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によかの事前予告は行わない。	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利 を行う。提出は 3S を利
Evaluation method 教科書 Textbooks	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	80 40 40 課題のフ で削などは 出題する	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。 履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によ	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添って異なり、どの単元で
を Nation method 教科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 指定しない。 鈴木涼太郎(2010)『観光という(商品イールドワークーツーリズム現場の質的	(40) (40) (課題のフで書からは出題する)の生産別の生産別の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。 履修者個を行わない。また各回のレポートの配点は内容によかの事前予告は行わない。	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添って異なり、どの単元で 2021)『観光人類学のフ 歌(2021)『観光のレッス
を Nation method 教科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 指定しない。 鈴木涼太郎(2010)『観光という(商品イールドワークーツーリズム現場の質的	60 40 40 課題のフま 削出題する 引きなする 引きなする 計画を入門。	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によかの事前予告は行わない。 勉誠出版 市野澤潤平・碇陽子・東賢太朗編(2) 『ミネルヴァ書房 山口誠・須永和博・鈴木涼太郎・治・遠藤英樹・高岡文章・鈴木涼太郎・松本健	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添って異なり、どの単元で 2021)『観光人類学のフ 歌(2021)『観光のレッス
数科書 Textbooks 参考書 Reference books	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 指定しない。 鈴木涼太郎(2010)『観光という(商品 ィールドワークーツーリズム現場の質的 ンーツーリズム・リテラシー入門』新曜	60 40 40 課題のフま 削出題する 引きなする 引きなする 計画を入門。	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によかの事前予告は行わない。 勉誠出版 市野澤潤平・碇陽子・東賢太朗編(2) 『ミネルヴァ書房 山口誠・須永和博・鈴木涼太郎・治・遠藤英樹・高岡文章・鈴木涼太郎・松本健	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添って異なり、どの単元で 2021)『観光人類学のフ 歌(2021)『観光のレッス
を Nation method 教科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 指定しない。 鈴木涼太郎(2010)『観光という(商品 ィールドワークーツーリズム現場の質的 ンーツーリズム・リテラシー入門』新曜	60 40 40 課題のフま 削出題する 引きなする 引きなする 計画を入門。	「授業の概要」欄にあるように最大 1000 字程度課す。内容は基本的に講義内容を適切に期間うものとなる。 全授業終了後に授業内容の理解を問う課題を用する予定。 イードバックは、基本的に課題の解説と履修者のたは口頭にて提示する形式を予定。履修者個々行わない。また各回のレポートの配点は内容によかの事前予告は行わない。 勉誠出版 市野澤潤平・碇陽子・東賢太朗編(2) 『ミネルヴァ書房 山口誠・須永和博・鈴木涼太郎・治・遠藤英樹・高岡文章・鈴木涼太郎・松本健	度の小レポートを 7 回程 里解しているかどうかを を行う。提出は 3S を利 優れた解答例を授業内 ス人の解答にコメントや添って異なり、どの単元で 2021)『観光人類学のフ 歌(2021)『観光のレッス

Supplementary information

備考
Remarks

M1530	エスニシティの社会学					橋本 みゆき	
2.00 単位	講義	秋学期	金曜 3 限	3224 教室		ナンバリング: SOC33180	

民族 人種 国民 在日外国人 マイノリティ

授業の概要 / Course outline

さまざまな在日外国人におけるエスニシティについて考える。授業では便宜上、在日外国人をオールドカマーとニューカマーとに分け、それぞれへの固定的見方に挑戦していく。エスニシティ現象は、あるエスニック属性を持つ個人において「国籍」、「民族文化」、「人種」等から自動的・一義的に生じるのではない。日本社会を、個人あるいは集団が出会う場として、またさまざまな社会的条件が絡み合って関係形成される場として、エスニシティの視点から捉え直す。 オンライン授業の際は大学公式 Zoom を使用する。

到達目標 / Learning objectives

エスニシティの諸現象が、何らかのエスニック属性をもつ人(びと)が身を置く社会的・歴史的文脈や構造的条件から、また個々人や集団間の社会関係と行為からある程度筋道立てて捉えられることを理解する。加えて、一見合理的には見えない側面にも理解を試みる。そうした社会事象について、視聴覚教材を通して具体的に把握したり、事例や統計等のデータに基づいて傾向を分析したりして理解を深め、議論することができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:エスニシティという視点		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	身の周りに存在するあるいは報道やネット空間で目にする、「民族」「人種」「国民」に関する社	目安時間(分)	30
/Preparation & review	会現象の実例を集めておく。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	人の国際移動の世界史	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	国際移民現象について、各種の資料や文献などに幅広く目を通す。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	映像から考えるオールドカマーとニューカマー 【オンライン授業】		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	映像で気になった歴史的事件や法制度などについて調べる。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	オールドカマー外国人(1):在日コリアンの形成史と法制度		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	体系的に理解できるまで授業資料を読み込む。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	オールドカマー外国人(2):在日一世と植民地関係		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布された資料以外の資料も探して読んでみる。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	オールドカマー外国人(3):在日二世以降と社会関係の再編		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介される資料・文献から、個別の関連資料に範囲を広げて読む。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	オールドカマー外国人(4):表現活動		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	在日コリアンが表現した作品やドキュメンタリー映像を探して視聴し、描かれた世界の意味を考	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	えてみる。	/Approx. time (min)	

【佐〇□/走兴如佐〇□】			
接業計画/Class outline	ニューカマー外国人(T)·重的·負的変遷C法制度		
授業外学修(予習および復習)	統計資料から、在日外国人数のいくつかの傾向を確認する。	目安時間(分)	60
対表が子形(ア首のよび接首) Preparation & review	が計員付から、任日外国人数のは、フかの傾向を確認する。	日女時間(ガ) / Approx. time (min)	00
		/ Approx. tille (IIIII)	<u> </u>
授業計画/Class outline	一ユーガマー 介国人(2)・ガ関石 田子工		
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介される資料・文献、政府統計から、ポイントを絞ってさらに深く発展的に調べる。	目安時間(分)	60
Preparation & review		/Approx. time (min)	00
【第 10 回/春学期第 10 回】		7 //pprox. timo (mm)	.l
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された調査結果の出典や支援活動事例について自分でも探してみる。	目安時間 (分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 11 回/春学期第 11 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	難民に関する日本の対応の歴史と現在の流れをまとめる。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	 時事の話題から考える	L	-1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	在日外国人に関する時事の話題を情報収集し、その内容に対する自分の考えをまとめる。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ	· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	半期の授業を踏まえて期末レポートを作成する。	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			принини
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		口力吐服 ///	T
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review 【第 18 回/秋学期第 5 回】		/Approx. time (min)	<u> </u>
【 第 18 回/ 秋子期第 5 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
対未が子形(ア首のよい複首) Preparation & review		日女时间(ガ) / Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		י ייאיף ייטא. נווווס (וווווו)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ Likhtovi rillio (lillil)	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
			J

授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第22 回/秋学期第9 回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 「特22 回/秋学期第9 回】 「大きなの」(大きなの) /Approx. time (n	in)						
Preparation & review 【第 22 回/秋学期第 9 回】 授業計画 ✓ Class outline 授業外学修(予習および復習) Preparation & review / Approx. time (n	in)						
【第 22 回/秋学期第 9 回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review Approx. time (n	in)						
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) 目安時間 (分) / Preparation & review / Approx. time (n							
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 目安時間 (分) /Approx. time (n							
/Preparation & review /Approx. time (n							
<u> </u>	in)						
【第 23 回/秋学期第 10 回】┆	,						
授業計画/Class outline							
授業外学修(予習および復習) 目安時間(分)							
/Preparation & review /Approx. time (n	in)						
【第 24 回/秋学期第 11 回】 							
授業計画/Class outline							
授業外学修(予習および復習) 目安時間 (分) / Preparation & review / Approx. time (n	in)						
授業計画/Class outline							
授業外学修(予習および復習) 目安時間(分)							
/Preparation & review /Approx. time (n	in)						
【第 26 回/秋学期第 13 回】							
授業計画 / Class outline							
授業外学修(予習および復習) 目安時間(分)	. \						
/Preparation & review /Approx. time (n	in)						
オンラインで実施する授業の回数 / Number of sessions to be conducted online 1回							
評価方法種別/Category割合 %評価基準等/Evaluation criteriaEvaluation定期試験/Regular Exam							
Evaluation 定期試験/Regular Exam method 授業時間内に実施するテスト							
「Method 技来时间内に実施するアスト /In-class/mid-term tests							
レポート/Report 50 期末レポート							
授業への取り組み							
/Effort/Participation							
その他1/Other 1 50 小課題(授業内にリアクションペーパーでまたは3S で複数回規	出。課						
題内容は授業時に示す)							
その他2/Other 2							
評価方法に関する備考							
/Remarks for Evaluation method							
課題等に対するフィードバック 小課題への回答・コメントは次の回の授業で行う。 /Feedback method							
教科書 Textbooks 特になし。適宜プリントを配布したり、3S に資料をアップしたりする。							
参考書 Reference books 2002 橋本みゆき編著『二世に聴く在日コリアンの生活文化――「継承」の語り』社会評論社 2021	田中宏『在日外国人 第三版——法の壁、心の溝』岩波書店 2013 M.マルティニエッロ『エスニシティの社会学』白水社						
URL							
補足情報 Supplementary information							
備考 Remarks							

M1540	現代社会と科学/環境社会学				梶原 健嗣	
2.00 単位	講義	春学期	木曜4限	8604 教室		ナンバリング: SOC33190

公害 公害と河川・水受益圏・受苦圏ダム建設 水害の社会性

授業の概要 / Course outline

公害・環境問題、そして社会問題としての災害(本講義では水害)を、社会学を中心に社会科学の視点で分析する。内容は、3部構成である。第1部は、公害と河川・水と題して、4回。明治以降、日本の近現代史のなかの「負の側面」である公害を、「水」の視点から考える。総論(1回)のあと、各論として足尾銅山鉱毒事件、イタイイタイ病、水俣病を取り上げる。第2部は受益圏・受苦圏論と題して、4回。まず総論で、受益圏・受苦圏論の概要を説明したうえ、この議論の典型的状況を、昭和30~40年代の「蜂の巣城闘争」(下筌・松原ダム)を素材に概観する。そのうえで、受益圏・受苦圏論という議論が提唱された時代と今日とのずれを考える。ここは2回講義を行うが、「環境社会学」の教科書等では殆ど触れられない視点である。第3部は、水害の社会学と題して、4回。災害は自然の脅威をきっかけに、当該社会の脆弱性があぶり出される側面がある。同様に総論(1回)のあと、伊勢湾台風、東京の水害、水害と避難を取り上げる。なお、最終回(水害と避難)は、期末課題の説明も行う。

到達目標 / Learning objectives

【社会問題としての環境問題】環境問題(公害問題を含む)や災害は社会問題であって、社会的に解決しなければならない問題である、その本質を理解することを目指す。水は、大気や土とともに「環境の三代要素」と言われるが、そうした水の重要性を改めて理解することも、本講義の目標である。足尾銅山鉱毒事件に始まる公害問題から、戦後のダム開発、現在激化しつつある水害まで、「社会問題としての水」という角度から、様々な話題を提供し、社会問題として環境問題を捉える視点を習得することを目指す。【縦と横のつながり】本講義では、「縦と横のつながり」のなかで、公害問題、環境問題、災害を理解できるようになることを目指す。縦のつながりとは、「歴史的な流れ」である。横のつながりとは、問題の同時代性である。講義では、縦のつながりが色濃くなるかもしれないが、「投げたボール」を受けとめて、「横のつながり(同時代性)」を考察することができれば、期末課題(レポート)では高い評価となる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

特に必要はない。

履修上の注意事項/Course guidelines

問題意識をもって、講義に臨むこと。 リアクションペーパーは、次回講義・冒頭で幾つか取り上げて、解説・補足をする。そのなかで、自分になかった視点・問題意識を発見したら、それを深く掘り下げてほしい。 当然のことだが、私語厳禁。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 初回はガイダンスである。本講義のなかで身についてほしい視角について,具体例を	交えて概説する	っ。そ
授業計画/Class outline	れは,一言でいえば,環境問題における「社会科学」の意味である。環境問題の解決に は,技	術的なブレーク.	スル
	一が重要であることは間違いはないが、だからといって、技術万能論も誤りである。どうして環境問	題が生まれてし	ょまう
	のか,そこには構造的に見て,どのような問題が潜んでいるのかを考える姿勢が重要であり,それ	れが「環境を社会	会科
	学する」ことの意味である。そのなかで「社会学」の意味は、端的に、環境問題は社会問題だから	にほかならない。	。ま
	た本講義は、「水」を切り口にした環境社会学である。なぜ、「水」を取り上げるのかについて も、カ	ブイダンスで説明 で	した
	い。ガイダンスではその他に,本講義の評価方法についても説明する。		
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。講義のなかで紹		90
Preparation & review	介される追加学習のきっかけを利用してほしい。参考動画などを見てもらえれば、いい追加学	/Approx. time (min)	
	習になると思う。 また本講義は3部構成である。第1部が終了する第5回,第2部が終了する		
	第9回は,いつもうより少し念入りに復習をしてほしい。		
【第2回/春学期第2回】	公害と河川・水①「足尾銅山鉱毒事件」 近代日本の公害問題の原点と言われるのが, 足尾	銅川鉱毒事件	であ

授業計画/Class outline	る。講義では,まず「通常」講義される,戦前(明治)の足尾銅山鉱毒事件から講義を始める。そのなかで,社会問題
	としての公害問題という視点の重要性を痛感するはずである。同時に第3回で話す内容は,第4回・第5回の講義の
	「伏線」となっている。 本講義では,もう1つ,足尾銅山鉱毒の「戦後」についても話していく。しかも,この「戦後」に
	は2つのフェーズがある。本講義で重視する「縦と横のつながり」のうち,縦のつながり=「歴史的な流れ」は,前(過
	去)のみならず,後ろ(未来)にも繋がるものだということを実感する講義にしたいと思う。
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx. time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
【第3回/春学期第3回】	
授業計画/Class outline	面』」という形容で語られ,その表現から,高度成長期に「発現し,また収束(解決)」した公害問題と思いが収束(解
	決)」した公害問題と思いがちである。しかし,その認識は全く誤りである。イタイイタイ病は,大正時代に発現し,20世
	紀になって, ようやく「1つの解決」を迎えることができた社会問題であり, 近代100年にわたる公害病である。 高度成
	長期に「可視化」されたされた時期にほかならない。 大正時代に発現したイタイイタイ病が, なぜ高 度成長期まで
	「可視化」されなかったのか。そこに、イタイイタイ病の本質があり、ここに「社会学の視点」から公害問題を考える重要
	な意義である。第4回でも,縦のつながり=「歴史的な流れ」の意味を痛感する講義にしたいと思う。
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 90
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx.time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
【第4回/春学期第4回】	
授業計画/Class outline	である。そこに,水俣病の本質があり,ここに「社会学の視点」から公害問題を考える重要な意義である。なお第2回
	で講義する,高度成長と環境法制の知識は,この回で大きく生きてくる。第5回講義でも,水俣病が決して,「高度成
	長期の公害問題」ではないこと、その常識を覆していきたい。その歴史的な深さを実感してほしい。 足尾銅山鉱毒
	事件, イタイイタイ病, そして水 俣病の「構図」を歴史的に見ていったときに, 1つの共通点に気が付くと思う。そして,
	その共通点に気が付いた時、その延長線上にもう1つの公害・環境問題があることに思いが至るのではないか。その
	発見こそが,本講義での狙い(達成目標)の1つである。
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リー 目時間(分) 90
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので,それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx. time (min)
	い。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい
	い。
【第5回/春学期第5回】	垣川子省にはると思う。 公害と河川・水④「地盤沈下とその背景(水公害の別の顔)」 環境基本法が定義する公害には,第2~4回で
授業計画/Class outline	扱った水質汚濁のほか、地盤沈下という公害もある。これもまた「水公害」の1つであり、当時の社会を象徴する公害
	である。 高度経済成長期, 地盤沈下の対策は地下水にかわる水源を求めて, ダム開発を推し進める要因となっ
	た。また地盤沈下は、水害時の被害悪化の原因ともなり、「ある問題が別の問題を引き起こす」という事例を考える格
	好の材料でもある。 本講義の内容に照らせば、第1部(公害と河川・水)、第2部(受益圏・受苦圏論)、第3部(水
位米川 岩体/マ四十 レーックをつい	害の社会学)に跨る話題でもあり,第1部の最後に地盤沈下問題を取り上げたい。
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 目時間(分) 90 /Approx. time (min)
,	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。 なお本日の第5回で第1部が終了である。本日の講義復習だけでは
7	なく,第1部全体の復習を行い,第2部に備えてほしい。
【第6回/春学期第6回】 授業計画/Class outline	受益圏・受苦圏論①「ライフラインと広域化」の社会史―総論に変えて 日本の環境社会学は、激烈だった公害
文耒計画/ Uass outline	

	のフィールドワークから始まった。その時期は、問題がある程度狭い地域に集中して発生していた。しかし 1980 年代
	から,問題が広域化する。公害問題ではなく,環境問題と言われるようになるのもこの時期である。そうしたなかで,
	日本の環境社会学が 生み出したオリジナルの分析視点が, 受益圏・受苦圏論である。そして, その典型とされた事
	例がダム開発(すなわち,「水」)である。 第6回講義では,受益圏・受苦圏論を通じて把握される社会問題が発生
	した背景として,「ライフラインと広域化」の社会史を概説する。この概説が基礎となって,第7回以降の講義が深く理
	解できるようになると思う。
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 目安崎間(分) 90
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので,それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx.time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
第7回/春学期第7回】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
授業計画/Class outline	復興から高度成長期にかけてのダム開発である。第7回講義では、その具体的な事例として、九州地方の松原・下
	筌ダム問題(通称,「蜂の巣城闘争」)を取り上げる。 第6回講義と同様の問題意識から, 当時の時代背景から
	講義を始めたい。重要な分析視角は,「公共性公害」であり,今日の環境問題を考える直接の視点になるキーワード
	である。同時に,第6回講義は,第7回・第8回講義の「伏線」である。受益圏・受苦圏論が生み出された時代から約
	30 年が経つなかで,その理論と現実の乖離(問題の変容)を考えるきっかけを提供することも,第7回講義での狙い
	としたい。
受業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 目安間 (分) 90
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx.time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
【 第 8 回/春学期第 8 回】 授業計画/Class outline	
授業計画/Class outline	社会学の講義では(また教科書でも)触れられない視点である。 受益圏・受苦圏論が想定した社会状況は 30 年前,
授業計画/Class outline	社会学の講義では(また教科書でも)触れられない視点である。受益圏・受苦圏論が想定した社会状況は 30 年前, 昭和期しかもバブル経済前である。「水」という, 社会生活にとって必須であり, またその一部であるものの立ち入り・あ
授業計画/Class outline	
授業計画/Class outline	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という,社会生活にとって必須であり,またその一部であるものの立ち入り・あり様が,そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では,受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。
授業計画/Class outline	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という,社会生活にとって必須であり,またその一部であるものの立ち入り・あ
授業計画/Class outline	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という,社会生活にとって必須であり,またその一部であるものの立ち入り・あり様が,そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では,受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。 第8回は,平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は,日本の環境運動にとって大きなタ
	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という,社会生活にとって必須であり,またその一部であるものの立ち入り・あり様が,そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では,受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は,平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は,日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から,その運動の新しさを紐解くとともに,時代状況の変化を考える。キーワードは,第8回講義サブタイトルにも付したように,「河川における民主主義」である。
	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という,社会生活にとって必須であり,またその一部であるものの立ち入り・あり様が,そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では,受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は,平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は,日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から,その運動の新しさを紐解くとともに,時代状況の変化を考える。キーワードは,第8回講義サブタイトルにも付したように,「河川における民主主義」である。 講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
受業外学修(予習および復習)	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。 講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リーターのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし
受業外学修(予習および復習)	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。 講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review 第9回/春学期第9回】	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review 第9回/春学期第9回】	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。 講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review 第9回/春学期第9回】	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review 第9回/春学期第9回】	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review (第9回/春学期第9回]	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。 講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 要益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部がそれを欲していた、正確に言えばそのエリア内では賄いきれないほど、大きな不足があったからである。しかし、高
授業外学修(予習および復習)	昭和期しかもパブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部がそれを欲していた、正確に言えばそのエリア内では賄いきれないほど、大きな不足があったからである。しかし、高度成長の時代が終わり、右肩上がりの成長が失われた時代にあっても、慣性のように開発政策・制度は回り続ける。
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review (第9回/春学期第9回]	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回〜第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題 第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部がそれを欲していた、正確に言えばそのエリア内では賄いきれないほど、大きな不足があったからである。しかし、高度成長の時代が終わり、右肩上がりの成長が失われた時代にあっても、慣性のように開発政策・制度は回り続ける。そうした点に、社会問題としての「過剰開発」という問題がある。 八ッ場ダムに見られる過剰開発、そして受益圏とさ
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review (第9回/春学期第9回]	昭和期しかもバブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部がそれを欲していた、正確に言えばそのエリア内では賄いきれないほど、大きな不足があったからである。しかし、高度成長の時代が終わり、右肩上がりの成長が失われた時代にあっても、慣性のように開発政策・制度は回り続ける。そうした点に、社会問題としての「過剰開発」という問題がある。 八ッ場ダムに見られる過剰開発、そして受益圏とされた都市部からの異議申立てという事例はほかにもあり、幾つか問題を紹介しながら、受益圏・受苦圏論の変容を感
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review 第9回/春学期第9回】 授業計画/Class outline	昭和期しかもパブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990 年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。 講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてぼしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部がそれを欲していた、正確に言えばそのエリア内では賄いきれないほど、大きな不足があったからである。しかし、高度成長の時代が終わり、右肩上がりの成長が失われた時代にあっても、慣性のように開発政策・制度は回り続ける。そうした点に、社会問題としての「過剰開発」という問題がある。 八ッ場ダムに見られる過剰開発、そして受益圏とされた都市部からの異議申立てという事例はほかにもあり、幾つか問題を紹介しながら、受益圏・受苦圏論の変容を感じ取ってほしい。
受業外学修(予習および復習) /Preparation & review 第9回/春学期第9回】 授業計画/Class outline 受業外学修(予習および復習)	昭和期しかもパブル経済前である。「水」という、社会生活にとって必須であり、またその一部であるものの立ち入り・あり様が、そのなかで変化していないはずがない。第8回~第9回の講義では、受益圏・受苦圏論の変容を取り上げる。第8回は、平成初期(1990年代)の長良川河口堰問題である。その反対運動は、日本の環境運動にとって大きなターニングポイントとなった運動である。社会運動論的な視点から、その運動の新しさを紐解くとともに、時代状況の変化を考える。キーワードは、第8回講義サブタイトルにも付したように、「河川における民主主義」である。講義を振り返り、自分にとって新たな発見だったことについて、思索を深める。2回目以降は、リアクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほしい。講義のなかでは、様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば、いい追加学習になると思う。 受益圏・受苦圏論④「受益圏・受苦圏論の変容(2)、八ッ場ダム問題」第9回講義では、21世紀の事例として八ッ場ダム問題を取りあげる。20世紀初頭からライフラインが広域化していった時代背景には、受益圏である都市部がそれを欲していた、正確に言えばそのエリア内では賄いきれないほど、大きな不足があったからである。しかし、高度成長の時代が終わり、右肩上がりの成長が失われた時代にあっても、慣性のように開発政策・制度は回り続ける。そうした点に、社会問題としての「過剰開発」という問題がある。 八ッ場ダムに見られる過剰開発、そして受益圏とされた都市部からの異議申立てという事例はほかにもあり、幾つか問題を紹介しながら、受益圏・受苦圏論の変容を感じ取ってほしい。

	なく,第2部全体の復習を行い,第3部に備えてほしい。
【第 10 回/春学期第 10 回】	水害の社会学①「総論〜公害と水害,洪水と水害」 環境問題という視角で,水害を取り上げることには,違和感
授業計画/Class outline	を感じるかもしれない。しかし,水害もれっきとした社会問題であり,環境問題である。水害に限らず,自然災害はそれ
	を引きおこすハザード(自然の破壊力)だけでは決まらない。水害でいえば、さほど大きな豪雨でなくても,河川整備が
	軟弱で,危険な宅地開発がなされ,避難体制も不十分であれば,結果としてその被害は大きくなってしまう。その意
	味で, ハザードを大きくも小さくもするのは, 社会のあり様である。 そうした観点で, ハザード(=豪雨)と被害(=水
	害)の媒介項である「社会」「環境」を考えるのが水害の社会学である。第 10 回講義では,公害と災害の共通性や洪
	水と水害の違いを概説していきたい。
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 目時間(分) 90
	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx. time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
【第11 回/春学期第11 回】 授業計画/Class outline	水害の社会学②「都市化と水害~1959, 伊勢湾台風」 戦後の日本社会で最も大きな変化は, 都市化の進展
	(過疎・過密化も含む)であろう。そして,そうした都市化の進展が,水害の様相も変えた。都市型水害の発生である。
	第 11 回講義では, 高度成長期の都市型水害として, 最も被害が深刻だった(死者・行方不明者 5,098 名)伊勢湾
	台風を取り上げる。 伊勢湾台風の被害は,決して豪雨と大洪水,河川の堤防決壊というものではない。同台風の
	人的被害は、名古屋市の港区・南区に集中したが、その死亡原因の大半は流木である。そして、同地区に被害が集
	中したのも,日中戦争期の重化学工業の進展と戦後の工業化が関わっている。そうした背景(=真の原因)を考察す
	ることで,災害の社会的側面を考えられるようになってほしい。
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 目 時間 (分) 90
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx. time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
【第 12 回/春学期第 12 回】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
授業計画/Class outline	考察対象は東京だろう。かつて東京の水害といえば、0メートル地帯である江東区デルタ地域を襲う,大規模破堤水
	害が典型的な事例だった。しかし高度成長のなかで,それとは異なる都市型水害が多くなっている。被害のあり様も,
	かなり異なる側面がある。 東京でも見られるようになった,新しい都市型水害の背景にあるのは,「水辺空間の喪
	失」である。江戸の発展を支えたのは,縦横無尽に走る河川を通じた舟運であり,江戸の発展はそうした「水のネットワ
	一ク」なくしてはありえなかっ た。しかし,東京オリンピックを境に,東京から河川が消えていく。そのなかでヒートアイラ
	ンドが進み,都市型水害が顕著になる。ここにもはやり,環境問題の「1つの現れ」としての水害がある。
授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ 目時間 (分) 90
/Preparation & review	アクションペーパーのフィードバックを行うので,それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし /Approx.time (min)
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい
	追加学習になると思う。
【第 13 回/春学期第 13 回】	水害の社会学④+期末レポート説明「水害と避難の重要性」 水害の社会学(計4回)のなかで, 最も「自然科
授業計画/Class outline	学」的な議論から遠い講義になるかもしれない。さほど大きな豪雨でなくても,河川整備が軟弱で,危険な宅地開発
	がなされ、避難体制も不十分であれば、結果としてその被害(=水害)は大きくなってしまうことがありえるが、今日、
	水害被害の最小化という観点から最も重要なのは、実は避難の問題である。 的確な避難と災害の最小化(減災,
	縮災)の問題には、"情報"というソフト面の問題から避難所というハードの問題まで含む。クリティカルな問題として、
	講義ができればよいと思う。また,第 13 回では期末レポートの説明も行う。 形式違反は採点対象外とするので,しっ
	かりと聞いてほしい。

授業外学修(予習および復習)	講義を振り返り,自分にとって新たな発見だったことについて,思索を深める。2回目以降は,リ	目安時間(分)	9(
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
	アクションペーパーのフィードバックを行うので、それも「新たな気付き」を広げる参考にしてほし	, ,,	
	い。講義のなかでは,様々な参考動画を紹介すると思う。こうした動画を見てもらえれば,いい		
	追加学習になると思う。 		
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
(第 16 回/秋学期第 3 回)			
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
第 17 回/秋学期第 4 回】		4	
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
第 18 回/秋学期第 5 回】		L	ك.
授業計画/Class outline			
		目安時間(分)	Ī
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
第 19 回/秋学期第 6 回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
第 20 回/秋学期第 7 回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	. <u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
(第22回/秋学期第9回)		7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
ア Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10 回】		/ 11661 AV (11111)	.J
第 23 回/ 秋子朔第 10 回』 授業計画/Class outline			
授業所画/ Class outille 受業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	Τ
文未介子修(ア首のよび復首) /Preparation & review		百女时間(ガ) / Approx. time (min)	
第 24 回/秋学期第 11 回		/ Approx. tille (IIIII)	<u>.L.</u> .
第 24 回/ 秋字期第 11 回』 授業計画/Class outline			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		口小吐田 (ハ)	· [
ロエハフルコカジド「八日沙」		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.l.</u>
		/ Approx. time (min)	<u> </u>

/Preparation & review			/Approx. time (min)			
【第 26 回/秋学期第 13	@]					
授業計画/Class outlin	ne					
授業外学修(予習および復	習)		目安時間(分)			
/Preparation & review			/Approx. time (min)			
オンラインで実施すん	る授業の回数/Number of sessions to	o be condu	cted online 0回			
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
Evaluation	定期試験/Regular Exam					
method	授業時間内に実施するテスト					
	/In-class/mid-term tests					
	レポート/Report	60	本講義では,第1部「公害と河川・水」,第2部「受益圏・受苦圏論」,			
			第3部「水害の社会性」を講義する。こ の講義内容を踏まえ,論評形			
			式のレポートを書いてもらう。素材は,『環境社会学研究』から,これら			
			のテーマを扱った論文を「論評の対象論文」として指定する。 レポー			
			トでは,①内容の要約,②論評(評価する点,評価できない点ないし			
			疑問点)を書いてもらう。 分量はA4(40 字×40行)で2枚。 形式違反			
			 は,採点しない。表示上,60%となっているが,正確には 61%であ			
			5.			
	授業への取り組み	40	毎回,リアクションペーパーを最後に書いてもらう。時間は 10 分程度。			
	/Effort/Participation		このリアクションペーパーは初回から始める。このリアクションペーパー			
			は,講義冒頭でフィードバックする。このフィードバックを大事にした講			
			義にしたいので、積極的に取り組んでほしい。講義の質が高まるかどう			
			か, その幾分かは履修者の取り組みにかかっているので, 講義を聞い			
			て考えたこと,疑問に思ったことなどを書いてほしい。 リアクションペ			
			ーパーの取り組みは,成績評価にも反映する。毎回,その内容を,0			
			(欠席および欠席同等)から3点まで,0.5 点刻みで採点する。 表示			
			上, 40%となっているが, 採点では 39%である。			
	その他1/Other 1					
	その他2/Other 2					
	評価方法に関する備考					
	Remarks for Evaluation method					
	課題等に対するフィードバック		ノペーパーは,講義冒頭でフィードバックする。 期末レポートについてはフ			
	/Feedback method	ィードバツ	クはしない。 			
教科書 Textbooks	特になし。 教員が作成したレジュメを月	用いる。				
参考書	『社会的共通資本としての水』(2	2015, 花伝	会社)関良基,まさのあつこ,梶原健嗣 『都市化と水害の戦後史』			
Reference books	(2023, 成文堂)梶原健嗣『長良川汽	可口堰と八ヶ	/場ダムを歩く』 (2023,成文堂)伊藤達也,梶原健嗣			
URL						

補足情報 Supplementary information

備考 Remarks

M1550	50 グローバリゼーションの社会学/グローバリゼーションと現代社会					弘
2.00 単位	講義	春学期	木曜 2 限	8503 教室		ナンバリング: SOC33200

国際社会学、国際移民、多文化社会、国民国家、グローバリゼーション、国際比較

授業の概要 / Course outline

グローバリゼーションとは、情報通信や交通手段の発展を背景に、世界の社会関係が深化・拡大していく社会変動過程と捉えられています。地理的な遠近とは異なる次元で、世界各地の社会関係は深化・拡大し、ヒト・モノ・カネや情報などをめぐって思わぬ影響が世界各地で発生し始めています。私たちが暮らす社会は、「国境」を越え「国家」の枠を超えて世界とつながりを深め、変化しているのです。ところで、世界の社会関係がさらに深化・拡大していくと、私たちが暮らす日常はどうなっていくのでしょうか。そもそもなぜ深化・拡大していくのでしょうか。この科目では、受講生がグローバリゼーションを社会学的見地から分析し、世界のつながりが深化・拡大する現代社会の課題を考えます。とくにグローバリゼーションの中心課題の一つである国境を超える人の移動とその影響を軸として授業を行う予定です。まずは国際移動の拡大と加速化・多様化の実情を学びます。つづいて多文化化が進む社会の課題を、経済、政治、家族、教育などの諸領域で検討します。最後に、グローバリゼーションという社会変動への抵抗や挑戦について考察し、グローバル化する社会の可能性と未来を考えます。 なお、オンライン授業となった場合は、オンデマンド型授業を予定します。オンデマンド型授業の受講方法などは授業中に指示しますので、3S からの連絡などは必ず確認するようにしてください。

到達目標 / Learning objectives

①受講生が、国際移民が発生する原因や影響を説明できる。②受講生が、多文化社会の発展と課題を説明できる。③受講生が、グローバリゼーションの背景や仕組みを説明できる。④受講生が、国際社会学的想像力を取得し、社会課題を分析する知識、技能、感性を身に着けることができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

授業への継続的な参加が必要となりますので、遅刻や欠席には十分注意してください。 授業では個人学習に加えて、ペアおよびグループワークを用いることがあります。

授耒計画 / Class sun	edule		
【第1回/春学期第1回】	ガイダンス: 国際社会学のアプローチ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	国際移動の拡大と展開(1)国際移動の歴史		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	国際移動の拡大と展開(2)国際移動の多様化:難民、非正規移民、高技能移民、女性移民、帰	還移民	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	国際移動の拡大と展開(3)国際移動のメカニズム		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	多文化社会の発展と反動(1)エスニック経済		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	多文化社会の発展と反動(2)市民権と移民政策		
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第7回/春学期第7回】	多文化社会の発展と反動(3)家族と教育	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】	トランスナショナリズムの射程	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	グローバル化への抵抗と挑戦(1)宗教文化をめぐる葛藤と衝突	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
		<u> </u>
授業計画/Class outline		
	↓ 授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
 【第 11 回/春学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	<u>************************************</u>	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
授業計画/Class outline		
		目安時間(分) 120
/Preparation & review	IXATIONALY ORTHONOLOGICAL TOTAL SECTION CONTESTS	/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめとふりかえり	7 7 pp 10 % 4 mm / 11 mm / 1
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	 授業内容に関連する資料、文献、ニュース記事などを熟読しておくこと。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		,
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】		/ Approx. time (timi)
授業計画/Class outline		
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 16 回/秋学期第 3 回】 授業計画/Class outline		
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
技業外子修(ア省あよい復省) Preparation & review		日女时间(分) / Approx. time (min)
		/ Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】 授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) /Anaxay tima (min)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】		
授業計画/Class outline		

授業外学修(予習および復	图)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7	回】				
授業計画/Class outli	10				
授業外学修(予習および復	3				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	回】				```
授業計画/Class outli	ne l				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】				``
授業計画/Class outli	ne l				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】				·
授業計画/Class outli	ne l				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	回】				·
授業計画/Class outli	ne l				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	回】				`
授業計画/Class outli	ne l				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	回】				`
授業計画/Class outli	ne l				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
オンラインで実施す	る授業の回数/Number of sessions to	be conduc	ted online	3 🗓	
評価方法	種別/Category	割合 %		評価基準等/Evaluation criter	ria
Evaluation	定期試験/Regular Exam				
method	授業時間内に実施するテスト				

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
/In-class/mid-term tests		
レポート/Report	70	期末レポートを授業期間内に 1 回(3000 字程度)実施します。 ①授
		業内容が理解できているか ②先行研究をふまえつつ自分の主張が
		述べられているか ③論理的な文章で書かれているか
授業への取り組み	30	各回でコメントシートを提出します(200~400 字程度)。授業内容に
/Effort/Participation		対する理解や参加度合を測ります。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
/Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	コメントシー	-トの回答を中心にフィードバックを行います。
/Feedback method		

教科書 Textbooks

授業中に指示します。

参考書 Reference books

授業中に指示します。

URL

補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M1560 社会運動論						宏
2.00 単位	講義	秋学期	火曜 5 限	8604 教室		ナンバリング: SOC33210

社会運動、集合行動、集合行為、新自由主義、NPO、ボランティア、市民社会、市民活動、支援、労働、障害、福祉国家、貧困

授業の概要 / Course outline

現代日本においては社会運動が冷笑的に見られることが多い。同様にボランティアや NPO の活動などの市民活動に対する様々な誤解や偏見も散見される。 本授業では社会学の観点から、社会運動の概念、理論、実際についての基本的な知識を学びつつ、そのようなまなざしや制約を生み出す日本社会の構造の解明も行っていく。また社会運動と関連する概念である市民社会、ボランティア、NPO などの諸カテゴリーについても、その定義や特徴、日本におけるあり方や課題についても検討していく。 以上を通して、社会運動や市民活動の意義や可能性について理解を深めると同時に、その背景にある日本社会の構造的な問題についても検討していくことを目指す。

到達目標 / Learning objectives

社会運動や市民活動の概念・意味・役割についての理解を深める。 社会運動や市民活動がどのような社会の問題を問おうとしてきたのかについて注目することで、その背後にある社会の構造的問題の一端について理解を深める。 日本社会における社会運動や市民活動を抑圧する構造について理解を深める。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

基本的に紙の資料は配布せず、システムにアップロードして共有する。PC 等のデバイスで見る場合は持参のこと。

履修上の注意事項/Course guidelines

私語は厳禁とします。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション: 授業の目的・視点・構成の解説		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会運動論の展開 1:集合行動論、マルクス主義、ファシズム分析		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会運動論の展開 2:大衆社会論、新しい社会運動論、資源動員論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	社会運動論の展開 3:経済的グローバリズムと新自由主義に抗う運動		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	日本型生活保障システムにおける労働・生存問題と運動		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	60
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	障害者の自立生活運動と新自由主義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	「標準」を問い直す:障害の社会モデルをめぐって		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】	参加型市民社会と新自由主義	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	日本における NPO の意義と障壁	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	ボランティア活動は「やりがい搾取」か?	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	マイノリティに対する支援:外国にルーツを持つ人の支援活動から	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	冷笑主義(シニシズム)を克服するために	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	総括:現代における社会運動と市民活動の射程	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義の復習。 講義資料で提示された参考文献を読むなどの自主的な学習。	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 14 回/秋学期第 1 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第15回/秋学期第2回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第16回/秋学期第3回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分)
		/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】 授業計画/Class outline		
授業計画/ Class Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
対表が子形(ア首のよび接首) Preparation & review		上文時間(ガ) / Approx. time (min)
(第 18 回/秋学期第 5 回)		/ //pprov. tillo (IIIII)
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		. 11
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
L		

【第 21 回/秋学期	第8回】					
授業計画/Class	outline					
授業外学修(予習およ	よび復習)					目安時間(分)
/Preparation & re	review					/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期	第9回】					
授業計画/Class	outline					
授業外学修(予習およ	よび復習)					目安時間(分)
/Preparation & re	review					/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第	第10回】					
授業計画/Class	outline					
授業外学修(予習およ	よび復習)					目安時間(分)
/Preparation & re	review					/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第	第11回】					
授業計画/Class	outline					
授業外学修(予習およ	よび復習)					目安時間(分)
/Preparation & re	review					/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第	第12回】					
授業計画/Class	outline					
授業外学修(予習およ	よび復習)					目安時間(分)
/Preparation & re	review					/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第	第13回】					
授業計画/Class	outline					
授業外学修(予習およ	よび復習)					目安時間(分)
/Preparation & re	review					/Approx. time (min)
オンラインで実力	施する授	業の回数/Number of sessions	to be condu	ucted online	1 回	
評価方法		種別/Category	割合 %		評価基準等/Evaluation	criteria
Evaluation	定其	用試験/Regular Exam	60	授業内容の理解	なな。 なななでは、 なななできるないできます。 ないできまれる。 ないできまれる。 ないできまれる。	
method	授業					
		-class/mid-term tests				
	レポ	—⊦∕Report				
		 (への取り組み	40	上 毎回、授業終了		 記入し、授業の基本的理
		ffort/Participation		解度を確認する		
	その	他1/Other 1				
	その	他2/Other 2				
	評価	 5方法に関する備考		1		
		emarks for Evaluation method				
		 夏等に対するフィードバック	リアクション	ンペーパーで書か	れたコメントの中で内容の理	 解につながるものについて
		eedback method		で取り上げ議論や		
教科書 Textbooks		の教科書としては指定しない。	333737	The state of the s		
			-11 4 1/2 2			A VERSILL - S / 11 - L = 5
参考書 Reference books		畑裕嗣ほか編,2004『社会運動 方法のフロンティア』成文党 ・Tar				

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業の構成や内容は一部変更になる可能性もあります。

会論: 理論と実証の最前線』法律文化社 その他授業内で適宜紹介する。

M1570	政治社会学					, ī
2.00 単位	講義	春学期	木曜 1 限	8604 教室		ナンバリング: SOC33220

格差、ナショナリズム、メディア、政治変動、中国

授業の概要 / Course outline

政治社会学とは、政治と社会の相互作用に焦点を当てる学問です。政治現象や政治制度は、特定の歴史や社会に依存しており、孤立して存在するものではありません。それゆえ、政治社会学は学際的な性質を持っており、扱う具体的なテーマも非常に豊富です。近年、権威主義政治が再び台頭し、民主主義の後退が現れてきました。また、格差問題が世界中に広がっています。さらに、メディアの多様化や SNS の普及が分極化現象やナショナリズムの高揚を促進してきたと言われています。これらの現象はまさに政治社会学が注目する分野であり、国際社会にとって重要な課題でもあります。この授業では、特に中国を例に取り、政治社会学の主要なテーマや概念、例えば階級と階層、格差と不平等、社会主義と資本主義、政治的腐敗、メディアと言論空間、ナショナリズム、政治変動などについて順を追って説明します。中国は現存する「変革期社会」の代表例の一つとして、様々な政治社会学的事象を示しており、私たちの観察に絶好の事例を提供しています。また、東アジアの大国として、中国社会がどこへ行くのかはこの地域に大きな影響を及ぼしてしまう可能性が高く、特段の注意が求められています。これらの概念を説明する際には、履修者のグローバルな思考力を磨くために、他の国や地域の事例も紹介します。

到達目標 / Learning objectives

(1)政治社会学の基本的な概念や理論を把握し、人に説明できる。(2)政治社会学の概念や理論を使って、ある国や地域の事象を分析できる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

F# 1 - 1 - 1 - 1 - 1			
【第1回/春学期第1回】	イントロダクション(①講義の概要、進め方、成績の付け方などの説明。②本講義に関する基礎気	口識の解説。)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。 専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	国家と社会:「社会主義国家」における資本主義(中国は社会主義か)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。 専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	格差と不平等②:社会階層の流動と固定(中国の「親ガチャ」はどうなっているのか)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。 専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】			
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	メディアと言論空間①:改革開放時代の変容(なぜメディアが諸刃の剣になったのか)	·	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	メディアと言論空間②:ソーシャルメディアの時代(SNS はどう使われているのか)		.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間 (分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	ナショナリズム①:「国民国家を作ろう」(中華民族は存在しているのか)	`\	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	ナショナリズム②:多民族国家におけるナショナリズム(マイノリティはどんな現実を生きているのか)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	政治変動①:政治参加の諸相(中国には選挙が行われているのか)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	政治変動②:市民社会の成長と頓挫(社会を無力化しているのは誰なのか)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	政治変動③: 民主主義と民主化(中国は民主化するのか)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	毎回配布された講義レジュメや資料を予習・復習すること。専門用語の意味を確認すること。	目安時間 (分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline		·	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第18回/秋学期第5回】			
授業計画/Class outline		= +1 - 72	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 19 回/秋学期第 6 回】 授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

3 回

評価方法 Evaluation method

る授業の回数/ Number of Sessions to be conducted online 3 回						
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria				
定期試験/Regular Exam						
授業時間内に実施するテスト						
√In-class/mid-term tests						
レポート/Report	70	学期末にレポートを提出してもらいます。 評価基準:①講義内容を理				
		解できているか。②既存の理論や概念を把握したうえで、論拠を示し				
		自分の主張を述べているか。③筋道を立てて文章にして表現できてい				
		るか。				
授業への取り組み	30	毎回、授業内容について考えたことや疑問点をコメントペーパー(オン				
/Effort/Participation		ライン授業の場、3sの課題)で提出してもらいます。 自分の洞察や疑				
		問を提出できる履修者を高く評価します。				
その他1/Other 1						
その他2/Other 2						
評価方法に関する備考						
∕Remarks for Evaluation method						
課題等に対するフィードバック	毎回授業	の冒頭で前回のコメントペーパーのフィードバックを行ないます。授業内				
/Feedback method	容に関して	ての質問も、フィードバックの時に回答します。				

教科書 Textbooks

特に指定しません。講師が作成した講義レジュメや資料を中心に授業を進めます。映像コンテンツも活用する予定です。

参考書 Reference books	必要に応じて授業内で指示します。
URL	
補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M1580	地域とコミュニティの社会学/地域社会学					安藤 丈将	
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 2 限	8503 教室		ナンバリング: SOC33230	

地域社会、開発、公害、原発(事故)、ネオリベラリズム、ポスト開発、地域民主主義

授業の概要 / Course outline

地域(とコミュニティの)社会学は、地域の経済発展の社会的な影響を分析する学問です。戦後日本では、全国各地で開発(空港、ダム、新幹線、原発、コンビナート、ニュータウン)が進められ、今日に至るまで住民の生活環境に大きな影響を及ぼしています(その最も顕著なものが公害問題です)。地域社会学は、こうした経済指標では測れない社会(人びとの文化や共同性)の変化を分析することを得意としています。それと同時に、地域社会学は、「虫の眼」を持って、開発の中を生きる住民(都市と農山村の両方を含む)の地域活動を調査します。住民たちは、貧困、福祉、環境、食、教育、地域経済といったイシューを発見し、その具体的な解決に取り組んでいます。こうした活動の中から、地域社会が抱える閉塞した状況を打破するヒントを得るのも、この学問の仕事の一つです。 この授業では、地域社会学の理論的な枠組みを学び、地域社会をめぐる状況の深い理解に達することを目指します。特に今年度は、原子力発電の問題を扱います。1950年代以降、日本政府は、工業化に伴う電力需要増に対応して原発を推進してきました。原発依存は、2011年3月の福島第一原発の事故後に見直されたものの、2020年代には燃料高騰や脱炭素などを理由に再稼働、運転期間の延長、新規建設といった「原発回帰」の政策が進んでいます。 他方、原発事故以降、(広義の)地域社会学者たちは、原発と原発事故の社会的影響を調査してきました。授業では、この成果に学びながら、原発依存を続けることが地域社会やそこを生きる人びとにもたらす意味を考えていきます。原発問題を題材にしながら、「自己責任」の声が人びとに競争主義的な精神を植えつけていく社会の中で、過剰な期待を寄せたり、失望したり冷笑的な態度をとったりするのではなく、地域に足場をおきながら人と人の連帯(つながり)の展望を探っていきましょう。

到達目標 / Learning objectives

地域社会学の基本的な概念を理解できる。その概念を使って、地域をめぐる問題を考察できる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○対話力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

授業は対面で実施されますが、授業中にオンライン上で関連資料の情報を共有したり、コメントや質問を求めたりしますので、パソコンなどインターネット接続できる機器を教室に持参することをお勧めします。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	イデオロギーとしての開発:開発は人にどんな夢を見せるのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	開発と「構造的差別」:「差別がある所に公害が起こる」とは、どういうことか	· ·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	開発の社会的影響:「お金の問題じゃない」、開発の影響とは何か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	原発の周辺① 放射性廃棄物:「原発のごみ」は、どこで、どう処理されるのか。	.`\	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	原発の周辺②「被ばく労働者」:誰が、どんな環境で原発の中で働いているのか		

授業計画/Class outline	The Man and District to the boundary of the bo		
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	「3・11」以前の反対者たち:なぜ、原発に反対していたのか。どうして止められなかったのか。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	「3・11」後① 訴訟:「ふるさとの喪失」の補償には、いくら払えばよいのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	「3・11」後② 自然エネルギー:原発のコストはどれだけなのか。「ご当地電力」は、どんな「まち」で	をつくるのか	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	「3・11」後③ 避難:なぜ避難が自己責任になるのか。避難者はなぜ批判されるのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
(第 11 回/春学期第 11 回)	「3・11」後④ 保養:被害者に対するどんな社会的支援があるのか。「子どもを守る」活動の中で	、女性たちはい	いかな
授業計画/Class outline	る経験をしているのか		
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
第 12 回/春学期第 12 回】	「開発の亡霊」:私たちはどうすれば「亡霊」と決別できるのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	全体のまとめ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業に関連する文献の読解	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】			
授業計画/Class outline			
 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		, (mill)	
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/ Preparation & review		Approx. time (min)	
/ I TOPULATION OF TONION		/ While (IIIII)	1

	. :				
授業計画/Class outl					
授業外学修(予習および復					目安時間(分)
/Preparation & reviev					/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7					
授業計画/Class outl	line				
授業外学修(予習および復	(習)				目安時間(分)
/Preparation & reviev	V				/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8					
授業計画/Class outl	line				
授業外学修(予習および復	图)				目安時間(分)
/Preparation & review	v				/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】				·
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)
/Preparation & reviev	V				/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	(a)				·!
授業計画/Class outl	line				
授業外学修(予習および復	图)				目安時間(分)
/Preparation & reviev	v				/Approx. time (min)
					·i
授業計画/Class outl	line				
授業外学修(予習および復	图)				目安時間(分)
/Preparation & reviev	v				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	回】				·
授業計画/Class out	į				
授業外学修(予習および復	(習)				目安時間(分)
/Preparation & reviev	v				/Approx. time (min)
	回】				<u>-</u> L
授業計画/Class outl	line				
授業外学修(予習および復	(習)				目安時間(分)
/Preparation & reviev	v				/Approx. time (min)
オンラインで実体す	: -る授業の回数/Number of sessions :	to he condu	atad anlina	3 回	
評価方法			cted offillite	評価基準等/Evaluation crite	wie
Evaluation	種別/Category	割合 %		計価基準寺/EValuation Crite	па
method	定期試験/Regular Exam				
memod	授業時間内に実施するテスト				
	/In-class/mid-term tests	100		ナ 欧 土 ニ ユ ニ コ - 田 四 に ユリ ー	さい。かたーナー、
	レポート/Report	100		を踏まえたうえで、問題に対して	週切に解合できてい
	les sur		るか。		
	授業への取り組み				
	/Effort/Participation				
	その他1/Other 1				
	その他2/Other 2				
	評価方法に関する備考				
	✓ Remarks for Evaluation method				
	課題等に対するフィードバック	コメントシー	-トを取り上げること	があります。	
	/Feedback method				
教科書	松米吐				

我行音 Textbooks 授業時に指示する。

参考書

Reference books

授業時に指示する。

URL

補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M1610	国際比較社会学					文
2.00 単位	講義	春学期	火曜 4 限	1201 教室		ナンバリング: SOC33330

比較社会学、教育、労働、制度、社会学的想像力

授業の概要 / Course outline

この授業では、他の国と比べた場合の日本社会の特徴について、教育・労働・家族(および社会福祉)の領域に中心的に着目しながら検討する。具体的な社会の違いを知ることを通じ、自分がもし異なった社会に生まれ育っていたら、今の自分とは異なる価値観をもつ人間だったかもしれないという社会学想像力をもつことで、グローバル化する社会における他者理解について考えていく。

到達目標 / Learning objectives

この授業では、単に社会の違いを並べるだけでなく、それを社会学として議論するための方法を社会学の先行研究から学んでいく。根拠のない日本特殊性論や文化還元主義と呼ばれるようなトートロジーではない形で、社会を比較するための理論と実証の基礎を身につけることがこの授業の最終目標である。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

[大学] (1000 00H	Oddio	
【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:何のために比較するのか	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第2回/春学期第2回】	日本社会は特殊か:社会学の考え方	·
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第3回/春学期第3回】	欧米との比較からみた日本の教育(1)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第4回/春学期第4回】	欧米との比較からみた日本の教育(2)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第5回/春学期第5回】	欧米との比較からみた日本の教育(3)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	小課題の提出	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第6回/春学期第6回】	欧米との比較からみた日本の労働(1)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第7回/春学期第7回】	欧米との比較からみた日本の労働(2)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】	欧米との比較からみた日本の労働(3)	
授業計画/Class outline		
·		***************************************

授業外学修(予習および復習)	小課題の提出	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	欧米との比較からみた日本の家族(2)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	欧米との比較からみた日本の家族(3)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	小課題の提出	目安時間(分) 60
∕Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	日本社会は特殊なのか?:日本特殊性論を疑う	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、(予習)復習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	総括	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	資料の確認、復習	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第15回/秋学期第2回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第16回/秋学期第3回】		
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
欠未外子修(ア首のよび復首) / Preparation & review		日女時间(ガ) / Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】		/ Approx. time (min)
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
ア Preparation & review		Approx. time (min)
		/ Арргол. шие (ши)
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		1 /
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		

授業外学修(予習および行				
	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および行	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			目安時間(分)
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および行	i i			目安時間(分)
/Preparation & revie	[/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	· ·			
授業計画/Class out				D 4-488 (A)
授業外学修(予習および行				目安時間(分)
Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class out				口办吐服(八)
授業外学修(予習および行	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			目安時間(分) 〈Approxy time (min)
Preparation & revie 【第 26 回/秋学期第 13				/Approx. time (min)
授業計画/Class out				
授業計画/ Glass Gul 授業外学修(予習および)				目安時間(分)
Preparation & revie				/Approx. time (min)
	i			/ Approx. time (min)
	する授業の回数/Number of sessions			
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation or	riteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	/In-class/mid-term tests	F0		2 1 + == -
	レポート/Report	50	2,3回小さな提出物を課す。最後に期末レポ	◯─トを誅す。
		F0	ロートーマルースの日の極楽士内に出土スープ	
	授業への取り組み	50	回によっては、その日の授業内容に対するコメ	ントシートを課す。 ま
	/Effort/Participation	50	回によっては、その日の授業内容に対するコメ た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう	ントシートを課す。 ま
	/Effort/Participation その他1/Other 1	50		ントシートを課す。 ま
	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	50		ントシートを課す。 ま
	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	50		ントシートを課す。 ま
	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method		た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう	ントシートを課す。 ま ことがある。
	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	コメントシ	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう	ントシートを課す。 ま ことがある。
教科書	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	コメントシ	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう	ントシートを課す。 ま ことがある。
Textbooks	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	コメントシクを全体	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう	ントシートを課す。 ま ことがある。 P容に対するフィードバッ
Textbooks 参考書	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=198	コメントシ クを全体 5,『自殺論	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 』中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20	ントシートを課す。まことがある。
Textbooks	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=198 訳版>』日本経済新聞社. 中根千種	コメントシ クを全体 5, 『自殺論 技, 1967, 『	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 』中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社	ントシートを課す。まことがある。 コ容に対するフィードバッ 004,『日本の経営<新 ・現代新書. ロナルド・ド
Textbooks 参考書	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1988 訳版>』日本経済新聞社. 中根千橋	コメントシ クを全体 5,『自殺論 支, 1967,『	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に体に対しておこなう。 『中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20。 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社場(上・下)』 まくま学芸文庫. 杉本良夫・ロス・マン	ントシートを課す。まことがある。 空に対するフィードバッ 2004,『日本の経営<新出現代新書.ロナルド・ドオア,1982,『日本人は
Textbooks 参考書	/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1988 訳版>』日本経済新聞社. 中根千札ーア, 1973=1993, 『イギリスの工場 「日本的」か?』東洋経済新報社. ト	コメントシ クを全体 5,『自殺論 技,1967,『 ・日本のエゼ	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 』中公文庫・ジェームズ・アベグレン、1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社 易(上・下)』ちくま学芸文庫・杉本良夫・ロス・マン・レン、1983=1988、『日本の高校:成功と代償』	ントシートを課す。まことがある。 P容に対するフィードバッ 004,『日本の経営<新は現代新書. ロナルド・ドオア, 1982,『日本人はサイマル出版会. 苅谷
Textbooks 参考書	をffort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 / Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック / Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1988 訳版>』日本経済新聞社. 中根千様 ーア, 1973=1993,『イギリスの工場 「日本的」か?』東洋経済新報社.ト 剛彦, 1995,『大衆教育社会のゆくえ	コメントシ クを全体 5,『自殺論 支, 1967,『 ・日本のエリ ・マス・ロー え』中公新書	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 『中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社 易(上・下)』ちくま学芸文庫. 杉本良夫・ロス・マン・リン, 1983=1988, 『日本の高校: 成功と代償』 『多喜弘文, 2020, 『学校教育と不平等の比	ントシートを課す。まことがある。 P容に対するフィードバッ 004,『日本の経営<新品代新書.ロナルド・ドオア,1982,『日本人はサイマル出版会. 苅谷較社会学』ミネルヴァ書
Textbooks 参考書	をffort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 / Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック / Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1988 訳版>』日本経済新聞社. 中根千様 ーア, 1973=1993,『イギリスの工場 「日本的」か?』東洋経済新報社.ト 剛彦, 1995,『大衆教育社会のゆくえ	コメントシ クを全体 5,『自殺論 支, 1967,『 ・日本のエリ ・マス・ロー え』中公新書	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 』中公文庫・ジェームズ・アベグレン、1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社 易(上・下)』ちくま学芸文庫・杉本良夫・ロス・マン・レン、1983=1988、『日本の高校:成功と代償』	ントシートを課す。まことがある。 P容に対するフィードバッ 004,『日本の経営<新品代新書.ロナルド・ドオア,1982,『日本人はサイマル出版会. 苅谷較社会学』ミネルヴァ書
Textbooks 参考書	をffort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1989 訳版>』日本経済新聞社. 中根千札一ア, 1973=1993, 『イギリスの工場 「日本的」か?』東洋経済新報社. ト剛彦, 1995, 『大衆教育社会のゆくえ 房。本田由紀・中村高康編, 2025,	コメントシ クを全体 5,『自殺論 支, 1967,『 ・日本のエリ ・マス・ロー え』中公新書	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 『中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社 易(上・下)』ちくま学芸文庫. 杉本良夫・ロス・マン・リン, 1983=1988, 『日本の高校: 成功と代償』 『多喜弘文, 2020, 『学校教育と不平等の比	ントシートを課す。まことがある。 P容に対するフィードバッ O04,『日本の経営<新品代新書.ロナルド・ドオア,1982,『日本人はサイマル出版会. 苅谷較社会学』ミネルヴァ書
Textbooks 参考書 Reference books	をffort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1989 訳版>』日本経済新聞社. 中根千札一ア, 1973=1993, 『イギリスの工場 「日本的」か?』東洋経済新報社. ト剛彦, 1995, 『大衆教育社会のゆくえ 房。本田由紀・中村高康編, 2025,	コメントシ クを全体 5,『自殺論 支, 1967,『 ・日本のエリ ・マス・ロー え』中公新書	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 『中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社 易(上・下)』ちくま学芸文庫. 杉本良夫・ロス・マン・リン, 1983=1988, 『日本の高校: 成功と代償』 『多喜弘文, 2020, 『学校教育と不平等の比	ントシートを課す。まことがある。 P容に対するフィードバッ O04,『日本の経営<新品代新書.ロナルド・ドオア,1982,『日本人はサイマル出版会. 苅谷較社会学』ミネルヴァ書
Textbooks 参考書 Reference books	をffort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method エミール・デュルケーム, 1897=1989 訳版>』日本経済新聞社. 中根千札一ア, 1973=1993, 『イギリスの工場 「日本的」か?』東洋経済新報社. ト剛彦, 1995, 『大衆教育社会のゆくえ 房。本田由紀・中村高康編, 2025,	コメントシ クを全体 5,『自殺論 支, 1967,『 ・日本のエリ ・マス・ロー え』中公新書	た、授業時に簡単なディスカッションをおこなう 一トや提出物を課した場合、その次の授業中に内に対しておこなう。 『中公文庫. ジェームズ・アベグレン, 1958=20 『タテ社会の人間関係:単一社会の理論』講談社 易(上・下)』ちくま学芸文庫. 杉本良夫・ロス・マン・リン, 1983=1988, 『日本の高校: 成功と代償』 『多喜弘文, 2020, 『学校教育と不平等の比	ントシートを課す。まことがある。 P容に対するフィードバッ O04,『日本の経営<新品代新書.ロナルド・ドオア,1982,『日本人はサイマル出版会. 苅谷較社会学』ミネルヴァ書

M1620			井上 直子			
2.00 単位	講義	春学期	金曜 3 限	8603 教室		ナンバリング:SOC33270

日本近現代史、ジェンダー史、社会史、言説分析

授業の概要 / Course outline

この授業は、日本における歴史社会学やジェンダー史学の具体的な成果から、社会を歴史的な視点から捉える方法を学ぶことを目的とする。日本では、特に近現代史において、社会学やジェンダーの観点から歴史を捉え直し新たな論点を提起してきた。そのときどきの社会状況も反映しながら更新してきた歴史研究と問題関心の変遷をたどることでこの点を確認し、私たちの歴史認識を見直していきたい。いかなる資史料を対象とすることで不可視のものとされてきた史実を見出し提起してきたか、歴史社会学が築き上げてきた雑誌メディアやライフストーリーの分析手法にも注目する。具体的には教科書でみなさんが勉強してきた日本近現代史のトピックを確認したうえで、歴史社会学やジェンダー史学による成果――問題意識とその分析手法、捉え直されあるいは発掘された対象史料等を紹介する。歴史社会学の問いと分析方法に学ぶことで、歴史的に社会を考察する視座を得ることを目標とする。

到達目標 / Learning objectives

・歴史社会学における歴史研究の方法と問題意識を理解し、説明できるようになる。・歴史社会学の観点から歴史や社会を考える手法を身につけ、課題を見出し自身の問題関心を深められるようになる。・授業内容と自分の考えを整理し、他者に伝わるコメント執筆ができるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

推奨なし

履修上の注意事項/Course guidelines

コメントペーパー、テストにおけるコピー・ペーストや剽窃などの不正行為、授業妨害は大幅な減点対象ないし単位を与えない。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス:授業の概要、扱う時代の概況		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	歴史教科書での近現代史の取り上げ方や叙述について確認、自分の考えや意見の整理	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	日本における歴史社会学と日本近現代史――歴史社会学による歴史の見方・問題意識、扱うま	· -	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第3回/春学期第3回】	明治維新と「国民」の形成	<u> </u>	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第4回/春学期第4回】	近代家族論とセクシュアリティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第5回/春学期第5回】	都市の形成と社会問題	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第6回/春学期第6回】	教育史への新たなアプローチと「子ども」の発見	L	.4
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第7回/春学期第7回】	アジア太平洋戦争とオーラル・ヒストリー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第8回/春学期第8回】	戦後日本における排除と包摂		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ 		
【第9回/春学期第9回】	社会運動をめぐる問い		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第 10 回/春学期第 10 回】	女性学・ジェンダー学と歴史研究		
授業計画/Class outline		_	
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
第 11 回/春学期第 11 回】	歴史社会学の理論と歴史①		
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第 12 回/春学期第 12 回】	歴史社会学の理論と歴史②		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第 13 回/春学期第 13 回】	歴史社会学の理論と歴史③		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の予習・復習(コメントペーパーのリプライ・コメントペーパーと授業ノート・参考文献等の復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習、次回授業テーマに関する基本事項の確認と文献・論文の予習など)、文献・論文(関連する	/Approx. time (min)	
	先行研究を含む)の自習、コメントペーパーの執筆まとめ		
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
(第 15 回/秋学期第 2 回]		·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
		目安時間(分) /Approx. time (min)	

授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	112,000,000,000,000,000,000,000,000,000,
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online 0回	

評価方法 Evaluation method

	- 22 16 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
.	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
n	定期試験/Regular Exam	60	到達目標への達成度に応じて評価する。
	授業時間内に実施するテスト		
	/In-class/mid-term tests		
	レポート/Report		
	授業への取り組み	40	授業後に毎回コメントペーパーを課し、授業を聞いて考えたことを書い
	/Effort/Participation		ていただく。提出をもって授業への取り組みを評価する。各回の理解
			度と考察を評価対象とするが、特に積極的なコメントペーパー執筆を
			高く評価する。
	その他1/Other 1		
	その他2/Other 2		
	評価方法に関する備考		
	/Remarks for Evaluation method		

	課題等に対するフィードバック	授業内で行なう。授業の冒頭で前回のコメントペーパーのフィードバックを行なうほ	
	/Feedback method	か、質問等はコメントペーパーで受け付け相談に応じる。	
教科書 Textbooks			
参考書 Reference books	・筒井清忠編『歴史社会学のフロンティア』(人文書院、1997年)・成田龍一『近現代日本史と歴史学』(中公新書、2012年)・久留島典子、長野ひろ子、長志珠絵編『歴史を読み替える ジェンダーから見た日本史』(大月書店、2015年)・井上輝子『日本のフェミニズム』(有斐閣、2021年)ほか授業で適宜紹介する。		
URL			
補足情報 Supplementary information			
備考 Remarks			

M1630	社会学原論 A/社	上会学原論	1 [D]		清原 悠	
2.00 単位	講義	春学期	水曜 2 限	8604 教室		ナンバリング: SOC12010

社会学、コミュニケーション、近代社会

授業の概要 / Course outline

この授業は社会学の考え方を学ぶ導入科目です。社会学は近代社会に影響を受けて誕生した比較的新しい学問ですが、社会学の理論や方法を用いると、どのような問いに、いかにして答えることができるでしょうか。社会学が取り組んできた問いや主題、それらに答えるために社会学が立ち上げてきた理論や概念、方法を学ぶことから、社会学的な考え方・答え方を学んでいきます。

到達目標 / Learning objectives

社会学が取り組んできた主要なテーマを説明できる。 社会学が立ち上げてきた理論や概念、方法をもちいて、社会現象を説明できる。 自分自身の経験や視点を相対化し、社会構造や制度と関連させて社会を分析的に説明することができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

社会学原論 A は社会学部メディア社会学科の必修授業であり、授業への継続的な参加が必要となります。 毎回の授業内容に対するコメントペーパーを、期日までに提出することが必要です。 オンデマンドで実施する回があります(6回)。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンスとイントロダクション――社会を知るとはいかなることか?		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会学の起源——社会学前史	3	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会を科学する	·	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	【オンデマンド】方法論的個人主義(1)	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	【オンデマンド】方法論的個人主義(2)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	方法論的集合主義(1)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	方法論的集合主義(2)		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	【オンデマンド】方法論的集合主義(3)		d
授業計画/Class outline			

***************************************		z	
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	【オンデマンド】近代社会とはなにか(1)——社会分業論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	【オンデマンド】近代社会とはなにか(2)——公私の分離と組織・集団		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	【オンデマンド】ジェンダーの社会学(1)——公私の分離と性別役割		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	ジェンダーの社会学(2)——差別、抑圧、ジェンダー平等		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	社会変動と社会運動	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で紹介された資料を授業の事前・事後で三回以上読み、関連事項を調べて、コメントペー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	パーを書く。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		<u></u>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			4====
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】			
【第21回/伙子别第0回】			

授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

3 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam	50	授業では科目に関連する知識を講義します。知識の正確な理解がで
		きているかどうか、社会現象に対する社会学的な分析ができるかどう
		か、表現が明晰かどうか、論理的な思考ができているかどうかを確認
		します。
授業時間内に実施するテスト		
/In-class/mid-term tests		
レポート/Report		
授業への取り組み	50	・コメントペーパーに基づいて評価します。・コメントペーパーの評価に
/Effort/Participation		ついては、下記の観点を考慮します。 1)授業の内容について、正
		確な理解に基づいて書いていること 2)客観な根拠に基づいて、分
		析的に思考していること(授業内容の単なる要約や、感想・印象批評
		にならないようにする) 3)表現が明確なこと・フィードバックとして、
		 コメントペーパーの中から紹介したいものを取り上げて、授業内でコメン
		トを行います。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
✓ Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	試験につい	いて、事後に解答例を公開します。
/Feedback method		

教科書 Textbooks

参考書 Reference books ・濱嶋朗·竹内郁郎·石川晃弘編(2005)『社会学小辞典 新版増補版』有斐閣 ·李侖姫 ·渡辺深(2022)『入門 社会学』ミネルヴァ書房 ·『学習指導要領』(最新版) このほか授業中に指示します。

URL

「他人と生きるための社会学キーワード」(太郎次郎社 エディタス)https://www.editus.jp/archives/7678

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks ・授業資料の配布、提出物の回収は全て Google Classroom を用いて行います。初回の授業開始までに 3S に案内の掲示を出します。・対面授業では、講義スライドは授業後に Google Classroom にアップします。欠席者は翌週の授業までに確認すること。教室での再配布は行いません。

M1640	メディア社会学					敦史
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 2 限	1002 教室		ナンバリング:MCC12010

メディア論、メディア社会学、メディア、コミュニケーション、メディア・リテラシー

授業の概要 / Course outline

「メディア」とはなんだろうか?テレビや新聞などのマスメディアはもちろん、スマートフォンや Web サイト、SNS など私たちの日常はさまざまなメディアに囲まれ、日々のコミュニケーションはこれらのメディアを通じて営まれている。本授業では、メディア論の理論的視座や、メディア社会学における基礎的な概念について学ぶとともに、メディアと社会の相互構成的な関係について事例を交えて多角的に分析・考察する。また、理論や知識を学ぶだけでなく、ディスカッションや実践課題を通じてみなさん自身のメディア観を見直してもらうことで、メディアの未来についても考える力を身につける。

到達目標 / Learning objectives

・メディアの日常性に気づき、メディアの存在を意識できるようになる・身の回りのメディアについて、基礎的な理論・概念を用いて批判的に分析することができる・メディアの社会的な役割や影響を理解し、そのあるべき姿を考えられるようになる

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

ノート型 PC(Windows/Mac を問わない)またはタブレット端末の持参を強く推奨する(授業資料の確認およびグループワーク等の資料作成に利用する)。

履修上の注意事項/Course guidelines

・受講生の人数および前提知識、関心、授業期間中のメディアの動向に応じて、授業内容を柔軟に変更することがある。・授業内でワークショップ等ディスカッションの機会を設ける予定であり、積極的な参画姿勢が求められる。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:メディア社会学の射程		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	「メディア」とは何か:メディア論の視座		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	日常的なメディア利用:スマートフォンとは		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	メディア・リテラシーの系譜と批判的思考		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	マス・メディアが社会にもたらしたもの		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	テレビを考える: 映像が伝えるもの・伝えないもの		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	出版・雑誌を考える:「古い」メディアと表現の可能性		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分)	240

/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 240
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 240
/Preparation & review		/Approx. time (min)
 【第 10 回/春学期第 10 回】	 プラットフォームとアルゴリズム:環境を管理するメディア	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分) 240
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
	メディアと社会問題:融解するプライバシー	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分) 240
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	メディアと社会問題:インフォデミックの時代	ii
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出	目安時間(分) 240
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ:メディア社会学を学ぶ意義	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習と最終課題の提出	目安時間(分) 300
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第15回/秋学期第2回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第16回/秋学期第3回】		
授業計画/Class outline		= t-1 m (1)
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】 授業計画/Class outline		
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
欠乗外子修(ア省あよび復省) Preparation & review		日女時间(ガ) / Approx. time (min)
		/ Approx. tille (tilli)
授業計画/Class outline		
授業計画/ Class Outille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/ Preparation & review		Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		/ / //pp/v// (IIIII/
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		上文時间(カナー
【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ / //pp/ v// (IIII/ (IIIII/
授業計画/Class outline		
1文 未計 四 / しは88 いい 1 1		

/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8回】	·	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで宇体する塔	業の回数 / Number of sessions to be conducted online 1回	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
定期試験/Regular Exam				
授業時間内に実施するテスト				
∕In-class/mid-term tests				
レポート/Report	50	期末に課す最終課題の提出と内容によって評価する		
授業への取り組み	50	毎週の出席者に課すミニレポートの提出と内容によって評価する(欠		
/Effort/Participation		席した場合、その週のミニレポートは評価対象にならないので注意する		
		こと)。		
その他1/Other 1				
その他2/Other 2				
評価方法に関する備考				
✓ Remarks for Evaluation method				
課題等に対するフィードバック	授業内容の復習と理解度の確認、次回授業の予習も兼ねて、毎週ミニレポートを			
/Feedback method	課す。その	D記述内容について授業内でフィードバックを行う。		

教科書 Textbooks

宇田川敦史(2024)『AI 時代を生き抜くデジタル・メディア論』北樹出版(ISBN: 978-4-7793-0759-1)

参考書 Reference books 水越伸・飯田豊・劉雪雁(2022)『新版 メディア論』放送大学教育振興会 松井広志・岡本健(編著)(2021)『ソーシ ャルメディア・スタディーズ』北樹出版 水嶋一憲・ケイン樹里安・妹尾麻美・山本泰三(編著)(2023)『プラットフォーム資 本主義を解読する: スマートフォンからみえてくる現代社会』ナカニシヤ 飯田豊(編著)(2017) 『メディア技術史-デジタ ル社会の系譜と行方 改訂版』北樹出版

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業計画は、受講生の人数・状況や進捗に応じて適宜変更する可能性がある。

M1650	メディア学説史					
2.00 単位	講義	秋学期	木曜 4 限	8503 教室		ナンバリング:MCC22010

メディア メディア論 効果研究 カルチュラルスタディーズ 社会学

授業の概要 / Course outline

本授業の目的は、現代社会におけるメディアやそれを利用する人々を、自身の関心に基づいて研究する能力を身につけるため、メディアの発達史やメディア研究史について学習することである。 授業は講義形式で行う。最初はメディア史や、メディアの発達が人びとに与えた影響などについて学習する。その後、効果研究やメディア・オーディエンス研究の歴史や調査方法について学習し、研究を行うための知識を身につける。

到達目標 / Learning objectives

1、現代社会のメディアに関する経験や環境について歴史的経緯も踏まえて説明することが出来る。2、自分自身の関心に基づき、特定のメディア現象を考察したレポートを作成できる。 最終課題の提出に向けて、知識の習得だけでなく、自発的にメディアについて考える能力を身につける必要がある。そのため関心があるメディアに関する事象について、新聞記事や雑誌記事などの資料を収集することを推奨する。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

特に指定しない。ただし、本科目では紙媒体のレジュメは配布しないため、自身で印刷しない場合、ノードPCなどを利用して受講することを認める。

履修上の注意事項/Course guidelines

上述のとおり、紙媒体のレジュメは配布しない。レジュメは Musashi3S において、1 週間前を目安に pdf 形式で配布するので、各自ダウンロード、出力などを行い、授業に臨むこと。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション、なぜメディア研究か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	メディア論(1):メディア研究の見取り図/印刷技術のもたらしたもの	'	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	メディア論(2): 電子メディアのもたらしたもの	***************************************	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
∕Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	効果研究史(1):直接効果論·皮下注射論	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	240
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。 38 に設置する	/Approx. time (min)	
	WEB テストを受けること。		
【第5回/春学期第5回】	効果研究史(2):限定効果説・利用と満足の研究		·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に38 で配布した資料に目を通すこと。復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	240
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	効果研究史(3):新しい効果論(強力効果説)	```	·d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	オーディエンス研究史(1):エンコーディング/ディコーディング	·	·
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分) 9	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 1	180
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。 3S に設置した	/Approx. time (min)	
	WEB テストを受けること		
 【第9回/春学期第9回】		<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に38 で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分) 9	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	構成主義的視座の実例/ファン研究の展開	\	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分) 9	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	現代社会のメディア研究(1):日本におけるオーディエンス/ファン研究	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分) 9	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	現代社会のメディア研究(2):インターネット時代の論点	LJ	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分) 1	180
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。 3S に設置した	/Approx. time (min)	
	WEB テストを受けること		
【第 13 回/春学期第 13 回】	現代社会のメディア研究(3):メディア経験とアイデンティティ	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に3S で配布した資料に目を通すこと。 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分) 3	300
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べて、レポート執筆に向けた準備を行うこと。レポートを執筆す	/Approx. time (min)	
	ವ こと。		
【第14回/秋学期第1回】		\	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline		şınınınınınınınınınınınınınınınınınının	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第18回/秋学期第5回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	

/5				74 2 7 2 1
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7				
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および行				目安時間(分)
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8				
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および行				目安時間(分)
/Preparation & revie	<u> </u>			/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9				
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	復習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	eW .			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	0回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	復習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	1回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	復習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W .			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	2回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	3 回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	ew .			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	する授業の回数/Number of sessions	to be condu	octed online 0回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criter	ria .
Evaluation	 定期試験/Regular Exam			
method	 授業時間内に実施するテスト			
	/In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	70	 メディアに関連する現象について本科目で学習しナ	
			 するレポートを執筆する。	
	 授業への取り組み			
	/Effort/Participation			
	その他1/Other 1	30	 38 にて実施する確認テスト(3 回分)。 授業で学習	型した内容が身につ
			 いているか確認する。	
	その他2/Other 2			
			<u> </u>	
	/Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	授業時に	収集したコメントについては、次の回でフィードバックを	を行う。また、WEB
	/Feedback method		いては、授業内で簡単な解説を行う。	
教科書 Textbooks	なし。毎回レジュメを配布する。			
参考書 Reference books	特になし。ただし、毎回のレジュメに参	考文献を記	載する。	
URL				
補足情報				

Supplementary information	
備考 Remarks	

M1660	コミュニケーション理論/コミュニケーション論			橋元 良明		
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 3 限	8702 教室		ナンバリング:MCC22020

コミュニケーション・メディア発展史、言語コミュニケーション、ことばと思考、異文化コミュニケーション

授業の概要 / Course outline

講義内容「コミュニケーション論」と言っても様々な切り口がある。コミュニケーションを媒介する言語やメディアに焦点を当てることもできる一方、コミュニケーションによって生じる様々な現象を分析することも守備範囲である。また、人類がたどってきたコミュニケーション・メディアの歴史を考察したり、現在という情報環境激変期のコミュニケーション変化を分析したりすることも重要なテーマである。この授業では、まず、人間がたどってきたメディアの発展史を追う。言葉の獲得や文字の発明は人間の認知過程や社会にどのような影響をもたらしたのか、さらにはその後の諸メディアの発展は人にとってどのような意味があったのかを説明する。次に、人間のしゃべる言葉は、表面的にかなり様々だが、話す言葉の構造が異なれば、考え方に違いがでるのだろうか、とくに日本語にはどのような特徴があって、それは日本人の思考体系とどのような関連をもっているのかを検討する。最後に、コミュニケーション・スタイルの違いや非言語的コミュニケーションの違いによって、どのような異文化コミュニケーションギャップが生じるのか、実際に外国で取材したビデオを交えて考察したい。 授業の目標 我々のコミュニケーションがどのような仕組みで成り立っているのか、言葉がどのような働きを果たしているのかが理解できるようになることをめざす。具体的には、たとえば、日米、日韓等の異文化コミュニケーションの際の摩擦の原因なども具体的に把握し、より円滑なコミュニケーションが可能になることを目標とする。

到達目標 / Learning objectives

人のコミュニケーションの本質を理解し、異文化コミュニケーション摩擦も含め、コミュニケーションにかかわるトラブルを克服する力を養う。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○専門的知識 ○批判的な学習態度 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業では主に言語を中心としたコミュニケーション論の基礎を扱う。「メディア」自体については、「マス・コミュニケーション論」を受講することを進める。 受講にあたっては、参考書の『コミュニケーション学への招待』を読んでおくこと。

【第1回/春学期第1回】	授業の概要		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	メディア発展史概観 印刷術まで		-d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	メディア発展史概観 新聞からインターネットまで		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	ヒトが高度な減を話せるようになったわけ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ことばの機能		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	失語症患者から考えることばの役割		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	

	ことばが違うと考え方も違うのか		
授業計画/Class outline			1
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	日本語は非論理的な言語か		
授業計画/Class outline		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	ことばと思考―ウォーフの仮説		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>]</u>
【第 10 回/春学期第 10 回】	日本語の独自性と日本的メンタリティ 鈴木孝夫の日本語論		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 11 回/春学期第 11 回】	日本語の独自性と日本的メンタリティ 角田理論と語彙・表現から見た日本人の心性		
授業計画/Class outline			,
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	異文化コミュニケーション摩擦―日米		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	異文化コミュニケーション摩擦―日韓 授業の総括		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業で配布した資料をその都度、復習しておくこと。	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第 20 回/秋学期第 7				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N III			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
∕Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	Image: Property of the property of the			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	夏習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	夏習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	· •			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	- る授業の回数/Number of sessions t	to be condu	octed online 0回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation c	priteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	∕ln-class/mid-term tests			
	レポート/Report	70	授業期間内に1回実施。 授業内容を正確に	りかいしているかどうか
	授業への取り組み	30	授業参加度	
	/Effort/Participation			
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考	レポートの	評価とのバランスも考慮するが、欠席は1回につ	つき7点程度の減点とす
	∕Remarks for Evaluation method	る		
	課題等に対するフィードバック	授業中に	適宜コメントする。	
	/Feedback method			
教科書				
Textbooks				
参考書 Reference books	橋元良明編『コミュニケーション学への)招待』大修	館書店	
URL				
補足情報				
作用、足・1月 半収 Supplementary information				
備考 Remarks				

M2780	映画研究/映画論				佐藤 博	昭
2.00 単位	講義	春学期	月曜3限	1001 教室		ナンバリング:MCC33010

映像記録技術 映像文法 映画の起源 実験映画 市民映像 記録映画/劇映画

授業の概要 / Course outline

映像記録技術の発生から様々なメディアへの派生を踏まえ、表現方法の変遷をたどりながら進行する。選ばれた撮影対象を映像表現として 構成する方法を比較し、さらに作品の発信形態や目的を探り、社会との関係を考察する力を身につける。可能な限り映像作品の試写を行い、各回で具体的なテーマを設定し授業を進める。参照する作品は劇場公開された「映画」に限らない。授業を通じて、映像の歴史と映像表現の多様さを理解し、映像の読解力を身につける。

到達目標 / Learning objectives

映画を発明したのは誰なのか? この疑問に答えられるようになる。また、映画という記録技術がなぜ複数の地域で多発的に現れたのか? この疑問を深めることになる。同様に今日のデジタル映像につながる電子映像の発明を知り、その展開の多様性を理解できるようになる。それらを2度のレポートにまとめることにより、映像に関する知識を定着する方法に出会う。あえて「出会う」と書くのは、この授業は膨大な映像研究の入り口を示すに過ぎないからである。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

資料配布や各回のコメント提出を Classroom を使用して行うため、それらを確認・提出できるノート PC・タブレットなどモバイル端末の持参を推 奨する。 授業時間前後にも配布資料の確認やコメント提出(翌日まで)はできるので、授業への持参は必須ではない。

履修上の注意事項/Course guidelines

「映画研究」という科目名から、安易に娯楽映画を連想しないで欲しい。見ているだけで楽しい映画を授業で取り上げることは皆無である。映像表現と歴史・社会との繋がりに重点を置くため、事前に、少なくとも映像文化に対する興味を自ら喚起しておくこと。また、Classroomで提示した参考視聴作品は必ず視聴し、補助的に指示した参考資料も確認すること。100%の出席を前提とし、欠席は授業参加度の範囲で減点の対象とする。出席率が60%に満たない者は評価対象としない。加えてレポート課題の提出が2度とも提出されていることで評価対象とする。

【第1回/春学期第1回】	映画を発明したのは誰か 映画の発明に携わった人物は、なぜ映画に取り組んだのか。最初其	肌の映画は何を	撮影
授業計画/Class outline	対象とし、どのように公開したのか。その後に産業としてどのような展開をしたのかを理解する。		
授業外学修(予習および復習)	予習:1800 年代後半から 1900 年代初頭にかけての時代背景を理解してくこと。 復習:授業	目安時間(分)	60
/Preparation & review	内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が参	/Approx. time (min)	
	照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
【第2回/春学期第2回】	映画文法の試行錯誤 今日の映画言語に繋がる基本的な文法は、どのようにして発見され、展開	ー 乳したのか。	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:第1回の授業を踏まえ、1800年代後半から1900年代初頭にかけての時代背景をより	目安時間(分)	150
/Preparation & review	深く理解してくこと。 復習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する	/Approx. time (min)	
	映像作品は、授業外で各自が参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
【第3回/春学期第3回】	映画文法の成熟 1900 年代初めの映画には、既に現在に繋がる映画文法が現れ、様々な表	児を獲得してい [.]	く。そ
授業計画/Class outline	の過程を具体的な映画を見て考える。		
授業外学修(予習および復習)	予習:第 1 回、第 2 回の授業を踏まえ、1900 年代初頭の社会状況をより深く理解してくこと。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	復習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外	/Approx. time (min)	
	で各自が参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
【第4回/春学期第4回】	実験映画の起源を知る 1920 年代の現れた実験映画について、その源流をたどり代表作品を観	<u>.</u> 見る。	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:1920年代の芸術運動を調べておくこと。 復習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであ	目安時間(分)	180
/Preparation & review	るために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が参照すること。参照してほしい作品は	/Approx. time (min)	
	必要に応じて各回で示す。		
【第5回/春学期第5回】	実験映像の展開-1 実験映画は戦後のアンダーグラウンド映画、個人映画として現在も制作さ	れている。現在	の実
授業計画/Class outline	験映像を見ることで、その表現手法の実験性を考察する。		
授業外学修(予習および復習)	予習:1920 年代の芸術運動と共鳴した実験映画の変遷を確認しておくこと。 復習:授業内で	目安時間(分)	180
/Preparation & review	紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が参照	/Approx. time (min)	
		1	1

	すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
【第6回/春学期第6回】	実験映像の展開-2 新しい映像表現・ビデオアートとして現代美術との融合へと向かった方向を、	作品を交えて	概説
授業計画/Class outline	する。		
授業外学修(予習および復習)	予習:1960 年代の芸術運動と時代背景を理解しておくこと。 復習:授業内で紹介できる映像	目安時間(分)	180
/Preparation & review	はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が参照すること。参照し	/Approx. time (min)	
	てほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
【第7回/春学期第7回】	映像表現の現在-1 独立系ビデオジャーナリスト登場から、その後の活動を紹介し、現在に繋が	バるビデオジャー	ーナリ
授業計画/Class outline	ズムの方法を探る。		
授業外学修(予習および復習)	予習:1970年代のアメリカのカウンターカルチャーについて、その運動を調べておくこと。 復	目安時間(分)	120
/Preparation & review	習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外で	/Approx. time (min)	
	各自が参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
【第8回/春学期第8回】	映像表現の現在-2 ドキュメンタリーの現在性 市民映像作家による優れたドキュメンタリー作品	品をとりあげ、そ	·の表
授業計画/Class outline	現の現在性を考察する。		
授業外学修(予習および復習)	予習:1978年にスタートした東京ビデオフェスティバル(TVF)を始め、その後に現れた国内外	目安時間(分)	150
/Preparation & review	の市民参加の映像祭について調べておくこと。 復習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであ	/Approx. time (min)	
	るために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が参照すること。参照してほしい作品は		
	必要に応じて各回で示す。		
【第9回/春学期第9回】	映像表現の現在-3 新たなビデオ表現 若い映像作家の作品を通じて、アートとして、あるいはフ	プライベートドキュ	ュメン
授業計画/Class outline	トとしてのビデオ映像の可能性を考察する。		
授業外学修(予習および復習)	予習:1980年代以降にビデオアートが全盛期となるが、その背景を考察しておくこと。 復習:授	目安時間 (分)	180
/Preparation & review	業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が	/Approx. time (min)	
	参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。		
		見る。人々の習	慣や
授業計画/Class outline	思想、行動様式などを劇映画から読み取ることが出来る。		
授業外学修(予習および復習)	予習:長編映画、中編映画、短編映画、ショートムービーといった用語について調べておくこと。	目安時間(分)	180
/Preparation & review	復習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外	/Approx. time (min)	
,	で各自が参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。	,,	
	短編劇映画の展開-2 世界各国の短編映画から、その国や地域の状況が反映された作品を	見る。人々の習	慣や
授業計画/Class outline	思想、行動様式などを劇映画から読み取ることが出来る。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,
授業外学修(予習および復習)	予習: 社会問題を背景にした劇映画を幾つか挙げられるように調べておくこと。 復習:授業内	目安時間(分)	180
/Preparation & review	で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授業外で各自が参照	/Approx. time (min)	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。	,pp ()	
【第 12 回/春学期第 12 回】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 夸のために制作	こされ.
授業計画/Class outline	た短編映画から、戦後民主主義の足取りを探る。	- 07/20712 (b) [F	
授業外学修(予習および復習)	予習:戦後から 1960 年代にかけてどのような社会教育が必要とされていたのかを調べておくこ	目安時間(分)	180
Preparation & review	と。 復習: 授業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各回に関連する映像作品は、授	/Approx. time (min)	100
/ Troparation & Tovicw	業外で各自が参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて各回で示す。	/ Approx. tillo (IIIII)	
【第 12 同 / 喜学期第 12 同】	ドキュメンタリー映画から社会を読む-2 現在のドキュメンタリー映画から現在の問題を知る 現在	のドキュメンタロ	I—啦
授業計画/Class outline	画や、テレビドキュメンタリーを観ることで、現代社会の問題を読む。	ひかイ ユグンブウ	, K
授業計画/ Olass Outline 授業外学修(予習および復習)	■ で、	目安時間(分)	180
Preparation & review	名を挙げられるようにしておくこと。 復習:授業内で紹介できる映像はごく僅かであるために、各	Approx. time (min)	100
/ Freparation & review		/ Approx. tille (IIIII)	
	回に関連する映像作品は、授業外で各自が参照すること。参照してほしい作品は必要に応じて		
【第 14 回/秋学期第 1 回】	各回で示す。 		<u> </u>
授業計画/Class outline		日本吐服 /八)	T
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【体 15 □ /4/光+4+ 4 ○□ * **			
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
		目安時間(分) /Approx. time (min)	

授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	·
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	\
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	·
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	·
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	<u></u>
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	: :

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト	10	各回の授業終了後にコメントペーパーを提出する。その記載内容を評
✓In-class/mid-term tests		価する。1. 授業内容の理解 2. 授業内容や参考視聴作品への各
		自の意見など
レポート/Report	80	2 度のレポート提出をそれぞれ 40%とし、合計 80%で評価する。レポ
		一ト課題は授業内で提示する。2回とも1200文字程度で実施する。
授業への取り組み	10	各回にコメントペーパーの記載内容は、授業への取り組みとしても評価

/Effort/Participation	する。					
その他1/Other 1						
その他2/Other 2						
評価方法に関する備考	全授業数の半分の時期(6~7回目)を目安に一度、最終授業日に二度目のレポ					
✓ Remarks for Evaluation method	ート提出を求める。 それぞれを 40%で評価し、合計 80%の評価とする。 コメントペ					
	ーパーの記載内容などを授業参加度として 20%で評価する。 100%の出席を					
	前提とし、欠席は授業参加度の範囲で減点の対象とする。出席率が 60%に満た					
	ない者は評価対象としない。加えてレポート課題の提出が2度とも提出されている					
	ことで評価対象とする。レポートの課題は授業内で発表する。					
課題等に対するフィードバック	各回のコメントペーパーの記載から、共有すべき質問や意見については、次回の					
/Feedback method	授業内でフィードバックする。					
特に指定をしない。毎回の授業のテーマ・内容・作品解説などを配布する。						
松本恭幸・佐藤和文・佐藤博昭著『令和のローカルメディア』あけび書房 佐藤博昭著『戦うビデオカメラ』フィルムアート社						
佐藤博昭・西村智弘編『スーパー・アヴァンギャルド映像術』フィルムアート社 佐藤忠男編『シリーズ 日本のドキュメンタリ						
一』岩波書店 村山匡一郎編『映画は	世界を記録する~ドキュメンタリー再考』森話社 村山匡一郎編『ドキュメンタリー;リ					
アルワールドへ踏み込む方法』フィルム	4アート社					

教科書 Textbooks

参考書 Reference books

URL

授業に関連する Web サイトなどは、各回の授業で示す。

補足情報

Supplementary information

備考

Remarks

M2790	エレクトリックメディア論/マルチメディア論				山内 萌	İ
2.00 単位	講義	春学期	木曜 3 限	1201 教室		ナンバリング:MCC33020

メディア 電子メディア 情報化

授業の概要 / Course outline

本講義では、メディアの電子化・情報化の歴史をたどりながら、現代社会におけるメディア技術の進化が人々のコミュニケーション、文化、社会に与えた影響を理解します。後半では、受講生がグループを組んで、電子メディアに関する現象の課題設定と問題解決に取り組みます。この発表を通じて批判的思考を深めます。

到達目標 / Learning objectives

1.メディアの歴史的背景の理解:メディア技術がどのように発展してきたか、またその社会的影響を歴史的視点から説明できる。 2.現代メディアの特性の理解:スマートフォンやソーシャルメディアを含む現代の電子メディアの特性と、それが文化や社会に与える影響を分析できる。 3. 批判的思考力の養成:メディア技術と社会の関係について、批判的視点から評価・議論する力を身につける。 4.グループでの共同作業能力の向上:チームでのリサーチとプレゼンテーションを通じて、コミュニケーション能力と協働力を高める。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

各回のリアクションペーパーは Google フォームを使って回答してもらうので、ネットに接続できる機器を持参してください。 また、グループワーク 実施期間は授業中に文献調査や資料作成をしてもらいます。 なるべく PC やタブレットなどを持参するようにしてください。

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	第 1 回:イントロダクション・講義の目的と進め方を説明・メディアの定義とその多様性について	議論・電子メラ	ディア
授業計画/Class outline	の歴史を概観		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	第2回:メディア技術の黎明期 ・電信・電話の発明と社会への影響・19世紀の通信技術の	 革新	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	第3回:映画メディアの誕生と進化・映画の技術的発展(リュミエール兄弟、トーキーの登場な	ど)・映画が社	会や
授業計画/Class outline	文化に与えた影響・映像表現の進化と他メディアとの関係性		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	第 4 回: ラジオとテレビの登場 ・ラジオ放送の普及とその社会文化的意義・テレビ放送がもた	らした視覚文化	ኌの変
授業計画/Class outline	化		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	第 5 回:コンピュータとインターネットの起源 ・コンピュータの発明と初期の利用(ENIAC、UNIVA	.C など)・インタ	ューネ
授業計画/Class outline	ットの誕生(ARPANET、TCP/IP)		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	第6回:スマートフォンとソーシャルメディアの台頭 ・モバイル技術の進化とスマートフォンの普	及・ソーシャル	メディ
授業計画/Class outline	アが変えたコミュニケーションの在り方		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	第7回:グループワーク準備 ・グループワークの進め方について教員から説明・グループ編成	とテーマ決定	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	グループワークを進めるにあたり、メンバー間で作業環境や連絡手段を共有してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】 授業計画/Class outline	第8回:課題設定 ·前回決めたテーマに対して、現状どのような課題が存在しているのか調査 設定	·解決したい課	題を
授業外学修(予習および復習)	課題設定パートの発表資料を作成してください。	目安時間(分)	60
Preparation & review	环因以足バープン元衣負付をIF以してV.CCV。	Approx. time (min)	00
【第9回/春学期第9回】		/ ripprox. tillo (ilili)	<u>.i</u>
授業計画/Class outline	31 0 日・別の人が別が Mexic Cores Mexic Cores Mexico Cores Mexi		
授業外学修(予習および復習)	現状分析パートの発表資料を作成してください。	目安時間(分)	60
Preparation & review	SUNDING TO SURGESTION OF CALCULA	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	原因特定パートの発表資料を作成してください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 11 回/春学期第 11 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	解決案パートの発表資料を作成してください。 次回以降の成果発表の練習をしてください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】		生からの質疑応	J 5答
授業計画/Class outline			-
授業外学修(予習および復習)	発表グループの内容について良かった点と改善点をまとめてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】		・ 受講生からの	質疑
授業計画/Class outline	応答・授業全体の振り返りと総括		
授業外学修(予習および復習)	発表グループの内容について良かった点と改善点をまとめてください。 授業全体の感想をまと	目安時間(分)	30
/Preparation & review	めてください。	/Approx. time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】			_!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】	······································		.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			-3
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】		·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	業の回数/Number of sessions to be conducted online	3 🗇	

評価方法
Evaluation
method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
/In-class/mid-term tests		
レポート/Report	30	評価ポイント: 期末レポートの提出
授業への取り組み	20	評価ポイント: 出席、リアクションペーパーの提出
/Effort/Participation		
その他1/Other 1	50	評価ポイント: グループワークへの参加態度、議論に積極的に参加し
		ているか ※全5回あるグループワーク作業回のうち3回以上欠席し
		た場合は評価対象外です
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
✓ Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	グループワ	フークの成果発表について、発表後に教員からフィードバックを行う。
/Feedback method		

教科書

Textbooks

参考書

Reference books

授業内にて適宜提示

URL

補足情報

備考 Remarks 本講義は進行状況によってオンラインにて実施する場合があります。 都度受講生に連絡しますので、教員からの連絡を 確認できるようにしておいてください。

Supplementary information

M2800	グローバリゼーショ	ンとメディア	/グローバル時代のメディア	アンジェ		ア社会学アンジェロ・イシ		
2.00 単位	講義	春学期	金曜 3 限	1001 教室		ナンバリング:MCC33030		

グローバリゼーション、在日外国人、移民、メディア、エスニシティ、マイノリティ、多文化共生、戦争、人権

授業の概要 / Course outline

この授業では「グローバリゼーション」、「メディア」、「人の国際移動」をめぐる様々な事象や課題について考察する。とりわけ「在日外国人」に着目し、複数の事例を比較検討する。タイムリーなトピックにも着目するので、今年度は大阪万博も話題になるだろう。日本では 1980 年代以降のいわゆるニューカマー外国人の急増に伴い、様々なマイノリティ集団による新聞、雑誌、テレビなどが出現した。最近は 250 万人の登録者数を誇る在日ブラジル人ユーチューバーもいる。いわゆる「エスニック・メディア」を考察することも、メディア社会学と国際社会学の双方の観点から有意義である。自殺予告のサンバから共生を唱えるラップ音楽まで、セルフ・ドキュメンタリーから「多文化共生動画」まで、その可能性と多様性は未知数である。他方、オリンピックやサッカーワールドカップ、3.11(東日本大震災)や 9.11(テロ事件)、戦争、コロナ危機などのトピックを、「国境の壁」や「言葉・文化・心の壁」、さらには「法・制度の壁」などのキーワードから解読する。

到達目標 / Learning objectives

この授業の到達目標は、「外国人」の急増とそれに伴う日本社会の様々な変化やチャレンジに ついて知識と理解を深めることである。同時に、グローバル時代を考える上でメディアや「多文化共生」の諸問題について理解を深めることである。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業は講義科目でありながらも、頻繁に小グループに分かれてグループディスカッションをし、それを全体に向けて報告する場面もあるので、その点も加味して履修を検討してください。

【第1回/春学期第1回】	なぜ、今、「隣の外国人」について知る必要があるのか。いきなり大クイズ大会:どんな「外国人」が	何人いるのか	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review	することを推奨する。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	「国際空港の社会学?」:各国の空港で「外国人」がどう呼ばれるかを国際比較	L	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review	することを勧める。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	9.11 とメディア — オムニバス映画『セプテンバー11』を題材に	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review	することを勧める。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	「エスニック・メディア」の意義と役割。	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review	することを勧める。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	オリンピックやワールドカップから考えるグローバリゼーションとメディア	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review	することを勧める。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	コロナ危機を国際社会学とメディア社会学の双方から考える: 在日外国人がパンデミックで直面	した国境・言葉	€·制
授業計画/Class outline	度・心の壁		
授業外学修(予習および復習)	移民の音楽とその歌詞を解読する	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	マイノリティによる表現法:ラップ音楽と自分探しのセルフ・ドキュメンタリー		
授業計画/Class outline			

/Preparation & review する	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック ることを勧める。 ・画で描かれる「外国人」	目安時間(分) /Approx. time (min)	60
【第8回/春学期第8回】 映		/Approx. time (min)	
	画で描かれる「外国人」		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) 授事	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review する	ることを勧める。	/Approx. time (min)	
【 第9回/春学期第9回 】 3.1	11と在日外国人〜風刺画やニュースの国際比較から考える公共性		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) 授業	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review する	ることを勧める。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】 エス	スニックマイノリティの多様性と可能性:「アメラジアン」、移民芸能人のアイデンティティ・マネジメ	ヘント	!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) 授業	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review する	ることを勧める。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】 「移	多民政策」と「多文化共生」を考える:「多民族·多言語·多文化化」する日本社会		i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) 授事	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review する	ることを勧める。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】 ゲン		,	i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) 授業	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review する	ることを勧める。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】 テレ	レビニュースの国際比較~グローバルとローカルの狭間で。		1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習) 授	業のテーマと関連する報道(新聞記事、テレビニュース、ネット上のコンテンツなど)を チェック	目安時間(分)	60
/Preparation & review する	ることを勧める。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		<u>.</u>	i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】	······································	,======±	i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		i	i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	***************************************
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		i	i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
/ 110Paration & 1011011	;		<u></u>
【第20回/秋学期第7回】			-

授業外学修(予習および復	图				目安時間(分)	
∕Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)	
/Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	(習)				目安時間(分)	
/Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	(習)				目安時間(分)	
/Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	[習]				目安時間(分)	
/Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12	回】					
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)	
∕Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13	回】					
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	習)				目安時間(分)	
∕Preparation & review	N				/Approx. time (min)	
オンラインで実施す	: -る授業の回数/Number of sessions t	o be condu	ucted online	3 回	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	
評価方法	種別/Category	割合 %		評価基準等/Evaluation o	priteria	
Evaluation	定期試験/Regular Exam	H3H /V		TIME中17 Evaluation 6	orreoria .	
method	授業時間内に実施するテスト					
metriou	/In-class/mid-term tests					
	レポート/Report	100	╫╁╷╬┈┟≴┋	課すが、授業への参加態度も	火 虐士ス	
	授業への取り組み	100	州木レハートを記	は9か、反表への参加悠及も	ち思りる。	
	/Effort/Participation					
	その他1/Other 1					
	その他2/Other 2					
	評価方法に関する備考					
	Remarks for Evaluation method	- 1> 1 .8		ルトナール 一杯 サー ケート		
	課題等に対するフィードバック /Feedback method	コメントへ・	ーハーへのリノフ <i>ァ</i>	イはまとめて授業内で行なう。		
教科書	とくにテキストは指定しないが、推薦文	献を随時解	ヱ読する。 プリントヤ	や媒体の実物を配布する他、	テレビ、ビデオ、映画など	
Textbooks	の映像資料を多用する。					
参考書 Reference books	宮島喬・加納弘勝編『変容する日本社会と文化』(東京大学出版会、2002年)他多数(授業中に指示)。					
URL						
補足情報						
作用、足、作用等较 Supplementary information						
備考						

.....

M2810	デジタル社会論			山内 萌		
2.00 単位	講義	秋学期	木曜 3 限	1201 教室		ナンバリング:MCC33040

メディア デジタル社会 情報化

授業の概要 / Course outline

デジタル技術が社会に与える影響と、社会構造がデジタルメディアの利用と発展に及ぼす影響について学びます。理論的な理解と実践的なアプローチを通じて、現代のデジタル社会を批判的に考察する力を養います。後半では、受講生がグループを組んで、デジタル社会とメディアに関する現象の課題設定と問題解決に取り組みます。この発表を通じて批判的思考を深めます。

到達目標 / Learning objectives

1.デジタル社会の理論的理解:デジタル技術と社会構造の相互関係について主要な理論や概念を理解する。 2.批判的思考能力の向上:デジタルメディアの影響を批判的に分析し、その利点と課題を客観的に評価する能力を身につける。 3.グループでの共同作業能力の向上:チームでのリサーチとプレゼンテーションを通じて、コミュニケーション能力と協働力を高める。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

各回のリアクションペーパーは Google フォームを使って回答してもらうので、ネットに接続できる機器を持参してください。 また、グループワーク 実施期間は授業中に文献調査や資料作成をしてもらいます。 なるべく PC やタブレットなどを持参するようにしてください。

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	第1回: デジタル社会の基本概念(イントロダクション) ・デジタル社会はどのように発展してきた	か、歴史的な背	景と
授業計画/Class outline	基本概念を概観する。		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	第2回: ソーシャルメディアと公共圏・ソーシャルメディアが公共圏に与える影響について議論	する。	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	第 3 回:デジタル技術とプライバシー・デジタル社会におけるプライバシーと監視社会の問題を	考察する。	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	第 4 回: Al とアルゴリズムの影響 ・Al やアルゴリズムが社会構造や個人に与える影響を分析す	ි	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	第 5 回: デジタル社会におけるジェンダーと多様性 ・デジタルメディアがジェンダーや多様性に	与える影響につ	いて
授業計画/Class outline	議論する。		
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	第6回: デジタル経済と労働の未来 ・デジタル化が経済や労働市場に与える影響を考察する。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内で触れた事例や文献について各自で復習し、講義内容の理解を深めてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	第7回:グループワーク準備・グループワークの進め方について教員から説明・グループ編成。	とテーマ決定	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	グループワークを進めるにあたり、メンバー間で作業環境や連絡手段を共有してください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	第8回:課題設定 ・前回決めたテーマに対して、現状どのような課題が存在しているのか調査	・解決したい課	題を

授業計画/Class outline	設定		
授業外学修(予習および復習)	課題設定パートの発表資料を作成してください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	第9回:現状分析 ·課題がどのように発生しているのか現状分析を行う		.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	現状分析パートの発表資料を作成してください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	第 10 回:原因特定 ·現状分析の結果を整理し、課題が発生している原因を特定する		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	原因特定パートの発表資料を作成してください。	目安時間 (分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	第 11 回: 解決案作成 ·特定された原因を解決するための案を提示	L	-d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	解決案パートの発表資料を作成してください。 次回以降の成果発表の練習をしてください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	第 12 回: 最終発表(前半) ・半数のグループによる最終プレゼンテーション・教員および受講会	生からの質疑応	答
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	発表グループの内容について良かった点と改善点をまとめてください。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	第 13 回:最終発表(後半)と総括 ・残りのグループによる最終プレゼンテーション・教員および	が受講生からの	質疑
授業計画/Class outline	応答・授業全体の振り返りと総括		
授業外学修(予習および復習)	発表グループの内容について良かった点と改善点をまとめてください。 授業全体の感想をまと	目安時間(分)	30
/Preparation & review	めてください。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第18回/秋学期第5回】			
授業計画/Class outline		— 1-1 / ···	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.L</u>
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			·····
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 〈A time (in)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】			

授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで宝体する塔	業の同数 / Number of sessions to be conducted online 2回	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
定期試験/Regular Exam				
授業時間内に実施するテスト				
∕In-class/mid-term tests				
レポート/Report	30	評価ポイント: 期末レポートの提出		
授業への取り組み	20	評価ポイント: 出席、リアクションペーパーの提出		
/Effort/Participation				
その他1/Other 1	50	評価ポイント: グループワークへの参加態度、議論に積極的に参加し		
		ているか ※全 5 回あるグループワーク作業回のうち 3 回以上欠席し		
		た場合は評価対象外です		
その他2/Other 2				
評価方法に関する備考		·		
✓ Remarks for Evaluation method				
課題等に対するフィードバック	グループワークの成果発表について、発表後に教員からフィードバックを行う。			
/Feedback method				

Textbooks

参考書

Reference books

授業内にて適宜提示

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks 本講義は進行状況によってオンラインにて実施する場合があります。 都度受講生に連絡しますので、教員からの連絡を 確認できるようにしておいてください。

M2820	ポピュラー音楽論					南田 勝也	
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 5 限	1002 教室		ナンバリング:MCC33050	

オルタナティブ、ロック、ポピュラー音楽、世代、芸術

授業の概要 / Course outline

1990 年代前期にオルタナティブへと位相を転じたロック音楽の英米および日本での歴史を検証することで、表現文化・芸術にまつわる諸現象を体系的に整理する。世代と音楽嗜好の関係、波の音楽と渦の音楽、表現からスポーツへ、日本のオルタナティブの展開、情報社会における生活形式について話題にする。

到達目標 / Learning objectives

現代のロックを中心としたポピュラー音楽の整理と検討を通じて、文化の意味に接近する思考力を身につけることができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

授業時間中に Google Classroom や 3S を通じた資料の参照やコメントをするため、スマートフォン、PC、タブレットのいずれかの通信機器を持参することを必須とする。

履修上の注意事項/Course guidelines

前期科目「音楽文化の社会学」を併せて履修することが望ましい。

【第1回/春学期第1回】	オルタナティブロックとは:グランジの軋み		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	オルタナティブロックとは:ジェネレーション X		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	波の音楽から渦の音楽へ:ギターサウンドの可能性		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	波の音楽から渦の音楽へ:白人音楽		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	波の音楽から渦の音楽へ: 合成志向者たち		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	表現の美からスポーツの美へ:ロックとスポーツ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	表現の美からスポーツの美へ:体感音響		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	表現の美からスポーツの美へ:美的感覚の表出		
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分) 180
/Preparation & review	参考文献なCの収集で相談、I文素に関連する自然の輸収なC	/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	 日本のオルタナティブロック:J ポップという主潮流	
授業計画/Class outline	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分) 180
/Preparation & review	多方人MなCの状果で何か、I文米に対定する日 <i>赤の</i> 心状なC	/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	 日本のオルタナティブロック:始動	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
授業計画/Class outline	The state of the s	
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	
/Preparation & review	多方人MはCの収集で相助、I文米に対定する日 赤の心収なる	/Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	 日本のオルタナティブロック: 展開	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分) 180
/Preparation & review	多う人間はCの状未で何郎、1X未に因及する日源の心状なC	/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	 触知的テクノロジー:ロックをめぐる現況	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分) 180
/Preparation & review	シウス Mr. はこの 状未 に 相助に 1文末に 内足 する日 赤の 4心状なこ	/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	 触知的テクノロジー:情報社会の音楽	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 180
/Preparation & review	シウス M/なこの 状未 に 特別に J文本に 内足 する日 赤の 4心状なこ	/Approx. time (min)
【第 14 回/秋学期第 1 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 16 回/秋学期第 3 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		iiii
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		

授業外学修(予習および復	[習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9				i
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	[習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
オンラインで宝施す	・ -る授業の回数/Number of sessions t	n he condi	ucted online 0 回	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation cri	iteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	H1H //	IT IM 至于 () / E · diddtion on	
method				
method	授業時間内に実施するテスト			
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	50	コメン小ペーパーによる評価	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	50 50	コメントペーパーによる評価	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み	50 50	コメントペーパーによる評価 受講態度による評価	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation			
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1			
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2			
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考			
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	50	受講態度による評価	25 7 7 1
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	50	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	50 資料の配 授業で扱	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念など	に関する質問等には随
	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	50 資料の配 授業で扱	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla	に関する質問等には随
method 教科書 Textbooks	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	50 資料の配 授業で扱 時回答し	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念などにます。また履修上の質問と回答は 3S を用いて行	に関する質問等には随
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2014,『オルタナティブロック ジェイソン・トインビー,2004,『ポピュラー	多料の配 授業で扱 時回答し の社会学』	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念などにます。また履修上の質問と回答は 3S を用いて行 花伝社(ISBN-10:4763406981) る』みすず書房、スコット・ラッシュ,2006,『情報批	に関する質問等には随います。
教科書 Textbooks	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2014,『オルタナティブロック	多料の配 授業で扱 時回答し の社会学』	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念などにます。また履修上の質問と回答は 3S を用いて行 花伝社(ISBN-10:4763406981) る』みすず書房、スコット・ラッシュ,2006,『情報批	に関する質問等には随います。
教科書 Textbooks 参考書	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2014,『オルタナティブロック ジェイソン・トインビー,2004,『ポピュラー	多料の配 授業で扱 時回答し の社会学』	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念などにます。また履修上の質問と回答は 3S を用いて行 花伝社(ISBN-10:4763406981) る』みすず書房、スコット・ラッシュ,2006,『情報批	に関する質問等には随います。
教科書 Textbooks 参考書 Reference books	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2014,『オルタナティブロック ジェイソン・トインビー,2004,『ポピュラー	多料の配 授業で扱 時回答し の社会学』	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念などにます。また履修上の質問と回答は 3S を用いて行 花伝社(ISBN-10:4763406981) る』みすず書房、スコット・ラッシュ,2006,『情報批	に関する質問等には随います。
教科書 Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2014,『オルタナティブロック ジェイソン・トインビー,2004,『ポピュラー	多料の配 授業で扱 時回答し の社会学』	受講態度による評価 付や出席確認やコメントペーパー等は Google Cla う内容の事実関係、応用的事例、抽象概念などにます。また履修上の質問と回答は 3S を用いて行 花伝社(ISBN-10:4763406981) る』みすず書房、スコット・ラッシュ,2006,『情報批	に関する質問等には随います。

M2830	マスコミュニケーション論					.明
2.00 単位	講義	春学期	水曜 3 限	8702 教室		ナンバリング:MCC33060

情報、メディア、コミュニケーション、メディアの発展史、社会心理学、テレビの暴力映像とその影響、テレビゲームの影響

授業の概要 / Course outline

授業概要 この授業では、コミュニケーション、情報、メディア、コミュニケーションといったキーワードが、それぞれどのような結びつきをもっているのか、具体的なテーマを取り上げつつ、社会心理学や心理学的知見をベースとしながら考察していきます。とくに、その中から主なメディアの普及過程と生活・社会への影響、テレビなどの映像メディアが我々の心理や行動にどのような影響をもたらすかについての研究の成果について紹介したいと思います。 授業計画 具体的には、まず Part1 で、主なメディアの歴史と日本での受容、および日本社会への影響を考察します。とりあげるメディアは、新聞、ラジオ、電話、テレビ、インターネットなどです。 Part2 では、マス・コミュニケーションや映像メディアの効果・影響について概観します。テレビの暴力シーンやテレビゲームは子ども達にどのような影響を及ぼすのか、過度に映像に接触しすぎるとどのような現象が生じるのか、サブリミナル効果は本当に存在するのか、等のことについて紹介します。 〈到達目標〉 まず、我々の日本人が、どのようにしてメディアを受容してきたのか、またそれによって我々の生活はどのように変化したのかを理解する。 また、マスメディアにおいては、そのコンテンツが我々受け手にどのような影響をもたらすのかを理解できるようになることをめざす。具体的には、たとえば、テレビの暴力シーンやいじめシーンが悪影響を及ぼすというのは真実かどうかを学び、また乳幼児期にテレビに過剰接触することのデメリットを認識する。 毎週月曜日までに Googleclassroom に授業資料と動画を配信予定

到達目標 / Learning objectives

メディアの影響について理解し、現在日本の問題点、課題について考える力を養う。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業では主にマスメディアの影響とそれに関連する学説を扱う。やや広いコミュニケーション一般については後期「コミュニケーション論」で扱う。受講にあたっては事前にテキストの『メディアと日本人』に目通ししておくことが望ましい。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	日本における新聞の発展と生活への影響		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	ラジオ、電話の普及と生活への影響		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	テレビの普及と日本社会へのインパクト		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	インターネットの普及と日本社会の変化		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	インターネットは日本人の生活をどう変えたか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30

/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	マスコミ効果論の系譜(1) 魔法の弾丸理論から議題設定仮説まで		.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間 (分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間 (分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】			.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間 (分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	テレビゲームと青少年犯罪		.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間 (分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	暴力シーンの認知的影響メカニズム		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	ネット社会における問題点―ネット依存、陰謀論		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	配布した資料をその都度復習する。	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間 (分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline		口力吐服 (八)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 19 回/秋学期第 6 回】 授業計画/Class outline			
		口小吐服 (八)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 	<u> </u>

/Preparation & review	W			/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7	(e)			-`
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	夏智)			目安時間(分)
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	 : 回】			<u></u>
授業計画/Class out	:			
授業外学修(予習および後				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9				L / //pprox. time (min)
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後	i 			目安時間(分)
/Preparation & review				/ Approx. time (min)
				/ Approx. time (min)
授業計画/Class out	.			
授業外学修(予習および後				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11				/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	j			<u> </u>
授業計画/Class out	· · · ·			
授業外学修(予習および後	[習]			目安時間(分)
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	B			
授業計画/Class out	:			
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
/Preparation & review	į			/Approx. time (min)
オンラインで宝体す	- 「る授業の回数/Number of sessions t	to he condi	ucted online 0 回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crite	ria
Evaluation	定期試験/Regular Exam		計画委牛子/ Evaluation office	i ia
method	授業時間内に実施するテスト	5	授業の内容を理解しているか	
method	大学	J	技術の内容を達解しているが	
	レポート/Report	70	授業期間内に1回実施。 授業の内容を理解し、	羽須しているか、訊
	Direction to	70	定した問題の背景を説明しているか	自行しているが、政
	授業への取り組み	25	授業参加度 授業課題の提出	
	/Effort/Participation	20	12未参加及 12未标题 70定山	
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考	しょせートの	 放績との兼ね合いを見て、欠席1回につき7点程度	F減占とする
	Remarks for Evaluation method	D/K 1-02	が、順色の素な白いを光で、八角・固につき、点性が	を吸ぶてする。
	課題等に対するフィードバック	卢 孝理縣	については適宜、授業中にコメントする。	
	Feedback method	又未体区	gに 20・Cl& 過丘、汉来でにコパントする。	
教科書 Textbooks	橋元良明『メディアと日本人―変わりゆ	ドロ常』、岩	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
参考書 Reference books	橋元良明編『メディア・コミュニケーショ	 iン学』、大作		
URL				
補足情報 Supplementary information				

備考
Remarks

M2850	音楽文化の社会学					也
2.00 単位	講義	春学期	水曜 5 限	1002 教室		ナンバリング: SOC33280

ロック、ポピュラー音楽、社会構造、ブルデュー

授業の概要 / Course outline

1960 年代中期に世界的な発展を遂げた米英日の「ロック音楽」を社会学の視点から読解する。エルヴィス、ビートルズ、ボブディラン、レッドツェッペリン、セックスピストルズ、岡林信康、はっぴいえんど、キャロル、RC サクセション、尾崎豊、ブルーハーツなど、20 世紀のロックミュージシャンを議論の俎上に載せるが、本講義の分析視角は「何年に誰が登場して、そのとき何があって……」という歴史探訪や英雄礼賛の態度とは一線を画する。むしろ、そのような「語り方」や「実践の在り方」がどのような社会構造のもとで生じるのか、階層・芸術活動・文化産業などの社会的諸条件はミュージシャンにいかなる影響を与えるのか、などの分析を通じて、文化にまつわる人々の行為の意味を明らかにする。

到達目標 / Learning objectives

社会学的考察の醍醐味を味わい、音楽を「表現」のみならず「構造」として読み解くスキルを身につけることができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

授業時間中に Google Classroom や 3S を通じた資料の参照やコメントをするため、スマートフォン、PC、タブレットのいずれかの通信機器を持参することを必須とする。

履修上の注意事項/Course guidelines

後期科目「ポピュラー音楽論」で 1990 年代~現代の音楽シーンを解説するので、併せて履修することが望ましい。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	ロック音楽文化の三つの指標――〈アウトサイド〉指標		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	ロック音楽文化の三つの指標――〈アート〉指標		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	ロック音楽文化の三つの指標――〈エンターテイメント〉指標		4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ロックの〈場〉の理論――ロックをめぐる〈場〉の形成		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	ロックの〈場〉の理論――ロック〈場〉の力学		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	ロック〈場〉の展開——成熟し洗練化するロック/パンク・ロックの主張		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	参考文献などの収集や精読、授業に関連する音源の聴取など	目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	ロック〈場〉の展開――ポップ化するロック/ポピュラー音楽への拡張		d

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	180
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 9 回/春学期第 9 回】	 日本のロック 六〇年代——音楽サブカルチャーの台頭		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	180
/Preparation & review	を与え前はCの状末に付加、JX末に対圧する日がり心状なこ	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	 日本のロック 六〇年代――ロックかフォークか/日本のロックの指標		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		 目安時間(分)	180
/Preparation & review	少う人間はCの状末で行動にJX未に対圧する日がり心状など	/Approx. time (min)	
	 日本のロック 七〇年代——ロックの困難/歌謡曲のフィールド	LL	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	180
/Preparation & review	少う人間はCの状末で行動にJX未に対圧する日がり心状など	/Approx. time (min)	
	 日本のロック 八〇年代——インディーズ/記号化ファッション化/バンドブーム		
授業計画/Class outline	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	180
/Preparation & review	少う人間はCの状末で行動にJX未に対圧する日がり心状など	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	 日本のロック 九〇年代——ロック亡き後/一九九五年以降		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	180
/Preparation & review	参与人間なCの収集で付加、IX末に対定する日 派の心収収なC	/Approx. time (min)	
			-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			-i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			_i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】			_J

₩₩=1 /01	I				
授業計画/Class out					
授業外学修(予習および後					目安時間(分)
Preparation & review					/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9	i				
授業計画/Class out					
授業外学修(予習および後					目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	· -				
授業計画/Class out					T = ±1.55 (0)
授業外学修(予習および復	· · · ·				目安時間(分)
/Preparation & review					/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11					
授業計画/Class out					
授業外学修(予習および復					目安時間(分)
/Preparation & review	i 				/Approx. time (min)
【 第 25 回/秋学期第 12 授業計画/Class out	i i				
授業外学修(予習および復					目安時間(分)
文表が子形(ア首のよび) / Preparation & revie					日女時間(ガ) / Approx. time (min)
					/ Approx. tille (IIIII)
授業計画/Class out	· · ·				
授業外学修(予習および復	i				目安時間(分)
/Preparation & review					Approx. time (min)
オンラインで実施す	: -る授業の回数/Number of sessions :	to be condu	ucted online	0 🛽	
	Olympia may training at account				
評価方法	種別/Category	割合 %			eriteria
評価方法 Evaluation	種別/Category	割合 %		評価基準等/Evaluation o	priteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	割合 %			priteria
	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	割合 %			criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		コメントペーパー	評価基準等/Evaluation o	priteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	50	コメントペーパー	評価基準等/Evaluation o	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み		コメントペーパー 受講態度による	評価基準等/Evaluation o	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation	50		評価基準等/Evaluation o	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	50		評価基準等/Evaluation o	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	50		評価基準等/Evaluation o	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考	50		評価基準等/Evaluation o	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	50 50	受講態度による	評価基準等/Evaluation o	
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	50 50 50	受講態度による	評価基準等/Evaluation of control of	Classroom や 3S で行い、
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	50 50 50	受講態度による	評価基準等/Evaluation o	Classroom や 3S で行い、
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	50 50 50 資料の配 授業で扱	受講態度による 付や出席確認や う内容の事実関係	評価基準等/Evaluation of control of	Classroom や 3S で行い、 どに関する質問等には随
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	50 50 50 資料の配 授業で扱 時回答し	受講態度による 付や出席確認や う内容の事実関係 ます。また履修上	評価基準等 / Evaluation of including in	Classroom や 3S で行い、 どに関する質問等には随
Evaluation method 教科書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	50 50 50 資料の配 授業で扱 時回答し: 社会学』青 [〒]	受講態度による 付や出席確認や う内容の事実関係 ます。また履修上 号社(ISBN-10:4 藤原書店、サイ	評価基準等/Evaluation C による評価 評価 コメントペーパー等は Google C 系、応用的事例、抽象概念なる の質問と回答は 3S を用いてる 4787231901) Eン・フリス,1991,『サウンドのナ	Classroom や 3S で行い、 どに関する質問等には随 行います。
Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2001,『ロックミュージックの記	50 50 50 資料の配 授業で扱 時回答し: 社会学』青 [〒]	受講態度による 付や出席確認や う内容の事実関係 ます。また履修上 号社(ISBN-10:4 藤原書店、サイ	評価基準等/Evaluation C による評価 評価 コメントペーパー等は Google C 系、応用的事例、抽象概念なる の質問と回答は 3S を用いてる 4787231901) Eン・フリス,1991,『サウンドのナ	Classroom や 3S で行い、 どに関する質問等には随 行います。
数科書 Textbooks 参考書 Reference books	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2001,『ロックミュージックの記	50 50 50 資料の配 授業で扱 時回答し: 社会学』青 [〒]	受講態度による 付や出席確認や う内容の事実関係 ます。また履修上 号社(ISBN-10:4 藤原書店、サイ	評価基準等/Evaluation C による評価 評価 コメントペーパー等は Google C 系、応用的事例、抽象概念なる の質問と回答は 3S を用いてる 4787231901) Eン・フリス,1991,『サウンドのナ	Classroom や 3S で行い、 どに関する質問等には随 行います。
数科書 Textbooks 参考書 Reference books	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method 南田勝也,2001,『ロックミュージックの記	50 50 50 資料の配 授業で扱 時回答し: 社会学』青 [〒]	受講態度による 付や出席確認や う内容の事実関係 ます。また履修上 号社(ISBN-10:4 藤原書店、サイ	評価基準等/Evaluation C による評価 評価 コメントペーパー等は Google C 系、応用的事例、抽象概念なる の質問と回答は 3S を用いてる 4787231901) Eン・フリス,1991,『サウンドのナ	Classroom や 3S で行い、 どに関する質問等には随 行います。

M2860	活字メディアの社会学/出版研究			中島み	ゆき	
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 5 限	6201 教室(第 2 小講堂)		ナンバリング: SOC33290

出版、編集、ジャーナリズム、プロパガンダ、コミック、消費文化、ファン、プラットフォーム、電子書籍、独立系書店

授業の概要 / Course outline

出版や新聞が社会に与えた/与えている影響を、「読者」との関係性を中心に学びます。 印刷技術の発展とともに民主主義や文化を支えてきた本や雑誌、新聞ですが、1990年代後半を境に部数が減少しています。スマートフォンが普及した現在では、他のコンテンツとユーザーの可処分時間を奪い合う競争にもさらされ、さまざまな変革を迫られています。 授業前半では活字文化と社会との関係を歴史に基づいて学びます。なるべく現物(レプリカ含む)を用意して、当時の社会をイメージしやすく進めます。後半は教員の実務経験も交えて、現在の活字メディアの姿や課題を紹介しながら、ともに活字メディアと社会の未来を考ます。

到達目標 / Learning objectives

①活字文化と社会との関係性を、時系列に沿って理解する ②出版や新聞の仕組みについて、制作から流通まで、概ね理解する ③デジタル化により活字メディアに起こった変化を学ぶとともに、可能性を考える ④誰もが発信者になれる社会において、責任ある表現者としての素地を身に着ける

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

持参することを奨励。積極的に調べて授業に参加してほしい(作文、リアクションペーパーは手書き提出)

履修上の注意事項/Course guidelines

本講義での「活字文化」とは、デジタルデバイスで流通されるものも対象に含みます。 さまざまな形態の出版物や新聞、書店、出版系イベントなどに積極的に触れるようにしてください。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション 授業の概要と活字文化の現状 アンケート:活字文化(本・雑誌・新聞)との接	触体験を教えて	てくだ
授業計画/Class outline	さい		
授業外学修(予習および復習)	好きな本や雑誌、印象に残った新聞記事の中から一つを選び、概要をまとめた上で、その本/	目安時間(分)	60
/Preparation & review	記事との出会いや好きな理由について書いてください	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	活字文化の誕生(15~17 世紀) 印刷技術の誕生・発展と社会にもたらした変化を俯瞰します	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	印刷技術がなかった時代の本がどのような人に読まれていたか、印刷技術の出現によりどのよ	目安時間(分)	60
/Preparation & review	うな本が量産されていったかを調べておいてください	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	ジャーナリズムの誕生(18~20世紀) 活字文化の発展と民主的な市民社会の形成との関係を	学びます	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	英国、フランス、米国、日本いずれかの市民革命や民主化に影響を与えた本・新聞を 1 点選	目安時間(分)	60
/Preparation & review	び、その中のどの主張が社会をどう変えたのか、要点をまとめてください	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	大衆文化の誕生(19~20 世紀)「読者」の誕生と大衆文化の形成過程を事例ベースに見ます		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、大衆文化(生活様式を含む)が成立した背景や社会状	目安時間(分)	60
/Preparation & review	況について、調べて理解しておいてください	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	戦争と活字文化 戦時中の新聞・雑誌が社会に及ぼした影響について考えます	<u> </u>	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	当時の新聞や雑誌の記事(授業内で配付)を読み、なぜそのような表現であったのか、背景を	目安時間(分)	60
/Preparation & review	調べておいてください	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	出版の仕組み 本や雑誌がつくられ手元に届くまでの仕組みや制度を解説します	L	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	好きな本を手に取り、どんなパーツでできているか、そこに何が書いてあるか、特に裏表紙のバ	目安時間(分)	30
/Preparation & review	ーコードの意味を調べておいてください	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	新聞の仕組み 記者が取材して記事が紙やネットで配達・配信されるまでの仕組みを概観します		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	自宅または図書館で新聞を読み、気になった記事を 1 点選び、要点をまとめた上で、その記事	目安時間(分)	30
	······································	~~~~~~~~	

/Preparation & review	が気になった理由をまとめてください	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	演習 編集者をゲストに招き、本をつくる仕事や課題について聞きます		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業前にその人が編集した本(授業内で指示)を読み、質問を考えてください。授業後に質問と	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	その答え、感想をまとめてください	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】		様式)に与えた	影響
授業計画/Class outline	について		
授業外学修(予習および復習)	身近な 40 代~60 代の人に、若いころ読んでいた雑誌と、なぜ好きだったか、雑誌から受けた	目安時間 (分)	60
/Preparation & review	影響を聞いてまとめておいてください	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】		L 係について	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	電子書籍と紙の本、ネットニュース(新聞社配信)と紙の新聞記事、いずれかを読み比べ、印	目安時間(分)	60
/Preparation & review	象の違いをまとめてください	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	コミック流通とファンダム 大手版元によるコミック流通とグローバルなファンの形成について		_!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	好きな漫画・コミックの中から 1 タイトルを選び、海外での展開やファンの動きについて調べてお	目安時間(分)	30
/Preparation & review	いてください	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	書店と活字文化 書店の役割、書店数減少の影響と「独立系書店」「軽出版」の挑戦について	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	身近な本屋さん、大手書店など複数の書店を回り、特徴やネットで購入する場合との違いをま	目安時間(分)	60
/Preparation & review	とめてください	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】		<u></u> 望します	_!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	60
/Preparation & review	記述してください	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		<u> </u>	-i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】		<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			mymmmmm.
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline		WINITED BY THE REAL PROPERTY OF THE PERSON O	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	<u> </u>

/Preparation & revie				
	w			/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8	3 回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	復習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	ew			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	9 回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	eW .			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	0回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	eW .			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	i			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行				目安時間(分)
/Preparation & revie	<u> </u>			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 13				
授業計画/Class ou	tline			***************************************
授業外学修(予習および行				目安時間 (分)
/Preparation & revie	i			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 1	· · · ·			
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および				目安時間(分)
/Preparation & revie	PW .			/Approx. time (min)
オンラインで実施で	する授業の回数/Number of session	s to be condu	octed online 0回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Ev	valuation criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト	30	・授業内容を理解していること・読	みやすい文章であること・意見の
	✓In-class/mid-term tests		オリジナリティと構成力(加点)	
	レポート/Report	40	・課題の趣旨を理解していること・	着眼点に沿って調査や文献購読が
			なされていること・論理的に構成さ	れ、わかりやすい文章であること
	授業への取り組み	30	・授業外学習で提出が指示された	課題が提出されていること ・各課
	/Effort/Participation		題について、資料や人にあたり調べ 内の質問に、活字メディアへの興味	
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	/Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	提出課題	について解説を行う	
	/Feedback method			
	授業内で指示(2025 年 7 月発売の新書を予定) 授業ごとに資料を配付する			
教科書 Textbooks	授業内で指示(2025年7月発売の	の新書を予定 <i>)</i>)授業ごとに資料を配付する	
)授業ごとに資料を配付する 	f 8

補足情報 Supplementary information

備考 Remarks

M2880	放送メディアの社会学/テレビメディアの社会学				宇治橋	祐之
2.00 単位	講義	春学期	水曜 4 限	8503 教室		ナンバリング: SOC33310

放送、番組、テレビ、メディア、社会学

授業の概要 / Course outline

日本ででラジオ放送が始まった 1925 年から 100 年、テレビ放送が始まった 1953 年から約 70 年、多くの人に日々視聴され、私たちの暮らしに大きな影響を与えている放送メディア。その構造や機能を明らかにした上で、社会の中で放送メディアの果たしている役割を見ていく。授業では、NHK で数多くの放送番組を制作、研究してきた授業担当者の経験も踏まえ、番組や動画を視聴したり、教室でグループ討議をしたり、Moodle というウェブ上の学習プラットフォームを利用しながら進める。

到達目標 / Learning objectives

・放送メディアの概念、社会的な位置付けについて具体的に説明できる。・主体的に放送メディアに関わることができるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

「ノート型 PC(Windows、Mac)またはタブレット型 PC(Windows、iPad)、スマートフォン(iOS、Android)のいずれかを必須。Moodle というウェブ上の学習プラットフォームで 200~400 字程度のコメントを授業中に入力するので、タブレットの場合はキーボードを推奨。動画の視聴を行うのでイヤホン等も必須。

履修上の注意事項/Course guidelines

・毎回、授業中に Moodle というウェブ上の学習プラットフォームから課題を提出してもらいます。・グループ活動など協働的な学習を行うので、積極的な参加を求めます。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 放送メディアとは何か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	300
∕Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第2回/春学期第2回】	放送メディアの特徴1 報道番組	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
∕Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第3回/春学期第3回】	放送メディアの特徴2 娯楽番組	-	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
∕Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第4回/春学期第4回】	放送メディアの特徴3 教育番組	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
∕Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第5回/春学期第5回】	放送メディアの特徴4 教養番組	·	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
∕Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第6回/春学期第6回】	形式でみる放送メディア1 生放送と収録番組	·	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270

		·	
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	- 聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。 		<u></u>
【第7回/春学期第7回】	形式でみる放送メディア2 スタジオとロケ		
授業計画/Class outline		-	
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	- 聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。 		<u></u>
【第8回/春学期第8回】	形式でみる放送メディア3 ドラマとドキュメンタリー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。 		<u> </u>
【第9回/春学期第9回】	放送の歴史1 ラジオと放送制度		
授業計画/Class outline		93000000000000000000000000000000000000	
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
∕Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第 10 回/春学期第 10 回】	放送の歴史2 テレビと放送技術		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第 11 回/春学期第 11 回】	放送の歴史3 放送と通信 インターネット展開とアーカイブ	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	270
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第 12 回/春学期第 12 回】	放送局と経営 公共放送と民間放送	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	300
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第 13 回/春学期第 13 回】	海外の放送メディア	·	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:次回授業のテーマに関連する番組を視聴したりウェブサイトを確認したりして、基本的な	目安時間(分)	300
/Preparation & review	枠組みを確認すること。 復習:授業で取り上げたテーマについて、授業内で紹介する番組を視	/Approx. time (min)	
	聴したり論文等を読んだりして、理解を深めること。		
【第14回/秋学期第1回】		·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】	······································	÷	<u>.i</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		L	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
		HV-MH ///	. <u>i</u>

/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		- 1 - 1 - 2 - 4 - 1 - 1
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		D. A. S. B. (1)
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	3業の回数/Number of sessions to be conducted online 0回	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
/In-class/mid-term tests		
レポート/Report	20	授業期間内に1回(1500字程度)で実施。授業で得た知識を踏まえ
		て、放送メディアの概念や社会的な位置付けについて、自身で調べた
		こととあわせて適切にまとめられているかを評価する。
授業への取り組み	80	受講者には毎回の授業で課題を提示し、期限内に提出をしてもらう。
/Effort/Participation		授業の内容を踏まえているか、課題に対して自分なりの考えを表現で
		きているかを評価する。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
/Remarks for Evaluation method		

	課題等に対するフィードバック	毎回の授業で提出してもらう課題に対しては、次の授業の際に、代表的な回答や
	/Feedback method	重要なポイントに対して解説をする。
教科書 Textbooks		
参考書 Reference books		NHK 出版 ※下記サイトからバックナンバーを閲覧可能 /index.html 水 越 伸(2022)『メディア論』 放送大学教育振興会 藤竹 暁 HK ブックス』NHK 出版
URL	NHK 放送文化研究所 https://www.r	nhk.or.jp/bunken/ NHK アーカイブス https://www.nhk.or.jp/archives/
補足情報 Supplementary information		
備考 Remarks		

M2900	エスニシティとメディア/エスニックメディア論/エスニシティのメディア社会学			段 躍中		
2.00 単位	講義	春学期	火曜 5 限	11202 教室		ナンバリング:MCC33080

SNS と中国人の視点を通じた日本の魅力発信

授業の概要 / Course outline

現在、在日中国人社会は 100 万人を超え、新しい時代に突入しています。インターネットと SNS の発展により、中国人コミュニティとそのメディアは大きな変革を遂げています。本講義では、中国人の発信活動を通じて、SNS を活用した日本の魅力発信の可能性を探ります。これを通じて、日本がどのように世界へその価値や文化を伝えることができるのかを考察します。

到達目標 / Learning objectives

1. 外国人(特に中国人)の SNS 発信活動やその影響力について理解を深める。 2. 中国人コミュニティやメディアを活用した情報発信の具体的な方法を学ぶ。 3. 日本の魅力を世界に向けて効果的に発信するためのスキルを習得する。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

持参可

履修上の注意事項/Course guidelines

・高い関心を持つこと: 特に SNS を活用した情報発信や日本の魅力に興味を持つ姿勢が求められます。・事前学習の重要性: 教科書『中国の若者が見つけた日本の新しい魅力』を事前に熟読し、具体的な事例や視点を把握しておくこと。・積極的な参加: 講義中のディスカッションやグループワークで積極的に意見を述べること。

【第1回/春学期第1回】	第1回 授業概要の説明、教科書『中国の若者が見つけた日本の新しい魅力』のご案内		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その一)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その二)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その三)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その四)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その五)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その六)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分)	30
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その七)		

授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その八)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	 日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その九)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
 【第 11 回/春学期第 11 回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その十)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	日本の魅力を考え、中国人の日本語作文コンクール受賞作を読む(その十一)	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	教科書の予習	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	総括。期末レポート回収	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	期末レポート完成	目安時間(分) 60
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 16 回/秋学期第 3 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第20回/秋学期第7回】		
授業計画/Class outline		Edder (2)
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)

				1
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および行	夏習)		目安時間 (分)	
/Preparation & revie	W		/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および行	夏習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10) 回】		J	
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および行	复習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	W		/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11	a]			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および行	夏習)		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12	······································		<u> </u>	
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および行	[習]		目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13	B			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および作			目安時間(分)	
/Preparation & revie	w		/Approx. time (min)	
オンラインで実施す	' 「る授業の回数/Number of sessions)	to be condi	ucted online 0 回	ī
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	_
Evaluation	定期試験/Regular Exam	H3 H /0	可简单中专/ Evaluation officing	
method	授業時間内に実施するテスト			
method	/In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	40	│ │授業内容を踏まえて自分の考えを整理し、期末レポートに的確に反映	_
	D/K—I-/ Keport	40	技業的各を晒まれて自力の考えを監理し、粉ネレバードに的確に及び させているかを重視する	
	₩ . ○ 〒1/417.	20		
	授業への取り組み /Effort /Portionation	30	授業参加度や授業態度を重視する	
	/Effort/Participation	20	教科書の予習と持参を重視する	
	その他1/Other 1	30	教科書(/)文省と特秀を里視する	
	7 MILO /OH 0		IXITE OF LICINO C. P. IV.	
	その他2/Other 2		MILES, COMPONENTS	
	評価方法に関する備考			
	評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method			
	評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	その都度		
	評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	その都度		
教科書 Textbooks	評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック		説明する	
	評価方法に関する備考		説明する	
Textbooks 参考書	評価方法に関する備考	魅力』200	説明する	
Textbooks 参考書 Reference books	評価方法に関する備考	魅力』200	説明する 0円+税、日本僑報社、2018年	
Textbooks 参考書 Reference books URL 補足情報	評価方法に関する備考	魅力』200	説明する 0円+税、日本僑報社、2018年	

M2910	NPO・NGO とメディ	NPO·NGO とメディア/NPO と NGO の社会学			粉川 一郎		
2.00 単位	講義	秋学期	月曜3限	1002 教室		ナンバリング:MCC33090	

ボランティア、NPO、NGO、市民社会、公益、公共、コミュニティ、自治

授業の概要 / Course outline

戦後日本の一極集中型の問題解決手法が破綻をきたして久しい。社会的に解決すべき問題は多様化する一方で、行政のみがその問題解決を担うことは、コスト的にも、行政の専門性という面からも不可能である。こうした状況下で、地域コミュニティをベースに、生活者自身が中心となって問題を解決するような動きが求められている。その動きの中心にあるのが、NPOあるいはNGO、またボランティアといった、民間非営利セクターの活動である。しかしながら、日本においてはこうした民間非営利セクターの活動に対して適切な社会的理解があるとはいいがたい。本授業では、日本における民間非営利セクターの立ち位置に、メディアがどう関わっているのか、あるいはどう関わるべきかを考えていく。授業全般で Google Classrom を利用します。すべての資料配布、質問受付、出席確認は Google Classrom を利用します。oogle Classrom のクラスコードなどは 3S にて連絡しますので、3S の掲示確認を怠らないようにしてください。 原則としてすべて対面授業ですが、一部の授業をオンデマンド授業で実施することがあります。オンデマンド授業への変更がある際には、Google Classrom 上で動画配信します。

到達目標 / Learning objectives

本講義では、こうした民間非営利セクターの概念、歴史、そして現状を学び、海外の事例との比較を行う中で、私たちの国が、今後どのような方向に向かっていくべきかを、一人一人が主体的に考えることができるようになることを目指す。 同時に、メディアはそのために何ができるのか、何をしなければいけないのか、について論じることができるようになることを目指す。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

PC やタブレット等、資料を閲覧できる大型画面の端末を持参することを推奨します。スマホでの閲覧は推奨しません。

履修上の注意事項/Course guidelines

出席確認には GoogleClassroom 上でのコメントシートの提出が必須です。紙は原則として用いません。 NPOに関する事前の知識は必要ありません。逆に、NPOというものがよくわからない方の受講を推奨します。

【第1回/春学期第1回】	・言葉の定義を理解する NPO・NGO・ボランティア		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	·事例紹介 日本のNPO、市民活動		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	・公益に関わる組織概念の整理、公益法人制度の歴史について	·	-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	・特定非営利活動促進法を知る	``	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	·寄付税制について	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	・日本の市民活動の現状と課題	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	

【第7回/春学期第7回】	· 事例紹介 北米の NGO·NPO 活動について		
授業計画/Class outline	18-20		
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	・事例紹介 イギリスの市民自治のあり方について	L	اد
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	·事例紹介 台湾の市民活動と宗教について ·日本と諸外国の市民自治、NPO、ボランティア観	の違い、まとめ	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	・NPO はどう語られているか。 新聞、 テレビといったマスメディア		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	・NPO はどう語られているか。ネットニュース、SNS。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
∕Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	・新しい公共、共助社会づくりといった国の施策と地方の関係 ・休眠預金および社会的インパクト	評価について	
授業計画/Class outline			пунининин
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 13 回/春学期第 13 回】	・信頼をどう勝ち取るか。NPO とメディア戦略。		
授業計画/Class outline			.,
授業外学修(予習および復習)	新聞、テレビ、ネットニュース、SNS で、NPO や NGO、ボランティアについてどのような論調で語ら	目安時間(分)	300
/Preparation & review	れているかを、日常的に確認する。 	/Approx. time (min)	<u></u>
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		口小吐服 (八)	
技業外子修(ア省あよい復省) Preparation & review		目安時間(分) 〈Annray time (min)	
/ Freparation & review 【第 16 回/秋学期第 3 回】		/Approx. time (min)	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	<u> </u>
対表が子形(ア首のよび接首) Preparation & review		日女时間(ガ) / Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】		/ / / γρρι ολ. επίτο (ΠΠΙΙ)	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		. 11	. <u>J</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 19 回/秋学期第 6 回】		<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
L		L	لـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ

【第 20 回/秋学期第 7	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間 (分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	B @]			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9) 回】			-\
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10) (a)			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	2回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	3 @]			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	「る授業の回数/Number of sessions t	o be condu	cted online 0回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crite	ria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	∕In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	50	授業テーマについて、自身の独自の考えを示せて	こいること。
	授業への取り組み	50	質問やコメントシートの提出状況を評価の参考とし	<i>、</i> ます。
	/Effort/Participation			
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	/Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	毎回コメン	トシートとは別に GoogleClassroom 上で質問を受け	け付けます。質問への
	/Feedback method	回答は次	の回の授業冒頭で実施します。	
教科書 Textbooks	講義中に資料を配布します。			
参考書	山岡義典編著『NPO基礎講座『新版	すようせい	、 2005 P·F·ドラッカー著 上田惇生/田代正美	ままでは、まままままでは、またまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
Reference books			田中弥生訳『非営利組織の成果重視マネジメ	
	2000 粉川一郎著『社会を変えるNI			- 1 2 7 1 1 2 2 1 1 1 1
			HIM EUI	
URL				
補足情報				
Supplementary information				

備考
Remarks

M2920	ゲーミフィケーション論				菊地 映輝		
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 5 限	6103 教室		ナンバリング:MCC33270	

ゲーム、ゲームデザイン、遊び、行動変容、アーキテクチャ、ビジネス

授業の概要 / Course outline

「ゲーミフィケーション」とは「コンピュータ・ゲームのなかで特徴的に培われてきたノウハウを現実の社会活動に応用する行為のこと」を意味する言葉です。近年の社会において、一見ゲームとはまったく関係ない場面において、ゲームの要素が込められていたり、ゲームデザインの仕組みが応用されて始めています。本授業では、ゲーミフィケーションの考え方と実例を学びつつ、最終的には履修者自らがゲーミフィケーションの考え方を応用して、ビジネスやサービスのデザインにチャレンジします。授業の進め方は、教員による一方的な講義だけではなく、履修者同士でグループを作ってグループワークを積極的に行います。

到達目標 / Learning objectives

・ゲーミフィケーションとは何かを説明できる。・日常生活の中で、社会に埋め込まれたゲーム的要素に気づき、意識することができる。・自らゲーミフィケーションの考え方を応用し、ビジネスやサービスのデザインができるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

ノート型 PC(Windows、Mac)/スマートフォン(iOS、Android)・必須 ほぼ毎回の授業でゲーミフィケーションの実例にアクセスしてもらいます。また本授業の教科書は電子書籍を想定しているため、スマートフォンないしはノート型 PC で授業中にアクセスする必要があります。

履修上の注意事項/Course guidelines

本授業はあくまで社会における「ゲーミフィケーション」のあり方について取り上げるものであり、ゲームそのものを対象とした授業ではありません。ゲームが好きな人はもちろん楽しめますし、ゲームをほとんどやったことがない人が履修しても十分に授業内容は理解することが可能だと思います。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:この授業の概要と目標		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	ゲーミフィケーションとはなにか?	L	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	ゲーミフィケーションの歴史	·	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。 ・ショートアサイ	目安時間(分)	300
/Preparation & review	ンメントの作成。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	ビジネスとゲーミフィケーション	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	日常生活とゲーミフィケーション	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショートアサイ	目安時間(分)	300
/Preparation & review	ンメントの作成。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	グループワーク①:お題の確認とグループ決め	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・グループメンバーでのミーティングや作業	目安時間(分)	210
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	グループワーク②:取り組むテーマの決定		·d
授業計画/Class outline			
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		

授業外学修(予習および復習)	・グループメンバーでのミーティングや作業	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショートアサイ	目安時間 (分)	300
/Preparation & review	ンメントの作成。	/Approx. time (min)	
授業計画/Class outline			
	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。・ショートアサイ	目安時間 (分)	300
/Preparation & review	ンメントの作成。	/Approx. time (min)	
 【第 10 回/春学期第 10 回】	ゲーミフィケーションの未来		
授業計画/Class outline			
	・授業中に紹介された事例を自分でも詳しく調べてみる等の授業内容の復習。	目安時間(分)	210
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	グループワーク③:プレゼン資料の作成	<u>L</u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・グループメンバーでのミーティングや作業	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	グループワーク④: 前半グループの発表	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	期末レポートの作成	目安時間(分)	300
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	グループワーク⑤:後半グループの発表		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	期末レポートの作成	目安時間(分)	300
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline		·	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline		20000000000000000000000000000000000000	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline		= 1.1 7.2	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		······································	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
∕Preparation & review			/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	業の回数/Number of sessions to be conducted online	2 回	

評価方法 Evaluation method

		<u>-</u>
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト	40	授業時間内もしくは 3s の昨日を使って期末テストを実施する。
/In-class/mid-term tests		
レポート/Report		
授業への取り組み	30	授業への参加態度およびショートアサインメント(宿題)の内容(きちん
/Effort/Participation		と教員の指示に従った内容で提出できているか等)を評価する。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2	30	本授業ではグループワークを実施する。第 12 回および第 13 回の授
		業において、グループごとにプレゼンテーションをしてもらい、その内容
		とグループワーク時の各メンバーの貢献度を評価する。
評価方法に関する備考	グループワ	フークおよびプレゼンテーションの評価は、教員だけでなく履修者による
/Remarks for Evaluation method	評価も加り	味する。 特にグループワーク時の各メンバーの貢献度は、全メンバーが
	他のメンバ	ヾーを評価する 360 度評価を採用する。
課題等に対するフィードバック	・ショートア	プサインメントへのフィードバックは授業内で適宜行う。・グループワーク
/Feedback method	の成果とし	てのプレゼンテーションは授業内で教員から講評を行う。

教科書 Textbooks

参考書 Reference books ・井上明人(2012)『ゲーミフィケーション: 〈ゲーム〉がビジネスを変える』NHK 出版 ※電子書籍版・ケビン・ワーバック、ダン・ハンター(著) 三ツ松新(監訳) 渡部典子(訳)(2012=2013)『ウォートン・スクール ゲーミフィケーション集中講義』 阪急コミュニケーションズ ※現在は入手困難なため興味がある人は中古で購入するか図書館などを利用すること。・その他授業内で適宜紹介する。

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業計画は、受講生の人数・状況や進捗に応じて適宜変更する可能性がある。

M2930	広告論				林 凌	
2.00 単位	講義	秋学期	水曜4限	1002 教室		ナンバリング:MCC33110

広告、消費社会論、記号論、ジェンダー、エスニシティ

授業の概要 / Course outline

本講義では消費社会論の見地から、現代社会を広告という具体的対象から把握するとともに、そうした社会がいかに成立したのかを検討する。具体的には、①「消費社会とは何か」では広告を社会学的に検討するための理論枠組として、消費社会論の概要を説明する。②「消費社会と広告の成立過程」では、広告産業・消費者運動・国際分業システムなどの成立過程を説明し、消費社会と広告間の関係を示す。③「消費社会と広告表象」では、ジェンダー・エスニシティなどのトピックを通じて、広告表象がステレオタイプや私たちの社会認識を再生産していく過程を概観する。

到達目標 / Learning objectives

① 広告が普遍的に見られる社会がいかに成立したのかを説明することができる ② 消費社会における広告の社会的機能について説明することができる ③ 広告表象と現代社会における諸問題間の緊張関係を説明することができる

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

配布資料の閲覧、Google formを用いた授業内課題の答案作成のため、原則 PC ないしはスマートフォンを持参すること。基本的には画面サイズの都合上、PC を推奨します

履修上の注意事項/Course guidelines

広告制作に関する具体的ノウハウ(コピーやグラフィックデザインのコツ、予算管理、クライアントとの付き合い方、効果検証の手法など)についてはほぼ教示しないので注意すること。あくまでも、広告というメディアに関する社会学的分析が論点の中心となる。ただし、授業内容そのものは、広告制作における基礎的問題を取り扱うので、実務家を目指す人にとっても無駄にはなりません。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 広告がある社会としての現代社会を捉える3つの視角		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	自分が通学する間にどのような広告が存在するか、確認しておくこと	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	消費社会とは何か① 消費社会の構成要素とその歴史性		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	消費社会とは何か② 記号体系とガジェット		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	消費社会とは何か③ 計画的陳腐化と消費社会		·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	消費社会とは何か④ 欲しいという欲望の在り処		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	消費社会と広告の成立過程① 広告宣伝の原動力としてのフォーディズム		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	消費社会と広告の成立過程② マスマーケティングと大衆消費者像の成立		·
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	210
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	消費社会と広告の成立過程③ 豊かな社会を支える商品が生まれる場所		i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	消費社会と広告の成立過程④ ファスト消費とマクドナルド化		i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	消費社会と広告の成立過程⑤ 消費者は世界を変えうるか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	消費社会と広告表象① ジェンダー・エスニシティと広告 1		·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	消費社会と広告表象② ジェンダー・エスニシティと広告 2	<del>-</del>	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	消費社会と広告表象③ メタ広告と広告批評		i======
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			<b>.</b>
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			ł
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			

15 W L W 16 / 7 PR L 1 - 6/E PR V	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
•	 ·

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

1回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam	70	授業内容(参考文献含む)について、総合的に理解を問う。難易度と
		しては、授業毎の小課題のレベルを原則とする。
授業時間内に実施するテスト	30	授業内で提示する課題に対し、Google form 経由で適切な回答を提
∕In-class/mid-term tests		出できているかどうか。
レポート/Report		
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考	期末試験	については、レポートに変更する可能性があります
✓ Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	授業内課	題については、翌週の授業で模範解答を示し、受講者の回答を匿名で
/Feedback method	いくつか取	り上げ、論評する。

教科書 Textbooks

なし。ただし、毎週課題文献(1~2万字程度)を読んでもらう。

# 参考書

Reference books

岸志津江・嶋村和恵・田中洋、2024、『現代広告論』有斐閣. 原山浩介、2011、『消費者の戦後史――闇市から主婦の時代へ』日本経済評論社. 林凌、2023、『〈消費者〉の誕生――近代日本における消費者主権の系譜と新自由主義』以文社. 北田暁大、2008、『広告の誕生――近代メディア文化の歴史社会学』岩波書店. 加島卓、2014、『〈広告制作者〉の歴史社会学――近代日本における個人と組織をめぐる揺らぎ』せりか書房. 難波功士、2000、『「広告」への社会学』世界思想社. 天野正子、1996、『「生活者」とはだれか』中央公論新社. 小坂井敏晶、1996、『異文化受容のパラドックス』朝日新聞出版. F.トレントマン、2008=2016、『フリートレイド・ネイション』NTT 出版. J.ボードリヤール、1970=2015、『消費社会の神話と構造』紀伊國屋書店. Erving Goffman、1988、Gender Advertisements、Harpercollins College Div.

URL

# 補足情報

Supplementary information

# 備考

Remarks

予習用文献は授業開始時に例示し、該当箇所のみ 3S 経由で PDF・pptx を読めるようにしておきます。

M2940	広報論				林 凌	
2.00 単位	講義	春学期	水曜 4 限	8603 教室		ナンバリング:MCC33120

広報、産業社会論、フォーディズム、ポストフォーディズム、新自由主義、企業と国家

# 授業の概要 / Course outline

本講義では産業社会論の見地から、現代社会において広報が持つ役割を社会学的に同定し、そうした役割が求められる社会がいかに成立したのかを検討する。具体的には、①「広報・PRとは何か」では広報に関する一般的な定義を参照し、その歴史を概略的に示すことで、(巨大)組織による外部社会への情報通知が求められる条件を検討する。②「資本主義精神の生起過程」では、この観点から近代資本主義社会における認識の変容が、この広報という現象と連接したものであることを論じる。③「企業の誕生」では、広報を担う存在としての企業がいかに社会の中に生じたのかを論じる。④「社会を統治する国家」では、企業活動に対し国家介入が強まるに従い、この広報という現象をめぐり生じた質的変容を論じる。⑤「現代の広報をめぐる問題」では、以上の議論を踏まえ広報をめぐる社会問題について検討する。

#### 到達目標 / Learning objectives

① 広報が普遍的に見られる社会がいかに成立したのかを説明することができる ② 産業資本主義社会における広報の社会的機能について説明することができる ③ 巨大組織による広報と市民社会間の緊張関係を説明することができる

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

配布資料の閲覧、Google formを用いた授業内課題の答案作成のため、原則PCないしはスマートフォンを持参すること。受講人数によってはリアルタイムでの利用も検討します。

### 履修上の注意事項/Course guidelines

広報に関する具体的ノウハウについてはほぼ教示しないので注意すること。あくまでも、広報という現象に関する社会学的分析が論点の中心となる。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 広報がある社会としての現代社会を捉える5つの視角		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	「広報」の定義について、自分なりの考えを固め、具体的事例について調べること	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	広報・PR とは何か① 広報・PR の定義と歴史		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	広報・PRとは何か② 広報・PRと(アメリカ)資本主義の関係		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	資本主義精神の生起過程①「資本主義」はいかに学問上の問題となったのか		·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	資本主義精神の生起過程② 利潤と情念と資本主義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	企業の誕生① アメリカにおける巨大企業の登場		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	210
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	企業の誕生② 株式会社とはなにか		.d
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	上 指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	<u> </u>		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	#定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	210
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	社会を統治する国家② 福祉国家とケインズ主義		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	#定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	社会を統治する国家③ 新自由主義思想の拡大による国家/企業の変容		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	現代の広報をめぐる問題① プロバガンダと行政広報のあいだ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	指定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	現代の広報をめぐる問題② ウォーク資本主義と企業広報		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	#定文献を読み、内容について自分なりに理解し、どこが分からないかを知ること	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		/ Approx. time (min)
授業計画/Class outline		D
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	······································	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	業の回数/Number of sessions to be conducted online 2回	·

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam	70	授業内容(参考文献含む)について、総合的に理解を問う。難易度に
		ついては、授業後の小課題のレベルを原則とする。
授業時間内に実施するテスト	30	授業内で提示する課題に対し、Google form 経由で適切な回答を提
✓In-class/mid-term tests		出できているかどうか。
レポート/Report		
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考	期末試験	については、レポート課題に変更することがあります
✓ Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	授業内課	題については、翌週の授業で模範解答を示し、受講者の回答を匿名で
/Feedback method	いくつか取	スり上げ、論評する。レポート課題は総評を後日 3S にアップロードする。

教科書 Textbooks

なし。ただし、毎週課題文献(1~2万字程度)を読んでもらう。

参考書

多方音 Reference books 関谷直也等著, 2014、『広報・PR論』有斐閣. 河炅珍, 2017、『パブリック・リレーションズの歴史社会学――アメリカと日本における〈企業自我〉の構築』岩波書店. M.ヴェーバー、1920=1989、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波書店. A.O.ハーシュマン, 1976=2014、『情念の政治経済学』法政大学出版局. T.ニコラス、2019=2022、『ベンチャーキャピタル全史』新潮社. C.ローズ, 2022=2023、『「意識高い」系資本主義が民主主義を滅ぼす』東洋経済新報社. G.シャマユー, 2018=2022、『統治不能社会――権威主義的ネオリベラル主義の系譜学』明石書店. B.ミラノヴィッチ, 2019=2021、『資本主義だけが残った――世界を制するシステムの未来』みすず書房.

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

予習用文献は授業開始時に例示し、該当箇所のみ 3S 経由で PDF を読めるようにしておきます。

M2950	スポーツとメディア		小池 隆俊			
2.00 単位	講義	秋学期	火曜 2 限	3224 教室		ナンバリング:MCC33130

スポーツメディア オリンピック マスメディア ネットメディア 放映権料 スポーツイノベーション 自己プロデュース スポーツドキュメンタリー

### 授業の概要 / Course outline

メディアには新聞・雑誌や放送などの既存メディアと近年急速に発達したインターネットメディアがある。それぞれがスポーツをどう捉え、どのような形で情報を発信してきたのかの実態を深く知ることを目的とする。メディアが歴史的にどう発生し、どんな変化を遂げてきたのか。その軌跡と現状を把握しながら、今後予想されるスポーツメディアの世界を読み解く能力を身に着けることを目指す。

### 到達目標 / Learning objectives

・放送、インターネット、新聞・雑誌、それぞれのメディアの特徴が何かを説明することができる。・スポーツメディアの変化について、自分なりに分析する力を身に付けることができる。・判断する力、自分の考えを構築する力を養い、それを言語化し表現する力を持つことをゴールとする。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

グーグルクラスルームと3Sを利用できる機器を持参すること。

履修上の注意事項/Course guidelines

毎回の課題に積極的に取り組むこと。日々のスポーツ関連ニュースに関心を持つこと。

【第1回/春学期第1回】	ガイダンス 講師の自己紹介、授業のオリエンテーション。受講生が主にどのメディアでスポーツを観戦し、情報を得
授業計画/Class outline	ているのかなどのアンケートを行う。
授業外学修(予習および復習)	普段の行動の中で自分がどういうメディアを使って情報を収集しているかについて確認してお 目蛛間(分) 120
/Preparation & review	<a> √Approx. time (min) </a>
【第2回/春学期第2回】	メディアとオリンピック 直近のパリオリンピックにおける報道の特徴を探るとともに、平和の祭典というオリンピックの理念
授業計画/Class outline	が踏みにじられてきた歴史を TV 番組を通じて考察する。
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:視聴した番   日時間(分) 270
/Preparation & review	組内容について自分の考えをまとめミニレポートを提出する。 /Approx. time (min)
【第3回/春学期第3回】	スポーツメディアのさきがけ新聞・雑誌 スポーツを伝えるメデイアの中で歴史が最も長い活字メデイア。始まりとともに
授業計画/Class outline	スポーツに関心を寄せ、報道するだけではなくスポーツの主催者ともなり深くかかわってきた。新聞・雑誌といった活
	字メデイアの歩みを追う。
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google 目時間(分) 270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 /Approx. time (min)
【第4回/春学期第4回】	放送メディアの誕生と発展 ラジオの誕生はスポーツ報道に劇的な変化を生む。それはLIVE(同時性)を手に入れた
授業計画/Class outline	ことによる。さらに映像を加えたテレビは大衆を虜にした。オリンピックを節目に技術を進化させスポーツメデイアの中
	核となっていった放送メデイアの歴史を見る。
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google 目時間(分) 270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 /Approx. time (min)
【第5回/春学期第5回】	スポーツの商業化によるアマチュアリズムの消滅 スポーツメディアの発展はスポーツのプロ化・商業化を促し、一方
授業計画/Class outline	で近代オリンピックにおいてその精神が受け継がれてきた「アマチュアリズム」を消滅させて行く。 この過程を追うこと
	はスポーツの発祥と発展の歩みを知ることにつながる。
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google   Bs端(分) 270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 /Approx. time (min)
【第6回/春学期第6回】	テレビによるスポーツ支配 スポーツ組織、スポンサー企業そしてメディア企業、このトライアングルがスポーツをビッグ
授業計画/Class outline	イベントに押し上げてきた。その過程で競技日程の変更や競技ルール変更などテレビによるスポーツ支配とも呼ばれ
	る状況が生じた。
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google 目 時間(分) 270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 /Approx. time (min)
【第7回/春学期第7回】	放映権料の高騰と OTT の登場 1984 年のロサンゼルスオリンピックは商業化路線の始まりとして広く認知されてい
授業計画/Class outline	る。その後、衛星放送やペイテレビの普及とも相まって放映権料は高騰が続く。そして OTT の登場によりさらに激化の

授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google	目安時間(分)	270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	スポーツ中継 スポーツ報道には、ニュース、中継、ドキュメンタリー、スタジオ番組などある。その	のなかでも高視	聴率
授業計画/Class outline	をマークし長時間視聴者を釘付けにするのがナマ中継。その中継現場に身を置く経験からスポー	ーツナマ中継の	仕組
	みや演出についての考え方などを解説する。		
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google	目安時間(分)	270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	スポーツドキュメンタリー スポーツ報道の中核の一つにドキュメンタリーがある。選手が勝負の瞬	間に何を考え、	どん
授業計画/Class outline	な過程を経たのかを解き明かす手法は、受け手に驚きと納得感を与える。 秀作を見ながらテレビ	ビスポーツドキ.	ュメン
	タリーを紐解く。		
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:視聴したス	目安時間(分)	270
/Preparation & review	ポーツドキュメンタリー番組の感想をまとめミニレポートを提出する。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	スポーツイノベーション スポーツ競技をとらえるカメラの高度化、解析システムの発達、CG 技術の	の進化などはス	パポー
授業計画/Class outline	ツの見方を変え、競技力の向上や戦略にも多大な変化をもたらしている。変化の真っただ中にある	る現状を洞察す	ける。
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google	目安時間(分)	270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	誰もがメディアになる時代 SNSで選手が情報発信することは日常的になっている。マスメディア	に頼らず自己	プロデ
授業計画/Class outline	ュースする動きも盛んに行われている。具体的事例を見ながら、そこに潜む問題点にも目を向ける	る。	
授業外学修(予習および復習)	予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google	目安時間(分)	270
/Preparation & review	Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	スポーツメディアの近未来 インターネットがメディアの中心となりつつある中、既存メディアのネッ	ト展開も急速に	進展
	し、大融合時代を迎えている。 また5G を用いた新たな映像技術が次々に開発され、その進歩/	は目覚ましい。	メディ
授業計画/Class outline	1		
授業計画/Class outline	アのこれからを探る。		
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	270
	アのこれからを探る。	目安時間(分) /Approx. time (min)	
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google	/Approx. time (min)	270
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習:Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。	/Approx. time (min)	270
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第 13 回/春学期第 13 回】	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括	/Approx. time (min)	270 と て提
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min) 舌する。課題とし	270 て提
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min) 舌する。課題とし 目安時間(分)	270 と て提
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min) 舌する。課題とし 目安時間(分)	270
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第14回/秋学期第1回】	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min) 舌する。課題とし 目安時間(分)	270 と で提
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) /Approx. time (min)	270 と て提
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) Approx. time (min) 目安時間 (分)	270 と て提
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) Approx. time (min) 目安時間 (分)	270 と て提
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review 【第15回/秋学期第2回】	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) Approx. time (min) 目安時間 (分)	270 て提
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) /Approx. time (min) 目安時間 (分) /Approx. time (min)	270 と て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) Approx. time (min) 目安時間 (分) Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】  授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】  授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】  授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第17年 日本記載 (予選問題)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) Approx. time (min) 目安時間 (分) Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min) ちする。課題とし 目安時間 (分) Approx. time (min) 目安時間 (分) Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】  授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】  授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】  授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】  授業計画/Class outline	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   まする。課題とし   目安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。  予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroom に配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。  授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min)  ちする。課題とし  目安時間 (分) /Approx. time (min)  目安時間 (分) /Approx. time (min)  目安時間 (分) /Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min)  ちする。課題とし  目安時間 (分) /Approx. time (min)  目安時間 (分) /Approx. time (min)  目安時間 (分) /Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	/Approx. time (min)  ちする。課題とし  目安時間 (分) /Approx. time (min)  目安時間 (分) /Approx. time (min)  目安時間 (分) /Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   E する。課題とし   B 安時間 (分)   Approx. time (min)   B 安時間 (分)   Approx. time (min)   B 安時間 (分)   Approx. time (min)   Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)  /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   まする。課題とし   目安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   目安時間 (分)   Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) /Preparation & review	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   まする。課題とし   目安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   目安時間 (分)   Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第18回/秋学期第5回】	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   まする。課題とし   目安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   目安時間 (分)   Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   Eする。課題とし   目安時間 (分)   Approx. time (min)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)	270 て提
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第13回/春学期第13回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第14回/秋学期第1回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第15回/秋学期第2回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第17回/秋学期第4回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第17回/秋学期第5回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) / Preparation & review  【第18回/秋学期第5回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	アのこれからを探る。 予習:授業で取り上げるテーマについてニュースや関連情報を調べておく。 復習: Google Classroomに配布される授業内小テストの解説を熟読しキーワードを再確認する。 授業全体のまとめとレポート提出 これまでの授業で取り上げてきた内容・キーワードを整理し総括示したレポートの提出。	Approx. time (min)   まする。課題とし   目安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   日安時間 (分)   Approx. time (min)   目安時間 (分)   Approx. time (min)   目安時間 (分)   Approx. time (min)	270 と て提

授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
∕Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
∕Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

0 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
性別/ Gategory	剖百 %	計画基準等/ Evaluation Griteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト	50	各回で総括と授業内小テストを行う。4 問の選択式で1問 1 点の 4 点
∕In-class/mid-term tests		満点。ただし初回はアンケート提出で2点、2回目と9回目はTV番
		組視聴に関するミニレポート提出で各 4 点とし、合計 50 点。 ミニレポ
		―トは視聴した番組内容をふまえ、自分の意見を述べているかを見
		<b>ప</b> ం
レポート/Report	50	期末に課す最終レポートによって評価する。評価基準は、授業内容を
		踏まえているか、記述のオリジナリティがあるか、論理構成がしっかりし
		ているか、分かりやすい表現になっているかなど。 特に自分なりの意
		見や考えを述べているかを重視する。
授業への取り組み		
/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考		
∕Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	次回授業の冒頭で前回授業の総括と小テストの解説を行う。	
/Feedback method		

教科書 Textbooks

特になし

# 参考書

Reference books

「21世紀スポーツ大辞典」中村敏雄ほか編集主幹 大修館書店「日本スポーツ放送史」橋本一夫 大修館書店「よくわかるスポーツ文化論」 井上俊 菊幸一編著 ミネルヴァ書房「スポーツ好きは甲子園とオリンピックから始まった」佐塚元章 文芸社「情報爆発時代のスポーツメディア」滝口隆司 創文企画「現代スポーツ評論22·41」 清水諭責任編集 創文企画

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks この授業はアナウンサー・プロデューサーとして放送に携わってきた講師が、40 年にわたる取材・番組制作活動をもとに講義するものです。

M2970	メディアリテラシー論				宇田川	敦史
2.00 単位	講義	春学期	火曜 1 限	1201 教室		ナンバリング:MCC33150

メディア・リテラシー、メディア論、メディア教育、メディア表現、メディア・デザイン

# 授業の概要 / Course outline

複雑化するメディア環境において、インフラ化し不可視化されるメディアの媒介に気づき、その特性を理解した上で、メディアを読み解き、メディアで表現し、メディアをデザインする素養はますます重要となっている。メディア・リテラシーとは、単なる「マス・メディアの批判的な読み解き」にとどまらず、メディアに囲まれた日常生活においてメディアとどのように関わるのか、日々の実践と直結する知恵であり素養である。 本授業ではこのようなメディア・リテラシーについて、さまざまな実生活の文脈に応じてどのような育成が可能かを実践的に考えていく。

### 到達目標 / Learning objectives

・メディア・リテラシーとは何か、説明できるようになる・身の回りのメディアについて、その介在に気づき、批判的に読み解くことができる・メディア上での表現のみならず、メディア自体のデザインについて、あるべき姿を構想できる

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

ノート型 PC(Windows/Mac を問わない)またはタブレット端末の持参を強く推奨する(授業資料の参照やグループワークで使用する)

### 履修上の注意事項/Course guidelines

・特に前提知識は問わないが、「メディア社会学」履修後の受講を推奨する。・受講生の人数および前提知識、関心、授業期間中のメディアの動向に応じて、授業内容を柔軟に変更することがある。・授業内でワークショップ等ディスカッションの機会を設ける予定であり、積極的な参画姿勢が求められる。

【第1回/春学期第1回】 イントロダクション	: メディア・リテラシーとは何か	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 田鉄間(分)	240
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】 メディア・リテラシ	· 一の緒理論	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 田姆間(分)	240
/Preparation & review	✓Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】 ニュースの構成:	<u>を考える</u>	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 田鉄間(分)	240
/Preparation & review	✓Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】「編集」と送り手の	D意図	J
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 田鉄間(分)	240
∕Preparation & review	✓Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】 メディアの構成す	↑る「現実」とは	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 田姆間(分)	240
∕Preparation & review	✓Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】 統計は信頼でき	るか	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 目時間(分)	240
/Preparation & review	✓Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】 レビューとアルゴ	リズム	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 授業内容の復習	とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施 目時間(分)	240
/Preparation & review	/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】			
授業計画/Class outline	15 BANKET 7 7 1 7 - 3 7		
	授業内容の復習とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	広告とプライバシー		.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	「情報的健康」とパーソナルデータ		.j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	Al のメディア・リテラシー		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	メディアの「ブラックボックス」を考える		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習とミニレポートの提出 次回の授業に向けた事前調査課題の実施	目安時間(分)	240
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ:これからのメディア・リテラシー		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業内容の復習と最終課題の提出	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		D-448 (1)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline		: 口去叶服 ///	
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) (Approx. time (min)	
/ Preparation & review 【第19回/秋学期第6回】		/Approx. time (min)	<u></u>
<b>L弟 19 回/ 秋子朔弟 0 回』</b>   授業計画/Class outline			
授業計画/ Class Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
技業外子修(ア省あよび復省)   Preparation & review		日女吋间(ガ) /Approx. time (min)	
/ Preparation & review 【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ Approx. tille (IIIII)	<u> </u>
接載計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/ Approx. time (min)	
7 1 10paration & 10 910 W		/ Approx. time (tilli)	.L

【第 21 回/秋学期第 8	<b>1</b> ]			
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	3)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】		i	·
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	图)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】			
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	3)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	回】			
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	图)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	回】			
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	B)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	回】			
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	3)			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
オンラインで実施す	る授業の回数/Number of sessions to be	e conducted online	1 回	
評価方法	種別/Category 割	合 %	評価基準等/Evaluation criter	ia
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	将業時間内に実施するテフト 			

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
定期試験/Regular Exam			
授業時間内に実施するテスト			
/In-class/mid-term tests			
レポート/Report	50	期末に課す最終課題の提出と内容によって評価する。	
授業への取り組み	50	毎週の出席者に課すミニレポートの提出と内容、ワークショップ実施時	
/Effort/Participation		はその参画度合やアウトプットの内容によって評価する(欠席した場	
		合、その週のミニレポートは評価対象にならないので注意すること)。	
その他1/Other 1			
その他2/Other 2			
評価方法に関する備考			
/Remarks for Evaluation method			
課題等に対するフィードバック	授業内容の復習と理解度の確認、次回授業の予習も兼ねて、毎週ミニレポートを		
/Feedback method	課す。その	D記述内容について授業内でフィードバックを行う。	

教科書 Textbooks 中橋雄・NHK 学園編(2024)『世界は切り取られてできている: メディア・リテラシーを身につける本』NHK 出版 (ISBN: 978-4-14-081958-6)

参考書 Reference books 宇田川敦史(2024)『AI 時代を生き抜くデジタル・メディア論』北樹出版 長谷川一・村田麻里子 編著 (2015)『大学生 のためのメディアリテラシー・トレーニング』三省堂 中橋雄(2021)『改訂版 メディア・リテラシー論: ソーシャルメディア時 代のメディア教育』北樹出版 坂本旬・山脇岳志 編著(2022) 『メディアリテラシー: 吟味思考を育む』時事通信社 松 井広志・岡本健 編著(2021)『ソーシャルメディア・スタディーズ』北樹出版

URL

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業計画は、受講生の人数・状況や進捗に応じて適宜変更する可能性がある。

M3000	映像アーカイブ論				市川 衛	:
2.00 単位	講義	秋学期	水曜 3 限	1002 教室		ナンバリング:MCC33160

映像 動画 映画 テレビ番組 YouTube TikTok アーカイブ 博物館 ドキュメンタリー ビデオクリップ 記録 公文書 戦争 学徒出陣 ケネディ 暗殺 ヒットラー 第二次世界大戦 歴史 社会 生成 AI 南京事件 天安門事件 原子爆弾 戦争犯罪 チャップリン コメディミュージックビデオ

### 授業の概要 / Course outline

映像アーカイブとは、映像資料(映画、テレビ番組、ドキュメンタリー、ビデオクリップなど)を保存、整理、管理し、将来的にアクセス可能にするためのシステムやプロセスを指します。文化的、歴史的、教育的価値を持つ映像を劣化や喪失から守り、研究、教育、公共利用に役立てることを目的としています。 例えば米ケネディ大統領の暗殺の瞬間をとらえたザプルーダー・フィルム。その映像は、いまも真犯人検討の重要な資料として参照されています。また、アーカイブされた映像を活用して新たな映像作品や展覧会などのコンテンツが生まれ、私たちに貴重な学びを与えてくれます。 本講義では映像アーカイブを活用した、様々な映画やドキュメンタリー番組などを視聴し、学校の授業や教科書などで習うものとは一味違う、歴史の新たな側面を発見していきます。それを通じて、映像アーカイブの意義や価値を感じてください。

### 到達目標 / Learning objectives

・映像アーカイブを活用した作品の視聴を通じ、第二次世界大戦やケネディ大統領暗殺など、歴史的な出来事の知られざる側面を知り自分なりに解釈する。・映像アーカイブに残された過去の俳優の演技や伝統芸能の視聴を通じ、今後の人生を豊かにすることに資する教養を得る・国内海外でいま活動する映像アーカイブの活動を知り、映像を保存・整理・管理する意義を理解する・映像アーカイブの、今後求められる役割について理解する

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

PC を持参する必要はありませんが、ネットに接続可能なスマートフォンを持参してください。(講義中に表示される 2 次元バーコードを読み込んで質問に答える場合があります)

#### 履修上の注意事項/Course guidelines

【大切な注意事項】※映像アーカイブには、歴史上起きた事実を記録するため、戦場や国家による虐殺などの現場を記録したものがあります。本講義で取り上げる作品のなかにも、そうした映像が含まれます。もちろん過度にグロテスクな映像や、法律の範囲を超える内容は出てきませんが、そうした映像が苦手な方は履修を再検討いただいたほうがいいかもしれません。 【その他の注意点】※映像の鑑賞が主目的の講義ですので、大きなスクリーンと音響設備を備えた教室での対面講義を前提としています。オンライン講義は、そのほうが効果的と判断した場合にイレギュラーに入れる可能性もありますが、基本はすべて対面講義です。 ※講義への出席に加え、毎回のコメントペーパーの提出をもって「出席」とします。また、小グループのディスカッションがある回の場合は、コメントペーパーに加え、議論へ参加した記録があることをもって出席とします(講義中にお示しする Google フォームに回答して頂きます)。

【第1回/春学期第1回】	【映像アーカイブとは何か、その意義は①】 ロシア革命により処刑された、ロシア最後の皇帝ニコライ2世。世界史の
授業計画/Class outline	授業でその名前を聞いた方も多いかもしれません。 NHK が総力を挙げ、世界中の映像アーカイブを活用して制作し
	た NHK スペシャル「映像の世紀」(1995)。放送当時から大きな反響を得たこの番組には、ニコライ 2 世の処刑を記
	録した映像が利用されています。 教科書や授業で聞いた、歴史上の人物。単なる記号でしかなかった名前が、映
	像を伴った瞬間に、本当にそこにいた「人物」として現実感を獲得します。映像アーカイブの意義について、体感してく
	ださい。 ※本講義では小グループによるディスカッションを実施する予定です
授業外学修(予習および復習)	・映像アーカイブの意義・ムービーカメラが登場し、普及が進んだ 20 世紀。「映像の記録」は   18間(分)   120
/Preparation & review	私たちの考え方や行動にどのような影響を与えたのか 上記のポイントに注目して、視聴した作 /Approx.time (min)
	品をもとに自分で周辺情報を調べ、その内容や個人の意見をコメントペーパーにまとめてくださ
	()
【第2回/春学期第2回】	【映像アーカイブとは何か、その意義は②】 第二次世界大戦中の 1943 年 10 月。大学生や専門学校生が、戦場
授業計画/Class outline	に送られました。それまで徴兵猶予とされていた方針が一転したのです。どんな気持ちだったでしょうか。 学徒出陣
	の際に神宮外苑で開かれた「出陣学徒壮行会」の様子を記録したフィルムが残っています。本講義では、そのフィル
	ムと、そこに映っていた学生のその後の取材を通じて、当時の若者たちがどのような覚悟で時代を生きていたのかを
	明らかにした「NHK スペシャル 雨の神宮外苑~学徒出陣·56 年目の証言~」(2000)を視聴し、議論します。 ※
	本講義では小グループによるディスカッションを実施する予定です
授業外学修(予習および復習)	・戦地に送られる学生たちや、それを見送る女子学生の映像を見て、何を感じましたか?特   18間(分) 120

/Preparation & review	に、戦争のイメージの変化について・フィルムを保存し、そこに記録された人たちの現在の証言 /Approx.time(min)
	と共に新たな映像作品とすることの意義について 上記のポイントに注目して、ディスカッションの
	内容をもとに自分で周辺情報を調べ、コメントペーパーにまとめてください
【第3回/春学期第3回】	
授業計画/Class outline	まだに真犯人の探索が続けられています。その最も重要な資料とされるのが、暗殺の瞬間をとらえた「ザブルーダー・
	フィルム」と呼ばれる 30 秒程度の映像です。オリバー・ストーン監督は映画「JFK」(1991)の中で、このフィルムの検
	その意味を考えます。
授業外学修(予習および復習)	・特に、歴史的な事件の検証に関し、映像アーカイブはどのような意義があるか ・JFK は、実際   185間(分) 120
/Preparation & review	のアーカイブ映像(ザブルーダー・フィルム)と新たに撮影した再現を組み合わせることで、緊迫 /Approx.time(min)
	   感のある映像を作り出しました。しかしその演出手法は、批判の対象にもなりました。あなたはこ
	の手法を、どう感じますか? 上記のポイントを意識しながら、自分なりに調べた周辺情報と共に
	コメントをまとめてください。
【第4回/春学期第4回】	
授業計画/Class outline	したアドルフ・ヒットラー。ヒットラーは映像の力を最大限に活用することで、国民の支持を獲得し、独裁を強めたとされ
	   明し、映像の持つ負の可能性について検証する取り組みが進みました。 レニ・リーフェンシュタール「意思の勝利」・
	NHK スペシャル「映像の世紀3集」などを視聴しながら、映像の持つ力とリスクについて考えます。 ※本講義では小
	グループによるディスカッションを実施する予定です
授業外学修(予習および復習)	・アーカイブ映像から、あなたの第二次世界大戦やナチス・ドイツへのイメージは変わりました 目 時間 (分) 120
/Preparation & review	か?・例えば最近の兵庫県知事選挙や、アメリカの大統領選挙などで、YouTube などを通じた /Approx. time (min)
	映像が選挙結果を左右したと指摘されています。映像の持つ力とリスクについて、あなたはどう
	考えましたか? 記のポイントに注目して、ディスカッションの内容をもとに自分で周辺情報を調
	べ、コメントペーパーにまとめてください
【第5回/春学期第5回】	【映像アーカイブを活用した歴史の検証例②】 南京事件は、日中戦争において、1937年12月に日本軍が南京戦
授業計画/Class outline	において中華民国の首都である南京市を攻略した後(もしくはその前後)に、非戦闘員である一般市民や捕虜、敗残
	兵を虐殺した事件とされます。近年、SNS などでは「南京事件は存在しない」とする言説を目にすることもあります。こ
	うした歴史的な事件の存在や規模、発生の背景などを検証する際に重要になるのが、映像、そして文章のアーカイブ
	です。 講義では、実際に日中戦争に従軍したもと兵士の日記などから南京事件の全貌に迫った NNN ドキュメント「南
	京事件 兵士たちの遺言」を視聴して議論します。 ※本講義では小グループによるディスカッションを実施する予
	定です
授業外学修(予習および復習)	・歴史的検証における、映像や文章のアーカイブの重要性についてどう感じますか? ・南京事   眩睛(分) 120
/Preparation & review	件を含め、国内では戦時中の日本軍の戦争責任についての検証や、議論が好まれない傾向 /Approx.time(min)
	が高まっているという指摘もあります。その背景にあるのは、どんなことでしょうか。 上記のポイン
	Hに注目して、ディスカッションの内容をもとに自分で周辺情報を調べ、コメントペーパーにまとめ
	てください
【第6回/春学期第6回】	【映像アーカイブを活用した歴史の検証例③】 天安門事件—前半 天安門事件は、1989年6月4日に中華人民
授業計画/Class outline	共和国において、民主化を求めるデモ隊に対し、中国人民解放軍が実力行使し、多数の死傷者を出した事件です。
	中国においては、この事件について語ること、その映像を視聴することがタブーとなり、そのとき何が起きたのかの検証
	が進んでいないとも指摘されています。本講義で視聴する「天安門」は、天安門事件の映像アーカイブを集めたド
	キュメンタリー映画です。なかなか日本のメディアでも見ることの少ない映像を見ながら、隣国・中国の学生たちに何
	が起きたのか、映像アーカイブがタブー化され、一般に公開されないことが何を引き起こすのか、考えます。 ※この
	映画は全編で 189 分と長いため、2 回に分けて鑑賞・議論します
授業外学修(予習および復習)	・「天安門事件」について、歴史の教科書で知っていた内容と、今回、映像で見た内容にギャッ 目 時間 (分) 120
/Preparation & review	プがあったでしょうか ·天安門事件の映像を見て「この映像は見たことがない」と答える中国の /Approx.time (min)
	人たちの反応を見て、何を感じたでしょうか 上記のポイントに注目して自分なりに調べた周辺情
	報と共にコメントをまとめてください。
【第7回/春学期第7回】	【映像アーカイブを活用した歴史の検証例④】 天安門事件—後半 天安門事件は、1989 年 6 月 4 日に中華人民
授業計画/Class outline	共和国において、民主化を求めるデモ隊に対し、中国人民解放軍が実力行使し、多数の死傷者を出した事件です。
	中国においては、この事件について語ること、その映像を視聴することがタブーとなり、そのとき何が起きたのかの検証
	が進んでいないとも指摘されています。本講義で視聴する「天安門」は、天安門事件の映像アーカイブを集めたド
	キュメンタリー映画です。なかなか日本のメディアでも見ることの少ない映像を見ながら、隣国・中国の学生たちに何

	が起きたのか、映像アーカイブがタブー化され、一般に公開されないことが何を引き起こすのか、考えます。 ※この
	映画は全編で 189 分と長いため、2 回に分けて鑑賞・議論します
授業外学修(予習および復習)	・「天安門事件」をすべて視聴して、改めて映像アーカイブの意義について、感じたことはあるで 目 瞬間 (分) 120
/Preparation & review	しょうか・現代中国で、とくに習近平政権下で、天安門 事件がいまだにどのような影を落として /Approx.time(min)
	いるでしょうか。当時の映像の視聴がタブーとされていることは、それに何か影響を与えているで
	しょうか 上記のポイントに注目して自分なりに調べた周辺情報と共にコメントをまとめてください。
【第8回/春学期第8回】	【映像アーカイブを活用した歴史の検証例⑤】 いまから80年前、1945年(昭和20年)8月6日に広島市、8月9
授業計画/Class outline	日に長崎市に原子爆弾が投下されました。きのこ雲の下で、何が起きていたのか。人類史上の汚点を繰り返さないた
	めに、その実態を記録した映像アーカイブは重要な示唆を与えてくれます。 本講義では、広島原爆投下の直後の惨
	状を記録した、世界でたった 2 枚の写真をもとに、その時に何が起きたかを詳細に調査した NHK スペシャル「きのこ
	雲の下で何が起きていたのか」を視聴し、映像アーカイブの意義について考えます。 ※本講義では小グループによ
	るディスカッションを実施する予定です
授業外学修(予習および復習)	・広島原爆投下後の状況を記録した写真を見て、何を感じましたか・なぜ、アメリカは原爆を投 目時間(分) 120
/Preparation & review	下したのか。人類はなぜ、市民を大量虐殺しうる兵器を開発し、実際にそれを使ってしまったの /Approx.time(min)
	か 上記のポイントに注目して、ディスカッションの内容をもとに自分で周辺情報を調べ、コメント
	ペーパーにまとめてください
【第9回/春学期第9回】	【映像アーカイブを活用した著名・無名の人物の記録例①】 世紀のコメディアンとして知られるチャールズ・チャップ
授業計画/Class outline	   リン。彼は極度の完璧主義者として知られ、実際の映画よりはるかに多くのシーンを撮影し、そのほとんどをカットし、し
	┃ ┃ かも外部に漏れないように NG シーンのフィルムを消却したと言われます。 しかし、その一部が残っていました。完成
	映画としてはカットされたシーンは、「それをなぜ、採用しなかったか」を考えることで、チャップリンの人柄を研究するう
	えで貴重な映像アーカイブとなります。 歴史的な人物を知るうえで、映像アーカイブはどんな意義を持つのか、考え
	ます。
授業外学修(予習および復習)	■
/Preparation & review	は 最い公開されることは、制作者自身からすると心外なことかもしれません。それをすることに意義 / Approx.time (min)
•	はあるのか。あるとすればなぜか、ないとすればなぜか 上記のポイントに注目して、自分なりに
	調べた周辺情報と共にまとめてください。
【第 10 回/春学期第 10 回】	【映像アーカイブを活用した著名・無名の人物の記録例②】 本講義で紹介するのは、アメリカの輩出した不世出の
授業計画/Class outline	   2 人のスター、フレッド・アステアとマイケル・ジャクソンのパフォーマンスを記録した映像です。 キング・オブ・ポップと
	言われるマイケル・ジャクソン。彼が師と仰いだのがフレッド・アステアでした。アステアはダンスを映画の世界に花開か
	せました。このふたりの身体表現の凄味について見ていきます。
授業外学修(予習および復習)	※身体芸術はなぜ、私たちの心をとらえるのか ※時代を象徴するエンターティナーの表現を 目 時間(分) 120
/Preparation & review	記録した映像は、現代にどのような意義を持つのか 上記のポイントを意識して、視聴した作品 /Approx.time (min)
	の感想や学びについてまとめてください
【第 11 回/春学期第 11 回】	【映像アーカイブを活用した著名・無名の人物の記録例③】 映像アーカイブは、著名人の記録だけが重要なのでは
授業計画/Class outline	ありません。むしろ、歴史書などには記録されない、一般の人の暮らしぶりこそが、その時代の風俗や雰囲気を記録す
	ることに繋がります。 本講義では、NHK「現代の記録」から「兄貴と若い衆」「犬神」(1964)を視聴します。 ※本講
	義では小グループによるディスカッションを実施する予定です
授業外学修(予習および復習)	※いまから 60 年前の、みなさんと同じ年代の暮らしから何を感じましたか。 ※病に悩む人の原 目 時間 (分) 120
/Preparation & review	因として「犬神憑き」が信じられている地域。その暮らしから何を感じましたか? 上記のポイント /Approx.time(min)
	に注目して、小グループで議論した内容を、自分なりに調べた周辺情報と共にまとめてくださ
	い。
【第 12 回/春学期第 12 回】	【映像アーカイブのいま、これから①】 本講義では、国内海外でいま活動する映像アーカイブについて紹介します。
授業計画/Class outline	「映画の父」と言われるリミュエール兄弟を記念した「リミュエール博物館」には、研究所(シネマテーク)が併設されて
	います。日本で活動する「デイペックス・ジャパン」は、様々な病と向き合う患者の「語り」の映像を記録し、インターネッ
	ト上で公開しています。
授業外学修(予習および復習)	※国内外の映像アーカイブの取り組みの中で、最も興味をひかれたものについて、自分自身で   Bs端 (分) 120
/Preparation & review	調べた周辺情報を元に、その意義について深掘りしてコメントにまとめてください。 /Approx.time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	【映像アーカイブのいま、これから②】 最後の講義ではこれまでの講義について振り返ると共に、いま、劇的な発展
授業計画/Class outline	を遂げようとする生成 Alによる「映像生成」について考えます。 気軽に自由に映像を作成できる一方、「ディープフェイ
	ク(人間には見分けがつかない精巧なフェイク動画)」による、不正や歴史歪曲などのリスクが懸念されています。 そ
	うした時代の中で、映像アーカイブはどのような意義を持っていくのでしょうか。 ※本講義では小グループによるディ
	スカッションを実施する予定です
	スカッションを実施する予定です

授業外学修(予習および復習)	本講義 13 回を通じて、受講生の皆さんは何か得られたものがあったでしょうか? 講師に対し、	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	「もっとこうしてほしかった」というフィードバックを含め、自由に考えをコメントにまとめてください。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			·
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第 16 回/秋学期第 3 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Glass Gutille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
技業外子修(ア省のよび復省) / Preparation & review		日女吋囘(ガ) /Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		/ Approx. tille (IIIII)	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	Ţ
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		, .,,,	.L
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		<u>:</u>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 22 回/秋学期第 9 回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	T
「大学学のでは、 / Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10 回】		/ ripprox. time (min)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	<u> </u>
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11 回】			.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12 回】		÷	.3
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13 回】			
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復 /Preparation & revie			目安時間(分) / Approx. time (min)			
オンラインで実施す	る授業の回数/Number of sessions t	o be condu	icted online 1 回			
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
Evaluation	定期試験/Regular Exam					
method	授業時間内に実施するテスト	30	毎回の講義でコメントペーパーを提出していただきます。字数に定めは			
	/In-class/mid-term tests		ありません。内容により評価を行います。優秀なものは、匿名化したう			
			えで講義の際にご紹介させていただきます。			
	レポート/Report	40	講義でお示しした内容を元に、自らテーマを定め、映像アーカイブを活			
			用したドキュメンタリー映画・番組・書籍などを鑑賞し、その内容を元に			
			3000 字から 3500 字程度のレポートを書いていただきます。 課題の			
			内容、書式、期限などについては講義内でお知らせします。			
	授業への取り組み	30	30 ※授業への取り組みは、小グループの際に同じグループとなった他の			
	/Effort/Participation		受講者による評価の結果を重視します。 ※出席は、講義へ出席した			
			だけではなく、コメントペーパーの提出をもって判定します。 小グループ			
			のディスカッションががある回の場合は、前述に加えて、議論へ参加し			
			た記録があることをもって出席とします(講義中にお示しする Google フ			
			オームに回答して頂きます)。			
	その他1/Other 1					
	その他2/Other 2					
	評価方法に関する備考					
	✓Remarks for Evaluation method					
	課題等に対するフィードバック	毎回の授業の前に、前回のコメントペーパーを紹介し、みなさんの理解度や参				
	/Feedback method		を評価します。 小グループでのディスカッションの際には、受講生のみ			
			身に、同じグループの受講生の議論への参加姿勢について評価をしてい			
		ただきます。その結果を、誰が誰をどのように評価したのかにつ				
うえで、みなさまにフィードバックします。						
教科書 Textbooks	夬まったものはありません。随時、参考となるリソースを講義の際に紹介します。					
参考書 Reference books	決まったものはありません。随時、参考となるリソースを講義の際に紹介します。					

URL

講師である市川衛の公式ページです。現在の活動、過去の出演・制作作品も載せています。参考までにご覧ください。 市川衛一医療の『翻訳家』 https://mamoruichikawa.info/ 講師・市川の記事の一例(Yahoo!ニュースエキスパート記事) https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/mamoruichikawa

補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

M3020	国際ニュース研究/映像ジャーナリズム論				藤谷 健	
2.00 単位	講義	秋学期	月曜1限	1001 教室		ナンバリング:MCC33180

国際情勢、ソーシャルメディア、OSINT(オープンソース・インテリジェンス)、特派員、トランプ政権、反グローバリズム、東アジア情勢、中国、習近平、米中対立、北朝鮮、台湾危機、新疆ウイグル問題、パレスチナ問題、ガザ侵攻、ウクライナ侵略、北大西洋条約機構(NATO)、日米同盟、日米安全保障条約、沖縄の米軍基地、ミャンマー、タイ最南部、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、感染症、グローバルヘルス、気候変動、地球温暖化、地球沸騰、食料危機、飢餓、持続可能な開発目標(SDGs)、SDGs ウォッシュ、ミレニアム開発目標(MDGs)

### 授業の概要 / Course outline

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルとイスラム組織ハマスの衝突、トランプ政権の再登場、新型コロナの爆発的感染、対立を深める米中関係、北朝鮮の核開発、長引く地域紛争、気候変動 や食料危機など深刻化する地球規模の課題…。激動する世界各地から刻々と伝えらえれるニュースを取り上げ、国際情勢への理解を深めます。ニュースを理解する鍵となる、歴史的・社会的・文化的な背景などを探るとともに、通信情報技術(ICT)の進化に伴う情報流通の大きな変化についても学びます。授業では、10年以上にわたり新聞社の海外特派員として活動してきた講師が、アジアやヨーロッパ、アフリカでの取材経験を伝えながら、現場で感じた国際報道の課題なども共有します。 質問や相談、フィードバックなどは適宜、3SやGoogle クラスルームなども使いながら行います。講義後に感想(リアクションペーパー)、期末にはレポートの提出をそれぞれ求めます。 講師のプロフィールはこちらから https://www.asahi.com/withplanet/author/takeshifujitani/

#### 到達目標 / Learning objectives

・いま起きている時事ニュースを通じて、その背景や要因などを考えながら、国際情勢をより深く理解し、自らが説明できるようになる・ニュースが届くまでの過程や仕組みを学び、ニュースを正しく、また客観的に理解できる力を身につける・ソーシャルメディアやビッグデータなどを活用した新しいニュースの形について、知識を深めることができる・テーマを決めて、グループディスカッションをすることがあります

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○グローバルな思考力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

毎回出席を取ります。スマホか PC を持参してください

### 履修上の注意事項/Course guidelines

・国際情勢に関心を持ちながら、受け身ではなく意識的にメディアに触れ、国際ニュースを読んだり、見たりしてください。最新のニュースを扱うことがあるため、シラバスと内容が異なったり、順番が前後したりする場合があります ・次回の講義で扱うトピックが指定されている場合は、当該のニュース(記事や映像)を事前に探し、読んで/見てください。またニュースとなる出来事の背景やこれまでの経緯について考え、疑問に思うことがあったら自分で調べるよう努めてください ・毎回、出席を取ります。また授業後に感想を書くことが求められます。提出期限を定めます。出席と感想は平常点の一部(全体の 60%)となります

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:講義の概要や狙い、評価などについて説明します ・世界の出来事(国際ニュース)を知ることの
授業計画/Class outline	大切さ・メディアやジャーナリズムが果たす役割
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3) 目時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う /Approx. time (min)
【第2回/春学期第2回】	国際ニュースの特徴 ・ニュースの「生まれ方」と報道の流れ:通信社や特派員、ソーシャルメディア(SNS)の役割、
授業計画/Class outline	インターネットと衛星通信の発達・ニュースの届けられ方の変遷:検索エンジンや人工知能(AI)、OSINT など、情報
	通信技術(ICT)の進展による影響
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3) 目時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う /Approx. time (min)
【第3回/春学期第3回】	東アジア情勢と日本の安全保障(3回にわたり、日本を取り巻く地域の現状と課題などを考える。取り上げるテーマは
授業計画/Class outline	以下の通り)・北朝鮮:核開発、度重なるミサイル発射・中国の習近平体制:異例の長期化と揺らぎ・中国・台湾
	関係の緊張化・台湾総統選・新疆ウイグル問題・米中関係の悪化・日米安全保障条約・沖縄の米軍基地問
	題と「軍事化」
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3) 目時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う /Approx. time (min)
【第4回/春学期第4回】	東アジア情勢と日本の安全保障(第 3 回講義の続き)(3回にわたり、日本を取り巻く地域の現状と課題などを考え
授業計画/Class outline	る。取り上げるテーマは以下の通り)・北朝鮮:核開発、度重なるミサイル発射・中国の習近平体制:異例の長期
	化と揺らぎ・中国・台湾関係の緊張化・台湾総統選・新疆ウイグル問題・米中関係の悪化・日米安全保障条
	約・沖縄の米軍基地問題と「軍事化」
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3)

/Preparation & review		
	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)
【第5回/春学期第5回】	東アジア情勢と日本の安全保障(第 4 回講義の続き)(3回にわたり、日本を取り巻く地域の現	状と課題などを考え
授業計画/Class outline	る。取り上げるテーマは以下の通り) ・北朝鮮:核開発、度重なるミサイル発射 ・中国の習近ュ	平体制:異例の長期
	化と揺らぎ・中国・台湾関係の緊張化・台湾総統選・新疆ウイグル問題・米中関係の悪化	·日米安全保障条
	約・沖縄の米軍基地問題と「軍事化」	
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3)	目安時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)
【第6回/春学期第6回】	絶えない戦争一ウクライナやガザなど各地で起きている紛争の背景や影響(2回にわたり、世界	各地で起きている戦
授業計画/Class outline	争や紛争について考える。取り上げるテーマは以下の通り) ·歴史的な経緯 ·当事者(イスラコ	エル、ロシア、ハマス
	など)の思惑 ・各国の反応 ・世界経済への影響(エネルギーや食料価格の高騰)・見えない	戦争(シリア、イエン
	ン、スーダンなど)	
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3)	目安時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)
【第7回/春学期第7回】	絶えない戦争一ウクライナやガザなど各地で起きている紛争の背景や影響(第 6 回講義の続き)	) (2回にわたり、世
授業計画/Class outline	界各地で起きている戦争や紛争について考える。取り上げるテーマは以下の通り) ・歴史的な	
	ラエル、ロシア、ハマスなど)の思惑・各国の反応・世界経済への影響(エネルギーや食料価格	の高騰)・見えない
***************************************	戦争(シリア、イエメン、スーダンなど)	y
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3)	目安時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】	民族と紛争:忘れられた隣人たち ・タイ最南部の「戦争」・少数民族と内戦(ミャンマー、フィ	リピン、スリランカな
授業計画/Class outline	ど)・平和とは何か・ミャンマー情勢・アウンサンスーチーと民主化・ミャンマー国軍のクーデタ	マーと反政府武力闘
	争	
授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3)	目安時間(分) 90
/Preparation & review	感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	トランプ政権と世界(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(Make America Great A	Again)を背景に打ち
授業計画/Class outline	出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテーマ例は以下の通り)・	国内の移民対策
	関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(負の)影響・国連をはじ&	かとする多国間主義
	の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と温暖化	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3)	目安時間(分) 90
/Preparation & review	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)
/Preparation & review 【第 10 回/春学期第 10 回】	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は,自分で資料を探す(3) 感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(M	/Approx. time (min) Make America Grea
/Preparation & review	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3) 感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(N Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテ	/Approx.time (min) Make America Grea マ例は以下の通
【第 10 回/春学期第 10 回】	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(M Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテ り) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(2	/Approx.time (min)  Make America Grea  ・ーマ例は以下の通 負の)影響・国連を
/Preparation & review 【 <b>第 10 回/春学期第 10 回】</b> 授業計画/Class outline	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3) 感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(M Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテ り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(なばめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と過	/Approx.time (min) Make America Grea ーマ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化
Preparation & review 【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3)	/Approx.time (min)  Make America Grea  ・ーマ例は以下の通 負の)影響・国連を
/Preparation & review 【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min) Make America Grea ・一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目安間(分) 90
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)  Preparation & review  【第 11 回/春学期第 11 回】	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MA	/Approx. time (min) Make America Grea ・一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min)
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画 / Class outline  授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる	Approx. time (min) Make America Grea ーマ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min) GA (Make America
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第 11 回/春学期第 11 回】	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ	Approx. time (min) Make America Grea 一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min) GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第 11 回/春学期第 11 回】 授業計画/Class outline	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3)感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3)感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変更	Approx. time (min)  Make America Grea ・ーマ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化  B安間(分) 90  /Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第 11 回/春学期第 11 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(NAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と派(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第 10 回講義の続き) (3 回にわたり、第 2 期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3)	Approx. time (min)  Make America Grea  一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化  日安間(分)  Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 助と温暖化  日安間(分)  日安間(分)
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) /Preparation & review  【第 11 回/春学期第 11 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) /Preparation & review	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(NAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	/Approx. time (min)  Make America Grea ・一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目時間(分) 90 /Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 助と温暖化 目時間(分) 90 /Approx. time (min)
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画 / Class outline  授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテり) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第 10 回講義の続き) (3 回にわたり、第 2 期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	Approx. time (min)  Make America Grea  一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化  B安間(分)  Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 助と温暖化  B安間(分)  Approx. time (min)  ・現場からの報告
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画 / Class outline  授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテり) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と派(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う 途上国のいま (※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります) https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG	/Approx. time (min)  Make America Grea  ·一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目時間(分) 90 /Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 助と温暖化 目時間(分) 90 /Approx. time (min)  ·現場からの報告
Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) Preparation & review  【第 11 回/春学期第 11 回】 授業計画/Class outline  授業外学修(予習および復習) Preparation & review  【第 12 回/春学期第 12 回】 授業計画/Class outline	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテり) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第 10 回講義の続き) (3 回にわたり、第 2 期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	Approx. time (min)  Make America Grea  一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化  B安間(分)  Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 助と温暖化  B安間(分)  Approx. time (min)  ・現場からの報告
「Preparation & review 【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習) 「Preparation & review 【第 11 回/春学期第 11 回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習) 「Preparation & review 【第 12 回/春学期第 12 回】 授業計画 / Class outline	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテり) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と派(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う 途上国のいま (※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります) https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG	/Approx. time (min)  Make America Grea  ·一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目時間(分) 90 /Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 助と温暖化 目時間(分) 90 /Approx. time (min)  ·現場からの報告
「Preparation & review  【第 10 回/春学期第 10 回】 授業計画 / Class outline  授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(NAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と派(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げ、通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う 途上国のいま (※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります) https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG (1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3)	Approx. time (min)  Make America Grea  一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化  B安間(分)  (Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国勝と温暖化  B安間(分)  「安時間(分)  「現場からの報告 るま)  B安時間(分)  「現場からの報告
「Preparation & review 【第10回/春学期第10回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と派(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う 途上国のいま (※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります) https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG (1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う まとめと全体の振り返り・2025 年はどんな年だったのか・2026 年はどんな年になるか	/Approx. time (min)  Make America Grea 一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 動と温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min) ・現場からの報告 るま) 目安間(分) 90 /Approx. time (min)
「Preparation & review 【第10回/春学期第10回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(NAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と近(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う 途上国のいま (※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります) https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う	Approx. time (min)  Make America Grea  一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化  B安間(分)  (Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国勝と温暖化  B安間(分)  「安時間(分)  「現場からの報告 るま)  B安時間(分)  「現場からの報告
「Preparation & review 【第10回/春学期第10回】 授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う トランプ政権と世界(第9回講義の続き) (3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ) ・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と派(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う 途上国のいま (※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります) https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG (1)講義を受けたうえで、資料を読む (2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す (3) 感想をまとめる (4)次回のトピックについて、事前調べを行う まとめと全体の振り返り・2025 年はどんな年だったのか・2026 年はどんな年になるか	/Approx. time (min)  Make America Grea 一マ例は以下の通 負の)影響・国連を 温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min)  GA (Make America るテーマ例は以下のの(負の)影響・国 動と温暖化 目安間(分) 90 /Approx. time (min) ・現場からの報告 るま) 目安間(分) 90 /Approx. time (min)
「Preparation & review 【第10回/春学期第10回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習) 「Preparation & review 【第11回/春学期第11回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習) 「Preparation & review 【第12回/春学期第12回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習) 「Preparation & review 【第13回/春学期第13回】 授業計画 / Class outline 授業外学修(予習および復習)	(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3) 感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第9回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGA(MAgain)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げるテリ)・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境への(はじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変動と活(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3) 感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行うトランプ政権と世界(第10回講義の続き)(3回にわたり、第2期トランプ政権の発足後、MAGreat Again)を背景に打ち出した政策変更により、国際社会がどのように変容したか。取り上げる通り・国内の移民対策・関税引き上げ・北大西洋条約機構(NATO)など安全保障環境へ連をはじめとする多国間主義の「崩壊」・日米関係、日中関係、欧米関係などの変化・気候変調(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3)感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行う途上国のいま(※国際情勢の変化などに応じて、テーマを変更する可能性があります)https://www.asahi.com/withplanet・持続可能な開発目標(SDGs)とミレニアム開発目標(MDG(1)講義を受けたうえで、資料を読む(2)理解が十分でない場合は、自分で資料を探す(3)感想をまとめる(4)次回のトピックについて、事前調べを行うまとめと全体の振り返り・2025年はどんな年だったのか・2026年はどんな年になるか	/Approx. time (min)  //Approx. time (min)

授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	∕Approx. time (min)
【第 16 回/秋学期第 3 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間 (分)
/Preparation & review	/ Approx. time (min)
【第20回/秋学期第7回】	
授業計画/Class outline	- D-4-00 (//)
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】 授業計画/Class outline	
技業科学修「予習および復習)	目安時間(分)
文業が子形で見合のより接合)  / Preparation & review	日安時间(777 /Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	/ Approx. unie (iiiii)
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	7 Typi On. uno (iiii)
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/ Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	[
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
Preparation & review	/Approx. time (min)

0 回

Evaluation	定期試験/Regular Exam				
method	授業時間内に実施するテスト				
	✓In-class/mid-term tests				
	レポート/Report	40	・2025 年に報じられ、自分が関心を持った国際ニュースをテーマとし		
			て、レポートにまとめてください・本文の分量は 1500 字前後とします。		
			自分の選んだテーマについて、①情報源(ニュースソース)にきちんと		
			あたっているか②正しいメディアや情報を選んでいるか③多角的に理		
			解しようとしているか④自らの視点を持っているか、などを基準に評価		
			します・40 点満点で採点します。分量が大幅に少なかったり、多すぎ		
			たりした場合や、参照がない場合は減点します		
	授業への取り組み	60	・毎回、感想(リアクションペーパー)を提出してください。200字以上。		
	/Effort/Participation		オンラインでの提出とし、締切は講義日の翌日中(火曜日23時59分		
			まで)とします . 感想は、知識を披瀝するのではなく、どのような学び		
			や気づきがあったのか、自分が抱いた感想や意見、疑問など、オリジ		
			ナリティを重視します . 感想は、平常点の一部となります(出席と合わ		
			せ、全体の60%)・締め切り後の提出も受け付けますが、減点の対象		
	その他1/Other 1		となります。標準所要時間は 30 分程度を想定しています		
	その他1/Other 1 その他2/Other 2				
	評価方法に関する備考				
	計画力法に関する調告  / Remarks for Evaluation method				
	課題等に対するフィードバック	は おおおば	末レポートについては、内容に応じて、個別にコメントなどをつけることが		
	課題等に対するフィートハック /Feedback method		スレハートこういでは、内谷に心して、個別にコメントなこをうけることが こうしたフィードバックに加えて、希望者には面談を設定します		
	/ r eeuback method	<i>w</i> 949.	こうじにライー「インク」に加えて、布皇名には曲級を設定しよう		
教科書 Textbooks	ありません				
参考書	特に指定しませんが、国際ニュースを	伝える新聞	引や雑誌、テレビ、インターネットなどの媒体(メディア)に日常的に触れる		
Reference books	習慣を身につけてください 講郭	養で参照す	することが多いニュースサイトの例を挙げます ・NHK ニュース		
			iz https://txbiz.tv-tokyo.co.jp/ ・BBC ニュース(日本語)		
	https://www.bbc.com/japanese · 朝	日新聞デ	ジタル https://www.asahi.com/		
URL	講師がかかわっているニュースサイト(朝日新聞 with Planet) https://www.asahi.com/withplanet				
補足情報					
Supplementary information					

備考 Remarks

M3040	デジタルアーカイブ論/市民メディア論/メディアプロデュース論			逢坂 裕	紀子	
2.00 単位	講義	春学期	水曜4限	8702 教室		ナンバリング:MCC33200

デジタル・アーカイブ、メディア研究、地域メディア、文化資源

授業の概要 / Course outline

歴史や文化に関する多様な資料をデジタル形式で収集・保存し、ネットワーク技術を用いて継続的に利活用する仕組みを「デジタルアーカイブ」と呼ぶ。デジタルアーカイブは、インターネットを通じて資料情報へのアクセスを容易にした。また、そこに蓄積されたデータは、研究、教育支援、地域振興、防災、新たなコンテンツ創作など、幅広い分野で新たな可能性を切り拓いている。 本講義では、図書館・博物館・文書館など文化資源を収集・保存してきた組織と、地域、NPO、オンラインコミュニティといった多様な担い手が、デジタル技術を用いてどのように知識基盤を構築してきたかを学ぶ。その歴史、仕組み、役割を理解するとともに、デジタルアーカイブの社会的意義と活用の可能性を検討する。

### 到達目標 / Learning objectives

・デジタルアーカイブの基本概念を理解し、情報収集や分析の手段として適切に利用できる。・デジタル技術を用いた情報発信にかかわる現状と課題(各種メディアやプラットフォームの特性、著作権等の関連を含む)を説明できる。・自分の興味関心に応じて事例を調査し、適切な研究テーマを設定できる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

ノート型 PC(Windows、Mac)、スマートフォン(iOS、Android)・推奨(インターネット上で検索をおこなうことがあります)

履修上の注意事項/Course guidelines

理由があって、授業を欠席・遅刻する(した)場合は、申し出てください。

【第1回/春学期第1回】	オリエンテーション(授業の進め方、デジタルアーカイブを学ぶ意義と背景など概要説明)		
	カプエンテー プログ ()文末の座のガ、テングルテーガーンで于か 心我と自京など (M 安 ii) ヴァ		
授業計画/Class outline			.,
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	120
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
【第2回/春学期第2回】	博物館とデジタルアーカイブ:現状と課題		<b></b>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
【第3回/春学期第3回】	図書館とデジタルアーカイブ:現状と課題		<b></b>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
【第4回/春学期第4回】	文書館とデジタルアーカイブ:現状と課題	<u> </u>	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
∕Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
【第5回/春学期第5回】	学術機関とデジタルアーカイブ:現状と課題		J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
【第6回/春学期第6回】	地域と市民コミュニティにおけるデジタルアーカイブ	L	<b>J</b>
授業計画/Class outline			

In all by the / 그 기기 L. L + */는 기기 \			1.50
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分) 〈Approxy time (min)	150
∕Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
第7回/春学期第7回】	い。 		<u> </u>
、第一四/春子期第一四』 授業計画/Class outline	ナンダルドーガイブにおける惟利向越		
授業計画/ Olass Outilile 授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
文未介子修(ア百のよい復百) / Preparation & review	腹形主は技業時間がに、自らの興味に応じて来した説や関連機関を訪问する、ナンダルナー カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	日女时間(ガ) /Approx. time (min)	130
/ Freparation & review	カイノを活用する、参与文献を読んであるなとして、自らの子のを慎極的に床のていうてください。	/ Approx. Line (IIIII)	
第8回/春学期第8回】	・'。 デジタルアーカイブとオープンデータ		<u> </u>
授業計画/Class outline	י איז איז איז איז איז איז איז איז איז אי		
受業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	Approx. time (min)	100
/ Troparation & Torion	い。	7 ripprox. time (min)	
	- ^ 。 - デジタルアーカイブを支える技術		<u></u>
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
,	U.		
第 10 回/春学期第 10 回】	分野別活用事例(1)災害情報と防災対策	:	
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	L'°		
第 11 回/春学期第 11 回】	分野別活用事例(2)データ連携と社会応用	<u> </u>	.i
授業計画/Class outline			
受業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	ι _° .		
第 12 回/春学期第 12 回】	分野別活用事例(3)デジタル・ヒューマニティーズ	·	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
/Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
(第 13 回/春学期第 13 回】	全体のまとめ: デジタルアーカイブの社会的意義と活用可能性		
授業計画/Class outline			114111paner
授業外学修(予習および復習)	履修生は授業時間外に、自らの興味に応じて文化施設や関連機関を訪問する、デジタルアー	目安時間(分)	150
∕Preparation & review	カイブを活用する、参考文献を読んでみるなどして、自らの学びを積極的に深めていってくださ	/Approx. time (min)	
	い。		
第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline		·	
受業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline		-	;
受業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
		[ /Annroy time (min)	
/Preparation & review (第 <b>17 回/秋学期第 4 回</b> 】		/Approx. time (min)	

授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	業の回数/Number of sessions to be conducted online 1回	

評価方法 Evaluation method

加9	也 9 る技業の回数/ Number of Sessions to be conducted online				
	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
	定期試験/Regular Exam				
	授業時間内に実施するテスト				
	/In-class/mid-term tests				
	レポート/Report	60	授業期間内に1回(2000文字程度)実施。①授業内容を踏まえて		
			問題設定ができているか ②既存の学説や事例を踏まえた上で、自		
			分の意見を述べているか		
	授業への取り組み	40	授業態度および授業内に指示する提出物		
	/Effort/Participation				
	その他1/Other 1				
	その他2/Other 2				
	評価方法に関する備考				
	/Remarks for Evaluation method				

	課題等に対するフィードバック /Feedback method	授業内で課題(提出物)を実施した際には、次回講義にて講評をおこないます。
教科書 Textbooks	特に使用しない。	
参考書 Reference books	『学習指導要領』(最新版)	
URL		
補足情報 Supplementary information		
備考 Remarks		

M3050	ジャーナリズム論		奥村 信幸		幸	
2.00 単位	講義	春学期	木曜 3 限	1203 教室		ナンバリング:MCC33210

ジャーナリズム、ニュース、報道の自由、表現の自由、新聞、テレビ、インターネット、ソーシャルメディア、デジタルストーリーテリング、マルチメディア、情報源の秘匿、調査報道、公共放送、シビックジャーナリズム、プライバシー、ネットジャーナリズム、起業ジャーナリズム、情報公開、インテリジェンス、機密情報、オフレコ、推定無罪の法理、データジャーナリズム、生成 Al、著作権、フェイクニュース、ミスインフォメーション、ディスインフォメーション、マルインフォメーション、偽情報、誤情報、ディープフェイク、ファクトチェック、OSINT 技術、ミドルメディア、コタツ記事

#### 授業の概要 / Course outline

あなたが日常触れている「ニュース」とは何なのか、考えを深めていきます。・ニュースは社会でどのように役立っているのでしょうか。ニュースがなくなると、どのようなことが起きるでしょうか。・ニュースという情報は、どのような特徴や条件がありますか。それはどのようにして達成されますか。・ニュースはどのように作られていますか。ニュースを発信する人はどのような資格が必要ですか。・「重要なニュース」と、「そうでもないニュース」はどのようにして区別されるのでしょうか。・ニュースが信用されなくなっているのはなぜですか。どのようにすれば信頼が回復できるでしょうか。・みんな新聞を読まなくなっています。テレビのニュースも見られなくなってきています。社会にどのようにしてニュースを伝えていけばいいでしょうか。

## 到達目標 / Learning objectives

・民主主義にとって、正確なニュースがなぜ必要なのか、自分のことばで説明できるようになること。・ジャーナリズムに必要なルールは何なのか、どうしてそれが必要なのかを説明できるようになること。・マルチメディア時代のニュースの形式や内容、消費のしかたの変化などについて理解し、ニュースの未来について提言できるようになること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

### 全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

## 履修上の注意事項/Course guidelines

配布物、コメントや小課題(オプショナルで取り組む)などの共有は Google Classroomの Drive を通じて行います。 一部をオンラインで実施する可能性があります、その場合は ZOOM を使用する。URL は当週のものを前日までに3Sにて掲示します。 その時に話題となっているニュースや時事問題は、受講者が当然知っているものとして授業を展開しますので、各自で新聞を最低1紙定期購読してください。テレビのニュース番組、インターネットのニュースサイトやソーシャルメディアも活用し情報収集をしてクラスに臨んでください。 ※以下の授業計画は、受講者の理解度などによって変更する可能性があります。 ※ゲストスピーカーを招く予定です。その場合にはクラス内で予定変更を指示していきます。

【第1回/春学期第1回】	ニュースとは何か?:民主主義、選択、公共性、信頼、価値、歴史、コミュニティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第2回/春学期第2回】	真実:ソースとエビデンス		<b></b>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第3回/春学期第3回】	ジャーナリズムにおける独立:利益相反(conflict of interest)、中立、客観性、ステークホルダー、	癒着	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
	は及来が子修じしてはなべ、一般市職としてグガローして初かっていたが。		1
【第4回/春学期第4回】	権力の監視:民主主義、権力、汚職、メディアコントロール、スピン、説明責任		<u> </u>
【第4回/春学期第4回】 授業計画/Class outline			
		目安時間(分)	120
授業計画/Class outline	権力の監視:民主主義、権力、汚職、メディアコントロール、スピン、説明責任	目安時間(分) /Approx. time (min)	120

【第5回/春学期第5回】	政治とメディア:記者クラブ、政策と政局、オフレコ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第6回/春学期第6回】	匿名の情報源:オフレコ、ポリティカル・スピン、記者クラブ、懇談	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第7回/春学期第7回】	人権と報道:情報源の秘匿、匿名と実名、推定無罪原則、メディアスクラム、プライバシー、えんり	· 尾	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第8回/春学期第8回】	戦争とメディア:紛争、テロ、スマート爆弾、イラク戦争、エンベッデド(埋め込み)ジャーナリスト	<b></b>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第9回/春学期第9回】	災害報道:東日本大震災から 10 年、私たちは何を学んだか?	:	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第 10 回/春学期第 10 回】		想現実)、スマ-	ートフ
授業計画/Class outline	オン		
授業外学修(予習および復習)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。 主なニュース	/Approx. time (min)	
· '	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第 11 回/春学期第 11 回】	「フェイクニュース」とファクトチェック:スノーデン事件、パナマ文書、データ・ジャーナリズム、ミスイ	ンフォメーション	,
授業計画/Class outline	,		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
,	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。	,	
	ニュースの新しい価値観:信頼、公共性、メディアビジネス、クラウドファンディング		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	120
7 Tropulation & Torion	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。	/ ripprox. time (min)	
	まとめの議論: デジタル・ネットワーク社会における表現の自由と民主主義		.1
授業計画/Class outline	SCOVINGIES VO VIVO VEDICION ON SEVEN ELECTRICAL		
授業外学修(予習および復習)	レポートなどを出題する予定です(詳しくはクラスでアナウンスします)	目安時間(分)	300
Preparation & review	THE TOTAL PROPERTY OF THE CONTRACT OF THE PROPERTY OF THE PROP	Approx. time (min)	333
【第 14 回/秋学期第 1 回】		, 11661 AV (11110 (11111)	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業引画/ Olass Oddille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
文表が子形(ア首のよび複首) / Preparation & review		日女时間(ガ) / Approx. time (min)	
ファイモ		/ ripprox. tillic (IIIIII)	
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
欠乗外子修(ア省あよび復省) / Preparation & review			
/ rreparation & review		/Approx. time (min)	

【第 16 回/秋学期第 3						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および行	复習)					目安時間(分)
/Preparation & revie	w					/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4						
授業計画/Class out	iline					
授業外学修(予習および行	复習)					目安時間(分)
/Preparation & revie	W					/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5	i (a)					
授業計画/Class out	tline					
授業外学修(予習および行	复習)					目安時間(分)
/Preparation & revie	W					/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および行	复習)					目安時間(分)
/Preparation & revie						/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7	' <b>@</b> ]					
授業計画/Class out						
授業外学修(予習および行	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					目安時間(分)
/Preparation & revie						/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8						
授業計画/Class out						
授業外学修(予習および行	•					目安時間(分)
/Preparation & revie						/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	i					
授業計画/Class out						
授業外学修(予習および行	i					目安時間(分)
Preparation & revie						/Approx. time (min)
【 <b>第 23 回/秋学期第 10</b> 授業計画/Class out	i					
授業計画/ Glass Gul 授業外学修(予習および行						目安時間(分)
Preparation & revie	i					/ Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11						7 Approx. time (timi)
授業計画/Class out	- <u> </u>					
授業外学修(予習および行						目安時間(分)
Preparation & revie	i					/ Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12						
授業計画/Class out	1					
授業外学修(予習および行	复習)					目安時間(分)
/Preparation & revie	į					/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	3 回】					
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および行	复習)					目安時間(分)
/Preparation & revie	w					/Approx. time (min)
オンラインで実施す	<del>──・</del> ├る授業の回数/Nui	mber of sessions	to be condu	ucted online	3 回	
評価方法	種別/C		割合 %		評価基準等/Evaluation	criteria
Evaluation	定期試験/Regula		— <u>11</u>		The transaction	
method	授業時間内に実施					
	/In-class/mid-te					
	レポート/Report		100	授業最終日に!	出題します。形式等はクラスF	内にて指示しますので そ
	- Ty Roport			水に従って下さ		J. 13437.000 7 47 CC C

授業への取り組み

/Effort/Participation		
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考	クラス内発表や討論モデレーターなどを募ります、成績にボーナス加算とします。	,
∕Remarks for Evaluation method		
課題等に対するフィードバック	課題の内容説明、講評は毎回授業内で行います。Google Drive を活用する場	合
∕Feedback method	もあります。	

# 教科書 Textbooks

クラス内で指示します。

# 参考書 Reference books

クラス内で指示します。

URL

ュースの卵 www.newstamago.com FIJ ファクトチェック・イニシアチブ www.fij.info Yahoo!ニュース・エクスパート(奥村信幸) https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/okumuranobuyuki ニュースの卵ファクトチェック https://www.tiktok.com/@mediawise MediaWise https://www.tiktok.com/@mediawise

# 補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業テーマに関連して、ジャーナリストなどのゲストも呼びディスカッションを行います。

M3060	知とデータ				庄司 昌彦		
2.00 単位	講義	春学期	月曜 2 限	6101 教室		ナンバリング:MCC33280	

知識、データ、情報社会・知識社会、人工知能(AI)、ELSI、イノベーション、ナレッジマネジメント、オープンネス、デザイン思考

# 授業の概要 / Course outline

「データは 21 世紀の石油である」という言葉がある。これは、ビッグデータを活用することによって得られる価値の大きさへの期待を表している。しかし、石油は採掘・輸送・精製してガソリンや灯油・LP ガス等を作り出したり、あるいはナフサから石油化学製品を生み出すといった工程を経ることによって初めて、その価値が引き出される。つまり、データを有効に活用する社会を築いていくためには、石油産業と同様に、様々な技術や社会制度などを組み合わせ、データを価値ある知識に変えていく必要がある。技術的進歩が目覚ましい人工知能(AI)の有効活用についても同様である。優れた AI とはどのようなものであり、社会のどこでどのように活かすのかということを深く考察し、必要な技術や社会制度などを用意していく必要があるだう。本講義では、こうした関心や問題意識に立ちつつ、「知識・データ」と「社会」の関わりについて、多面的に学び、考える。

## 到達目標 / Learning objectives

知識やデータを巡るさまざまな議論を理解し、他者に説明できるようになること。また、関連する社会問題等について、自分なりの考えを持てるようになること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

不要ですが、ノート型 PC(Windows、Mac)を持ち込んでメモや調べ物に使うことは歓迎します。できるだけ常に持ち歩いて、さまざまなツールを用いた調査やコミュニケーション、コラボレーションのスキルを高めてください。

授耒計画 / Class sun	edule		
【第1回/春学期第1回】	イントロダクション(授業の概要)データ・情報・知識・知恵とは		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の概要や方向性について理解し、参考文献を参照したり、キーワード等について調べたりし	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	て今後の学習に備える。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	情報社会論・知識社会論、インターネットの思想	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	知識社会学の系譜、反知性主義、専門知・集合知	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	人工知能・ビッグデータと社会のかかわり、AIと大学での学び	<u></u>	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	データ活用と倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	AI 開発の背景にある思想と論点	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	データと Al をめぐる政策・規制・社会動向	<b></b>	
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】	暗黙知・形式知、ナレッジマネジメント	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	イノベーションの障害・イノベーションのジレンマ、イノベーター理論	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	知とオープンネス、オープンイノベーション、オープンデータ	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	デザイン思考とアイデア創出	······
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】	「知とデータ」に関する発展的考察に向けて、総括議論	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習を行う。	目安時間(分) 120
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		∕Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第16回/秋学期第3回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第17回/秋学期第4回】		
授業計画/Class outline		7.1. 7. 7. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
Preparation & review		/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) /Approx. time (min)
		Z ADDrox. Hitte (min)
Preparation & review 【第 20 回/秋学期第 7 回】		

授業外学修(予習および往	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	B (II)			- <del>`</del>
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および往	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	) 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および往	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	) 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および)	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および往	i i i			目安時間(分)
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class out				192011111111111111111111111111111111111
授業外学修(予習および往				目安時間(分)
/Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				
授業計画/Class out	:			-
授業外学修(予習および往	i			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	トる授業の回数/Number of sessions t	o be condu	cted online 3回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crite	ria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	∕In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	70	・授業内容の理解度・学んだ内容を踏まえて諸	問題を考察し自分の
			言葉で語れているかどうか	
	授業への取り組み	30	授業の参加度やコメント提出への姿勢を評価対象	えとします。
	/Effort/Participation			
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	/Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	授業内で	全体的な評価などについてコメントします。	
	/Feedback method			
教科書 Textbooks	授業後に講義資料をオンライン配布し	ますので復	習やレポートに活用してください。	
参考書 Reference books	授業中にさまざまな文献や映画、小説	名、アニメ・マ	ンガ、動画などを紹介します。ぜひ学習に役立てて	ください。
URL				
++ 1= +				
補足情報 Supplementary information	この科目は、副専攻のコア科目または	関連科目で	ं <b>च</b> े.	

Remarks

M3070	地域メディア論/ノ	域メディア論/パブリックコミュニケーション論 田中 美乃里		乃里		
2.00 単位	講義	春学期	火曜 3 限	1002 教室		ナンバリング:MCC33230

地域 コミュニティ 自治体 シティプロモーション まちづくり 市民参加 地域活性 地域創生 地域貢献 コミュニケーション ソーシャルキャピタル

# 授業の概要 / Course outline

私たちの身のまわりには、さまざまな主体がそれぞれの目的を持って運用する地域メディアがある。その存在を知りどのように移り変わってきたかをふまえ、地域メディアが今日果たす役割や意義について、ケーススタディをもとに分析する。 また、地域メディアが問題意識や興味関心を喚起させ、人やモノ、コトとのつながりをつくり、起こしたコミュニケーションがやがて何らかの社会的価値を生み出すプロセスを学び、自らもその担い手として実践に臨むことのできるスキルを身につける。

# 到達目標 / Learning objectives

地域社会において自分なりの課題意識や将来ビジョンを持ち、その解決や設定した目的達成のためのツールとなるメディアやコミュニケーションプラットフォームを設計し、適切に運用することができる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○対話力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

# 履修上の注意事項/Course guidelines

自分が住んでいる地域や出身地、大学周辺など、ゆかりのある地域や地域の社会課題に対してある程度の興味関心があること。 グループワークを行うため、他の学生ときちんとコミュニケーションをとることができ、作業に積極的に関われること。

【第1回/春学期第1回】	<講義> ・授業の全体概要やスケジュールについて説明をします。 ・地域メディアの歴史やそ	その移り変わりについ
授業計画/Class outline	て学びます。	
授業外学修(予習および復習)	身のまわりにある"地域メディア"を探してリストアップしてみましょう(目標 10 個以上)	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第2回/春学期第2回】	<講義>・インターネット普及以降の地域メディアの歩みを追いかけます。・インターネットを介し	たさまざまな地域メ
授業計画/Class outline	ディアの種類について学びます。 <ミニワークショップ> ・「ヒーローインタビュー」 情報獲得	、情報発信の基本と
	なるワークを体験します。	
授業外学修(予習および復習)	・ミニワークショップの報告や振り返りを授業ページに各自アップします。	目安時間(分) 30
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第3回/春学期第3回】	行政と地域メディア <講義> ・主に地方自治体にフォーカスした、行政による地域メディア運	用について、事例を
授業計画/Class outline	参考にしながら学びます。	
授業外学修(予習および復習)	・自分が住む自治体(市町村)の広報を紙またはオンラインで入手し、すみずみまで読んでみま	目安時間(分) 30
/Preparation & review	しょう。・その自治体が、ほかにどのようなメディアを利用して住民に情報を届けているか調べて	/Approx. time (min)
	みましょう。	
【第4回/春学期第4回】	市民と地域メディア <講義>・市民による地域メディア運用や活用について事例を参考にしな	がら学びます。
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	・自分の地域に限らず、市民や市民団体により運営されている地域メディアを探してみましょう。	目安時間(分) 60
/Preparation & review	それぞれがどのような目的で、どのような体制で運用されているかを調べてみましょう。	/Approx. time (min)
【第5回/春学期第5回】	地域メディアの企画と設計 <講義>・企画を構成する要素について学びます。 <作業>	・ワークシートを用い
授業計画/Class outline	て、各自で地域メディアの企画と設計をします。 *中間レポートの課題を提示します。	
授業外学修(予習および復習)	・第5回の授業に向けて、自分が実践してみたい地域メディアについて、テーマやその目的を考	目安時間(分) 60
/Preparation & review	えてみましょう。(予習)・ワークシートの記入が授業内に終わらなかった場合は、持ち帰って仕	/Approx. time (min)
	上げてください。(復習)	
【第6回/春学期第6回】	グループワーク編成と作業開始 ・グループを編成し、地域メディア実践のグループワークをスター	-トします。 ・第 5 回
授業計画/Class outline	で作成したワークシートをもとに、グループとして運用する地域メディアを新たに企画、設計します。	
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習)	で作成したワークシートをもとに、グループとして運用する地域メディアを新たに企画、設計します。 ・グループワークを進めてください。・グループごとに、第 7 回の企画プレゼンテーションの準備	目安時間(分) 60
277174177		

授業計画/Class outline	す。(履修者数やグループ数により、持ち時間が変わります。詳しくは事前にアナウンスします。	)・他グルーフ	の発
	表について、質疑応答やディスカッション、アドバイスの交換をします。 		
授業外学修(予習および復習)	・第 7 回で寄せられたコメントやアドバイスをふまえてグループワークを進めてください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第8回/春学期第8回】	さまざまなかたちの地域メディア・これまで取り上げていないさまざまなタイプの地域メディアにつ	いて事例を紹う	介しま
授業計画/Class outline	す。(企業と地域メディア、協働運営による地域メディア、多様なかたちの地域メディア、など)	-	
授業外学修(予習および復習)	・グループワークを進めてください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	地域メディアと事業評価・地域メディアの"成果"は何かを考えます。インプット、アウトプット、アウト		
授業計画/Class outline	ついて学びます。 · グループワークで進めている地域メディアの事業評価指標について考えます の課題を提示します。	⁻ 。 *期末レン	ポート
授業外学修(予習および復習)	・グループワークの地域メディアの事業評価指標を設定してください。(授業内で終わらなかった	目安時間(分)	60
/Preparation & review	場合)・中間報告プレゼンテーションの準備をしてください。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	中間報告プレゼンテーションとディスカッション・グループごとに、設計した地域メディアの進捗状	:況を発表します	<u>-</u> ナ。・
授業計画/Class outline	他グループの発表について、質疑応答やディスカッション、アドバイスの交換をします。		
授業外学修(予習および復習)	・グループワークを進めてください。・次回のゲストスピーカーの運営する地域メディアについて、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	事前に目を通し、質問などをまとめてきてください。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】		る、または地域	 或メデ
授業計画/Class outline	ィアに携わっている実践者を招いてケーススタディをします。		
授業外学修(予習および復習)	・グループワークを進めてください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	<講義> · 「知」とは何か、また知識創造のサイクル(モデル)について学び、その観点から地域	L	」 引を捉
授業計画/Class outline	えます。 <ミニワークショップ> ・「ワールド・カフェ」 知識創造のプロセスの一つともなり得るワー		
授業外学修(予習および復習)	・グループワークを進めてください。・第 13 回の報告内容を準備してください。	目安時間(分)	60
/Preparation & review	,, ,, ,e, e, s, ,, ,, e, e, mo e v, ee, ,	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】		L	るプレ
授業計画/Class outline	ゼンテーションを行います。・他グループの発表について、相互に評価します。・授業を総括しま		0,7,2
授業外学修(予習および復習)	・授業内でのグループワークは終了ですが、実践している地域メディアを引き続き運用する場合	日安時間(分)	60
/Preparation & review	は、活動を進めてください。その内容については期末レポートにも含めてください。・時間外フィ	/Approx. time (min)	
7 Tropulation & Totion	ールドワークを希望する人は参加してください。詳細は授業内でアナウンスします。	, 11pprox. time (11111)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		/ //pprox. time (mm)	<u>.l</u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】		/ Approx. tillie (IIIII)	<u> </u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/ Preparation & review		上文时間(カナ   Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		/ Approx. Line (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
欠乗外子修(ア省のよび復省)		日女呀间(ガ) / Approx. time (min)	
		/ MPPLOY: FILLE (ILILL)	J
【第 18 回/秋学期第 5 回】 授業計画/Class outline			
		口力吐服 ///	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) /Annray time (min)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
∕Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
∕Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)	
/Preparation & review	/Approx. time (min)	

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

0 🗖

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
	剖口 70	計画基準等/ Evaluation Giteria		
定期試験/Regular Exam				
授業時間内に実施するテスト	15	その日の授業内容に関連したミニレポートを作成します。題目は授業		
∕In-class/mid-term tests		内で提示します。3回分を評価対象とし、内容の充実度合いによって		
		各回 5 点×3 回の 15 点分を採点します。		
レポート/Report	60	中間レポートと期末レポートを実施し、各回 30 点満点とします。 内訳		
		は、提出点 10 点、内容の充実度(テーマに対する内容の適切さ、調		
		査や考察の質と量など)が 20 点です。レポートは約 1 か月前に授業		
		内でテーマを提示します。		
授業への取り組み	15	ミニワークショップやグループワークへの関与度、積極性などを加点方		
/Effort/Participation	式で評価します。			
その他1/Other 1	10	時間外フィールドワークを実施する可能性があります。 不参加により		
		不利益を被ることはなく、より幅広い学びや実践を得たい人向けです。		
その他2/Other 2				
評価方法に関する備考				
✓ Remarks for Evaluation method				
課題等に対するフィードバック	授業内で.	良い例を取り扱うことがあるほか、オンラインなどでフィードバックします。		
/Feedback method				

教科書 Textbooks

参考書 Reference books	・粉川一郎「パブリックコミュニケーションの世界[改訂版]」 北樹出版・金子郁容・藤沢市市民電子会議室運営委員会「e デモクラシーへの挑戦 藤沢市市民電子会議室の歩み」 岩波書店・金安岩男・長坂俊成・新開伊知郎「電子市民会議室のガイドライン 参加と協働の新しいかたち」 学陽書房・松本恭幸「市民メディアの挑戦」 リベルタ出版
URL	
補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M3090	ドキュメンタリー研究					<del>,</del>
2.00 単位	講義	春学期	水曜 3 限	1002 教室		ナンバリング:MCC33250

テイラー・スウィフト Netflix ネトフリ YouTube ユーチューバー TikTok SNS ドキュメンタリー 文化人類学 ヤノマミ 女性差別 ジェンダー平等 DE&l セルフドキュメンタリー がん 戦争 虐殺 性産業 当事者主権 報道の倫理 隠し撮り 潜入ルポ 観察映画 脳の中を映像化する 長期取材 戦場の記録 検閲 戦争と映像 知識の共有 虐殺 メディア ドキュメンタリ

#### 授業の概要 / Course outline

ドキュメンタリーは面白い。そして、人生にとって重要な示唆を与え、この世界を生きるうえでの勇気や動機を与えてくれます。 いま Netflix や YouTube の普及を通じて加速度的に成長し、様々な新しいチャレンジが行われている分野でもあります。 この講義では、古今東西の作品から選び抜いた、秀逸な「ドキュメンタリー映像」を視聴し、その背後の社会課題や撮影手法について探求します。 ーー・とにかく「面白い」番組・映画・動画を見たい・社会に存在する不条理や課題について深く知りたい・自らの持つ課題意識を発信し、それにより社会に前向きな影響を与えたい ーー そんな人は、ぜひ受講してください。ドキュメンタリーについての知識を豊富にし、映像を深く読みこみ、理解し、それを言葉にする力を身に着けませんか?

## 到達目標 / Learning objectives

・ドキュメンタリーの歴史や課題、セルフドキュメンタリーの可能性などについて知識を持つ・国内/海外におけるドキュメンタリー制作の現状や市場の状況について知識を持つ・ドキュメンタリーを深く味わい、鑑賞する目線を育てる・世界における貧困、理不尽、希望、正義などについて多面的に知り、自ら調べ、自ら考えるきっかけを得る

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

PC を持参する必要はありませんが、ネットに接続可能なスマートフォンを持参してください。(講義中に表示される 2 次元バーコードを読み込んで質問に答える場合があります)

#### 履修上の注意事項/Course guidelines

【大切な注意事項】ドキュメンタリーは、社会の実情を描き問題提起を行うため、あえて暴力や戦争の現場にカメラを入れたり、性産業に従事する人の声を紹介したりすることがあります。本講義で取り上げる作品のなかにも、そうした描写が含まれます。もちろん過度にグロテスクな映像や、法律の範囲を超える内容は出てきませんが、そうした映像が苦手な方は、履修を再検討されたほうがいいかもしれません。 【その他の注意点】※映像鑑賞が主目的の講義ですので、大きなスクリーンと音響設備を備えた教室での対面講義を前提としています。オンライン講義は、そのほうが効果的と判断した場合にイレギュラーに入れる可能性もありますが、基本はすべて対面講義です。 ※講義への出席に加え、毎回のコメントペーパーの提出をもって「出席」とします(講義に出席しても、コメントペーパーの提出がない場合は「欠席」です。その逆も同様です)。また、小グループのディスカッションがある回の場合は、コメントペーパーに加え、議論へ参加した記録があることをもって出席とします(講義中にお示しする Google フォームに回答して頂きます)。

【第1回/春学期第1回】	【ドキュメンタリーの現在地を知る①】 テイラー・スウィフトの密着ドキュメンタリー「Miss America」。日本でも多くのファ							
授業計画/Class outline	ンを持つ世界的シンガーソングライターの、曲作りの現場への密着、さらに政治的なメッセージを臆せず発する姿勢の							
	背景にある、辛い経験を描いた作品です。公開後、世界的な反響を巻き起こしました。 いま Netflix や YouTube な							
	どのプラットフォームが普及する中で、ドキュメンタリー動画は、国際的に多くの視聴を見込める優良なコンテンツ領域							
	として成長しています。 2030 年までに、 市場規模は年間約 2 兆 4,075 億円になるという試算もあります。 世界で視聴							
	されるドキュメンタリー動画とは、どのようなテーマを扱い、どのようなストーリーを作っているのか、そこに注目して作品							
	を視聴・研究しましょう。							
授業外学修(予習および復習)	・Netflix 等で視聴されるドキュメンタリーと、日本のテレビ特集などで見るドキュメンタリー番組の 目時間(分) 120							
∕Preparation & review	違い ·トランプ大統領の再選に揺れるアメリカの現状の一面を示す、ジェンダー平等を目指す /Approx.time (min)							
	意見のぶつかり 上記のポイントに注目して、視聴した作品をもとに自分で周辺情報を調べ、そ							
	の内容や個人の意見をコメントペーパーにまとめてください							
【第2回/春学期第2回】	【ドキュメンタリーの現在地を知る②】 Netflix で記録的な視聴数を獲得したドキュメンタリー、「/the social dilemma」							
授業計画/Class outline	(日本作品名:監視資本主義: デジタル社会がもたらす光と影)を視聴します。 X や TikTok、FaceBook などの SNS							
	や Google が提供するサービスが、いかに人の注目をひきつけ、その考え方を「支配」しようとしているかを、関係者へ							
	のインタビューや寸劇を元にひも解いていきます。 いま起きている複雑な課題を、どのように紐解き、社会に課題提							

	起をしようとしているか。制作者の意図などを考えつつ、視聴してください。
授業外学修(予習および復習)	・専門的な内容を、多様な演出を用いて視聴者が自然に理解できるようにするストーリーの組   日安間 (分) 120
/Preparation & review	み立て方 ·SNS や Google 等の便利なサービスが、いかに私たちの考え方や生活に影響を与え /Approx.time (min)
	ているか 上記のポイントに注目して、視聴した作品をもとに自分で周辺情報を調べ、その内容
	や個人の意見をコメントペーパーにまとめてください
【第3回/春学期第3回】	【ドキュメンタリーの現在地を知る③】 ユーチューバー・BappaShota さんの作品を視聴します。 BappaShota さんは日
授業計画/Class outline	本人ですが、その取材フィールドは主に海外。キューバやアフガニスタン、バングラデシュなどにおもむき、めったにテ
	レビカメラも入らないような場所に 1 人で入り、ドキュメンタリー動画を公開しています。YouTube チャンネルの登録者
	数は 100 万人を超えています。「社会主義国キューハ の売○婦と彼氏の生活に密着してみた」「イスラム原理
	主義タリハ ンと 48 時間生活してみた」映像機器や移動手段が多様になる中で、「ひとりでも、ここまでできるように
	なっているのか!」という驚きを感じてください。 ※本講義では小グループによるディスカッションを実施します
授業外学修(予習および復習)	・BappaShota さんの作品の視聴やコメントの閲覧を通じ、なぜ、多くの視聴や登録者を獲得して   目時間(分)   120
/Preparation & review	いるのかを考えてみてください。・講義で紹介した動画は、「タリバン」「性産業従事者」といっ /Approx.time (min)
	た、社会的に一面的な視点で見られている人たちを取材しています。その内容から、みなさん
	は何を感じたでしょうか。 小グループで議論した内容を、自分なりに調べた周辺情報と共にまと
	めてください。
【第4回/春学期第4回】	【ドキュメンタリーの現在地を知る④】 ドキュメンタリーは、制作者の持つ課題意識を広く社会に伝え、その改善のき
授業計画/Class outline	っかけを作る力があります。 では、実際どのように作られているのでしょうか? 講師である市川は、NHKのチーフ・デ
	イレクターとして、主に医療分野においてドキュメンタリー動画(番組)を制作してきましました。 ドキュメンタリーの現在
	地を知るセクションの最後に、実際の制作現場についてお話しします。 ※ドキュメンタリー動画の企画は、どのようにし
	て作るのか? ※実際の制作は、どのように行うのか? ※ドキュメンタリー動画の制作によって、何が得られるのか?
	視聴作品:「NHKスペシャル 腰痛・治療革命」「ためしてガッテン 認知症」など
授業外学修(予習および復習)	講義で聞いた内容から、もし、自分が映像の仕事に就くとしたらどんな形がありうるか?直接の 目時間(分) 120
/Preparation & review	映像制作者としてではなくても、目指す仕事や将来像に映像が関わってくる可能性はないか? /Approx.time (min)
	など、「あなた」を主語にして感じたことをまとめてください。
【第5回/春学期第5回】	【セルフドキュメンタリーを探究する①】 ドキュメンタリーの題材を探すのは、難しいと感じるかもしれません。でも実
授業計画/Class outline	は、身の回りのすべては記録の対象であり、そこにはドキュメンタリーの題材となる可能性があります。 最も身近な存
	在である「自分」や「自分の家族」を記録するセルフ・ドキュメンタリーは、いま最も評価され、人気のある領域の一つで
	す。 講義では 2 回シリーズで、国内で制作されたセルフ・ドキュメンタリーの秀作を探求します。 映画『エンディング
	ノート』」は、興行的に大成功を収めたドキュメンタリーです。砂田麻美監督は、末期のがんの父・知昭さんの最期を記
	録しました。そこにあふれていたのは父の家族への想いでした。プライベートの極みの世界が公共性を持つとはどうい
	うことなのでしょうか。ひとが感動するのはなぜでしょうか。
授業外学修(予習および復習)	・セルフドキュメンタリーと一般的なドキュメンタリーとの違い(制作手法として)・視聴者としてみ                120
Preparation & review	た場合の印象・共感度合い・気づきなどの違い 上記のポイントに注目して、視聴した作品の感 /Approx.time (min)
/ Treparation & Teview	想や学びについてまとめてください
【第6回/春学期第6回】	○
授業計画/Class outline	V特集「おじいちゃんと鉄砲玉」。 NHKディレクターの久保田瞳さんの祖父・北島源六(享年90)さんが荼毘(だび)に
IX未订画/ Oldos Odtillio	付された時、お骨に混じって「鉄砲ダマ」が出てきました。「航空隊員として出撃したとき、敵の攻撃を受け、今も頭の
	中にその時の鉄砲玉が入っている」というおじいちゃんの生前の言葉は、本当だったのです。 いつ、どこで被弾したの
	か。祖父の戦争体験を調べようと戦友を訪ね歩いたディレクターは、祖父が亡くなるまで心に秘めていた意外な事実
	を知ることになります。 「永遠の〇(ゼロ)」の実話版ともいうべき、驚きのストーリーを鑑賞しながら、戦時期に生きた
	人たちの想いや時代背景、死をまじかに感じるような状況に置かれたとき、人はどのように行動するかなどを共に考え
	ます ※本講義では小グループによるディスカッションを実施します
授業外学修(予習および復習)	・「第二次世界大戦」を学校の授業や歴史書などで学んだ場合と、セルフドキュメンタリーとして   眩睛(分)   120
Preparation & review	視聴することとにより、受け手側の自分に生まれる感情や気づきには変化があるでしょうか・違 /Aporox. time (min)
,	いがあるとしたら、それはなぜでしょうか。上記のポイントに注目して、小グループで議論した内
	容を、自分なりに調べた周辺情報と共にまとめてください。
 【第 7 回/春学期第 7 回】	【ドキュメンタリーの名作を通じて、世界を拡げる①】 「私たちを踏みつけるその足をどけて」 2019 年、87 歳で亡くな
授業計画/Class outline	るまで走り続けた、アメリカの元最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバーグ。「世界で最も影響力のある女性」とも形
WALLEY ORGO ORGINO	
	生きられる世界」の実現に向けて力強く意見を表明し続けました。 彼女の人生を追ったドキュメンタリー「RBG 最強

	の85才」(2018年)を視聴し、社会に存在する理不尽や差別に立ち向かうことや、それに必要となる意志や努力、そ
	して年齢や性別に関わらず、人間の持つエネルギーの尊さについて考えます。
授業外学修(予習および復習)	※社会の理不尽に自らが直面した時に、それを変えるために必要なことは何でしょうか ※社会   120
/Preparation & review	の理不尽に直面したり気が付いたりしても、声を上げることは簡単ではありません。RGBの夫で /Approx.time(min)
	あるマーティンは、RGBが行動を起こすことをパートナーとして支え続けました。社会の理不尽
	を自らが変えられなくても、それをしようとする人を支えるためにできることは何でしょうか。 上記
	のポイントを意識して、視聴した作品の感想や学びについてまとめてください
【第8回/春学期第8回】	【ドキュメンタリーの名作を通じて、世界を拡げる②】 本来なら絶対に許されないはずの、人が人を殺すということ。し
授業計画/Class outline	かし戦争や虐殺の現場では、それがいわば「当たり前のこと」として行われることがあります。その行為に従事した人
	は、自分の行動を正当化したり、忘れようとします。それはある意味で自然なことです。では、虐殺した当の相手の親
	   族が目の前に現れ「どうして虐殺したのか」を問うてきたとき、人はどのように答えるのでしょうか。 ジョシュア・オッペ
	ンハイマー監督はその作品「ルック・オブ・サイレンス」の中で、「無料の視力検査」という仕掛けを用いながら、「責任
	   なき悪」のメカニズムを浮かび上がらせようとしました。「ここ 10 年で最大の問題作」とも言われた作品を探究し、私た
松米以公仲(マ辺+)-146年辺)	ちも考えましょう。   ※「責任なき悪」とはどんなもので、なぜ生まれるのか ※私たち自身も、「責任なき悪」を行った。  旧時間(分)     120
授業外学修(予習および復習)	X SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SE
/Preparation & review	経験は無いか ※例えば自分自身が戦争や虐殺の現場にいたとして、それを断ることは可能か /Approx.time (min)
<b>***</b>	上記のポイントを意識して、視聴した作品の感想や学びについてまとめてください
	【ドキュメンタリーの名作を通じて、世界を拡げる③】 私たちはいま、SNS やネットが当たり前に存在し、お金さえ払え
授業計画/Class outline	ば自分で料理しなくても食事を得られる世界にいます。その一方で、そうした生活とは反対に、いまも狩猟生活を続け
	ている人たちも存在します。奥アマゾンの密林で 1 万年以上、独自の文化・風習を守り続けている部族がいます。 "最
	後の石器人"と呼ばれるヤノマミ族です。すべてが共有で、好きなときに眠り、おおらかな性があり・・・。そんな生き方
	に 150 日間密着したドキュメンタリーを通じて、人間の本質を考えます。 ※本講義では小グループによるディスカッ
	ションを実施します 
授業外学修(予習および復習)	※いま日本社会で暮らしているなかで、息苦しさや行き詰まりを感じることはないでしょうか ※ 目時間(分) 120
/Preparation & review	自分の常識とは全く違う世界で暮らしている人たちを見た時に、どんな感情が沸き上がったでし /Approx. time (min)
	ょうか ※逆に、自分の常識と全く違う世界で暮らす人たちを見た時に、自分たちの生活の尊さ
	が見えてくることはないでしょうか 上記のポイントに注目して、小グループで議論した内容を、
	自分なりに調べた周辺情報と共にまとめてください。 
	【ドキュメンタリーの名作を通じて、世界を拡げる④】 ここまで講義を経験してきた皆さんなら、きっと大丈夫。そう信
授業計画/Class outline	じて探究するのは、「日本の映画史上、最大の問題作」ともいわれる伝説のドキュメンタリー「ゆきゆきて、神軍」です。
	太平洋戦争の飢餓地獄・ニューギニア戦線で生き残り、「神軍平等兵」と称して慰霊と戦争責任の追及を続けた奥
	崎謙三の破天荒な言動を追うドキュメンタリー。企画・監督は日本のドキュメンタリストとして名高い、今村昌平さんと
	原一男さんです。 世界的な評価を得た本作ですが、いま見直すと非常に刺激の強い内容です。でも、だからこそ、
	強く揺さぶられるものがあります。「天皇の戦争責任」というタブーに、ひとり切り込んでいこうとする奥崎さん。一方でそ
	の自己顕示欲の強さは、あえて刺激的な状況を作ることで影響力を高めようとする、いまのユーチューバーの姿とも
	通底するものがあります。世紀の問題作を探究し、世界を拡げましょう。
授業外学修(予習および復習)	※破天荒な奥崎さんの行動を見て、何を感じましたか? ※いま YouTube や TikTok でも、あえ   日安間(分)   120
/Preparation & review	て激しい行動をしたり、タブーに切り込んで見せたりすることで注目を集めようとするケースが話  /Approx. time (min)
	題になっています。通底するものはないでしょうか。あるとすれば、なぜ歴史やメディアを超え
	て、そうしようとする動機が芽生えるのでしょうか? 上記のポイントを意識して、視聴した作品
	の感想や学びについてまとめてください
【第 11 回/春学期第 11 回】	【ドキュメンタリーを通じて、社会課題に立ち向かう①】 私たちが普通に消費している、SHEIN やユニクロなどの安価
授業計画/Class outline	な製品。それが可能になる背景として、開発途上国の人や特定の属性にいる人を、安価な労働力として利用してい
	る実情があるのではないかということが、たびたび問題として指摘されています。 ガーナにおける児童労働の現場を
	取材した BBC のドキュメンタリー「甘いチョコレート 苦い現実」。ディレクターのポール・ケニオンは、カカオ豆のバイヤ
	ーだと身分を偽って、ガーナとコートジボワールに潜入しました。私たちが美味しく食べるチョコレートは、みなさんよりは
	るかに幼い子どもたちが労働者として酷使された結果として届くものかもしれない。そんな現実から何を感じるか。変え
	るためにできることはあるか、考えましょう。 ※本講義では小グループによるディスカッションを実施します
授業外学修(予習および復習)	※児童労働の現場を見て、何を感じたでしょうか。もし改善のために私たちにできることがあると 目 時間 (分) 120
/Preparation & review	したら、どんなことでしょうか。 ※身分を偽って現場に潜入することは、極言すれば「ウソ」を言っ /Approx. time (min)

容を、自分なりに調べた周辺情報と共にまとめてください。					
	\$				
【ドキュメンタリーを通じて、社会課題に立ち向かう②】 ウクライナ、ガザなど、いまも世界の各地	也では戦争や紛争が				
起きています。それにより多くの人が命を失っています。でも、断片的なニュースだけを聞いてい	ても、それが身近な				
現実的なものとしては感じられないかもしれません。 2024年に放送されたNHK スペシャル「戦場のシ					
クライナの明朗快活なテレビカメラマン・ジーニャが、戦場での経験を通じて人格を変貌させる姿	をジーニャ自身が撮				
影した映像で描きます。さらに、ドローン映像やヘルメットカメラの映像を通じて、本当の戦場の現	場を描きます。作品				
の視聴を通じて、戦争とは何か、それを防ぐために何が必要なのかを探究します。 ※本講義で	は小グループによる				
ディスカッションを実施します					
※視聴を通じて、「戦争」に対するイメージは変わったでしょうか。変わったとしたら、それはなぜ	目安時間(分) 120				
でしょうか。 ※同じ「戦場で人を殺す」という行為であっても、自ら引き金を引く場合と、ドローン	/Approx. time (min)				
を通じてモニター上で爆弾を落とす場合では、行為者の罪悪感が違うように見えます。それは、					
なぜでしょうか 上記のポイントに注目して、小グループで議論した内容を、自分なりに調べた					
周辺情報と共にまとめてください。					
【最後に・いまの社会を描くドキュメンタリーを視聴する】 最後の講義で探究するドキュメンタリー(	は、現時点では未定				
です。講義のそのとき、まさに社会において話題となっていることに対し、学びを得られる作品を記	講師が選定して紹介 かっぱん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい				
します。ジャニーズ問題、ウクライナやガザの戦争、トランプ大統領の再選、生成 AI の驚異的な	な進歩など…世界は				
動いています。ともすれば一面的な情報に心揺さぶられそうになる中で、問題の本質をつかむ	ために助けとなるの				
が、ドキュメンタリーです。単に「視る」だけにとどまらず、自分の世界を拡げる「鑑賞・探究」の機会	とするために必要な				
ことについて考えましょう。					
本講義13回を通じて、受講生の皆さんは何か得られたものがあったでしょうか? 講師に対し、	目安時間(分) 12C				
「もっとこうしてほしかった」というフィードバックを含め、自由に考えをまとめてください。	/Approx. time (min)				
	目安時間(分)				
	/Approx. time (min)				
	目安時間(分)				
	/Approx. time (min)				
	·				
	目安時間(分)				
	/Approx. time (min)				
	·				
	目安時間(分)				
	/Approx. time (min)				
	= +=1== (0)				
	目安時間(分)				
	/Approx. time (min)				
	目安時間(分)				
	/Approx. time (min)				
	目安時間(分)				
	Approx. time (min)				
	起きています。それにより多くの人が命を失っています。でも、断片的なニュースだけを聞いてい現実的なものとしては感じられないかもしれません。 2024年に放送されたNHKスペシャル「戦クライナの明朗快活なテレビカメラマン・ジーニャが、戦場での経験を通じて人格を変貌させる姿影した映像で描きます。さらに、ドローン映像やヘルメットカメラの映像を通じて、本当の戦場の現の視聴を通じて、戦争とは何か、それを防ぐために何が必要なのかを探究します。 ※本講義でディスカッションを実施します ※視聴を通じて、「戦争」に対するイメージは変わったでしょうか。変わったとしたら、それはなぜでしょうか。 ※同じ「戦場で人を殺す」という行為であっても、自ら引き金を引く場合と、ドローンを通じてモニター上で爆弾を落とす場合では、行為者の罪悪感が違うように見えます。それは、なぜでしょうか 上記のポイントに注目して、小グループで議論した内容を、自分なりに調べた周辺情報と共にまとめてください。 【最後に・いまの社会を描くドキュメンタリーを視聴する】 最後の講義で探究するドキュメンタリーです。講義のそのとき、まさに社会において話題となっていることに対し、学びを得られる作品を認します。 ジャニーズ問題、ウクライナやガザの戦争、トランプ大統領の再選、生成 AI の驚異的な動いています。ともすれば一面的な情報に心揺さぶられそうになる中で、問題の本質をつかむが、ドキュメンタリーです。単に「視る」だけにとどまらず、自分の世界を拡げる「鑑賞・探究」の機会ことについて考えましょう。				

授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

1 回

評価方法 Evaluation method

7 公文来の回数/ Number of Sessions t		oted offiliae			
種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
定期試験/Regular Exam					
授業時間内に実施するテスト	30	毎回の講義でコメントペーパーを提出していただきます。字数に定めは			
/In-class/mid-term tests		ありません。内容により評価を行います。優秀なものは、匿名化したう			
		えで講義の際にご紹介させていただきます。			
レポート/Report	40	講義でお示しした内容を元に、自らテーマを定め、ドキュメンタリー映			
		画・番組・書籍などを鑑賞し、その内容を元に3000字から3500字程			
		度のレポートを書いていただきます。 課題の内容、書式、期限などに			
		ついては講義内でお知らせします。			
授業への取り組み	30	※授業への取り組みは、小グループの際に同じグループとなった他の			
/Effort/Participation		受講者による評価の結果を重視します。 ※出席は、講義へ出席した			
		だけではなく、コメントペーパーの提出をもって判定します。 小グループ			
		のディスカッションががある回の場合は、前述に加えて、議論へ参加し			
		た記録があることをもって出席とします(講義中にお示しする Google フ			
		オームに回答して頂きます)。			
その他1/Other 1					
その他2/Other 2					
評価方法に関する備考					
/Remarks for Evaluation method					
課題等に対するフィードバック	毎回の授業の前に、前回のコメントペーパーを紹介し、みなさんの理解度や参加				
/Feedback method	への姿勢を評価します。 小グループでのディスカッションの際には、受講生のみ				
	なさん自身に、同じグループの受講生の議論への参加姿勢について評価をしてい				
	ただきます。その結果を、誰が誰をどのように評価したのかについては匿名化した				
	うえで、み	うえで、みなさまにフィードバックします。			

教科書 Textbooks

決まったものはありません。随時、参考となるリソースを講義の際に紹介します。

参考書 Reference books

決まったものはありません。随時、参考となるリソースを講義の際に紹介します。

講師である市川衛の公式ページです。現在の活動、過去の出演・制作作品も載せています。参考までにご覧ください。

	市川衛一医療の『翻訳家』 https://mamoruichikawa.info/ 講師・市川の記事の一例(Yahoo!ニュースエキスパート記事) https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/mamoruichikawa
補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M3100	メディア倫理と法制/メディア法制と倫理					幸
2.00 単位	講義	秋学期	木曜 3 限	1203 教室		ナンバリング:MCC33260

表現の自由・メディア倫理・品位・放送法・知る権利・情報公開・ミスインフォメーション・ディスインフォメーション・フェイクニュース・誤情報・偽情報・ファクトチェック・OSINT・プライバシー・公共性・著作権・インターネット・アーキテクチャ・検証・利益相反・権力の監視・コモンズ・リミックス・マッシュアップ・調査報道、生成 AI、ディープフェイク、情報の生態系

# 授業の概要 / Course outline

①「表現の自由」の社会的な基盤を理解し、実現を阻む諸問題の解決方法を探ります。 ②メディア、特にニュースが社会的な信用を受けるための原則・ルールについて考えます。 ③メディアの現場の現実を知り、問題を解決するための対策について考えます。 ④私たちの社会における情報流通、意見交換などが円滑に行われるために必要な前提や諸制度を考えます。 ⑤特にインターネット・ネットワーク社会の構造を理解し、発生している新しい問題の対策を考えます。

## 到達目標 / Learning objectives

・民主主義にとって、正確な情報やニュースがなぜ必要なのか、自分のことばで説明できるようになること。・ジャーナリズムに必要なルールは何なのか、どうしてそれが必要なのかを説明できるようになること。・マルチメディア時代のニュースの形式や内容、消費のしかたの変化などについて理解し、ニュースの未来について提言できるようになること。・デジタル。ネットワーク社会の仕組みや構造について理解し、現在起きている問題の根源や背景について考察できるようになること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

ファクトチェックの初歩について教える可能性があります。関心のある人はスマホではなく自分の PC を持参して取り組むことを薦めます。

#### 履修上の注意事項/Course guidelines

配布物、コメントや小課題(オプショナルで取り組む)などの共有は Google Classroomの Drive を通じて行います。 一部をオンラインで実施する可能性があります、その場合は ZOOM を使用する。URL は当週のものを前日までに3Sにて掲示します。 その時に話題となっているニュースや時事問題は、受講者が当然知っているものとして授業を展開しますので、各自で新聞を最低1紙定期購読してください。テレビのニュース番組、インターネットのニュースサイトやソーシャルメディアも活用し情報収集をしてクラスに臨んでください。 ※以下の授業計画は、受講者の理解度などによって変更する可能性があります。 ※ゲストスピーカーを招く予定です。その場合にはクラス内で予定変更を指示していきます。

【第1回/春学期第1回】	導入の議論:自由とコントロールのバランス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第2回/春学期第2回】	表現の自由について	<b></b>	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第3回/春学期第3回】	表現の規制が必要となる時	<b></b>	d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第4回/春学期第4回】	ジャーナリズムの倫理:なぜ記者は株取引をしてはいけないのか?	<b></b>	d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第5回/春学期第5回】	メディアと人権(1):推定無罪の原則、報道の匿名と実名	<b>L</b>	J

授業計画/Class outline	▼ +E +c , 11 , 1 , ∞ , (ATRET a -0 , 13 , 11 , ∞ , − 1 , > , (A) , , 0 a Mt .tt .t .tt .t .t .t .tt	n	1400
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
F# 0 = /+ W## 0 = 3	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		<u>.l</u>
【第6回/春学期第6回】	メディアと人権(2):ニュースの情報源		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。 		
【第7回/春学期第7回】	ビジュアル・コンテンツに関わるルール:肖像権、プライバシー、編集、フォトショップ加工、切り取り	、デジタルストー	-IJ—
授業計画/Class outline	テリング、ドローン、360°カメラ、VR(Virtual Reality)		
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。 		
【第8回/春学期第8回】	メディアビジネスの構造と通信行政		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第9回/春学期第9回】	公共放送:BBCとNHK の共通点と違い		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第 10 回/春学期第 10 回】	プライバシー2.0 の世界:ビッグデータと管理社会		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第 11 回/春学期第 11 回】	豊かなクリエーションの社会へ:著作権、海賊、コモンズ、リミックス(Remix)、マッシュアップ(Mush-	-up)、贈与経済	F
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
/Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第 12 回/春学期第 12 回】	安全と監視社会のバランス:フェイクニュース、ディスインフォメーション、インテリジェンス、サイバー	- -テロ	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	希望者にはリーディング課題のプレゼンや、ディスカッショングループの準備作業、あるいは実際	目安時間(分)	120
∕Preparation & review	に起きた出来事に似せた例題を考察しコメントをポストするなどの作業があります。主なニュース	/Approx. time (min)	
	は授業外学修としてではなく、一般常識としてフォローしておいてください。		
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめの議論:情報の信頼のゆくえ	<u></u>	-d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	レポートなどを出題する予定です(詳しくはクラスでアナウンスします)	目安時間(分)	300
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		<b></b>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
			1
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】			
授業計画/Class outline			= +4100 (0)
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第24回/秋学期第11回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review	·		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】			
授業計画/Class outline			= +=1== (0)
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)			目安時間(分)
/Preparation & review			/Approx. time (min)
オンラインで実施する授業	業の回数/Number of sessions to be conducted online	3 🗇	

評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam		
method	授業時間内に実施するテスト		
	√In-class/mid-term tests		
	レポート/Report	100	授業最終日に出題します。形式等はクラス内にて指示しますので、そ
			れに従って下さい。
	授業への取り組み		
	/Effort/Participation		

その他1/Other 1	
その他2/Other 2	
評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	クラス内発表や討論モデレーターなどを募ります、成績にボーナス加算とします。
課題等に対するフィードバック /Feedback method	課題の内容説明、講評は毎回授業内で行います。Google Drive を活用する場合もあります。

# 教科書 Textbooks

クラス内で指示します。

# 参考書

Reference books

クラス内で指示します。

URL

ュースの卵 www.newstamago.com FIJ ファクトチェック・イニシアチブ www.fij.info Yahoo!ニュース・エクスパート(奥村信 幸 ) https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/okumuranobuyuki ニュースの卵ファクトチェック https://www.tiktok.com/@mediawise MediaWise https://www.tiktok.com/@mediawise

# 補足情報

Supplementary information

備考 Remarks

授業テーマに関連して、ジャーナリストなどのゲストも呼びディスカッションを行います。

M3130	現代社会の諸相/社会学部特講 B			高原 太一		
2.00 単位	講義	春学期	水曜 2 限	7209 教室		ナンバリング: SOC35020

ポストコロナ、ポスト東京五輪、ポスト 311、東京、郊外、復興、再開発、近代化、権力、社会学、同時代史、カルチュラル・スタディーズ

# 授業の概要 / Course outline

本授業では、「現代社会の諸相」について、講師ならびに受講者が共に考え、語るものである。「現代社会」とは、時間的にいえば、ポストコロナ、ポスト東京五輪、ポスト311のくいま>からスタートし、空間的には、私たちが生活を送る江古田や東京のくここ>からひろがる。そして、「諸相」には、私たち自身を含む、あらゆる姿や問題がはらまれている。言い換えれば、本授業では、私たちが生きる世界について、具体的に考えるための方法を学ぶことを第一の目的としている。そのさい参照するのが、都市社会学や地域社会学、同時代史、カルチュラル・スタディーズといったアカデミックな成果であり、「郊外」論や「東京」論、「都市」論や「風景」論がその中身となり、「復興」や「再開発」、「近代化」を促す力が主題である。そして、自分たちの足元から現代社会の諸相を考えるがゆえに、本授業では、武蔵大学の周辺にも関心を向けていく。江古田の現在や江古田を含む練馬や中野の成り立ちを学ぶことを通じて、そこで生きる私たちの存在についても、歴史的に位置づけることを目指していく。

# 到達目標 / Learning objectives

現代社会について考察するための学問的な方法を学ぶ。 現代社会という具体的かつ抽象的なものについて問いを立てる。 現代社会を分析するための比較対象を獲得する。 現代社会を生きる一人としての自覚を養う。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

必要に応じて指示を与える。

履修上の注意事項/Course guidelines

講義に出席するだけに留まらず、自分の眼や耳、足を使って調べることが必須となる。 図書館や資料館、歴史的な建造物や遺構等に出向いて調査することが求められる。 新聞やテレビ、インターネット等のニュースに関心を払うことが求められる。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:講義の概要ならびに方針の説明		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	2024年の位置を知る(1):この 20年間/2000年代の政治・社会・文化的出来事を振り返って	みる	.d
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	2024 年の位置を知る(2):「平成」(1989 [~] )という時代について学ぶ	<b></b>	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	武蔵大学/江古田の位置を知る(1):再開発される東京のいま	`	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	武蔵大学/江古田の位置を知る(2):戦後復興する東京の歴史	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	武蔵大学/江古田の位置を知る(3):関東大震災からの復興/100 年前の東京	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	「郊外」論を学ぶ(1):若林幹夫の作品『郊外の社会学-現代を生きる形』を手掛かりに	<b></b>	.d======

授業計画/Class outline		n_table ///\	
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第8回/春学期第8回】	郊外論を学ぶ(2):若林幹夫の作品『郊外の社会学一現代を生きる形』を手掛かりに		
授業計画/Class outline		= +-1== (0)	1
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第9回/春学期第9回】	郊外論を学ぶ(3):若林幹夫の作品『モール化する都市と社会』を手掛かりに		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。 	/Approx. time (min)	<u>.l</u> .
【第 10 回/春学期第 10 回】	空間と権力について学ぶ(1):阿部潔の作品『空間管理社会』から		
授業計画/Class outline		ı	:
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 11 回/春学期第 11 回】	空間と権力について学ぶ(2):阿部潔の作品『シニカルな祭典 東京 2020 オリンピックが映す現	代日本』から	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	ジモト江古田に触れる:現代社会の諸相の現われとして		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
/Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	総括: 今後の学習と研究のために		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	下記の参考書や授業内で配布する参考文献に目を通すことが望ましい。期末レポートに向け	目安時間(分)	30
∕Preparation & review	て、具体的な調査地やテーマについて検討を進める。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	Ĺ
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
1XXX/1 1 19 ( 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		:	1
/Preparation & review		/Approx. time (min)	

授業計画/Class out	III IG			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	<b>(1)</b>			
授業計画/Class out	line I			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			∕Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	· · · ·			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後	i i			目安時間(分)
Preparation & review	<u>i</u>			/Approx. time (min)
<b>【第24回/秋学期第11</b> 授業計画/Class out	· · · -			
授業計画/ Class out 授業外学修(予習および復				目安時間(分)
Preparation & review				日文時间(777 /Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				/ Approx. time (tim)
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	智)			目安時間(分)
∕Preparation & review	W			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	[回]			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	N			/Approx. time (min)
, ,	į.			/ ripprox. time (min)
	<b>i</b> -る授業の回数/Number of sessions :	to be condu	ucted online 0 🗆	/ ripprox. uno (min)
		to be condu 割合 %		西基準等/Evaluation criteria
オンラインで実施す	- る授業の回数/Number of sessions			
オンラインで実施す評価方法	る授業の回数/Number of sessions 種別/Category			
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	る授業の回数/Number of sessions を 種別/Category 定期試験/Regular Exam			
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	る授業の回数/Number of sessions 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト		評価 4000 字程度の最終L	出基準等/Evaluation criteria ・ポートの提出。内容理解と調査対象へのコミッ
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	る授業の回数/Number of sessions 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report	割合 %	評価 4000 字程度の最終し の質・量にて、成績をき	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数 / Number of sessions を 種別 / Category 定期試験 / Regular Exam 授業時間内に実施するテスト / In-class/mid-term tests レポート / Report	割合%	評価 4000 字程度の最終し の質・量にて、成績をき	出 西基準等/Evaluation criteria ・ポートの提出。内容理解と調査対象へのコミッ
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を を を を を を を を を を を を を を	割合 %	評価 4000 字程度の最終し の質・量にて、成績をき	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions を 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1	割合 %	評価 4000 字程度の最終し の質・量にて、成績をき	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を受験の回数/Number of sessions を担当を表現しています。 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2	割合 %	評価 4000 字程度の最終し の質・量にて、成績をき	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions を 種別/Category	割合 %	評価 4000 字程度の最終し の質・量にて、成績をき	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method	70 30	評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当 リアクションペーパーや	西基準等/Evaluation criteria  ボートの提出。内容理解と調査対象へのコミッド 判断する。 授業内外での質問等で判断する。
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions を 種別/Category  定期試験/Regular Exam  授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests  レポート/Report  授業への取り組み/Effort/Participation  その他1/Other 1  その他2/Other 2  評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method  課題等に対するフィードバック	割合 % 70 30	評価 評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当 リアクションペーパーや	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method	70 30	評価 評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当 リアクションペーパーや	西基準等/Evaluation criteria  ボートの提出。内容理解と調査対象へのコミッド 判断する。 授業内外での質問等で判断する。
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation	を授業の回数/Number of sessions を 種別/Category  定期試験/Regular Exam  授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests  レポート/Report  授業への取り組み/Effort/Participation  その他1/Other 1  その他2/Other 2  評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method  課題等に対するフィードバック	割合 % 70 30 UPクション 随時受け	評価 評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当 リアクションペーパーや	西基準等/Evaluation criteria  ボートの提出。内容理解と調査対象へのコミッド 判断する。 授業内外での質問等で判断する。
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method	を受業の回数/Number of sessions を担当	割合 % 70 30 Uアクション 随時受け	評価 評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当 リアクションペーパーや けんしてのコンパーパー に対してのコン付ける。	西基準等/Evaluation criteria  ボートの提出。内容理解と調査対象へのコミッド 判断する。 授業内外での質問等で判断する。
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks	を提案の回数/Number of sessions を担象の回数/Number of sessions を担象である。   を期間を表示している。   を関係している。   を関係している。   を関係している。   を関係している。   をのをしている。   をのをいる。   をのをいる。	割合 % 70 30 UPクション 随時受け	評価 評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当りアクションペーパーや けんしてのコン 付ける。	本基準等/Evaluation criteria  ボートの提出。内容理解と調査対象へのコミット 判断する。 ・授業内外での質問等で判断する。
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	を受験の回数/Number of sessions を 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック/Feedback method なし(各回ごとにプリント等を配布する) 阿部潔(2023)『シニカルな祭典 東『空間管理社会 監視と自由のパラド	割合 % 70 30 リアクション 随時受け 京 2020 オックス』新曜	評価 評価 4000 字程度の最終しの質・量にて、成績を当りアクションペーパーや 付ける。	本事学/Evaluation criteria  ボートの提出。内容理解と調査対象へのコミット 判断する。 ・授業内外での質問等で判断する。  メントを講義内でおこなう。レポート作成の相談を  本』晃洋書房 阿部潔・成実弘至(編)(2006)
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	を受験の回数/Number of sessions を 種別/Category 定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み/Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック/Feedback method なし(各回ごとにプリント等を配布する) 阿部潔(2023)『シニカルな祭典 東『空間管理社会 監視と自由のパラド	割合 % 70 30 30 リアクション 随時受け 京 2020 オックス』新曜・一ル化する	4000 字程度の最終しの質・量にて、成績をき   リアクションペーパーや   リアクションペーパーや   けいとしてのコンけける。   けいというが映す現代日   社 川端浩平(2013) 『   都市と社会 巨大産業	本事学/Evaluation criteria  ボボートの提出。内容理解と調査対象へのコミット 判断する。 ・授業内外での質問等で判断する。  ベントを講義内でおこなう。レポート作成の相談を  「本』晃洋書房 阿部潔・成実弘至(編)(2006) ジモトを歩く 身近な世界のエスノグラフィ』御茶施設論』NTT 出版 C・ライト・ミルズ(2017)『社
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書	を受験の回数/Number of sessions を 種別/Category  定期試験/Regular Exam  授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests  レポート/Report  授業への取り組み/Effort/Participation  その他1/Other 1  その他2/Other 2  評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method  課題等に対するフィードバック/Feedback method  なし(各回ごとにプリント等を配布する)  阿部潔(2023)『シニカルな祭典 東『空間管理社会 監視と自由のパラドの水書房 若林幹夫(編)(2013)『モ	割合 % 70 30 30 リアクション 随時受け 京 2020 オックス』新曜・一ル化する	4000 字程度の最終しの質・量にて、成績をき   リアクションペーパーや   リアクションペーパーや   けいとしてのコンけける。   けいというが映す現代日   社 川端浩平(2013) 『   都市と社会 巨大産業	本事学/Evaluation criteria  ボボートの提出。内容理解と調査対象へのコミット 判断する。 ・授業内外での質問等で判断する。  ベントを講義内でおこなう。レポート作成の相談を  「本』晃洋書房 阿部潔・成実弘至(編)(2006) ジモトを歩く 身近な世界のエスノグラフィ』御茶施設論』NTT 出版 C・ライト・ミルズ(2017)『社
オンラインで実施す 評価方法 Evaluation method 教科書 Textbooks 参考書 Reference books	を受験の回数/Number of sessions を 種別/Category  定期試験/Regular Exam  授業時間内に実施するテスト/In-class/mid-term tests  レポート/Report  授業への取り組み/Effort/Participation  その他1/Other 1  その他2/Other 2  評価方法に関する備考/Remarks for Evaluation method  課題等に対するフィードバック/Feedback method  なし(各回ごとにプリント等を配布する)  阿部潔(2023)『シニカルな祭典 東『空間管理社会 監視と自由のパラドの水書房 若林幹夫(編)(2013)『モ	割合 % 70 30 30 リアクション 随時受け 京 2020 オックス』新曜・一ル化する	4000 字程度の最終しの質・量にて、成績をき   リアクションペーパーや   リアクションペーパーや   けいとしてのコンけける。   けいというが映す現代日   社 川端浩平(2013) 『   都市と社会 巨大産業	本事学/Evaluation criteria  ボボートの提出。内容理解と調査対象へのコミット 判断する。 ・授業内外での質問等で判断する。  ベントを講義内でおこなう。レポート作成の相談を  「本』晃洋書房 阿部潔・成実弘至(編)(2006) ジモトを歩く 身近な世界のエスノグラフィ』御茶施設論』NTT 出版 C・ライト・ミルズ(2017)『社



M3160	メディア社会の諸相/社会学部特講 G			沼田 洋一		
2.00 単位	講義	秋学期	月曜4限	8503 教室		ナンバリング:MCC35020

マーケティング・広告・メディア

授業の概要 / Course outline

・講義担当者は、広告会社で広告メディアのプランニング、データ分析、消費者調査、システム開発を担当してきた。・マーケティングコミュニケーションとメディアについて、それぞれのメディアの特性をマーケティングコミュニケーションの観点から分析し、講義を行う。・近年、企業と生活者のコミュニケーションは、従来の広告媒体だけでなく、様々なメディアを介して行われている。この講義では、Paid Media(広告)、Earned Media(パブリシティ)、Shared Media(生活者の SNS やブログ)、そして Owned Media(企業ウェブサイトや公式 SNS アカウント)まで含めたマーケティングコミュニケーションでのメディアの使われ方にも言及したい。 *シラバスの内容、評価方法については、学生諸君の学習状況、履修人数等により変更することがある。

到達目標 / Learning objectives

・実際の企業で行われているマーケティングの考え方の基礎が理解できる・マーケティングコミュニケーションで使われる様々なメディアの特徴が理解できる

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

・講義内で事例紹介として、Web サイトの URL 等を提示することもあるので、自分の PC があれば、よりよいと思われる

履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	・講義の進め方について シラバスの内容については、受講生の人数、理解度等によって変更す	トることがある・	· マー
授業計画/Class outline	ケティング・コミュニケーションの考え方について マーケティングの基礎的な概念について解説を	と行う	
授業外学修(予習および復習)	・大学の講義では、あまりマーケティングに触れることはないと思うが、皆さんがモノやサービスを	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	購入するとき、どのような顧客接点(メディア)に触れ、情報を取得し、理解し、購入や利用しよ	/Approx. time (min)	
	うと思ったのか、ぜひ自分の行動を思い返してください。		
【第2回/春学期第2回】	・広告とメディアの歴史 広告は、時代とともに様々なメディアを利用してきた。古代のから現在ま	きで様々なメディ	ィアと
授業計画/Class outline	広告の使われ方について解説します		
授業外学修(予習および復習)	講義で解説した内容について、復習をしておこう	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	・PESO メディアとは Paid Media(広告)、Earned Media(パブリシティ)、Shared Media(生活者の	SNS やブログ)、	、そし
授業計画/Class outline	て Owned Media(企業ウェブサイトや公式 SNS アカウント)というマーケティング・コミュニケーション	ノに使わるメディ	アの
	考え方について解説する		
授業外学修(予習および復習)	講義で触れた PESO メディアについて、自分の興味のある商品やサービスについてどのような	目安時間(分)	90
/Preparation & review	PESO メディアがあるか調べてみよう	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	PaidMedia(新聞・雑誌の基礎知識) 印刷媒体としての新聞・雑誌の特性について学ぶ	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	新聞や雑誌を読むことは少なくなっていると思われるが、図書館などで新聞、雑誌を読んでみ	目安時間(分)	90
/Preparation & review	よう	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	PaidMedia(テレビ・ラジオの基礎知識) 電波媒体としてのテレビ・ラジオの特性を学ぶ	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	テレビ・ラジオもなかなか聞いていないと思うが、テレビを見てみる、ラジオは Radiko で聞いてみ	目安時間(分)	90
/Preparation & review	ると経験をしてみよう	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	PaidMedia(デジタルプラットフォームの基礎知識) Google や X(旧 Twitter)などデジタルのプラ	ラットフォームの	特性
授業計画/Class outline	を学ぶ		
授業外学修(予習および復習)	日頃、自分のよく使うデジタルプラットフォームを自分がどのように利用しているか自分を客観的	目安時間(分)	90
/Preparation & review	. 🗖 🗝 📭	/1 1 / 1 / 1 /	
/ Troparation & Toview	に見てみよう	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	に見てみよっ PaidMedia(デジタルメディアの基礎知識) プラットフォーム以外のデジタルメディアにはどのよう	, 11	んな

授業外学修(予習および復習)	自分の興味のある分野について、どのようなメディアを自分がみているか、そこではどのような広	目安時間(分)	90
/Preparation & review	告が掲載されているか考えてみよう	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	EarenedMedia(OOH:Out Of Home) 屋外広告や電車広告、駅広告、タクシー広告など移動が		
授業計画/Class outline	性について学ぶ	СШЖЛДЕ	ਹ ਪ∕1ਚ
授業外学修(予習および復習)	。 気になる広告について学生に聞くと、00Hメディアを上げる学生が多い。自分が気になった広告	目安時間(分)	90
/Preparation & review	はどのようなものだろう	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】		るか、その特性	生を学
授業計画/Class outline	\$\times_{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tin}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tinit}\\ \text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tinit}\\ \tittt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\text{\ti}\tint{\text{\text{\texit{\text{\texi}\tint{\tiint{\text{\texit}\tin}\text{\text{\text{\text{\tint}\tint{\text{\tint}\texi		
授業外学修(予習および復習)	皆さんが、PRと認識しているコミュニケーションにはどのようなものがあるだろうか	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	OwendMedia(自社の Web サイト・SNS アカウントなど) 自社の WEB サイトや SNS のアカウントな	など企業が独自	言に作
授業計画/Class outline	成しているメディアの特性について学ぶ		
授業外学修(予習および復習)	皆さんがよく見る、企業の WEB サイトや SNS のアカウントにはどのようなものがあるだろうか	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	SharedMedia(生活者による書き込み) 様々な SNS の特性や生活者による書き込みのメリット・	デメリットについ	て
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	皆さんは、自分でどのくらい商品やサービスについて書き込んだり読んだりすることがあるだろう	目安時間(分)	90
∕Preparation & review	か。一生活者の視点と、企業の担当者になったとしたらどのような意識の違いがあるだろうか。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	メディア会社の方による事例紹介 Web メディアの会社の方を想定、調整中	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	お話のあったメディアについて自分で体験してみよう。	目安時間(分)	90
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	これまでの講義の振り返りとマーケティングコミュニケーションの仕事におけるキャリアパスについて	これまでの	講義
授業計画/Class outline	を振り返るとともに、マーケティングコミュニケーション領域でキャリアを考える際の様々な職種に	ついて考えてる	みる。
	2年生、3年生の就活に向けたアドバイスも行う		
授業外学修(予習および復習)	これまでの 13 回の講義を振り返って考えてみよう	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		<b>`</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline		—	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline		D_M== ///	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review  【第 20 回/秋学期第 7 回】		/Approx. time (min)	

授業計画/Class out				<u> </u>
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			目安時間(分)
/Preparation & review	i 			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	•			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復	•			目安時間(分)
/Preparation & review	<u>i</u>			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	· <del>-</del>			
授業計画/Class out				- 1 - 1 - 1 - 1 - 1
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復				目安時間(分) (Approxy time (min)
Preparation & review 【第 26 回/秋学期第 13				Approx. time (min)
「現まれる」。 授業計画/Class out				
授業計画/ Glass out				目安時間(分)
グ未介子形(ア首のみび)  / Preparation & review	i i			日女时间(77) /Approx. time (min)
	<b>!</b>			/ Approx. time (min)
1	る授業の回数/Number of sessions t			
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crite	ria
Evaluation	定期試験/Regular Exam	50	・受講生の人数及び理解度によって変更する可能 	
method			の中で触れた概念や用語についてのテストを行う	。・正解の割合によ
			って評価を行なう	
	授業時間内に実施するテスト	20	講義の内容についての感想や意見を毎回尋ねる	
	/In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	0.0	+++++-=+++	200/ 257/77# # # 1
	授業への取り組み	30	基本的に講義形式を想定しているため、出席を3	30%の評価基準とす
	/Effort/Participation		<u>ة</u>	
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method			
		╧₩₩₩	の結果については、試験提出者各人に点数のフィ-	ドバックナイン
	課題等に対するフィードバック /Feedback method	(上 <del>州</del> 武映	妙心木に クル゙ト(は、八家佐田自合人に从数のクイ゙	一トハツンを打り
教科書 Textbooks	現在のところ、教科書は特に定めている	ない		
参考書 Reference books	参考書については、講義内に都度案内	内を行う		
URL				

補足情報 Supplementary information

備考

Remarks	

S0530	社会学概説			笹野 悦子		
2.00 単位	講義	春学期	木曜 2 限	8604 教室		ナンバリング:TCP12060

社会学、社会学的観察、社会調査、ジェンダー、教育、労働、家族

授業の概要 / Course outline

本講義では、社会学の基本的な考え方および諸概念の理解と、社会現象の社会学的な観察方法・思考方法の習得を目指します。私たちが日常生活を送る際にことさら問うことはせず「常識」として当然視していることに対して敢えて問いを発し、このようにあり続けながら変化している社会関係や社会を観察し考察します。¥n 授業では最初に近代以降社会がどのような手法で観察され記述されたのかを社会学の研究を紹介しながら整理します。続いて私たちが生きる現代社会の具体的なテーマを社会学的観点から批判的に観察し思考する力を身に付けていきます。主に「教育」「労働」「家族」の領域にある諸問題を取り上げてジェンダーの観点から検討していきます。¥n¥nこの科目は教職課程関連科目に該当します。

到達目標 / Learning objectives

授業の到達目標は次の3点です。 ¥n1)社会学の基礎的知識を理解する¥n2)社会学的想像力に基づいて社会現象を観察し、課題を構成することができる ¥n3)個別の社会現象をとおして「社会」を見通し、考察することができる

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

毎回の資料配布、宿題は Google Classroom を使用します。

【第1回/春学期第1回】	授業ガイダンス		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。。		
【第2回/春学期第2回】	社会学と社会、社会学の歴史	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。。		
【第3回/春学期第3回】	社会学的「社会」の観察 ①古典の紹介	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第4回/春学期第4回】	社会学的「社会」の観察 ②「近代社会」をどうとらえるか 再帰的近代と個人化	***************************************	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第5回/春学期第5回】	社会学と社会調査	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
∕Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第6回/春学期第6回】	社会学とジェンダー、セクシュアリティ	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150

/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第7回/春学期第7回】	教育と社会 1) 包括的性教育	<u>:</u>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第8回/春学期第8回】		<u> </u>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第 9 回/春学期第 9 回】	労働と社会 1) 産業社会と労働のジェンダー化	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	
•	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。		
【第 10 回/春学期第 10 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
/Preparation & review	¥n 事後学修: 宿題に解答して理解を整理する。 わからなかったことは調べる。 授業で紹介した	/Approx. time (min)	
,	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。	, . , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
【第 11 回/春学期第 11 回】	労働と社会 3) 労働とケアと社会		
授業計画/Class outline	)		
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	100
7 Tropulation & Torion	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。	/ ripprox. timo (min)	
	家族と社会 1) 多様化する家族関係 ①結婚の個人化とジェンダー規範		<u>.l</u>
授業計画/Class outline	がかでは五十/ 支体化)の次が内が、⑤相名の個人にできます。 がお		
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
Preparation & review	¥n 事後学修:宿題に解答して理解を整理する。わからなかったことは調べる。授業で紹介した	/Approx. time (min)	100
7 Troparation & Torion	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。	/ ripprox. timo (min)	
 【第 13 回/春学期第 13 回】	家族と社会 2) 多様化する家族関係 ②パートナーシップの多様化 ¥n 全体のまとめ		
授業計画/Class outline	家族C性去 2/ 夕塚 L する家族国际 ②ハ ドナー フラブの夕塚 L +II 主体のよこの		
授業外学修(予習および復習)	事前学修:事前配布する授業資料を基に、授業内容に関して問題を明確にして授業に臨む。	目安時間(分)	150
ア Preparation & review	学的子 修・ 学的 記刊 する 改来 貞 科を 基 に、 改来 内谷 に 関し	自女时間(カカ / Approx. time (min)	130
/ I reparation & review	文献、映像作品、ニュース等で理解を深める。	/ Approx. Lille (IIIII)	
【第14回/秋学期第1回】	- 大前、吹修下山、一ユーへ寺(珪座と木のる。 		<u></u>
授業計画/Class outline		日本吐服 (八)	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 〈Approxy time (min)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline		Y	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	<u> </u>

∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	······································	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
		·

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

/Feedback method

評価方法 Evaluation method

9	る授業の回数/ Number of Sessions to be conducted online 5 回				
	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
	定期試験/Regular Exam	50	期末試験 (8回以上の出席で受験可)		
	授業時間内に実施するテスト				
	/In-class/mid-term tests				
	レポート/Report				
	授業への取り組み	50	毎回の宿題・小テスト		
	/Effort/Participation				
	その他1/Other 1				
	その他2/Other 2				
	評価方法に関する備考				
	✓ Remarks for Evaluation method				
	課題等に対するフィードバック	宿題は宿	題フォーム内で解説する。リアクションペーパーは翌週の授業時にコメン		

トし、問題を共有しながら考察する。

教科書 Textbooks	特定の教科書は使用しない。毎回の授業で配布資料を用いる。
参考書 Reference books	参考書:毎回の授業で参考書を紹介する。¥n 全体を通じた参考書としては『学習指導要領』(最新版)。 ¥nhttps://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/
URL	
補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

S0540	人文地理学概説 [1]				富岡 政	治
2.00 単位	講義	秋学期	金曜 4 限	8702 教室		ナンバリング: TCP12080

地域、都市、立地、山村、環境

授業の概要 / Course outline

人類とその社会は、都市と農村という、二つの異質な定住形態を基礎として構成され発展してきた。それらはいずれも文明の発生と共に成立し、体制や民族の違いを超えて存続してきた、最も普遍的な地域概念である。しかも両者の地域区分はダイナミックに変動している。我々はいま高度に都市化された環境のもとで暮らしているが、百年前にはその大半は農村であった。そこでこの授業では、「都市と農村」をメインテーマとして、様々な地域構造の変化とその要因について考察していく。特に地域間に格差や対立をもたらす不均等発展のメカニズムに着目し、両者は必ずしも対等で互恵的な分業関係ではないことを明らかにしたい。

到達目標 / Learning objectives

・中学校および高等学校の地理教育に対応できる基本的な知見を身につける。¥n・地域はいかなる構成要素の結びつきによって成立しているのか、なぜ場所ごとに差異が生じるのかを、自然環境や経済・社会構造の歴史的変容を踏まえて考察できるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

授業中の私語など、他の受講者に迷惑をかける行為は禁止する。¥n 注意しても受講態度を改めない者には、以後の受講を認めない。

【第1回/春学期第1回】	地理学とは何か・・・地理学の課題、方法、意義、分野について		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業中に紹介する概説書を一冊は通読すること¥n 教職志望者は地理総合の教科書および学	目安時間(分)	240
/Preparation & review	習指導要領に目を通しておくことが望ましい	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	地理学のあゆみ・・・地理学の起源から新しい地理学の潮流まで	<b>`</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	都市の特質・・・どのような性質を備えた地域を都市と呼ぶのか	``	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	都市の起源と成長①・・・古代の都市	<b>`</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	都市の起源と成長②・・・中世の都市		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	都市の起源と成長③・・・近世の都市		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	都市の起源と成長④・・・近現代の都市		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	都市の機能と構造・・・中心地理論と都市内部の地域分化	``	

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	産業と交通・・・立地論の基礎		_i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	山村の定義と山村研究の意義		-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	山地の自然環境と人の暮らし		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	山村における就業構造の変化		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	都市と農村・・・両者の関係とその変化		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	3S に登録する参考文献や参考サイトに目を通しておくこと	目安時間(分)	240
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline		1 - 1-1 (0)	-r
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		日本中部 (八)	
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) 〈Approxy time (min)	
/ Preparation & review		/Approx. time (min)	
授業計画/Class outline			
授業計画/ Class outille 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		一女呼用(カナ   / Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】		/ Approx. time (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		/ This Ave all a (Illill)	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】		7 11	

授業計画/Class out	:line			
授業外学修(予習および後	复習)			目安時間(分)
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および復	复習)			目安時間(分)
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)
 【第 23 回/秋学期第 10	)回】			
授業計画/Class out	line			
授業外学修(予習および後	复智)			目安時間(分)
/Preparation & review	<u> </u>			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	<del>-</del>			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後				目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	i			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後				目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				
授業計画/Class out	· · · ·			
授業外学修(予習および後				目安時間 (分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
	•	رام ممام	isted critice OF	7 11 7 7
	「る授業の回数/Number of sessions t			
評価方法 Evaluation	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crite	eria
	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	/In-class/mid-term tests	0.0	極楽された。中山に明まれた図のとことで	<b>与</b> 加于/阿罗士2-1.1.
	レポート/Report	80	授業内では都市と農村に関する内外のあらゆる	
			できないので、受講者にとって身近な、あるいは関	
			一トをまとめて提出してもらう。自ら対象とするテー	ママ地域を選んです
	拉坐。015-11/07-7	00	一タを収集分析し考察する能力が問われる。	==: /=- <del> </del> -
	授業への取り組み	20	授業中に取り組んでもらう課題の達成度によって	評価する。
	/Effort/Participation			
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	Remarks for Evaluation method	1777 AHE 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		7 \/   _L ⁰     LL-ERET
	課題等に対するフィードバック	授業中に	提出してもらった課題は次回以降の授業で講評す	る。¥NレハーNは誄趄
	/Foodbook mathod	年四ヶ畑		
Í	/Feedback method	管理で個	別に評価する。	
教科書 Textbooks	/Feedback method 特定の教科書は使用しない。	管理で個	別に評価する。	
Textbooks 参考書	特定の教科書は使用しない。		別に評価する。   	央他編『みわたす・つ
Textbooks	特定の教科書は使用しない。 野間晴雄他編著『ジオ・パル NEO―地	2理学·地域		
Textbooks 参考書	特定の教科書は使用しない。 野間晴雄他編著『ジオ・パル NEO―地	3理学·地域	調査便利帖—(第2版)』,海青社,2017.¥n 上杉和 里学会編『地理学事典』,丸善出版,2023.¥n 稲垣程	
Textbooks 参考書	特定の教科書は使用しない。 野間晴雄他編著『ジオ・パル NEO―地なげる人文地理学』、古今書院、2021.3	3理学·地域	調査便利帖—(第2版)』,海青社,2017.¥n 上杉和 里学会編『地理学事典』,丸善出版,2023.¥n 稲垣程	
Textbooks 参考書 Reference books URL	特定の教科書は使用しない。 野間晴雄他編著『ジオ・パル NEO―地なげる人文地理学』、古今書院、2021.3	3理学·地域	調査便利帖—(第2版)』,海青社,2017.¥n 上杉和 里学会編『地理学事典』,丸善出版,2023.¥n 稲垣程	
Textbooks 参考書 Reference books	特定の教科書は使用しない。 野間晴雄他編著『ジオ・パル NEO―地なげる人文地理学』、古今書院、2021.3	3理学·地域	調査便利帖—(第2版)』,海青社,2017.¥n 上杉和 里学会編『地理学事典』,丸善出版,2023.¥n 稲垣程	

B0040	情報技術と人間を	技術と人間社会 [1][メディア授業][金 6]		庄司 昌彦		
2.00 単位	講義	春学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: GEA02020

情報社会、人工知能、データサイエンス、データ活用、個人情報保護、ELSI

授業の概要 / Course outline

情報技術の進展により、私たちの身の回りでは多種多様なデータが大量に生成、蓄積、活用されている。データをいかに活用し付加価値を見いだすかということに対する社会的要請は高いが、どのようなデータを用い、どのような分析・活用を行うのかという視点を適切に持たなければ、不十分な結果や誤った結果をもたらしてしまう。そのような中、政府は「AI 戦略 2019」(2019 年 6 月策定)にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学生が、初級レベルの数理・データサイエンス・AI を習得することを求めている。本講義では、「情報技術と人間社会」、特に社会におけるデータ活用・データサイエンスについて基本的な視点を広く身につけ、大学で学んでいく上でのリテラシーを養う。

到達目標 / Learning objectives

・「情報技術と人間社会」に関する数理・データサイエンス・AI について基礎的な素養を身に付ける。¥n・AI やデータ等を扱う際には人間中心の適切な判断ができ、主体的に恩恵を受けられるようになる。¥n・データサイエンス・AI と人間・社会との関わりを考え、新たな課題について自分なりに考えて説明・行動できるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

各自 PC(オンライン配信で授業を実施)

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業では Google Classroom を活用します。毎回の授業コメントや課題への取り組みを重視しますので、期限までに必ず対応するよう注意してください。

【第1回/春学期第1回】	※イントロダクション¥n 社会で起きている変化: 第4次産業革命、Society5.0 など変化のとらえて	方、データサイエ	ンス
授業計画/Class outline	とは、人文社会科学とデータサイエンス、学ぶ意義を考える、AI を活用したビジネス/サービスを	印る	
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会で活用されているデータ: どんなデータが集められどう活用されているかを知る(パーソフ	トルデータ(ログ	デー
授業計画/Class outline	タ)、調査データ、オープンデータ、ビッグデータなど)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	データ・Alの活用領域: さまざまな領域でデータ・Alが活用されていることを知る(生産・消費・文	化活動、マーク	ァティ
授業計画/Class outline	ング、生成 Al など)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	データ・Al 利活用のための技術: データ・Al を活用するために使われている技術の概要を知る	る(データ解析・	可視
授業計画/Class outline	化、特化型 AI と汎用 AI、生成 AI の活用など)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	データ·Al 利活用の現場: データ活用のプロセス(課題設定→データの取得→加工→解析→考	察→表現→伝	達→
授業計画/Class outline	課題解決に向けた提案、さまざま分野でのデータ・Al 利活用事例など)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	データ・Al 利活用の最新動向: データ・Al 利活用におけるビジネスモデルやテクノロジー(学習・	生成 Al、シェア!	ルグ
授業計画/Class outline	エコノミー・商品おすすめ等のビジネスモデルなど)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	データを読む: データを適切に読み解く力を養う。データの種類(量的変数と質的変数)、代表(	直(平均値·中夕	· ·值·
授業計画/Class outline	最頻値)、データのばらつき、相関と因果、母集団と標本抽出、誇張表現に惑わされない)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120

/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	データを説明する: データを適切に説明する力を養う(データ表現・さまざまなグラフ、データ		かま
授業計画/Class outline	現・優れた表現、適切な伝え方とは)	クル採、竹廻り	1/418
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
Preparation & review	時我臭術で用V7~後日、反来で3~幅月の仁人献寺で用V7~元成成3子日	/Approx. time (min)	120
【第9回/春学期第9回】	データを扱う: データを扱うための力を養う(データの取得、機械で扱いやすいデータの作成		)集計
授業計画/Class outline	(和·平均)・並び替え、データの解析ツール(スプレッドシートと Bl ツール)など)	)J/A( ) / //	<b>X</b> III
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review	品表表 (10/10 た 図目、 ) 大木 (1 C相) (2 たんぱい (2 / 1) を ) (2 / 1) と	/Approx. time (min)	1.20
【第 10 回/春学期第 10 回】	データ・AI を扱う上での留意事項: データ・AI を利活用する上で知っておくべきこと(倫理的		]] 課題
授業計画/Class outline	(ELSI)、個人情報保護、忘れられる権利、データ倫理、AI 社会原則、負の事例、生成 AI の留		
	害コンテンツなど)		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	データを守る上での留意事項: データを守る上で知っておくべきこと(情報セキュリティの3要素	 、情報漏洩等I	による
授業計画/Class outline	セキュリティ事故事例)		
授業外学修(予習および復習)	- 講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】		<u></u> 基礎、プログラ	ミング
授業計画/Class outline	基礎、時系列データ解析、自然言語処理、画像認識、データハンドリング(データベース、データ	タクレンジング).	、その
	他データ活用)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	全体振り返り、「情報技術と人間社会」に関する社会動向と今後の展望		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		-	_
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.l</u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline		1 - 1	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 20 回/秋学期第 7 回】			

授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	[習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8	回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9	回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	智)			目安時間(分)	
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10	) 回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	(智)			目安時間(分)	
∕Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11	回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	夏習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12	? 回】		·		
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13	B 回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	夏習)			目安時間(分)	
∕Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
オンラインで実施す	- る授業の回数/Number of sessions t	o be condu	ucted online 13 回		
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteri	a	
Evaluation	定期試験/Regular Exam				
method	授業時間内に実施するテスト				
	/In-class/mid-term tests				
	レポート/Report	75	レポート課題により、授業の理解度を評価します。		
	授業への取り組み	25	Google Classroom における毎回の授業コメントや認	果題への取り組み姿	
	/Effort/Participation		勢を評価に用います。		
	その他1/Other 1				
	その他2/Other 2				
	評価方法に関する備考				
	/Remarks for Evaluation method				
	課題等に対するフィードバック	授業時間	内でフィードバックします。		
	/Feedback method				
教科書 Textbooks	北川源四郎·竹村彰通(編), (2024)	,『教養とし	てのデータサイエンス 改訂第2版』,講談社.		
参考書 Reference books	安宅和人/池宮伸次 Yahoo!ビッグデータレポートチーム, (2019), 『ビッグデータ探偵団』, 講談社現代新書.				
URL	参考:数理・データサイエンス教育強化	上拠点コング	ノーシアム「数理・データサイエンス・Al(リテラシーレク	ベル)モデルカリキュ	
ONE			mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html¥n		
補足情報 Supplementary information					
備考 Remarks					

B0045	情報技術と人間社会 [2][メディア授業][金 6]		庄司 昌彦			
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: GEA02020

情報社会、人工知能、データサイエンス、データ活用、個人情報保護、ELSI

授業の概要 / Course outline

情報技術の進展により、私たちの身の回りでは多種多様なデータが大量に生成、蓄積、活用されている。データをいかに活用し付加価値を見いだすかということに対する社会的要請は高いが、どのようなデータを用い、どのような分析・活用を行うのかという視点を適切に持たなければ、不十分な結果や誤った結果をもたらしてしまう。そのような中、政府は「AI 戦略 2019」(2019 年 6 月策定)にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学生が、初級レベルの数理・データサイエンス・AI を習得することを求めている。本講義では、「情報技術と人間社会」、特に社会におけるデータ活用・データサイエンスについて基本的な視点を広く身につけ、大学で学んでいく上でのリテラシーを養う。

到達目標 / Learning objectives

・「情報技術と人間社会」に関する数理・データサイエンス・AI について基礎的な素養を身に付ける。¥n・AI やデータ等を扱う際には人間中心の適切な判断ができ、主体的に恩恵を受けられるようになる。¥n・データサイエンス・AI と人間・社会との関わりを考え、新たな課題について自分なりに考えて説明・行動できるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○深い教養・幅広い知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

各自 PC(オンライン配信で授業を実施)

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業では Google Classroom を活用します。毎回の授業コメントや課題への取り組みを重視しますので、期限までに必ず対応するよう注意してください。

【第1回/春学期第1回】	※イントロダクション¥n 社会で起きている変化: 第4次産業革命、Society5.0 など変化のとらえて	方、データサイエ	ニンス
授業計画/Class outline	とは、人文社会科学とデータサイエンス、学ぶ意義を考える、AI を活用したビジネス/サービスを	知る	
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会で活用されているデータ: どんなデータが集められどう活用されているかを知る(パーソフ	トルデータ(ログ	デー
授業計画/Class outline	タ)、調査データ、オープンデータ、ビッグデータなど)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	データ・AIの活用領域: さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを知る(生産・消費・文	化活動、マーク	ァティ
授業計画/Class outline	ング、生成 Al など)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	データ・Al 利活用のための技術: データ・Al を活用するために使われている技術の概要を知っ	。 る(データ解析・	<del>.</del> 可視
授業計画/Class outline	化、特化型 Al と汎用 Al、生成 Al の活用など)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	データ・AI 利活用の現場: データ活用のプロセス(課題設定→データの取得→加工→解析→考	察→表現→伝	<del></del>
授業計画/Class outline	課題解決に向けた提案、さまざま分野でのデータ・Al 利活用事例など)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	データ・Al 利活用の最新動向: データ・Al 利活用におけるビジネスモデルやテクノロジー(学習・:	生成 Al、シェア!	ルグ
授業計画/Class outline	エコノミー・商品おすすめ等のビジネスモデルなど)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	データを読む: データを適切に読み解く力を養う。データの種類(量的変数と質的変数)、代表(	直(平均値·中央	と値・
授業計画/Class outline	最頻値)、データのばらつき、相関と因果、母集団と標本抽出、誇張表現に惑わされない)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
L	ī	·	

/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	データを説明する: データを適切に説明する力を養う(データ表現・さまざまなグラフ、データ		かま
授業計画/Class outline	現・優れた表現、適切な伝え方とは)	クル採、竹廻り	1/418
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
Preparation & review	時我臭術で用V7~後日、反来で3~幅月の仁人献寺で用V7~元成成3子日	/Approx. time (min)	120
【第9回/春学期第9回】	データを扱う: データを扱うための力を養う(データの取得、機械で扱いやすいデータの作成		)集計
授業計画/Class outline	(和·平均)・並び替え、データの解析ツール(スプレッドシートと Bl ツール)など)	)J/A( ) / //	<b>X</b> III
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review	品表表 「E/JV た 医白、 大木 」 C相力 ひた 八郎 り E/JV た た 広田 」 ) 日	/Approx. time (min)	1.20
【第 10 回/春学期第 10 回】	データ・AI を扱う上での留意事項: データ・AI を利活用する上で知っておくべきこと(倫理的		]] 課題
授業計画/Class outline	(ELSI)、個人情報保護、忘れられる権利、データ倫理、AI 社会原則、負の事例、生成 AI の留		
	害コンテンツなど)		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	データを守る上での留意事項: データを守る上で知っておくべきこと(情報セキュリティの3要素	 、情報漏洩等I	による
授業計画/Class outline	セキュリティ事故事例)		
授業外学修(予習および復習)	- 講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】		<u></u> 基礎、プログラ	ミング
授業計画/Class outline	基礎、時系列データ解析、自然言語処理、画像認識、データハンドリング(データベース、データ	タクレンジング).	、その
	他データ活用)		
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	全体振り返り、「情報技術と人間社会」に関する社会動向と今後の展望		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料を用いた復習、授業内で紹介した文献等を用いた発展的学習	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】		<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		-	_
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.l</u>
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline		1 - 1	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 20 回/秋学期第 7 回】			

授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	[習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8	回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)	
【第 22 回/秋学期第 9	回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	智)			目安時間(分)	
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)	
【第 23 回/秋学期第 10	) 回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	(智)			目安時間(分)	
∕Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
【第 24 回/秋学期第 11	回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	夏習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	w			/Approx. time (min)	
【第 25 回/秋学期第 12	? 回】		·		
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)	
/Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
【第 26 回/秋学期第 13	B 回】				
授業計画/Class out	line				
授業外学修(予習および復	夏習)			目安時間(分)	
∕Preparation & review	W			/Approx. time (min)	
オンラインで実施す	- る授業の回数/Number of sessions t	o be condu	ucted online 13 回		
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteri	a	
Evaluation	定期試験/Regular Exam				
method	授業時間内に実施するテスト				
	/In-class/mid-term tests				
	レポート/Report	75	レポート課題により、授業の理解度を評価します。		
	授業への取り組み	25	Google Classroom における毎回の授業コメントや認	果題への取り組み姿	
	/Effort/Participation		勢を評価に用います。		
	その他1/Other 1				
	その他2/Other 2				
	評価方法に関する備考				
	/Remarks for Evaluation method				
	課題等に対するフィードバック	授業時間	内でフィードバックします。		
	/Feedback method				
教科書 Textbooks	北川源四郎·竹村彰通(編), (2024)	,『教養とし	てのデータサイエンス 改訂第2版』,講談社.		
参考書 Reference books	安宅和人/池宮伸次 Yahoo!ビッグデータレポートチーム, (2019), 『ビッグデータ探偵団』, 講談社現代新書.				
URL	参考:数理・データサイエンス教育強化	上拠点コング	ノーシアム「数理・データサイエンス・Al(リテラシーレク	ベル)モデルカリキュ	
ONE			mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html¥n		
補足情報 Supplementary information					
備考 Remarks					

M0140	社会調査方法論	基礎 1 [S][.	メディア授業][火 6]		曹 慶錦	i
2.00 単位	講義	春学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: SOC14010

社会調査、調査法、社会学、データ、分析

授業の概要 / Course outline

社会調査は単なるデータの収集作業にとどまるものではなく、社会学研究を行うための重要な方法の一つであります。この授業では社会調査の基本事項について、具体的な調査事例と関連付けて学ぶことで、既存の社会調査の結果を的確に理解できるようになるとともに、社会調査の設計と実施についてある程度の見通しが立てられるようになることを目指します。

到達目標 / Learning objectives

社会学の分野で行われる社会調査研究の枠組みを理解し、社会調査の事例を探し、その結果を的確に読むための基礎的な力を身につけます。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

#### 履修上の注意事項/Course guidelines

全回オンデマンドの授業になります。毎回 Google Classroomで授業資料と講義動画などの教材を配信します。Google Classroomへの参加方法は 3S に掲示します。¥n 受講には Web ブラウザが必要です。Edge や Safari でも受講可能ですが、教材の動作確認を Google Chrome で行っているので、Google Chrome での受講を推奨します。¥n 教材の動作確認を PC で行っているので、PC での受講を強く推奨します。スマホなどでは教材の動作が不完全なものになる恐れがあります。¥n なお、PC の OS は Windows、Mac のどらちらでも結構です。

【第1回/春学期第1回】	はじめに		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会調査の目的		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会調査の歴史:国内外の社会調査の歴史	<b>`</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	社会調査の種類:量的調査と質的調査	\$	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	量的調査の方法:量的調査の方法とその特徴	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	量的調査の事例(1):主要な公的調査、国内の代表的な学術調査	<b>*************************************</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	量的調査の事例(2):主要な官庁統計、国際機関の統計データ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	質的調査の方法:質的調査の方法とその特徴	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	質的調査の事例:実際の研究事例とその方法の特徴		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 11 回/春学期第 11 回】	量的調査と質的調査の関係:量的調査と質的調査の補完性		
授業計画/Class outline		·	
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 12 回/春学期第 12 回】	既存データの使い方:既存データの収集と使い方		
授業計画/Class outline	建苯卦面亦识吐台后次则无註 7. 中央无规模 구시/ 私不担时必止, 大 安观王모土!	口力吐服 ///	60
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分) 〈Annony time (min)	60
Preparation & review  【第 13 回/春学期第 13 回】	復習を行う。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
授業計画/Class outline	仕 云 調 重 V) 冊 连 C よ C (V)		
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	00
【第14回/秋学期第1回】	K15(17)	7 71001071. 20110 (11111)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline		<b>.</b>	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		日本吐服 ///	T
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review		目安時間(分) /Approx. time (min)	
(第 18 回/秋学期第 5 回)		/ Approx. tille (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		÷	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		L	لـــــنـ

【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	 
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

13 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
∕In-class/mid-term tests		
レポート/Report	60	中間(30%)と期末(30%)にレポート課題を予定しています。この課題
		の解答内容と提出状況によって授業全体の内容の理解度を評価しま
		す。
授業への取り組み	40	ほぼ毎回の授業で小課題があります。この課題の解答内容と提出状
/Effort/Participation		況によって毎回の授業内容の理解度と授業への取り組みを評価しま
		す。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考	毎回の授	業で実施される小課題の目的は学生の理解度の確認です。小課題の
✓ Remarks for Evaluation method	解答に必	要な標準所用時間は 20~30 分です。 ¥n なお、小課題は出席確認を
	兼ねており	ります。小課題の提出をもって、その回の授業を出席したとみなします。
	¥n 中間と	期末のレポートの実施目的は学生の理解度の確認です。レポートの作
	成に必要	な標準所用時間は 120~160 分です。¥n なお、期末レポートの提出は
	必須です。	
課題等に対するフィードバック	課題等の	フィードバックとして、講義動画内でコメントするか、関連する資料を
/Feedback method	Google Cl	assroom 上で公開します。

教科書 Textbooks

参考書 Reference books 轟亮·杉野勇·平沢和司編,2021,『入門·社会調査法 第4版』法律文化社 ISBN-13:978-4589041418¥n 林雄亮·石田賢示,2017,『基礎から学ぶ社会調査と計量分析』北樹出版 ISBN-13:978-4779305351(入学時に配布予定)¥n

URL

補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M0150	社会調査方法論基礎 2 [S][メディア授業][火 6]					曹慶鎬		
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: SOC14020		

社会調査、調査法、社会学、データ、分析

授業の概要 / Course outline

社会調査は単なるデータの収集作業にとどまるものではなく、社会学研究を行うための重要な方法の一つであります。この授業では社会調査の具体的な実施方法について、調査の過程に沿って学ぶことで、社会調査の設計と実施に必要な知識と技術を身につけることを目指します。

到達目標 / Learning objectives

社会学の分野で行われる社会調査研究の枠組みを理解し、社会調査の設計と実施に必要な基礎的な力を身につけます。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

全回オンデマンドの授業になります。毎回 Google Classroomで授業資料と講義動画などの教材を配信します。Google Classroomへの参加方法は 3S に掲示します。¥n 受講には Web ブラウザが必要です。Edge や Safari でも受講可能ですが、教材の動作確認を Google Chrome で行っているので、Google Chrome での受講を推奨します。¥n 教材の動作確認を PC で行っているので、PC での受講を強く推奨します。スマホなどでは教材の動作が不完全なものになる恐れがあります。¥n なお、PC の OS は Windows、Mac のどらちらでも結構です。

【第1回/春学期第1回】	はじめに		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	量的調査の構想(1):問題意識の検討		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	量的調査の構想(2): 仮説の検討		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	量的調査の準備(1):調査票と質問文の作成		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	量的調査の準備(2):標本抽出の基礎		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	量的調査の準備(3):標本抽出の様々な方法		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	中間まとめ	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	量的調査の実施と量的調査データの整理		-4

授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
		<u>L</u>	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
 【第 12 回/春学期第 12 回】		<u> </u>	.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	まとめ		.j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
		<u> </u>	.j
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		<u> </u>	J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			.J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		<u>:</u>	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			-i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 21 回/秋学期第 8 回】			.J

授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで実施する授	業の回数/Number of sessions to be conducted online 13 回	

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria
定期試験/Regular Exam		
授業時間内に実施するテスト		
∕In-class/mid-term tests		
レポート/Report	60	中間(30%)と期末(30%)にレポート課題を予定しています。この課題
		の解答内容と提出状況によって授業全体の内容の理解度を評価しま
		す。
授業への取り組み	40	ほぼ毎回の授業で小課題があります。この課題の解答内容と提出状
/Effort/Participation		況によって毎回の授業内容の理解度と授業への取り組みを評価しま
		す。
その他1/Other 1		
その他2/Other 2		
評価方法に関する備考	毎回の授	業で実施される小課題の目的は学生の理解度の確認です。小課題の
✓ Remarks for Evaluation method	解答に必	要な標準所用時間は 20~30 分です。¥n なお、小課題は出席確認を
	兼ねており	ります。小課題の提出をもって、その回の授業を出席したとみなします。
	¥n 中間と	期末のレポートの実施目的は学生の理解度の確認です。レポートの作
	成に必要	な標準所用時間は 120~160 分です。¥n なお、期末レポートの提出は
	必須です。	
課題等に対するフィードバック	課題等の	フィードバックとして、講義動画内でコメントするか、関連する資料を
/Feedback method	Google Cl	assroom 上で公開します。

教科書 Textbooks

参考書 Reference books 轟亮·杉野勇·平沢和司編, 2021,『入門·社会調査法 第4版』法律文化社 ISBN-13:978-4589041418¥n 林雄亮·石田賢示, 2017,『基礎から学ぶ社会調査と計量分析』北樹出版 ISBN-13:978-4779305351(入学時に配布予定)

URL

補足情報

Supplementary information	
備考 Remarks	

M1320	家族社会学 [メディア授業][金 6]			千田 有紀		
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: SOC33010

近代家族、少子高齢化、未婚化、恋愛、ロマンティックラブイデオロオギー、母性、ケア労働、家事労働、児童虐待、国民国家、市場、家父長制、家制度、社会的権力、離婚

#### 授業の概要 / Course outline

google classroom を使います。¥n 毎回授業の動画を見てから、適宜、課題を出してもらいます。google classroom に登録し、google form で課題を提出すること。動画は金曜日中にアップします。

#### 到達目標 / Learning objectives

「近代家族」論を学ぶことによって、わたしたちが現在生きている「家族」について理解を深めます。¥n わたし達が「当たり前」のように受け止めている家族像は、実は明治以降の近代化の過程で作られてきたものです。具体的には、一夫一婦制、夫婦別姓、恋愛による結婚、子どもに対する愛情、専業主婦、家庭の親密性、処女性の尊重、性別役割分業、家族のプライバシーなどです。こういった事象がどのように新しく、近代社会を特徴づけているのかについてまず学びます。「生涯に一人の運命のひとと出会って結婚して子どもを作り添い遂げる」というロマンティックラブイデオロギーや、母親には生まれながらにして子どもを愛する気持ちが備わっており、子どもは無条件に可愛いという母性イデオロギー、また家族や家庭は憩いの場であり、ブライバシーの砦であるという家庭のイデオロギーの作られ方と特質について学んだあと、近代家族がどのような性質をもつのか、労働市場や国民国家とどのように関係しているのかについて考えます。、男は仕事、女は家事育児といった家庭内の性別役割分業は、これを前提とした労働市場や社会保障の制度、教育のシステムとも連動しています。¥n こういった家族の制度は、1990年代以降急速に進行したグローバリゼーションによって、また変動期を迎えています。一家を養うことのできる家族賃金を男性が得ること(これは、終身雇用、年功序列に基づいた日本型経営と深い結びつきを持っていました)が困難になった現在、未婚化や少子高齢化が急速に加速しています。また家族における格差が社会における格差を生み出す原因ともなってきています。家庭内の暴力や虐待に目が向けられることになってきた一方で、理想の家族をめぐる介入が新たな社会問題も生み出しています。 ¥n この授業では、「近代家族」論を学ぶことによって、わたしたちが現在生きている「家族」について理解を深めます。

#### 授業外学修 / Supplementary reading or study

#### 全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

# 履修上の注意事項/Course guidelines

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション。「家族」とは何か		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	「近代家族」の成立(1)「家族」の誕生:国民国家と家族		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	「近代家族」の成立(2)「近代家族」とは何か。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
∕Preparation & review		∕Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	「近代家族」の成立(3)家族という言葉の誕生		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	「近代家族」の成立(4)家族国家観		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		∕Approx. time (min)	

【第6回/春学期第6回】	「近代家族」の成立(5)ロマンティックラブイデオロギーの誕生		
授業計画/Class outline			
	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	「近代家族」の成立(6)母性、家庭イデオロギーの誕生	<u>-</u>	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	「近代家族」の成立(7)システムとしての近代家族:性別役割分業、市場と学校の誕生	<del>i</del>	-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	「近代家族」の揺らぎ(1)未婚化と少子化:なぜ若者は結婚しなくなったのか?		-4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	「近代家族」のゆらぎ(2)ロマンティックラブイデオロギーと揺らぎと性規範のゆらぎ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	「近代家族」のゆらぎ(3) 現代社会と離婚の増加		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	「近代家族」のゆらぎ(4) 離婚によって生み出される問題		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
	「近代家族」のゆらぎ(5) 家族の生む格差		
授業計画/Class outline			ngananananan
授業外学修(予習および復習)	授業の復習を怠らないこと。指定された課題を仕上げること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			-T
授業外学修(予習および復習) / Preparation & review		目安時間(分) /Approx. time (min)	
ļ		/ Approx. time (min)	<u> </u>
【第16回/秋学期第3回】 授業計画/Class outline			
授業計画/ Olass Outline 授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
アードラー   Preparation & review		Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】		7 Approx. time (min)	<u></u>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		A vikki ave mina finiti)	.L
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
Preparation & review		/Approx. time (min)	
,		,pp/ com (mill)	J

【第 19 回/秋学期第 6	同】					
授業計画/Class out						
授業外学修(予習および復	習)					目安時間(分)
/Preparation & review	V					/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7						
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	[習)					目安時間(分)
/Preparation & review	V					/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	回】				<del>\</del>	
授業計画/Class out	ine					
授業外学修(予習および復	習)					目安時間(分)
/Preparation & review	V					/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】					
授業計画/Class out	line					
授業外学修(予習および復	[習)					目安時間(分)
/Preparation & review	L					/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	<u> </u>					
授業計画/Class out						
授業外学修(予習および復						目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	- 1					
授業計画/Class out		***************************************		***************************************		
授業外学修(予習および復	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				account to	目安時間(分)
/Preparation & review						/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	į					
授業計画/Class out						
授業外学修(予習および復 / Preparation & review						目安時間(分) (Approx time (min)
						/Approx. time (min)
授業計画/Class out	i i					
授業外学修(予習および復						目安時間(分)
Preparation & review						/Approx. time (min)
	<u> </u>					7 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
,	る授業の回数/Number of sessions t		cted online	13 回		
評価方法 Evaluation	種別/Category	割合 %		評価基準寺	Evaluation criteri	a
Evaluation method	定期試験/Regular Exam	100	常和士のニュ	<i>+</i>	1.4 <b>不</b> 型中土 2	
method	授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests	100	選択式のナスト	を美施し、点剱	に従って評定する。	
	レポート/Report					
	授業への取り組み					
	反素への取り組み / Effort/Participation					
	その他1/Other 1					
	その他2/Other 2					
	評価方法に関する備考					
	・ Remarks for Evaluation method					
	課題等に対するフィードバック	テストの占				
	Feedback method	7 7 (1 0 ) //(	жi6лдл 7 0°			
教科書 Textbooks	千田有紀,2011,『日本型近代家族―どこから来て、どこへ行くのか』勁草書房					

参考書 Reference books

URL

補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M1350	ジェンダーの社会	学[メディア	千田 有	紀		
2.00 単位	講義	春学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: SOC33040

ジェンダー、セクシュアリティ、アイデンティティ、恋愛、家族、格差、国民国家、労働、少子高齢化、社会学理論、フェミニズム、ポストフェミニズム、クィア

授業の概要 / Course outline

授業の動画を見てから、課題を出してもらいます。 グーグルクラスルームに登録し、 グーグルフォームで課題を提出すること。 動画と課題は火曜日までにアップします。

# 到達目標 / Learning objectives

ジェンダー理論の基礎を学び、ジェンダーについての諸問題について理解を深めます。今年度は、フェミニズムに焦点をあて、フェミニズムとは何かを開設しながらというスタイルをとります。¥n 男である、女であるという性別、つまりジェンダーはわたしたちの社会を作り上げる際に、大きな役割を果たしています。しかしそのことはあまりに「当たり前」のように思われており、気が付かれにくいのです。この授業では、近代社会において、ジェンダーがセクシュアリティと関連しながらどのように社会をつくっていったのか、またわたしたちの身体をもつくりあげているのかについて学びます。ジェンダーに関連しているのは日常生活だけではありません。身体、恋愛や家族労働、教育、国民国家などなど多岐にわたっています。この授業ではこのような領域でジェンダーがどのような役割を果たしているのかについても学びます。さらに、ジェンダーが多様化していっている現代社会において、「ポストフェミニズム」現象がどのように起こっているかについての学びます。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

,			
【第1回/春学期第1回】	イントロダクション:フェミニズムは何を明らかにするのか。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	フェミニズムの歴史:第1波フェミニズムから第4波フェミニズムまで	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	第2波フェミニズムとなにか。とくに日本の文脈に即して		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	第3波フェミニズムと第4波フェミニズム、ネオリベラルフェミニズム、ポストフェミニズム一新しいネ	上会理論?新し	い社
授業計画/Class outline	会状况?		
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	主体と権力一ミシェル・フーコーの権力論と性		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分)	90
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	性の欲望をめぐって		- <b>-</b>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分)	90
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	性暴力と身体		- <b>-</b>
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分) 90
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第8回/春学期第8回】	ゲストスピーカー:性的欲望と解放について	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 90
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第9回/春学期第9回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)	授業の前に教科書を読んでくること。授業後に課題を提出すること。	目安時間(分) 90
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 10 回/春学期第 10 回】	ケアとはどのようなものか?	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 90
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 11 回/春学期第 11 回】	フェミニズムとポルノグラフィ	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 90
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 12 回/春学期第 12 回】	 性事象とアイデンティティ:ゲストスピーカー	
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 90
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 13 回/春学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分) 90
/Preparation & review	AND THE COURT OF CO.	/Approx. time (min)
【第14回/秋学期第1回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 15 回/秋学期第 2 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 16 回/秋学期第 3 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 17 回/秋学期第 4 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 18 回/秋学期第 5 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第19回/秋学期第6回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第20回/秋学期第7回】	<u>.                                    </u>	

授業外学修(予習および復	習)		目安時間(分)	
/Preparation & review			/Approx. time	(min)
【第 21 回/秋学期第 8				
授業計画/Class outli	ine 🎚			
授業外学修(予習および復	習)		目安時間(分)	
/Preparation & review	,		/Approx. time	(min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class out	ne l			
授業外学修(予習および復	習)		目安時間(分)	
/Preparation & review			/Approx. time	(min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】			
授業計画/Class outli	ne			
授業外学修(予習および復	習)		目安時間(分)	
/Preparation & review			/Approx. time	(min)
【第 24 回/秋学期第 11				
授業計画/Class outli				
授業外学修(予習および復	- ·		目安時間(分)	
/Preparation & review			/Approx. time	(min)
【第 25 回/秋学期第 12				
授業計画/Class outl				
授業外学修(予習および復	•		目安時間 (分)	,
Preparation & review	i 		/Approx. time	(min)
【第 26 回/秋学期第 13	•			
授業計画/Class outli				
授業外学修(予習および復 / Preparation & review			目安時間(分) /Approx. time	(min)
•	i			(111111)
	る授業の回数/Number of sessions to			
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria	
Evaluation	定期試験/Regular Exam	100		
method	授業時間内に実施するテスト	100	選択式のテストを実施し、点数に従って評定する。	
	/In-class/mid-term tests			
	レポート/Report			
	授業への取り組み			
	/Effort/Participation その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	評価方法に関する頒考 / Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	計略は切	点して点数を知らされる。	
	Feedback method	記憶だる。不	<b>ぶして宗教を知り合わる。</b>	
教科書 Textbooks	千田有紀『女性学/男性学』岩波書 (2013)¥n	店(2009	年)¥n 千田有紀·中西祐子·青山薫『ジェンダー論をつかむ	·』有斐閣
参考書 Reference books	千田有紀·中西祐子·青山薫,2013,『\$	ジェンダー語	論をつかむ』有斐閣¥n 千田有紀 2009『女性学/男性学』岩波	書店.
URL [				
補足情報				
Supplementary information				

M1510	若者の社会学/若	者文化の社	中西 祐	i子		
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: SOC33170

若者、世代、階層、サブカルチャー、ロスジェネ、ニート、友人、恋愛、セクシュアリティ、ジェンダー、自立、離家、ファッション、携帯、ソーシャルメディア、政治参加、政治運動

#### 授業の概要 / Course outline

担当教員が授業動画へのリンク先を本授業用の Google Classroom 上に公開する(動画は視聴しやすいよう複数本に分かれている週が多いが、毎週の動画の総視聴時間は 60~80 分程度を予定している)。 ¥n 受講生はその週に配信された全ての授業動画を視聴した後、その週の授業内容に関連した小テスト(Google フォームで作成されたテスト)に解答して、オンライン上で提出すること。 ¥n¥n 担当教員は、毎週火曜の夕方までに授業動画と小テストを Google Classroom 上にアップロードする。アップロードは 18~19 時前後を予定している(動画編集上の都合により時間の変更がある場合は Google Classroom 上でアナウンスする)。 ¥n 受講生の小テストの提出期限は、「授業と同じ週の金曜 23 時 59分」を締切りとする。提出遅れがないよう締切時間には気を付けること。(遅延提出は一切受け付けない)。 ¥n¥n 授業動画へのリンク先や本授業用の Google Classroom サイトについての情報は、担当教員が初回の授業までに3S上でアナウンスするので、受講生は必ず確認し、初回の授業動画を視聴し、Google フォーム上の小テストに解答すること。 ¥n 受講生は Google Classroom のコードの確認、登録、小テストの解答方法の修得等を全て自ら行うこと。 ¥n なお、動画の視聴と小テストの解答は、武蔵大学学生用の Google アカウントからしか接続できないので、アカウントの設定に注意しておくこと。 ¥n¥n 担当教員は、初回の授業について、履修者全員に連絡がつく3S上で事前連絡をする。担当教員からのその後の重要連絡は Google クラスルーム上で行うので、受講生は Google クラスルーム登録後、そちらを定期的に確認しておくこと。 ¥n

#### 到達目標 / Learning objectives

社会学は「若者」を対象に様々な研究を蓄積してきた。かつて「青年文化」と呼ばれていた日本の若者文化論は、「サブカルチャー論」や若者たちの類型額として発展し、昨今では、ロスジェネやニートのような労働問題との関わり、友人・恋愛・セクシュアリティ・結婚・自立・離家といった人間関係・家族関係、ファッション・携帯・ソーシャルメディアといった文化との関わり、あるいは政治参加・政治運動といった政治との関わりなど、多方面に展開している。この授業では、担当教員が現代の若者をとりまく様々なテーマをとりあげ、それらの社会学的見解について講義する。¥n 履修者は、半年の講義を通して、若者や若者文化への社会学的視野からのアプローチについて理解することが目標である。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

# 履修上の注意事項/Course guidelines

授業を受講するにあたり、Google Classroom へのアクセスと動画視聴が可能な機材(PC・タブレット・スマートフォンおよび安定したインターネット接続可能な機器)が必要である。機材やインターネット接続の不具合に基づく受講不能、課題提出エラーや遅延については、受講者側の責任とする。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	「若者」とは誰か?¥n		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に	目安時間(分)	60
/Preparation & review	臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	モラトリアムとアイデンティティへの問い		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に	目安時間(分)	60
/Preparation & review	臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	消費と若者のアイデンティティ		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	履修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に	目安時間(分)	60
/Preparation & review	臨むこと。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ポスト「消費社会論」的消費社会と若者		

<b>履修老は この授業の参考文献や 配信動画に日を通してその内容を復習し 次回の授業に</b>	日安時間 (分)	60
	1	00
	/ Approx. tille (IIIII)	J
	日本時間 (人)	60
		00
	/ Approx. tille (IIIII)	<u> </u>
石石とノーンヤルメディア、デンダルフイフ		
	日本味問 (人)	60
		00
	/ Approx. tille (IIIII)	<u>.l</u>
Student Subcultures 一名名」の多様性・旧信、フェンケー、エスーンティー		
	日本吐用 (八)	60
		00
	/ Approx. tille (IIIII)	<u></u>
石白乙心変・1		
屋佐老は この極悪の名者立辞の 町信動画に口が落してるの中のが復興 カロの極悪に	口小吐明 (八)	60
	1	00
	/ Approx. Line (min)	. <u> </u>
右省と恋愛・2		
		00
		60
	/ Approx. time (min)	<u></u>
若者と労働一就職しない/できない若者たち―		
		60
	/ Approx. time (min)	<u> </u>
若者と政治 インス・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		100
		60
	/ Approx. time (min)	
若者のコロナバンテミック		
	1 = ±=1== (0)	7
		60
臨むこと。 	/ Approx. time (min)	<u> </u>
	T	
	/Approx. time (min)	<u></u>
	5.000.000.000.000.000.000.000.000.000.0	
	/Approx. time (min)	<u></u>
	/Approx. time (min)	
	目安時間(分)	
	歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 多元化する目己と若者一消費社会論からコミュニケーション論的「若者論」へ一 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者とソーシャルメディア、デジタルライフ 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 Student Subculturesー「若者」の多様性:階層、ジェンダー、エスニシティー 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者と恋妻・1 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者と歌母・2 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者と労働ー就職しない/できない若者たちー 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者と政治 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者のコロナバシデミック 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。 若者のコロナバシデミック 歴修者は、この授業の参考文献や、配信動画に目を通してその内容を復習し、次回の授業に臨むこと。	語むこと。

授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 19 回/秋学期第 6 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
∕Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)
/Preparation & review		/Approx. time (min)
オンラインで宇体する塔	業の回数 / Number of sessions to be conducted online 13回	· 

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria				
定期試験/Regular Exam						
授業時間内に実施するテスト	100	毎回、授業の動画視聴後に提出を求める小テストの合計点。				
/In-class/mid-term tests						
レポート/Report						
授業への取り組み						
/Effort/Participation						
その他1/Other 1						
その他2/Other 2						
	- 1- 111					

# 評価方法に関する備考

Remarks for Evaluation method

この授業では、毎回の授業内容の理解状況を各自が確認できるように、動画視 聴後にその回の授業内容に関する小テストをオンライン上で実施する。小テストは 概ね 30 分程度かけて解答することを目安に作成されているが、解答時間はそれ 以上かけてもかまわない。¥n¥nこの授業の評価は、各自が受験したオンライン小 テストの各回の得点の「総合点」をもとに相対評価で行う。従って、小テストの受験 回数が多いほど総合点は上がり、受験回数が少ないと総合点は下がっていくの で、その点に十分注意して継続的に受講・受験すること。¥n¥n なお、毎週のオン

		ライン小テストは、解答開始時間と解答締切時間(解答期限)をあらかじめ設定す
		る。解答期限は、授業動画が配信された「同じ週の金曜 23 時 59 分」とする。した
		がって、すでに終わった週の小テストを、後日まとめて解答しようとしても解答は締
		め切られているので注意すること。¥n また、明らかに動画試聴未完了と思われる
		時間帯に送信された解答も「授業未受講」と判断し、採点対象とはしないので、必
		ず一定の時間をかけて動画を視聴し、その後に小テストに解答するようにするこ
		ک。
	課題等に対するフィードバック	小テストの締切り期限後、採点が終わった後に、Google フォームからの返信メー
	/Feedback method	ルにより各自の得点をフィードバックする。
教科書 Textbooks		
参考書	浅野智彦『「若者」とは誰か:アイデンテ	- イティの 30 年【増補新版】』河出ブックス、2015 年[書籍版または kindle(電子図
Reference books	   書)版]¥n 古市憲寿『絶望の国の幸福	「な若者たち』講談社+α 文庫、2015 年¥nA. France et al. eds., Youth Sociology.
	│ │Macmillan, 2020 年[書籍版または kin	
LIDI		
URL		
補足情報		
Supplementary information		
/#-≠		
備考 Remarks		

M1740	社会調査方法論	基礎 1/メデ	曹 慶鎬	ī ]		
2.00 単位	講義	春学期	集中講義	オンライン		ナンバリング:SOC14010

社会調査、調査法、社会学、データ、分析

授業の概要 / Course outline

社会調査は単なるデータの収集作業にとどまるものではなく、社会学研究を行うための重要な方法の一つであります。この授業では社会調査の基本事項について、具体的な調査事例と関連付けて学ぶことで、既存の社会調査の結果を的確に理解できるようになるとともに、社会調査の設計と実施についてある程度の見通しが立てられるようになることを目指します。

到達目標 / Learning objectives

社会学の分野で行われる社会調査研究の枠組みを理解し、社会調査の事例を探し、その結果を的確に読むための基礎的な力を身につけます。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○批判的な学習態度

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

#### 履修上の注意事項/Course guidelines

全回オンデマンドの授業になります。毎回 Google Classroomで授業資料と講義動画などの教材を配信します。Google Classroomへの参加方法は 3S に掲示します。¥n 受講には Web ブラウザが必要です。Edge や Safari でも受講可能ですが、教材の動作確認を Google Chrome で行っているので、Google Chrome での受講を推奨します。¥n 教材の動作確認を PC で行っているので、PC での受講を強く推奨します。スマホなどでは教材の動作が不完全なものになる恐れがあります。¥n なお、PC の OS は Windows、Mac のどらちらでも結構です。

【第1回/春学期第1回】	はじめに		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会調査の目的		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会調査の歴史:国内外の社会調査の歴史	``	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	社会調査の種類:量的調査と質的調査		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	量的調査の方法: 量的調査の方法とその特徴		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	量的調査の事例(1):主要な公的調査、国内の代表的な学術調査		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	量的調査の事例(2):主要な官庁統計、国際機関の統計データ		<b></b>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	

【第8回/春学期第8回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	質的調査の方法:質的調査の方法とその特徴	<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	質的調査の事例:実際の研究事例とその方法の特徴		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 11 回/春学期第 11 回】	量的調査と質的調査の関係:量的調査と質的調査の補完性		
授業計画/Class outline		·	
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 12 回/春学期第 12 回】	既存データの使い方:既存データの収集と使い方		
授業計画/Class outline	建苯卦面亦识吐台后次则无註 7. 中央无规模 구시/ 私不担时必止, 一个发现在是土厂	口力吐服 ///	60
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分) 〈Annony time (min)	60
Preparation & review  【第 13 回/春学期第 13 回】	復習を行う。 	/Approx. time (min)	<u> </u>
授業計画/Class outline	仕 云 調 重 V) 冊 连 C よ C (V)		
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	00
【第14回/秋学期第1回】	K15(17)	7 71001071. 20110 (11111)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		<u> </u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline		<b>.</b>	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		日本吐服 ///	T
授業外学修(予習および復習) /Preparation & review		目安時間(分) /Approx. time (min)	
(第 18 回/秋学期第 5 回)		/ Approx. tille (IIIII)	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			.1
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		÷	.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
		L	لـــــنـ

【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	 
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
∕Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

13 回

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
定期試験/Regular Exam				
授業時間内に実施するテスト				
∕In-class/mid-term tests				
レポート/Report	60	中間(30%)と期末(30%)にレポート課題を予定しています。この課題		
		の解答内容と提出状況によって授業全体の内容の理解度を評価しま		
		す。		
授業への取り組み	40	ほぼ毎回の授業で小課題があります。この課題の解答内容と提出状		
/Effort/Participation		況によって毎回の授業内容の理解度と授業への取り組みを評価しま		
		す。		
その他1/Other 1				
その他2/Other 2				
評価方法に関する備考	毎回の授業で実施される小課題の目的は学生の理解度の確認です。小課題の			
✓ Remarks for Evaluation method	解答に必	要な標準所用時間は 20~30 分です。 ¥n なお、小課題は出席確認を		
	兼ねております。小課題の提出をもって、その回の授業を出席したとみなします。			
	¥n 中間と期末のレポートの実施目的は学生の理解度の確認です。レポートの作			
	成に必要な標準所用時間は 120~160 分です。¥n なお、期末レポートの提出は			
	必須です。			
課題等に対するフィードバック	課題等の	フィードバックとして、講義動画内でコメントするか、関連する資料を		
/Feedback method	Google Cl	assroom 上で公開します。		

教科書 Textbooks

参考書 Reference books 轟亮·杉野勇·平沢和司編,2021,『入門·社会調査法 第4版』法律文化社 ISBN-13:978-4589041418¥n 林雄亮·石田賢示,2017,『基礎から学ぶ社会調査と計量分析』北樹出版 ISBN-13:978-4779305351(入学時に配布予定)¥n

URL

補足情報 Supplementary information	
備考 Remarks	

M2870	70 サブカルチャーの社会学/マンガの社会学 [メディア授業][月 6]				池上 賢	2
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング: SOC33300

サブカルチャー マンガ アニメ オタク文化 社会学

授業の概要 / Course outline

社会学の視点から、サブカルチャーやポピュラーカルチャーと呼ばれる、我々にとって馴染みのあるメディア文化を取り上げ、発達過程に関する基本的な事柄やそれを分析する学術的な視点を学ぶ。本講義では特に、マンガを中心に取り上げ、その周辺メディアであるアニメ・ゲーム・ライトノベル、にも触れる他、日本におけるサブカルチャーであるオタク文化の発達も取り扱う。¥n ¥n なお、授業は【主教材(レジュメ)】【補助教材(スライド)】【解説音声】を配信し、学生がそれを利用して学習するオンデマンド形式で行う。【主教材】【補助教材】は3S で配信し、【解説音声】は Google ドライブで配信する。受講後は3S のアンケートに設置したコメントフォームに入力する。 ¥n

到達目標 / Learning objectives

本授業で取り上げる、マンガ、アニメ、ゲーム、音楽などは我々にとって「楽しいもの」であるが、それらについて「学術的に」考察し、分析する能力を身に着けることが本講義の到達目標である。具体的には以下の通りである。¥n¥n① マンガ、アニメ、ゲームの特徴、歴史、現状について説明を行うことができる。¥n¥n② サブカルチャー・ポピュラーカルチャーに関連する社会現象について、社会学およびカルチュラル・スタディーズの視点から分析ができる。¥n

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

本科目はオンデマンド科目であるため、自宅などでも受講可能である。ただし、受講者は最低限の PC 操作に習熟していることが求められる。

履修上の注意事項/Course guidelines

受講後のコメント入力期限は1週間を目安とする予定であるので、この点を踏まえて受講を検討すること。なお、受講後のコメント回数が著しく少ない場合、最終試験を受けられない可能性がある。また、コメント、試験などの解答可能期限は各自で確認すること。不注意による受講忘れなどには配慮しない。¥n¥n また、受講者には知識の習得だけでなく、自発的に自分が関心を持つサブカルチャーについて考える能力を身に着けてほしいと考える。そのため、授業時から自身が関心を持つサブカルチャーに関する資料を収集しておくことが望ましい。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション、社会学のサブカルチャーへの視点		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	戦前~50 年代のマンガおよび周辺メディア		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	60 年代(1):抵抗の象徴としてのマンガ	·	<b></b>
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
∕Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	60 年代(2):「大衆文化」としてのマンガ	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	240
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。¥n3S に設置する WEB テストを受けるこ	/Approx. time (min)	
	خ.		
【第5回/春学期第5回】	70 年代(1):マンガ産業の成熟へ	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	240
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	70 年代(2):「ぼくら」によるマンガ語り		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90

/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
  【第7回/春学期第7回】	マンガの論点(1):社会学におけるマンガ論/70 年代までのマンガに関する研究		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	80 年代(1):娯楽の王様としてのマンガ		
授業計画/Class outline			
	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	180
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。¥n3Sに設置した WEB テストを受けること	/Approx. time (min)	
【第 9 回/春学期第 9 回】	80 年代(2):「マンガを語る」試みの拡大とおたく文化		_J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	90 年代(1):マンガ市場の成熟と飽和		_!
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。¥n3S で配信する WEB テストを受けるこ	/Approx. time (min)	
	と。		
【第 11 回/春学期第 11 回】	90 年代(2):メディアミックスの拡大	<u>:</u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	90
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	00 年代以降:マンガをめぐる状況の変化		-i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	180
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。¥n3Sに設置した WEB テストを受けること	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	マンガの論点(2):マンガはサブカルチャーなのか?/近年のマンガ研究から考える		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	予習:事前に配布された資料に目を通すこと。¥n 復習:講義で取り上げたテーマについて、自	目安時間(分)	300
/Preparation & review	分自身で著書や関連情報を調べてコメントを行うこと。¥n 授業全体を振り返り、自分なりに日本	/Approx. time (min)	
	のサブカルチャーについて考察すること。¥n3S で配信する最終テストを受講すること。		
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			

授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13 回】	
授業計画/Class outline	
授業外学修(予習および復習)	目安時間(分)
/Preparation & review	/Approx. time (min)

オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online

13 回

評価方法 Evaluation method

o pe condu	Cted online 13 回			
割合 %	評価基準等/Evaluation criteria			
20	各回の講義内容へのコメントの参加度やコメント内容			
30	3S にて実施する確認テスト(3 回分)。授業で学習した内容が身につ			
	いているか確認する。			
50	WEB 上にて配信する最終テスト: 授業内容の理解度を計るため、応			
	用問題と記述問題を出題する。			
各回のコン	メントが行われていない場合、各回2%の減点となります。			
授業時に収集したコメントについては、次の回でフィードバックを行う。また、WEB				
テストにつ	いては、授業内で簡単な解説を行う。			
	割合 % 20 30 50 各回のコン			

教科書 Textbooks

なし。毎回電子版のレジュメを配布する。

# 参考書

Reference books

特になし。ただし、毎回のレジュメに参考文献を記載する。

URL	
補足情報	
補足情報 Supplementary information	
ouppiementally illiornation	
備考	
備考 Remarks	

M2960	2960 電子コミュニケーション論 [メディア授業][月 6]				粉川 -	粉川 一郎		
2.00 単位	講義	春学期	集中講義	オンライン		ナンバリング:MCC33140		

パソコン、携帯電話、インターネット、SNS、匿名掲示板、ソーシャルメディア、Twitter、FaceBook、LINE、Instagram、YouTube、TikTok、BeReal、VR、AR、MR

#### 授業の概要 / Course outline

この授業はオンデマンド形式で実施します。zoom と Google Classroom を用います。¥n 原則、授業日の月曜夜に Google Classroom 上で動画配信を行い、コメントシートおよび質問を提出していただきます。¥n いただいた質問に対する回答を含む動画を、次の授業日に配信を行います。¥n 授業内容の動画と、質問への回答の動画については、まったくテイストの違う動画になります。特に、質問への回答の動画については学生とのコミュニケーションを重視した形で行いますので、積極的なご質問をお願いします。¥n¥n 高度情報化社会の進展の中で、インターネットの登場とそれが生み出した新しいコミュニケーションのスタイルが大きな社会変革を生み出しました。また、ネットワークが万人に開かれた新しいメディアとしての地位を確立し、その力も社会変革の大きな原動力となっています。本講義では、こうした背景を踏まえ、ネットワークが作り出す人と人との関係性の変革と、社会構造変革への可能性について検討し、有効なメディアネットワーク戦略について学びます。

#### 到達目標 / Learning objectives

インターネットというメディアの40年間の変遷について説明できること。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

#### 履修上の注意事項/Course guidelines

オンライン授業ですので PC もしくはタブレットでの受講を推奨します。スマートフォンでの受講は推奨しません。¥n また、GoogleClassroom 上での Word もしくは PDF 形式でのコメントシートの提出が必須です。¥n¥n また、講義中、X(旧 Twitter)を利用することがあります。事前にご連絡しますので、その際には鍵のかかっていない X(旧 Twitter)のアカウントを取得するようにしてください。授業用に公開アカウントを作る形でも結構です。

【第1回/春学期第1回】	・人はどのようにコミュニケーションをアップデートしてきたのか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	身近な人とのコミュニケーションを改めて観察し、コミュニケーションにどのような手法があるかを	目安時間(分)	180
/Preparation & review	考えてみてください。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	・コンピュータの歴史 人々はコンピュータに何を見たか	<u></u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	コンピュータや計算機という概念を見つめなおします。宗教をテーマにした本や記事に目を通し	目安時間(分)	180
/Preparation & review	てみましょう。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	・パーソナルコンピューティング革命、コンピュータを個人の手に	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	スティーブ・ジョブズという誤った神格化をされた人物をはじめ、多数のコンピュータテクノロジー	目安時間(分)	180
/Preparation & review	を切り開いた人を紹介します。ぜひ、ググってそれぞれの人について学びましょう。運動論の本	/Approx. time (min)	
	をサラッと眺めるのもいいかも。		
【第4回/春学期第4回】	・インターネットという新しいフロンティア、Web という発見。		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	電気通信を取り巻く法律制度がいかにプアなものであったかを知っておくことも大切です。郵政	目安時間(分)	180
/Preparation & review	省とはどのような省庁であったか、総務省は今何をしているのか、調べてみましょう。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	・ポケベル、ケータイが作り出したコミュニケーションの「様式」		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	身の回りの中高年の人に、90年代くらいのポケベルやケータイの思い出について語ってもらいま	目安時間(分)	180
/Preparation & review	しょう。 当時の CM をいっぱい見てみましょう。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	・オンラインコミュニティ概念はどのように成立してきたのか、パソコン通信から2ちゃんねる、SNS、	ツイッター	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	この時代のリアルを目にすることはなかなか難しいです。授業で紹介された動画をひたすら見て	目安時間(分)	180

/Preparation & review	- みましょう。 長いものが多いので退屈かもしれません。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	・2ちゃんねるの「祭り」「文化」「公共」、その後へ小スピーチの巣窟へ。2ちゃんねるの転落		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	180
/Preparation & review	ください。	/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	・mixi やブログ、Facebook。 匿名性に耐え切れなかった人は SNS に逃げ出す		-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	SNS という概念が生まれるのは実は 2000 年代に入ってからです。 mixi をはじめとする古い SNS	目安時間(分)	180
/Preparation & review	の昔話を、身の回りの中高年の人に聞いてみましょう。アイデンティティについて書かれた本を	/Approx. time (min)	
•	開きなおしてみるのもおすすめです。		
【第9回/春学期第9回】	X(旧 Twitter)とは何か。日本で愛された短文文化。そして最後の文字コミュニケーション。	.L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	この回では、X(旧 Twitter)の特性について学びます。馴染みのない方は、X(旧 Twitter)につ	目安時間(分)	180
/Preparation & review	いて触れてみてください。	/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	・LINE に新しさはあったか。Instagram が作り出すワタシ。 反動としての BeReal。	<u>i</u>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	静止画、といものがどの程度の内容を表現しうるのか。文字と静止画像では、伝えられる情報の	目安時間(分)	180
/Preparation & review	質にどのような違いがあるか。インスタとツイッターを比較しながら考えてみましょう。	/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	踊る人々、歌う人々、そして文字を読まない人々。YoutubeとTikTok。	i	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	人類の歴史について振り返ってください。いつ人は踊り始めたのか、いつ人は歌い始めたのか。	目安時間(分)	180
/Preparation & review	文字はいつ生まれたのか。人類史に関する本を読んでみるのもよいでしょう。	/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	・マネタイズが破壊したインターネット。誰かの金儲けの為のページビュー至上主義と、コントロール	·できなくなる TL	-o
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	自分のよく知っていること、関心の高いことについて、Google で検索してみましょう。あなたにとっ	目安時間(分)	180
/Preparation & review	て発見といえる情報が入手できるのは何ページ目ですか。いかに現代の Web コンテンツがプア	/Approx. time (min)	
	か確認してみましょう。		
【第 13 回/春学期第 13 回】	・繰り返すこの Al と人間のせめぎあい。 人類はインターネットという環境の中でどう姿を変えていくの	のか。	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	一本、SF 映画や SF のアニメを見てましょう。ただし異世界には転生しないこと。 あくまでもサイエ	目安時間(分)	180
/Preparation & review	ンスフィクションで。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】		<del></del>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】			
授業計画/Class outline		T = 1 = 1 = - · · ·	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第17回/秋学期第4回】			
授業計画/Class outline		T n_44= //:	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u></u>
【第18回/秋学期第5回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u> </u>
【第 19 回/秋学期第 6 回】			

授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復	图》			目安時間(分)
/Preparation & reviev				/Approx. time (min)
【第 20 回/秋学期第 7	· -			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & reviev				/Approx. time (min)
【第 21 回/秋学期第 8	_			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後	•			目安時間(分)
/Preparation & review				/Approx. time (min)
【第22回/秋学期第9				
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および後				目安時間(分)
/Preparation & review	i			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	<u> </u>			
授業計画/Class out				
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11	· · ·			
授業計画/Class out	<u> </u>			口力性明(八)
授業外学修(予習および復 / Preparation & reviev				目安時間(分) /Approx time (min)
/ Freparation & review 【第 25 回/秋学期第 12				/Approx. time (min)
授業計画/Class out	į			
授業外学修(予習および復				目安時間(分)
Preparation & review	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				/ Approx. time (timi)
授業計画/Class out	<u>i</u>			
授業外学修(予習および)				目安時間(分)
Preparation & review				/Approx. time (min)
·	<u> </u>			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	る授業の回数/Number of sessions t			9
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation cri	iteria
Evaluation method	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	/In-class/mid-term tests レポート/Report	50		トプレフート
			授業テーマについて、自身の独自の考えを示せ	
	授業への取り組み /Effort/Participation	50	質問やコメントシートの提出状況を評価の参考と	としまり。
	その他1/Other 1 その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	評価方法に関する頒名 / Remarks for Evaluation method			
	課題等に対するフィードバック	コメンルシィー	トは出席確認のために利用します。 点数をつけ [・]	て海却 ままが 占粉
	Feedback method		こついては授業内でお知らせします。	て返却しよりか、点数
教科書 Textbooks	動画内で参考となる書籍について紹介	 }します。		
参考書 Reference books	講義中に参考図書を紹介します。			
URL				
補足情報				

Supplementary information	
備考 Remarks	

M2980	ファッションと流行	の社会心理	/流行・普及コミュニケーシ	ョン [メディア授業][金6]	工藤 雅	人
2.00 単位	講義	春学期	集中講義	オンライン		ナンバリング:PSY33020

ファッション、流行

授業の概要 / Course outline

本講義では「ファッションや流行」についてなされてきた社会学的な議論や理論を学び、それらに基づいた分析実例を参考にしながら理論を踏まえて議論を組み立てる方法を習得する。

到達目標 / Learning objectives

この授業の目標は、「ファッションや流行」について社会学的に考察できるようになることである。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

履修上の注意事項/Course guidelines

本講義はオンデマンド型で実施し、ライブ配信はおこなわない。¥nGoogleClassroomに資料および講義動画をアップロードする。

技業計画 / Class sch	edule		
【第1回/春学期第1回】	イントロダクション		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	ファッションと流行に関する理論 1——G.ジンメル		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	ファッションと流行に関する理論 2——G.ジンメル		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	ファッションと流行に関する理論に基づく分析の実例 1——歴史的考察		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	ファッションと流行に関する理論 3——理論の限界を考える		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	ファッションと流行に関する理論に基づく分析の実例 2――事例分析(ファッションのジャンルと	比較)にもとづいて理	論を
授業計画/Class outline	再構築する		
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	ファッションと流行に関する理論に基づく分析の実例 3——美容整形から「ふつう」を考える	<del>-</del>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	ファッションと流行に関する理論に基づく分析の実例 4――「自己満足」という視点から美容整	形を再考する	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	ファッションと流行に関するレポート執筆の準備――学んだ理論で身近な疑問を考えてみる		

授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	 ファッションと流行に関する理論に基づく分析の実例 5「ファッションへの関心の乏しさ」からフ	アッションとの間	関わり
授業計画/Class outline	を考える		
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
 【第 11 回/春学期第 11 回】		し	.i 関わり
授業計画/Class outline	を考える その2		• • •
授業外学修(予習および復習)	講義では参考文献(論文)を紹介する。講義後は復習として紹介した論文を読むこと。	目安時間(分)	270
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	レポート課題の提示とレポートの書き方	L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義ではレポート執筆に関連する参考文献(論文等)を紹介する。 講義後は復習として紹介した	目安時間(分)	300
/Preparation & review	論文等を読むこと。	/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	レポートの書き方の確認		_i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義ではレポート執筆に関連する参考文献(論文等)を紹介する。講義後は復習として紹介した	目安時間(分)	300
/Preparation & review	論文等を読み、レポートを執筆すること。	/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第15回/秋学期第2回】		L	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第16回/秋学期第3回】		L	_J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第17回/秋学期第4回】		L	-J
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		<b>\</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第19回/秋学期第6回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第20回/秋学期第7回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline		***************************************	
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	<u>.</u>
【第 22 回/秋学期第 9 回】			

授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	0 回】			
授業計画/Class ou	tline			
授業外学修(予習および	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
  【第 24 回/秋学期第 1				
授業計画/Class ou	- <b>i</b>			
授業外学修(予習および				目安時間(分)
Preparation & revie				/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 1				7 Approx. Cino (min)
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および				目安時間(分)
対象が子形(ア自わよい)				一女時間(カナ   / Approx. time (min)
				/ Approx. Line (IIIII)
【第 26 回/秋学期第 1	· · -			
授業計画/Class ou				
授業外学修(予習および行				目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	する授業の回数/Number of sessions	to be condu	ucted online 13回	
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation cri	teria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
method	授業時間内に実施するテスト			
	/In-class/mid-term tests			
	レポート/Report	70	講義で学んだことを踏まえて、社会学に議論を	 展開できているかを評
	The state of the s	, ,	価するためのレポート(6000 字以上)を課す。	2())] ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (
	 授業への取り組み	30	各講義では講義後にコメントシートの提出を課す	 - そのうち 3 回を 成
	/Effort/Participation		積評価に関わるコメントシートとする。	。 COD D O ELECTRA
	その他1/Other 1			
	その他2/Other 2			
	評価方法に関する備考			
	Remarks for Evaluation method	<b>/</b> -□0=#	*	
	課題等に対するフィードバック		議後に提出が必要となるコメントシートについて、 ・ 次がはたで選りませた。ファナル、またまたでことが、ナ	
	/Feedback method		≿資料を翌週の講義で配布し、講評を行う。¥nまれ	こ、第12回、13回でレ
		ホート課題	題の書き方を例示する。	
教科書				
Textbooks				
参考書	川添裕子, 2013, 『美容整形と〈普通	iのわたし〉』	青弓社ライブラリー. ¥n 工藤雅人, 2017, 「『差』	別化という悪夢』から目
Reference books	覚めることはできるか?」北田暁大・角	解体研編『ネ	t会にとって趣味とは何か——文化社会学の方法	規準』河出書房新社,
	205-29.¥n 工藤雅人, 2021,「「ファ	アッション研	究」の研究動向」『日本家政学会誌』72(3):172	-9.¥n 松谷創一郎,
	2008, 「差異化コミュニケーションはと	こへ向かう	のか――ファッション誌読者欄の分析を通して」『文	化社会学の視座』ミネ
	ルヴァ書房, 245-72. ¥nPerrot, Phili	ppe, 1981=	=1985, 『衣服のアルケオロジー――服装からみた	<u>-</u> 19 世紀フランス社会
	の差異構造』文化出版局. ¥nSimmel,	Georg, 19	911=1976, 「流行」『ジンメル著作集 7 文化の哲	雪学』白水社, 31-61.
	¥n 谷本奈穂, [2008]2019, 『美容惠	೬形と化粧σ	)社会学——プラスティックな身体』新曜社. ¥n 谷	本奈穂, 2018, 『美容
	■ 整形というコミュニケーション——社会	規範と自己注	満足を超えて』花伝社.	
URL				
補足情報 Supplementary information				
備考				
佣 <i>与</i> Remarks				

M2990	社会心理学/ライ	フスタイルの	)心理学/社会心理学 [メテ	ディア授業][月 6]	髙林 久	美子
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング:PSY33030

社会心理学、社会的影響、対人認知、社会的推論、ステレオタイプ・偏見・差別、集団と意思決定

#### 授業の概要 / Course outline

社会心理学は、普段、私たちがどのように社会や他者から影響を受けているのかについて科学的検証により明らかにしようとする学問である。 本講義では、社会心理学における主要な領域を取り上げ、社会心理学とはどのような学問なのかを学んでいく。授業では具体的な実証研究 を挙げながら理論やモデルについて説明する。社会心理学の基礎的な知識を習得するとともに、研究方法についても理解してほしい。日頃の 自他の行動を社会心理学の視点から考察できるようになることを目指す。

# 到達目標 / Learning objectives

・社会心理学の基礎知識を身につける。¥n・社会心理学の研究方法について理解する。¥n・日頃の自他の行動や社会の現象を授業で学んだことから説明できるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○共感力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

# 履修上の注意事項/Course guidelines

・オンライン授業のため、ネット通信環境が整っていること、PC やタブレット等のデバイスが必要である。¥n・授業資料と動画は、毎週月曜日に Google クラスルームを通じて配信する予定だが、詳細は3S に掲示するので、掲示に注意すること。¥n・毎回、確認テストを実施する。動画を見て、自主学習を行った後に期日までに受験すること。

F# 1 = /= \(\frac{1}{2}\) ##### # 1 = \(\frac{1}{2}\)	シノビンラV も 人 ン四米の田内 エナについて		
【第1回/春学期第1回】	ガイダンス¥n 社会心理学の研究手法について		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	社会的影響¥n 私たちは周りからどのような影響を受けているか		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	社会的推論①¥n 日常の推論や意思決定におけるエラーやバイアス	`	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	社会的推論②¥n 意思決定と確率判断	·	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
∕Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	対人認知①¥n 他者の印象はどのように形成されるのか	·	··
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	対人認知②¥n 対人認知におけるエラーやバイアス	<b>'</b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	感情¥n 感情は私たちの情報処理にどのような影響を及ぼしているか	<u> </u>	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、	目安時間(分)	60
/Preparation & review	復習を行う。	/Approx. time (min)	
L			

授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) 講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、 日時間 / Preparation & review 復習を行う。 / Approx 【第9回/春学期第9回】 自己②¥n 自己にかかわるエラーやバイアス		
/Preparation & review 復習を行う。 /Approx		
	(分)	60
「第0回/麦学町第0回」 白コのYn 白コにかかわるエラーやバイマフ	time (min)	
L カッ四/ 宇ナ州 カッ国     日 C G 手 II 日 C IC D M M M M M M M M M M M M M M M M M M		i
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 講義動画の視聴前に資料を読み、内容を講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握して  田安嗣	(分)	60
/Preparation & review おく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、復習を行う。 /Approx	time (min)	
【第10回/春学期第10回】 ステレオタイプ・偏見・差別①¥n どのようにして偏見・差別は起きるのか(個人レベル)		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、 田安嗣	(分)	60
	time (min)	
【第11回/春学期第11回】 ステレオタイプ・偏見・差別②¥n どのようにして偏見・差別は起きるのか(社会レベル)		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、 田時間	(分)	60
<u></u>	time (min)	
【第12回/春学期第12回】 集団と個人¥n 集団意思決定におけるエラーやバイアス		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、 田珠間		60
	time (min)	
【第13回/春学期第13回】 文化¥n 文化が異なると、心も異なるか		
授業計画 / Class outline		
授業外学修(予習および復習) 講義動画の視聴前に資料を読み、内容を把握しておく。動画視聴後はもう一度資料を見直し、		60
	time (min)	
【第 14 回/秋学期第 1 回】 		
授業計画 / Class outline	(1)	
授業外学修(予習および復習) 目安時間 (クロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
<u> </u>	time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】		
授業計画/Class outline 授業外学修(予習および復習) 目安時間	(/\\	
	time (min)	
	tillie (IIIIII)	
授業計画/Class outline Text Text Text Text Text Text Text Tex		
投業外学修(予習および復習)	(分)	
	time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】		J
授業計画/Class outline		
日安時間   日安藤田   日安藤田	(分)	
	time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】		J
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)	
/Preparation & review /Approx	time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)	
/Preparation & review /Approx	time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】		
授業計画/Class outline		
授業外学修(予習および復習) 目安時間	(分)	
/Preparation & review /Approx	time (min)	

【第21回/秋字期第8	P 비계			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	9 <b>@</b> ]			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	0回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	W			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 1	1 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12	2回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13	3 回】			
授業計画/Class out	tline			
授業外学修(予習および行	复習)			目安時間(分)
/Preparation & revie	w			/Approx. time (min)
オンラインで実施す	・ する授業の回数/Number of sessions t	to be condu	ucted online 13 回	; ;
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等 / Fyaluation	criteria
	種別/Category 定期試験/Regular Fxam	割合 %	評価基準等/Evaluation	criteria
Evaluation	定期試験/Regular Exam			
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト	割合 %	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その	合計点で評価する。¥n¥n
Evaluation	定期試験/Regular Exam		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま 合は、いかなる理由であっても、その後の解	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま 合は、いかなる理由であっても、その後の解	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考		毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日まらは、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation method 教科書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日まらは、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
Evaluation method 教科書 Textbooks	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日まらは、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
数科書 Textbooks 参考書	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /In-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
整本 整本 整本 整本 整本 整本 整本 整本 整本 整本 是本 是本 是 是 是 是	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
数科書 Textbooks 参考書 Reference books URL	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す
評価方法 Evaluation method  教科書 Textbooks 参考erence books URL 補足情報 Supplementary information	定期試験/Regular Exam 授業時間内に実施するテスト /ln-class/mid-term tests レポート/Report 授業への取り組み /Effort/Participation その他1/Other 1 その他2/Other 2 評価方法に関する備考 /Remarks for Evaluation method 課題等に対するフィードバック /Feedback method	100	毎回、動画視聴後に小テストを実施し、その解答可能期間は1週間である。解答期日ま合は、いかなる理由であっても、その後の解ること。¥n必ず一定の時間をかけて動画を存に解答するようにすること。	合計点で評価する。¥n¥n でに解答できなかった場 答を認めないので注意す

Remarks

M3080	データ社会のガバナンス/知的財産・著作権論 [メディア授業][火 6] 庄司 昌彦				彦	
2.00 単位	講義	秋学期	集中講義	オンライン		ナンバリング:MCC33240

著作権、個人情報の保護と活用、AI規制、表現の自由、消費者保護とネット規制、デジタルデバイド、プラットフォーム規制と独占禁止

# 授業の概要 / Course outline

今後のデータ社会をどのように作っていくのか、データをめぐるルールやガバナンス(※)の観点から考えます。¥n 具体的には、著作権や個人情報などに関する権利の問題、便利なサービスやビジネスと権利のバランス、それらをめぐる企業・政府・市民の駆け引きなどを扱います。また、日々のソーシャルメディア利用や学習の中でこれらの権利とどう付き合っていくべきか、具体的に必要な行動についても理解を深めます。 ¥n¥n※ガバナンスは「統治」と訳されることが多いですが、「運営」くらいの意味で使っています。

# 到達目標 / Learning objectives

著作権や個人情報のコンセプトや、それらの「保護と活用のバランス」について基本的な知識や実践的な知識を身につけ、またそれらを巡る社会動向についても理解を深める。それにより、「データ社会のガバナンス」について自分なりに考えることができるようになる。

授業外学修 / Supplementary reading or study

全学ディプロマ・ポリシーの要素 / Elements of the Diploma Policy

○専門的知識 ○学びを活用する実践力

PC 等デバイスの持参/Bring your own PC or other device

この授業はメディア授業(オンライン)で行います。各自で視聴環境を確保してください。

履修上の注意事項/Course guidelines

この授業では履修者からのコメントに回答する時間を多く確保します。質問や感想を積極的に提出するようにしてください。

【第1回/春学期第1回】	イントロダクション(授業の概要)¥n データ社会とは・ガバナンスとは		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	授業の概要や方向性について理解し、参考文献を参照したり、キーワード等について調べたりし	目安時間(分)	120
/Preparation & review	て今後の学習に備える。	/Approx. time (min)	
【第2回/春学期第2回】	著作権1. 著作権の目的、なぜ守る必要があるのか、オープンの思想とクリエイティブ・コモンズ		.i
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第3回/春学期第3回】	著作権2. 質問・感想に答えたり補足説明をしたりして前回の内容をさらに掘り下げます	<b></b>	
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第4回/春学期第4回】	著作権3. 「AI 美空ひばり」などの死後労働問題と著作権、日々の学習や生活の中で著作権とど	う付き合うか	.4
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第5回/春学期第5回】	著作権4. 質問・感想に答えたり補足説明をしたりして前回の内容をさらに掘り下げます	<u> </u>	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第6回/春学期第6回】	個人情報1. 個人情報・プライバシーとは何か、なぜ守る必要があるのか、スマートシティ・マーケ	ティング・選挙流	舌動・
授業計画/Class outline	感染対策と監視社会		
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第7回/春学期第7回】	個人情報2. 質問・感想に答えたり補足説明をしたりして前回の内容をさらに掘り下げます	<b></b>	·
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第8回/春学期第8回】	個人情報3. 法規制・政策の動向、MyData 運動、日々の学習や生活の中で個人情報をめぐる問	題とどう付き合	うか
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第9回/春学期第9回】	個人情報4. 質問・感想に答えたり補足説明をしたりして前回の内容をさらに掘り下げます		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 10 回/春学期第 10 回】	諸問題1. 誹謗中傷と表現の自由、青少年規制		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 11 回/春学期第 11 回】	諸問題2. 質問・感想に答えたり補足説明をしたりして前回の内容をさらに掘り下げます		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 12 回/春学期第 12 回】	諸問題3. Al 規制、プラットフォームと規制(消費者保護・独占禁止)、ガバナンスの手法		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 13 回/春学期第 13 回】	諸問題4. 質問・感想に答えたり補足説明をしたりして前回の内容をさらに掘り下げます		
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)	講義資料等に基づき、授業の内容の復習、次回の予習を行う。	目安時間(分)	120
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第14回/秋学期第1回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 15 回/秋学期第 2 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	1
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 16 回/秋学期第 3 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 17 回/秋学期第 4 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 18 回/秋学期第 5 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 19 回/秋学期第 6 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
∕Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第 20 回/秋学期第 7 回】			
授業計画/Class outline			
授業外学修(予習および復習)		目安時間(分)	
/Preparation & review		/Approx. time (min)	
【第21回/秋学期第8回】			
授業計画/Class outline			

授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	ı			∕Approx. time (min)
【第 22 回/秋学期第 9	回】			
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	1			/Approx. time (min)
【第 23 回/秋学期第 10	回】			
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	1			/Approx. time (min)
【第 24 回/秋学期第 11				
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	V			/Approx. time (min)
【第 25 回/秋学期第 12				<del></del>
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	1			/Approx. time (min)
【第 26 回/秋学期第 13				·
授業計画/Class outl	ine			
授業外学修(予習および復	習)			目安時間(分)
/Preparation & review	1			/Approx. time (min)
オンラインで実施する授業の回数/Number of sessions to be conducted online 13 回				
評価方法	種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation crit	teria
Evaluation	中世計略 /Dagulay Evans			

評価方法 Evaluation method

種別/Category	割合 %	評価基準等/Evaluation criteria		
定期試験/Regular Exam				
授業時間内に実施するテスト				
/In-class/mid-term tests				
レポート/Report	70	・授業内容の理解度¥n・学んだ内容を踏まえて諸問題を考察し自分		
		の言葉で語れているかどうか		
授業への取り組み	30	授業の参加度やコメント提出への姿勢を評価対象とします。		
/Effort/Participation				
その他1/Other 1				
その他2/Other 2				
評価方法に関する備考				
✓ Remarks for Evaluation method				
課題等に対するフィードバック 授業		<b>業内で全体的な評価などについてコメントします。</b>		
/Feedback method				

教科書 Textbooks

講義資料(PowerPoint)は、授業終了後に配布します。

参考書 Reference books 福井健策, 2020, 『改訂版 著作権とは何か 文化と創造のゆくえ』, 集英社新書. ¥n 鈴木正朝・高木浩光・山本一郎, 2015, 『ニッポンの個人情報「個人を特定する情報が個人情報である」と信じているすべての方へ』, 翔泳社.¥n 水野祐, 2017, 『法のデザイン 創造性とイノベーションは法によって加速する』, フィルムアート社.

URL

ルーファス・ポロック著,豊倉幹人・渡辺智暁訳,2021,『オープン・レボリューション 情報の時代のルールを書き直す』、Ynhttps://docs.google.com/document/d/1MXiRWb8SiXhTNdr-UF1hWoXOoA8tzL0zaOhToZQtcWM/edit?usp=sharing

# 補足情報

Supplementary information

この科目は、副専攻のコア科目または関連科目です。

備考

Remarks